

根 室 市  
市民意識調査報告書

令和6年10月

根 室 市



## 目 次

1. 調査の目的 .....	1
2. 調査の方法 .....	1
3. 調査の結果 .....	1
3. 1 調査票の回収結果 .....	1
3. 2 回答者の属性.....	1
3. 3 根室市の印象についての市民意識.....	6
3. 4 居住の満足度についての市民意識.....	8
3. 5 保健医療について .....	14
3. 6 少子化・子育て支援について .....	27
3. 7 高齢者支援について.....	34
3. 8 社会福祉全般について .....	45
3. 9 交通について.....	47
3. 10 生活環境について.....	54
3. 11 防災・減災対策について.....	64
3. 12 学校教育・社会教育について.....	68
3. 13 スポーツ・レクリエーション・文化について .....	77
3. 14 産業の振興について .....	82
3. 15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか） .....	86
3. 16 市民協働について.....	90
3. 17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法） .....	93
3. 18 男女共同参画について .....	95
3. 19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度 .....	96
4. 市民意識調査結果のまとめ.....	97
5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるK P Iの動向 .....	103
6. 根室市創生総合戦略の評価.....	107
6. 1 基本目標別の施策実施効果の評価検討.....	107
6. 2 まとめ.....	127
資 料 編.....	131
資料1. 市民意識調査自由回答 .....	132
資料2. 市民意識調査票 .....	150



## 1. 調査の目的

根室市では、平成 26 年度に「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には「根室市創生総合戦略」を、さらに令和 3 年には「第 2 期根室市創生総合戦略」（対象期間：令和 3 年度～令和 6 年度）を策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、根室市の一層の発展と豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところである。

これらの計画を着実に推進していくためには、その進捗度合いや有効性を逐次確認し、必要に応じて見直しをしていくなど、実情に応じて対応していくことが不可欠である。

本調査は、根室市民約 3,000 名を対象として根室市の住みよさや市政に関する意識調査を実施することにより、これまでの施策の進捗度合いや市民による有効性等の評価を確認し、今後の計画推進に資することを目的として平成 28 年度から毎年実施しているものである。

## 2. 調査の方法

本調査は、16 歳以上の市民を対象として、無作為に約 3,000 名を抽出し、第 9 期根室市総合計画の成果目標指標のうち市民意識に関する指標及び根室市創生総合戦略における市民意識に関する KPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標；事業の目標達成度合いを示す指標）に係る設問を中心としたアンケート調査を実施した。

なお、今年度調査は、昨年度までの調査票を基本とし、施策認知度に関する設問に関しては、新たな施策を勘案して入れ替え等を行っている。

ただし、各計画策定時からの満足度や達成度を示す指標の比較については、これまでの調査との継続性を確保するために同じ設問設定とし、その達成状況と課題について検討した。

## 3. 調査の結果

### 3. 1 調査票の回収結果

アンケート調査の有効回収数は 668 票であり、有効回収率は 22.0%であった。

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,035	668	668	22.0%

### 3. 2 回答者の属性

#### (1) 地区別構成

回答者数の構成は、市街地地区住民が全体の 85.0%を占め、西部地区住民及び東部地区住民はそれぞれ 5.8%、7.6%であった。

	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
地区別件数	568	39	51	10	668
	85.0%	5.8%	7.6%	1.5%	100.0%

なお、市街地、西部地区、東部地区の区分は以下のとおりである。

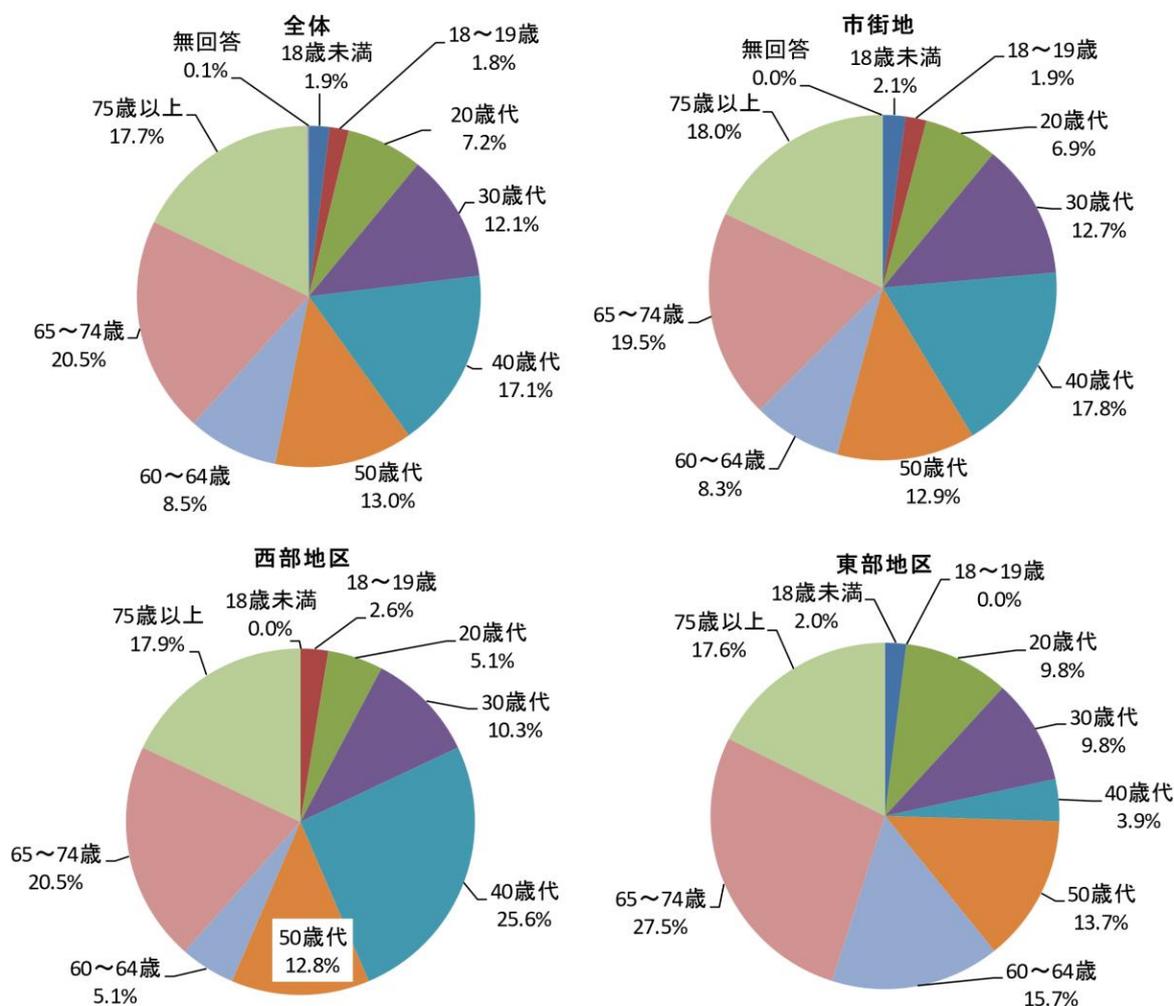
### 地区区分

地区	居住地区名
市街地	北浜町、琴平町、弁天町、駒場町、汐見町、海岸町、千島町、栄町、月見町、明治町、曙町、宝町、有磯町、朝日町、鳴海町、本町、花咲町、松ヶ枝町、弥栄町、幸町、大正町、常盤町、緑町、梅ヶ枝町、弥生町、清隆町、光和町、北斗町、平内町、岬町、定基町、松本町、敷島町、花園町、西浜町、月岡町、宝林町、昭和町、光洋町、桂木、花咲港
西部地区	穂香、幌茂尻、温根沼、東梅、酪陽、東和田、西和田、長節、浜松、昆布盛、落石東、落石西、別当賀、初田牛、東厚床、厚床、西厚床、明郷、湖南、川口、槍昔
東部地区	友知、双沖、歯舞、瑤瑤瑠、納沙布、温根元、豊里、牧の内

### (2) 年齢別構成

回収票の年齢階層別構成をみると、今年度調査も各年齢階層から回答が得られている状況となっており、その中で全体では65～74歳の割合が最も多かった。

回答者の割合をみると、平成28年度調査以降、60歳以上は増加基調にあるものの、30歳代以下では減少基調となっている。



	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	12	0	1	0	13
18～19歳	11	1	0	0	12
20歳代	39	2	5	2	48
30歳代	72	4	5	0	81
40歳代	101	10	2	1	114
50歳代	73	5	7	2	87
60～64歳	47	2	8	0	57
65～74歳	111	8	14	4	137
75歳以上	102	7	9	0	118
無回答	0	0	0	1	1
計	568	39	51	10	668

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	2.1%	0.0%	2.0%	0.0%	1.9%
18～19歳	1.9%	2.6%	0.0%	0.0%	1.8%
20歳代	6.9%	5.1%	9.8%	20.0%	7.2%
30歳代	12.7%	10.3%	9.8%	0.0%	12.1%
40歳代	17.8%	25.6%	3.9%	10.0%	17.1%
50歳代	12.9%	12.8%	13.7%	20.0%	13.0%
60～64歳	8.3%	5.1%	15.7%	0.0%	8.5%
65～74歳	19.5%	20.5%	27.5%	40.0%	20.5%
75歳以上	18.0%	17.9%	17.6%	0.0%	17.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.1%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

調査年度	回答者の年齢階層別構成の推移		
	30歳代以下	40～50歳代	60歳以上
<b>令和6年度調査</b>	<b>23.1%</b>	<b>30.1%</b>	<b>46.7%</b>
(増減率(ポイント))	(-0.7)	(+4.4)	(-3.2)
<b>令和5年度調査</b>	<b>23.8%</b>	<b>25.7%</b>	<b>49.9%</b>
(増減率(ポイント))	(-5.0)	(+0.2)	(+4.4)
<b>令和4年度調査</b>	<b>28.8%</b>	<b>25.5%</b>	<b>45.5%</b>
(増減率(ポイント))	(-1.3)	(-4.1)	(+5.5)
<b>令和3年度調査</b>	<b>30.1%</b>	<b>29.6%</b>	<b>40.0%</b>
(増減率(ポイント))	(+2.1)	(+2.6)	(-4.8)
<b>令和2年度調査</b>	<b>28.0%</b>	<b>27.0%</b>	<b>44.8%</b>
(増減率(ポイント))	(-1.8)	(+0.2)	(+2.3)
<b>令和元年度調査</b>	<b>29.8%</b>	<b>26.8%</b>	<b>42.5%</b>
(増減率(ポイント))	(+0.4)	(-2.9)	(+2.2)
<b>平成30年度調査</b>	<b>29.4%</b>	<b>29.7%</b>	<b>40.3%</b>
(増減率(ポイント))	(-0.4)	(+2.4)	(-2.0)
<b>平成29年度調査</b>	<b>29.8%</b>	<b>27.3%</b>	<b>42.3%</b>
(増減率(ポイント))	(-1.4)	(-3.4)	(+4.4)
<b>平成28年度調査</b>	<b>31.2%</b>	<b>30.7%</b>	<b>37.9%</b>

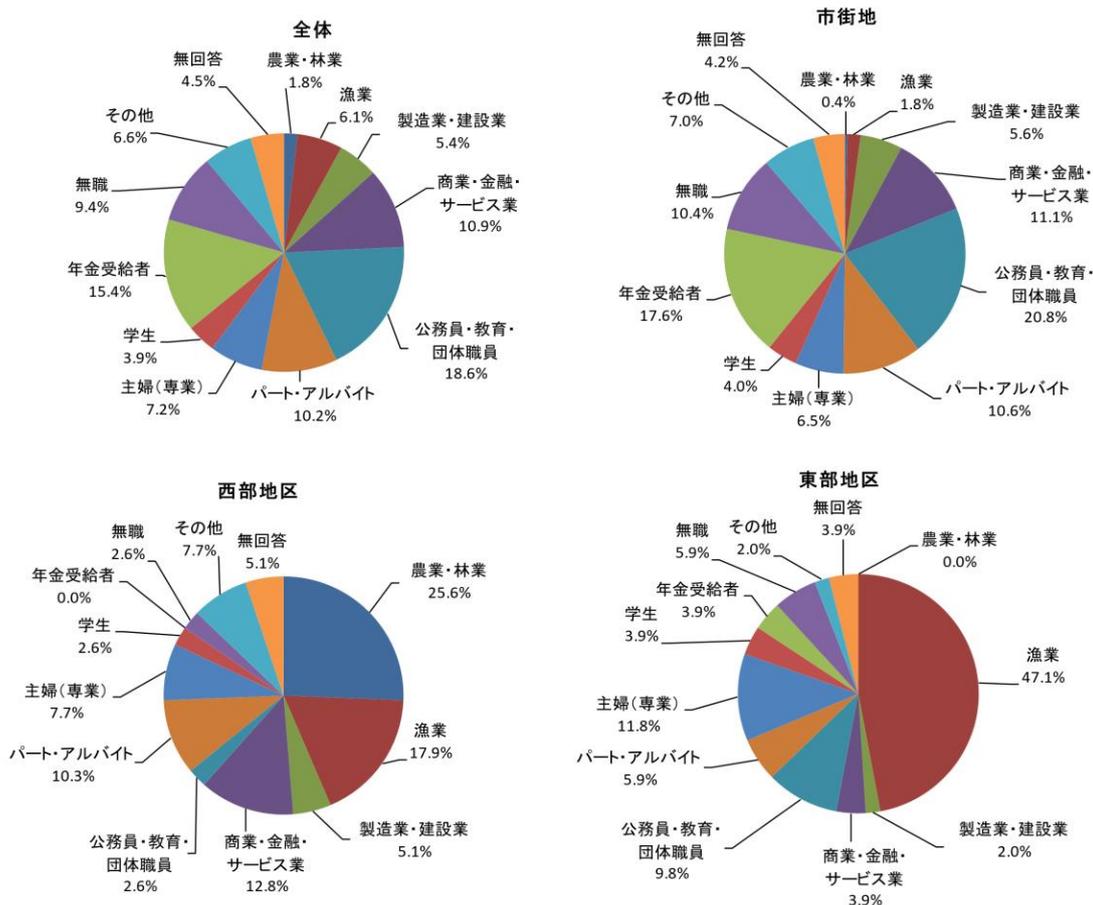
注：無回答を除く

### (3) 職業別構成

職業別構成をみると、全体では公務員・教育・団体職員、年金受給者、商業・金融サービス業、パート・アルバイトの順で多くなっているが、地区別で差がみられている。

回答者の85.0%を占める市街地は、ほぼ全体と同様の構成であるが、西部地区では、農業・林業、漁業の構成が高く、特に、農業・林業の割合が他地区に比して高い。また、東部地区は漁業が47.1%と最も多くなっているなど、それぞれの地区で特徴がみられている。

このような地区別の職業構成はこれまでの調査結果とほぼ同様となっている。

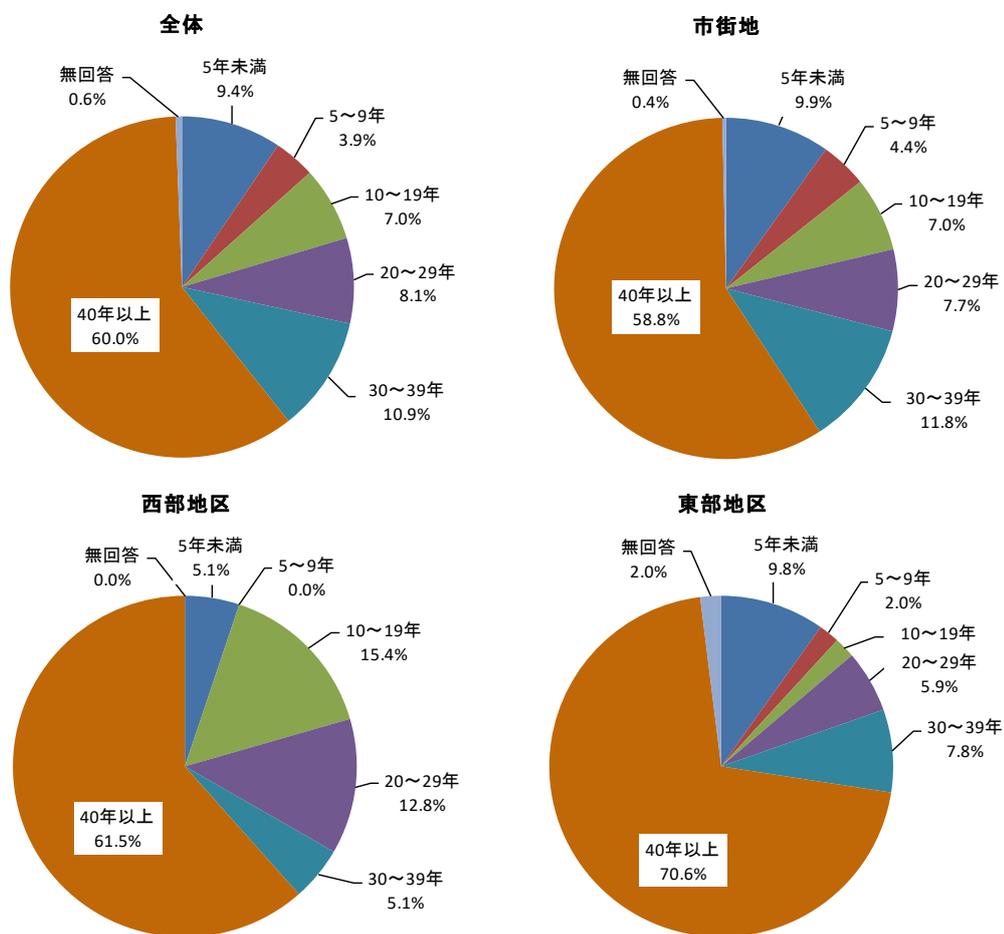


	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	2	10	0	0	12
漁業	10	7	24	0	41
製造業・建設業	32	2	1	1	36
商業・金融・サービス業	63	5	2	3	73
公務員・教育・団体職員	118	1	5	0	124
パート・アルバイト	60	4	3	1	68
主婦(専業)	37	3	6	2	48
学生	23	1	2	0	26
年金受給者	100	0	2	1	103
無職	59	1	3	0	63
その他	40	3	1	0	44
無回答	24	2	2	2	30
計	568	39	51	10	668

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	0.4%	25.6%	0.0%	0.0%	1.8%
漁業	1.8%	17.9%	47.1%	0.0%	6.1%
製造業・建設業	5.6%	5.1%	2.0%	10.0%	5.4%
商業・金融・サービス業	11.1%	12.8%	3.9%	30.0%	10.9%
公務員・教育・団体職員	20.8%	2.6%	9.8%	0.0%	18.6%
パート・アルバイト	10.6%	10.3%	5.9%	10.0%	10.2%
主婦(専業)	6.5%	7.7%	11.8%	20.0%	7.2%
学生	4.0%	2.6%	3.9%	0.0%	3.9%
年金受給者	17.6%	0.0%	3.9%	10.0%	15.4%
無職	10.4%	2.6%	5.9%	0.0%	9.4%
その他	7.0%	7.7%	2.0%	0.0%	6.6%
無回答	4.2%	5.1%	3.9%	20.0%	4.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

#### (4) 居住年数

回答者の根室市での居住年数についてみると、これまでの調査結果と同様に、いずれの地区も40年以上居住している回答者の割合が最も高い。また、市街地と東部地区では5年未満の回答者の割合も比較的高い。



	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	56	2	5	0	63
5～9年	25	0	1	0	26
10～19年	40	6	1	0	47
20～29年	44	5	3	2	54
30～39年	67	2	4	0	73
40年以上	334	24	36	7	401
無回答	2	0	1	1	4
計	568	39	51	10	668

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	9.9%	5.1%	9.8%	0.0%	9.4%
5～9年	4.4%	0.0%	2.0%	0.0%	3.9%
10～19年	7.0%	15.4%	2.0%	0.0%	7.0%
20～29年	7.7%	12.8%	5.9%	20.0%	8.1%
30～39年	11.8%	5.1%	7.8%	0.0%	10.9%
40年以上	58.8%	61.5%	70.6%	70.0%	60.0%
無回答	0.4%	0.0%	2.0%	10.0%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### 3. 3 根室市の印象についての市民意識

根室市のイメージとして最も回答割合が高かった項目は、市民全体では「市民として誇りや郷土愛があるまち」であり、次いで、「個性（特色）のあるまち」、「その他」であった。

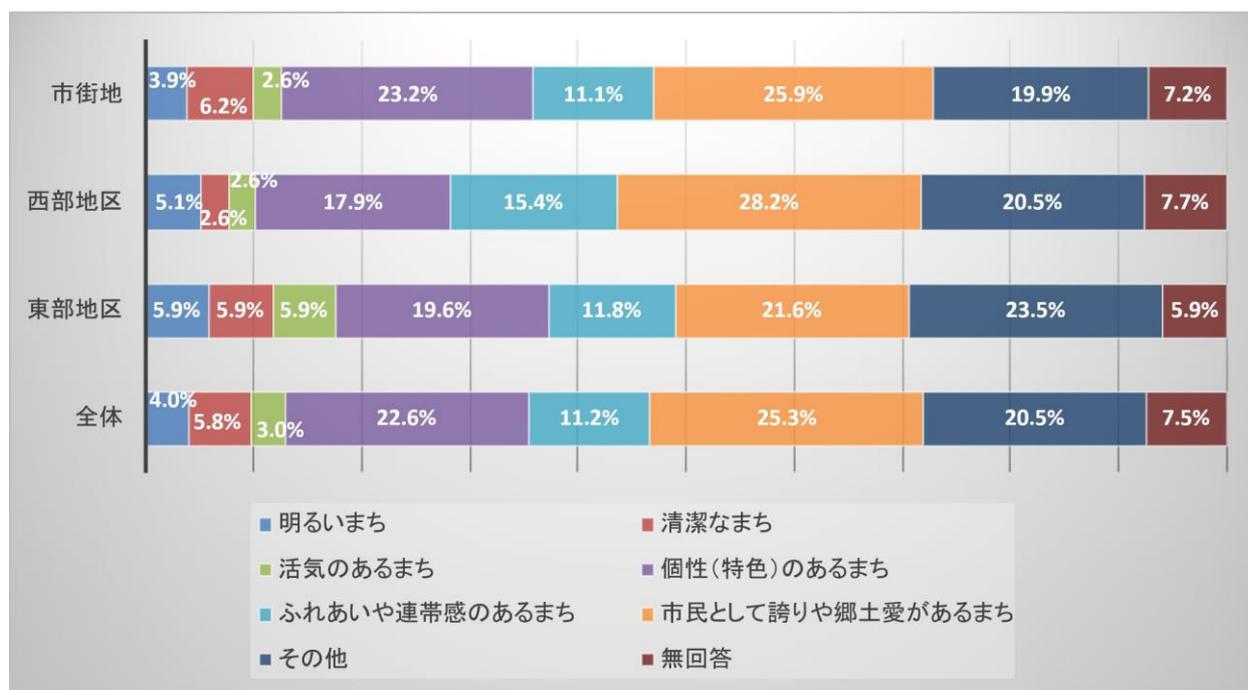
地区別にみると、市街地では、「市民として誇りや郷土愛があるまち」が 25.9%と最も高く、次いで、「個性（特色）のあるまち」が 23.2%、「その他」が 19.9%となっている。

西部地区では、「市民として誇りや郷土愛があるまち」が 28.2%と最も高く、次いで、「その他」が 20.5%、「個性（特色）のあるまち」が 17.9%となっている。

東部地区では、「その他」が 23.5%と最も高く、次いで「市民として誇りや郷土愛があるまち」が 21.6%、「個性（特色）のあるまち」が 19.6%となっている。

「その他」の内容をみると、これまでの調査結果とほぼ同じで、「活がない」「何もない」「寂しい」「暗い」「過疎のまち」といったマイナスイメージをあげる回答が多かった。一方、数は少ないものの、「自然が豊かで住みやすいまち」「漁業が有名なまち」といったプラスイメージをあげる回答もみられる。

こうした「その他」の回答内容は、これまでの調査と概ね同様の結果となっている。



過去の調査結果（平成28年、29年調査結果は得点換算）

	平成28年度調査得点				平成29年度調査得点			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	2.07	2.24	2.32	2.12	1.98	2.22	2.04	2.00
清潔なまち	2.40	2.36	2.31	2.39	2.35	2.48	2.02	2.33
活気のあるまち	1.72	1.91	1.89	1.76	1.56	1.83	1.53	1.58
個性(特色)のあるまち	2.45	2.47	2.70	2.48	2.47	2.52	1.84	2.42
ふれあいや連帯感のあるまち	2.73	2.74	2.81	2.74	2.48	2.52	2.40	2.47
市民として誇りや郷土愛があるまち	2.93	3.05	2.68	2.93	2.84	2.85	2.70	2.82

	平成30年度調査結果				令和元年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	4.2%	3.8%	3.8%	4.1%	3.5%	2.0%	5.2%	3.5%
清潔なまち	5.7%	0.0%	1.9%	5.1%	6.7%	4.0%	1.3%	6.1%
活気のあるまち	1.4%	1.9%	15.1%	2.3%	1.8%	2.0%	5.2%	2.3%
個性(特色)のあるまち	17.3%	35.8%	20.8%	18.9%	20.6%	16.0%	22.1%	20.3%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.2%	9.4%	13.2%	14.5%	14.7%	18.0%	15.6%	14.7%
市民として誇りや郷土愛があるまち	21.6%	24.5%	17.0%	21.3%	23.2%	24.0%	11.7%	21.8%
その他	29.3%	17.0%	17.0%	27.7%	25.0%	26.0%	32.5%	25.6%

	令和2年度調査結果				令和3年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	3.3%	3.6%	4.6%	3.4%	2.7%	8.5%	7.4%	3.4%
清潔なまち	6.8%	7.3%	6.2%	6.8%	6.9%	5.6%	0.0%	6.3%
活気のあるまち	1.3%	0.0%	4.6%	1.5%	2.4%	5.6%	3.7%	2.9%
個性(特色)のあるまち	24.6%	21.8%	20.0%	24.0%	21.5%	16.9%	16.7%	20.7%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.6%	20.0%	26.2%	16.7%	15.7%	11.3%	20.4%	15.6%
市民として誇りや郷土愛があるまち	20.0%	23.6%	15.4%	19.9%	23.2%	16.9%	18.5%	22.1%
その他	23.6%	18.2%	15.4%	22.6%	23.4%	28.2%	27.8%	24.2%

	令和4年度調査結果				令和5年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	4.4%	1.8%	3.8%	4.3%	5.4%	2.6%	6.1%	5.4%
清潔なまち	5.3%	1.8%	5.8%	5.1%	6.1%	2.6%	0.0%	5.5%
活気のあるまち	1.5%	0.0%	0.0%	1.3%	1.4%	5.3%	9.1%	2.0%
個性(特色)のあるまち	24.9%	25.5%	15.4%	24.1%	23.4%	10.5%	24.2%	22.6%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.7%	14.5%	13.5%	15.3%	15.0%	10.5%	15.2%	14.6%
市民として誇りや郷土愛があるまち	20.2%	18.2%	30.8%	20.6%	21.8%	28.9%	15.2%	21.7%
その他	23.4%	30.9%	23.1%	24.4%	22.2%	31.6%	24.2%	23.3%

	令和6年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	3.9%	5.1%	5.9%	4.0%
清潔なまち	6.2%	2.6%	5.9%	5.8%
活気のあるまち	2.6%	2.6%	5.9%	3.0%
個性(特色)のあるまち	23.2%	17.9%	19.6%	22.6%
ふれあいや連帯感のあるまち	11.1%	15.4%	11.8%	11.2%
市民として誇りや郷土愛があるまち	25.9%	28.2%	21.6%	25.3%
その他	19.9%	20.5%	23.5%	20.5%

注：平成28年度及び29年度調査は、イメージごとに、そう思うかどうかを問う設問であったため、「そう思う」を5点、「やや思う」を4点、「さほど思わない」を2点、「思わない」を1点、「わからない」を3点として、平均得点を算出した。

：黄色マーカーは、「その他」以外の項目の中で最も回答割合が高い数値であることを示す。

### 3. 4 居住の満足度についての市民意識

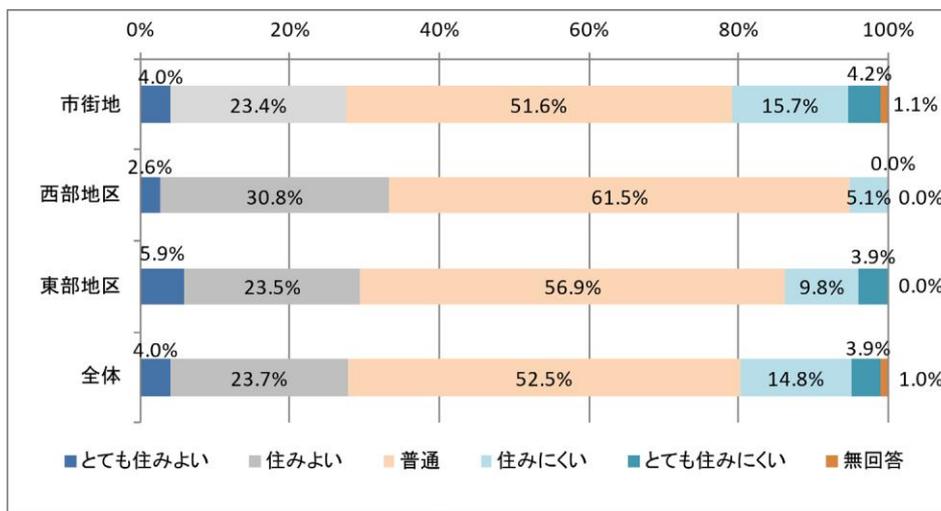
#### (1) 居住の満足度（住みやすいと思っているか）

根室市を住みよいまちと思っているかについてみると、市民全体では「とても住みよい」「住みよい」を合わせた割合は27.7%となっており、昨年度の調査結果からやや向上している。

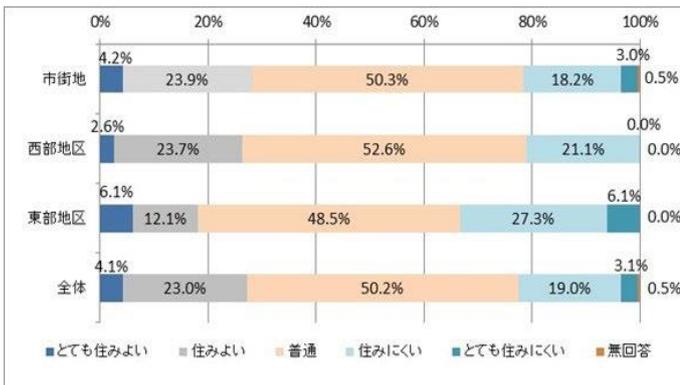
地区別にみると、西部地区、東部地区が昨年度調査を上回っており、市街地地区は昨年度調査をやや下回った。

一方、「住みにくい」とする回答の理由をみると、「医療が充実していない」、「交通の便が悪い」「商業施設が少ない」「どこに行くにも遠い」といった回答があり、特に、医療体制、市外との交通の利便性、買物、娯楽に対する不安を挙げる回答が多くみられた。

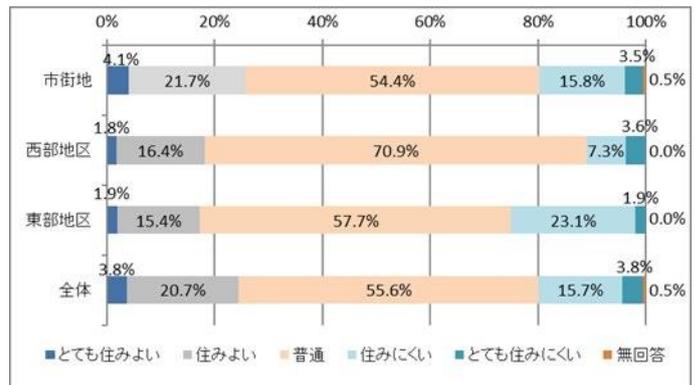
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



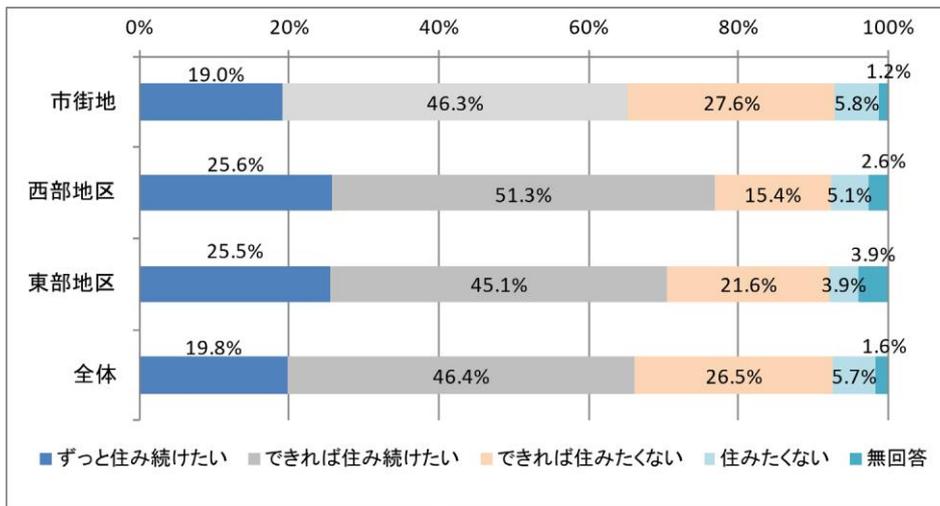
<令和4年度調査>



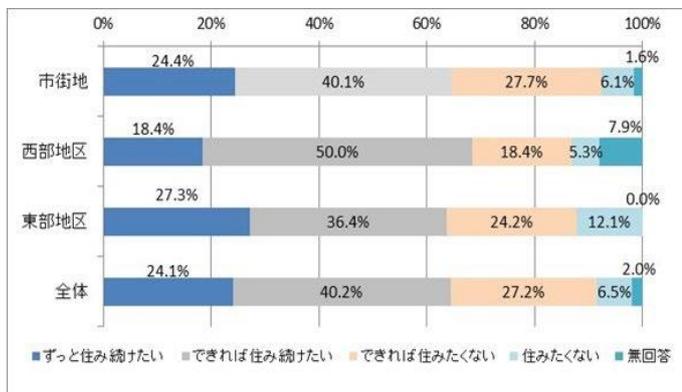
## (2) 定住度について（根室に住み続けたいと思うか）

根室市の住みやすさについては、例年、肯定的な回答が少ないものの、住み続けたいかどうかについては、「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた「住み続けたい」との回答が多く、今年度調査においても市民全体で66.2%となっており、これまでの調査と同様に定住意向の高さがうかがえる。

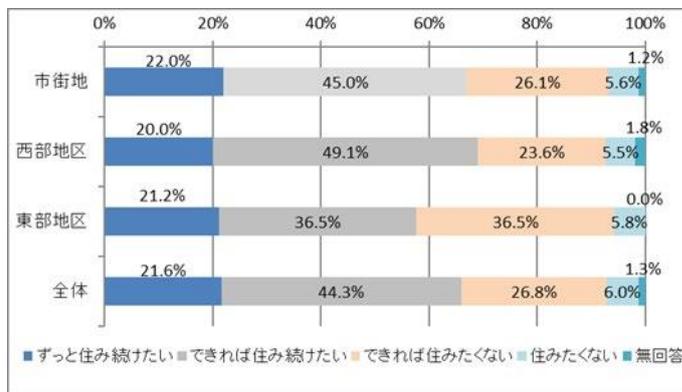
＜令和6年度調査＞



＜令和5年度調査＞



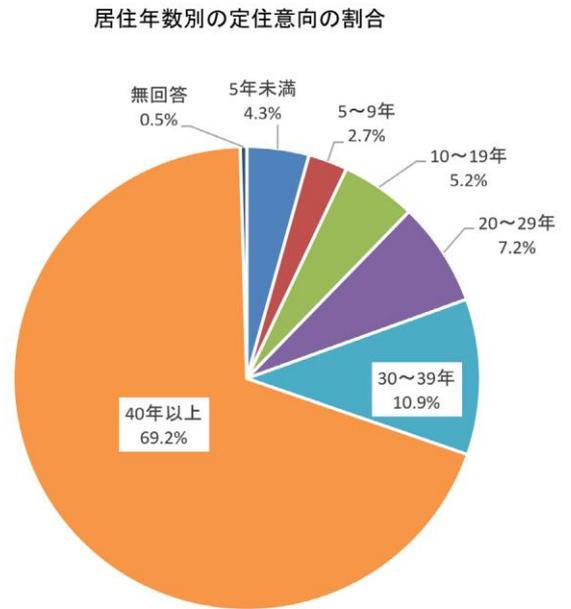
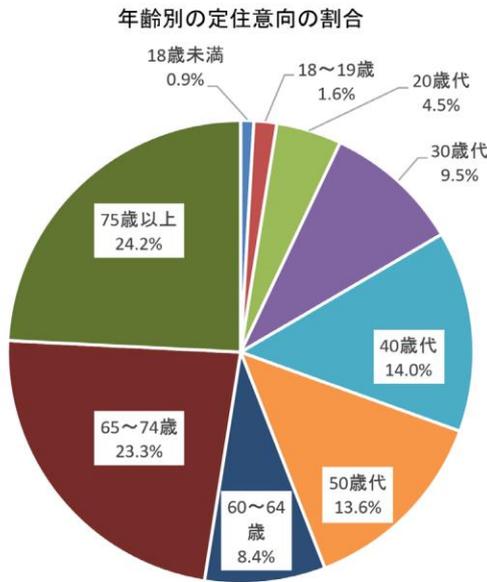
＜令和4年度調査＞



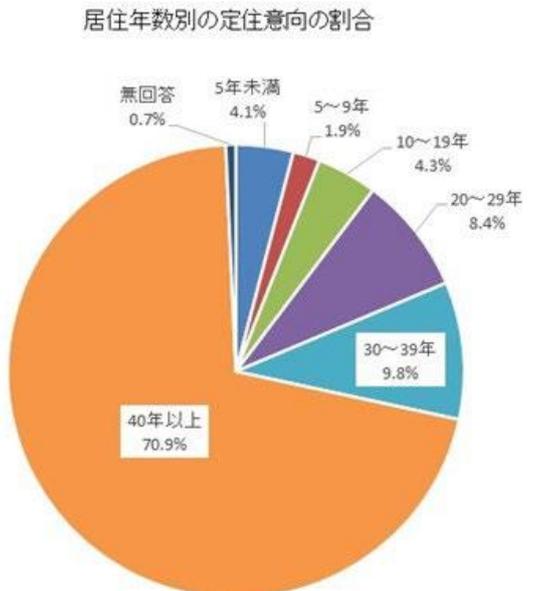
この「住みたい」とする市民を年齢別で見ると 60 歳以上ではほぼ半数を占め、居住年数が「40 年以上」の市民が 69.2%を占める。

この結果は、昨年度調査とほぼ同様となっている。

<令和 6 年度調査>



<令和 5 年度調査>



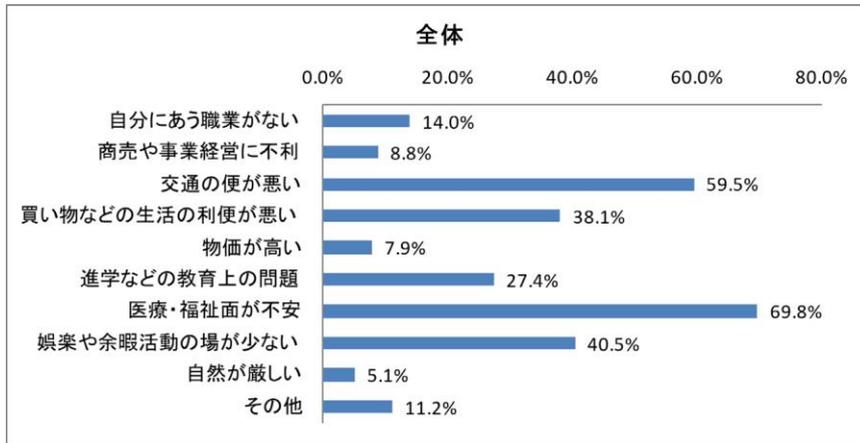
### (3) 住み続けたくない理由

#### ①市民全体

定住度に関する回答結果では、根室市に住み続けたくないとする住民割合は、市民全体で**32.2%**となっており、昨年度結果をやや下回っているものの、過去5年の調査とほぼ同じような水準となっている。

この住み続けたくない理由をみると、「医療・福祉面が不安」とする回答割合が**69.8%**と最も多く、次いで「交通の便が悪い」、「娯楽や余暇活動の場が少ない」、「買い物などの生活の利便が悪い」の順となっており、これら4項目が上位にあげられている状況は、これまでの調査結果とほぼ同じ結果となっている。

<令和6年度調査>



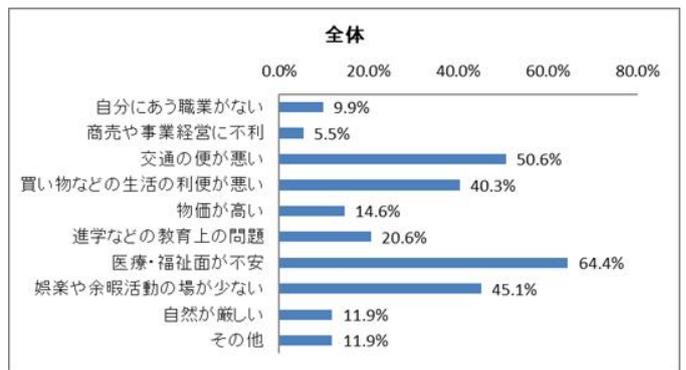
住み続けたくないとする回答数：全体 215（地区不明含む）

<令和5年度調査>



住み続けたくないとする回答数：全体 219（地区不明含む）

<令和4年度調査>

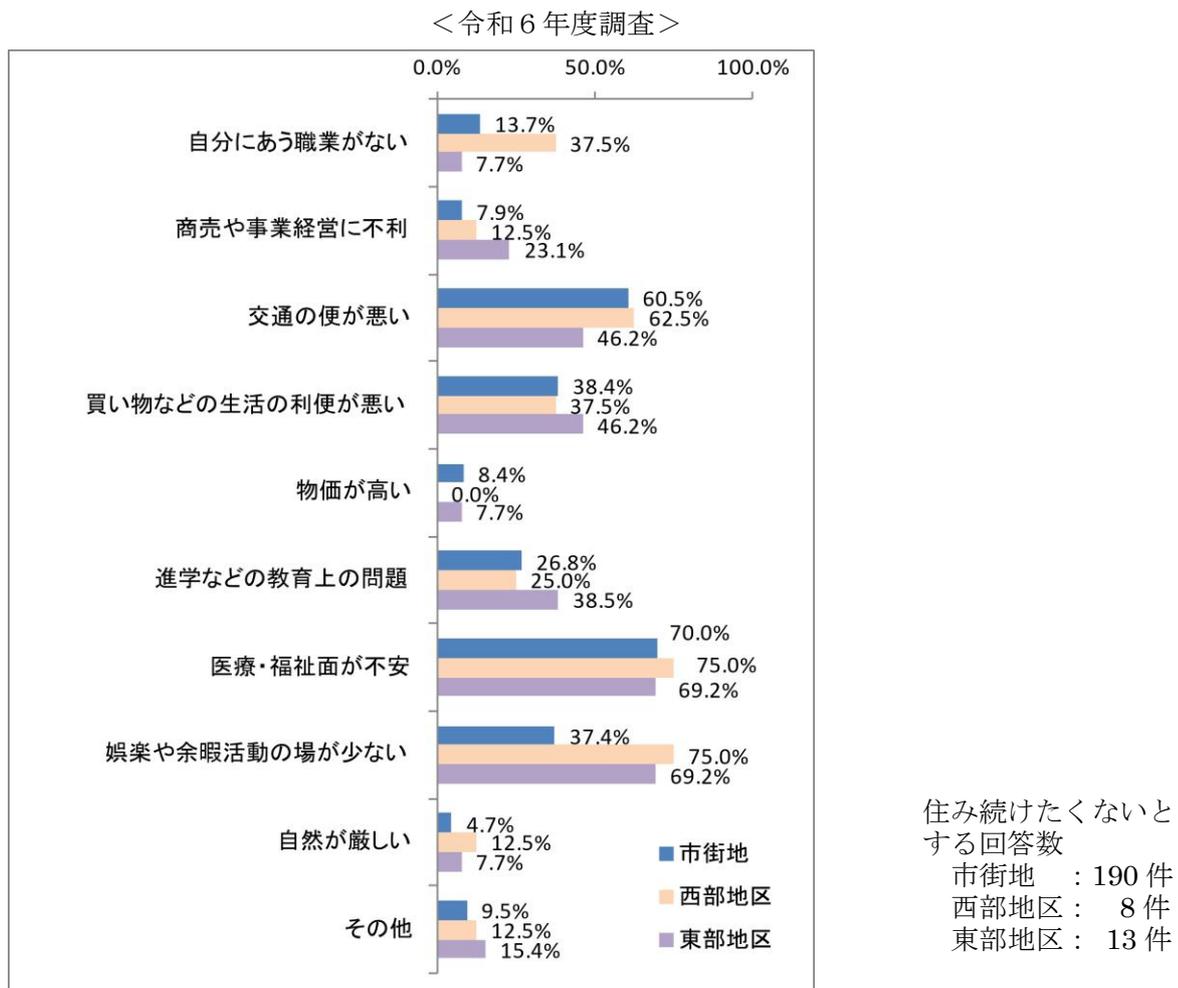


住み続けたくないとする回答数：全体 253（地区不明含む）

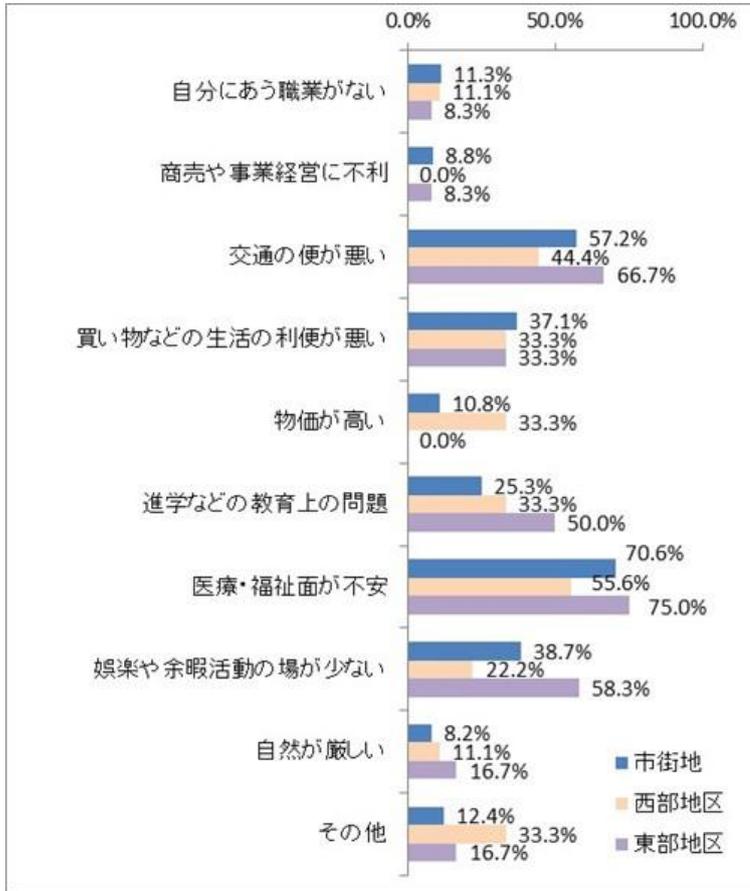
## ②地区別

地区別にみると、「医療・福祉面での不安」や「交通の便が悪い」は、前回までの調査結果と同様に各地区とも高い結果となっている。「交通の便が悪い」は、西部地区では昨年度より 20 ポイント近く増加している。

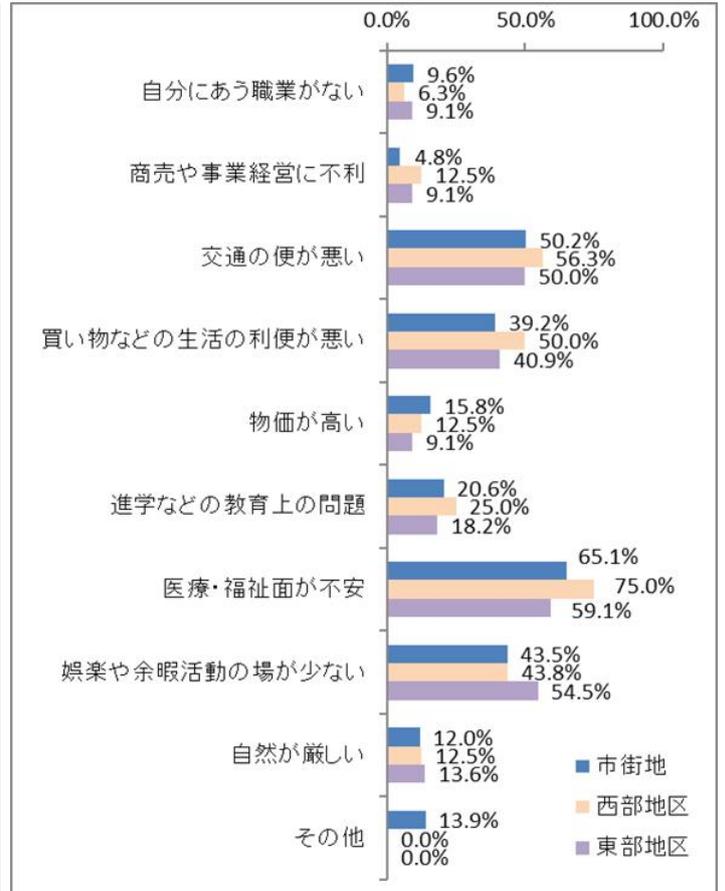
その他、「買い物等の生活利便性が悪い」や「娯楽や余暇活動の場が少ない」を住み続けたくないとする理由にあげる割合も各地区とも上位にあがっている。「娯楽や余暇活動の場が少ない」は、西部地区・東部地区で最も多い回答のひとつとなっている。



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



住み続けたくないと  
する回答数  
市街地 : 194 件  
西部地区 : 9 件  
東部地区 : 12 件

住み続けたくないと  
する回答数  
市街地 : 209 件  
西部地区 : 16 件  
東部地区 : 22 件

注：本設問は3つまでの選択を求めている

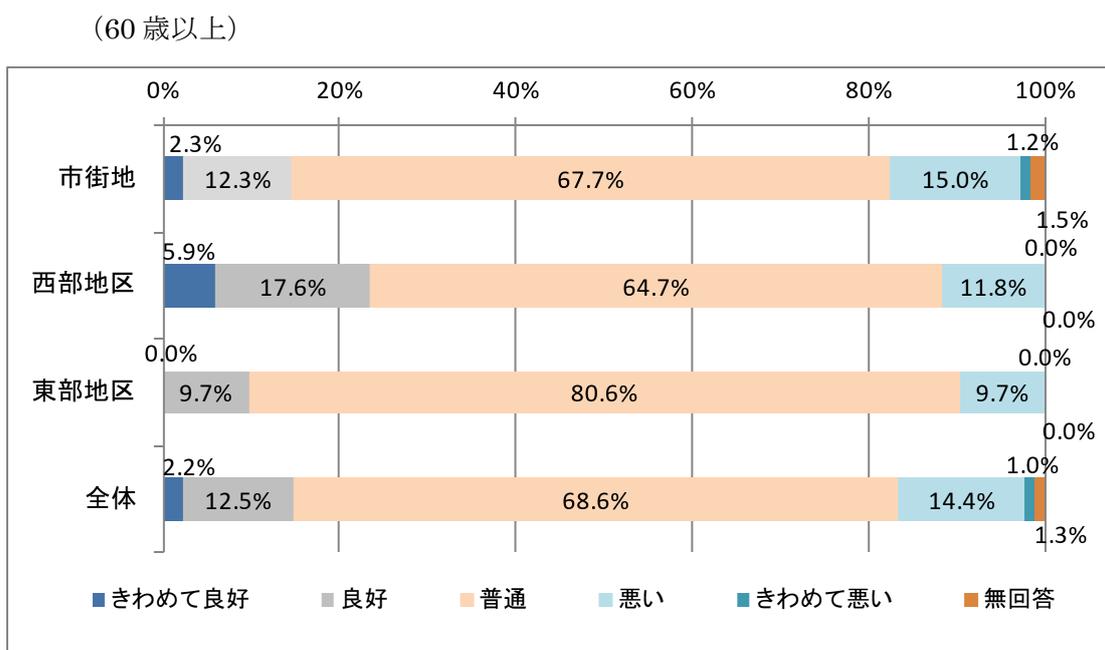
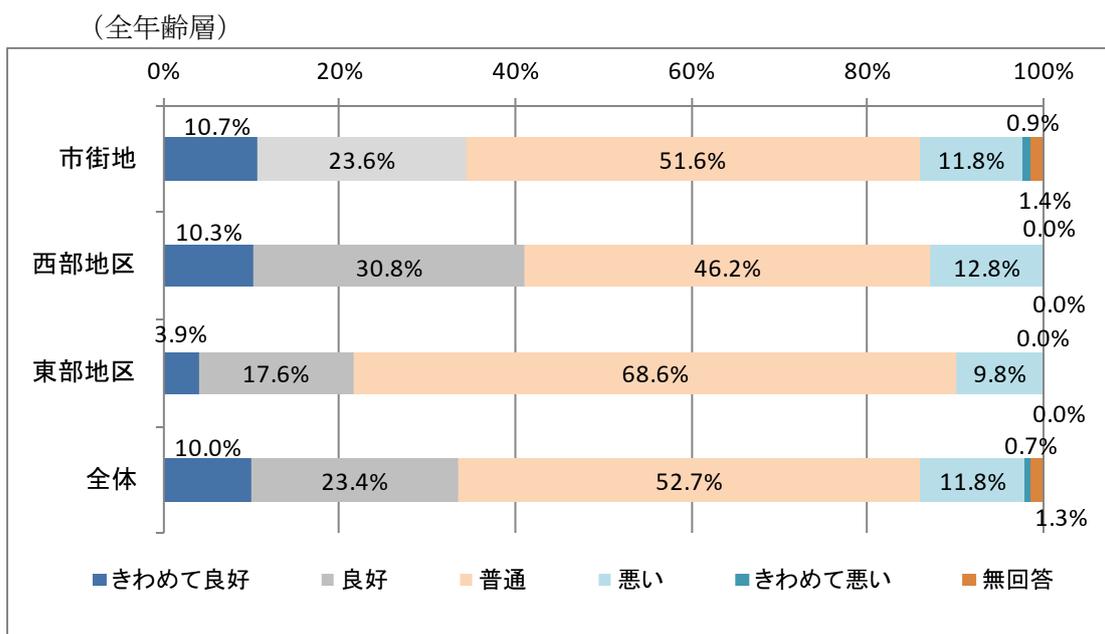
### 3. 5 保健医療について

#### (1) 現在の健康状態

現在の健康状態についてみると、「きわめて良好」と「良好」を合わせた割合は、回答者全体で 33.4% となっている。これに対して「悪い」と「きわめて悪い」を合わせた割合は 12.5% となっている。昨年度の調査結果と比較すると、健康状態を良好な状態とする回答の割合がやや減少している。

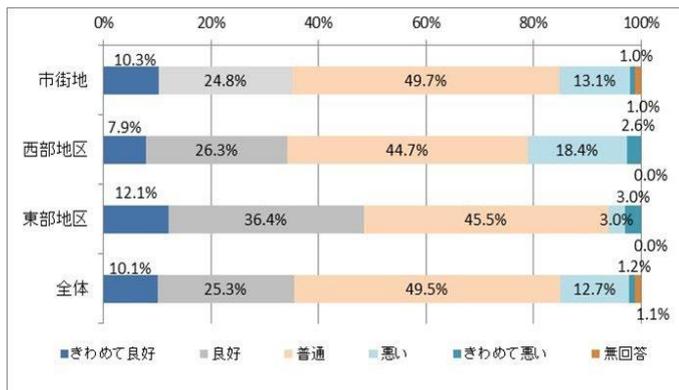
60 歳以上の回答者についてみると、各地区とも健康状態を良好な状態とする回答の割合が減少している。

<令和 6 年度調査>



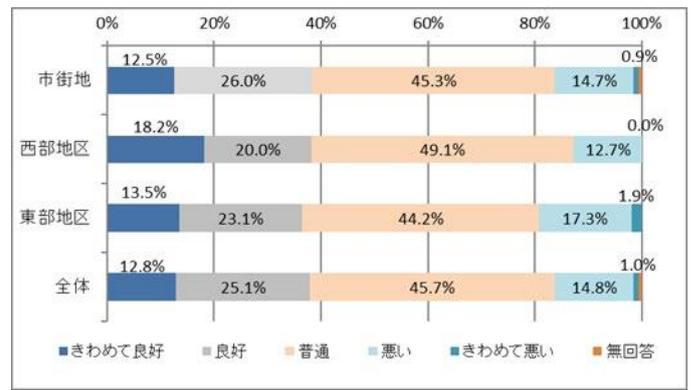
< 令和 5 年度調査 >

(全年齢層)

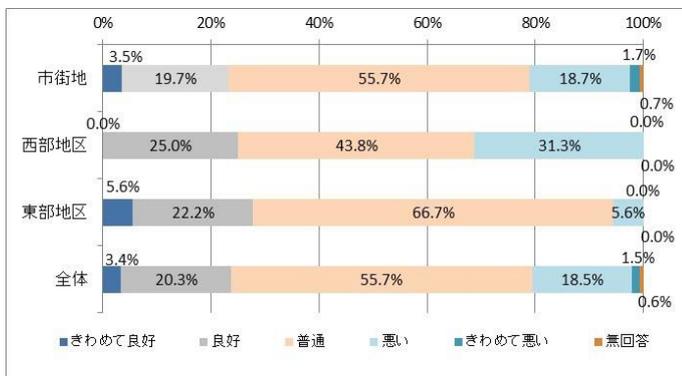


< 令和 4 年度調査 >

(全年齢層)



(60 歳以上)



(60 歳以上)

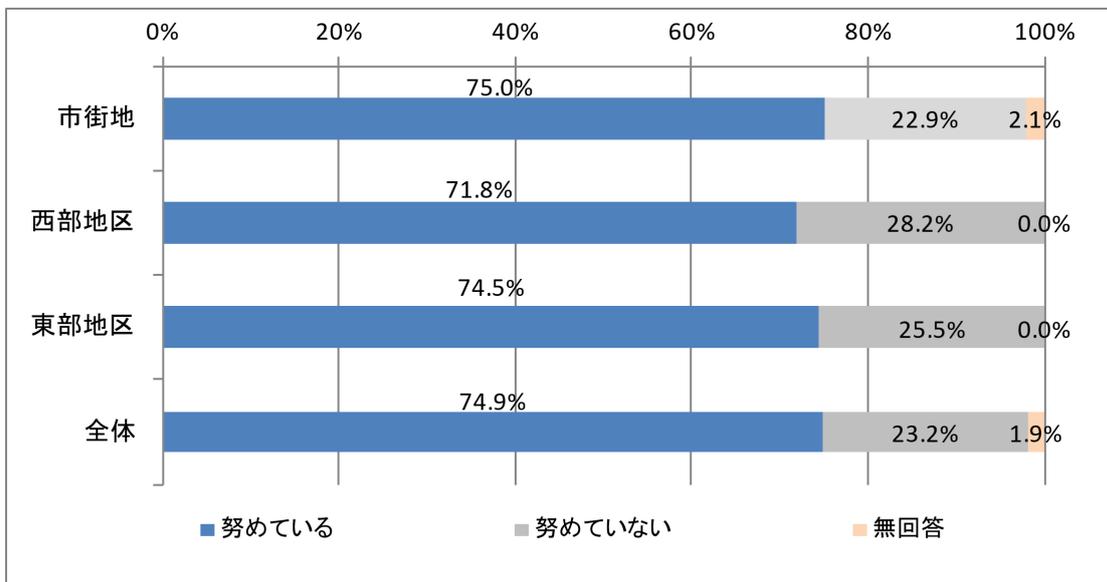


## (2) 健康管理

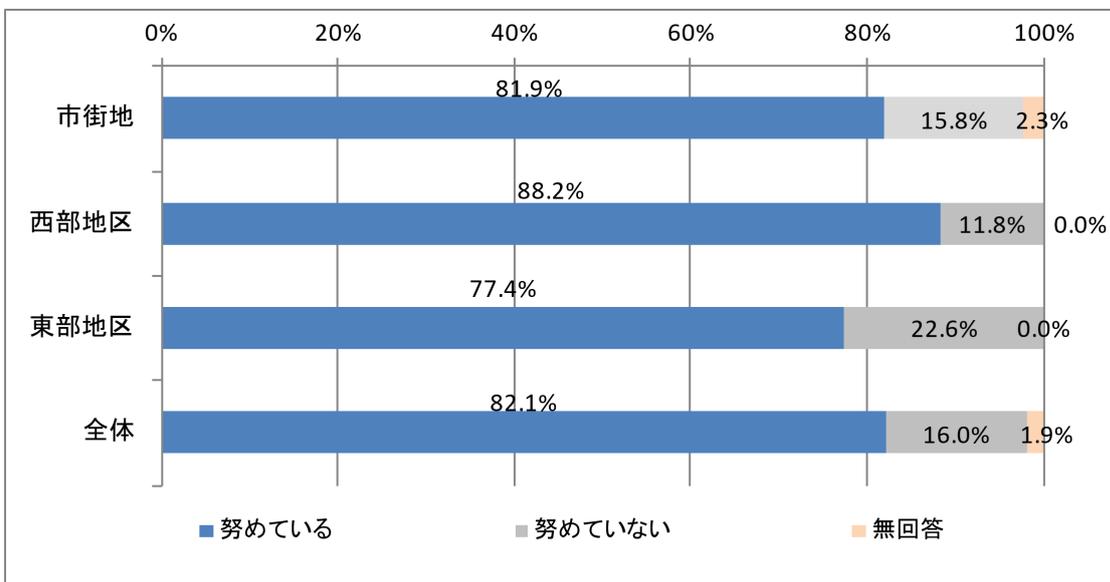
日常の健康管理の状況についてみると、回答者全体では74.9%が、60歳以上の回答者では82.1%が「努めている」としているなど、これまでの調査結果と同様、健康管理への意識が高い状況がうかがえる。

<令和6年度調査>

(全年齢層)

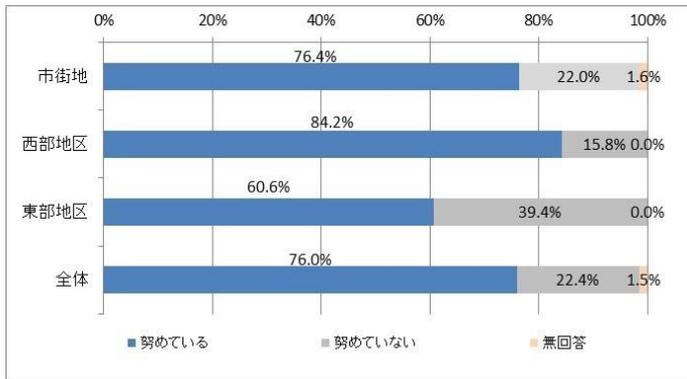


(60歳以上)



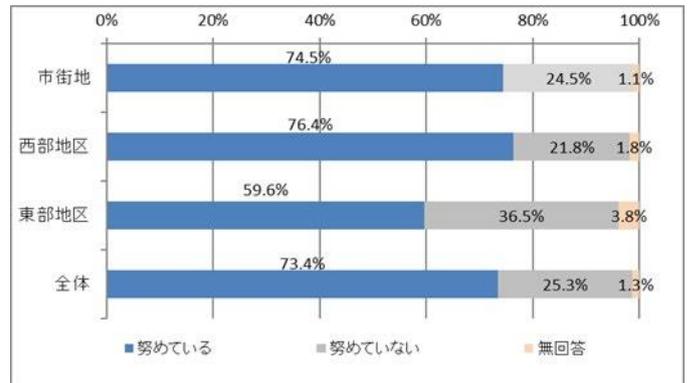
<令和5年度調査>

(全年齢層)

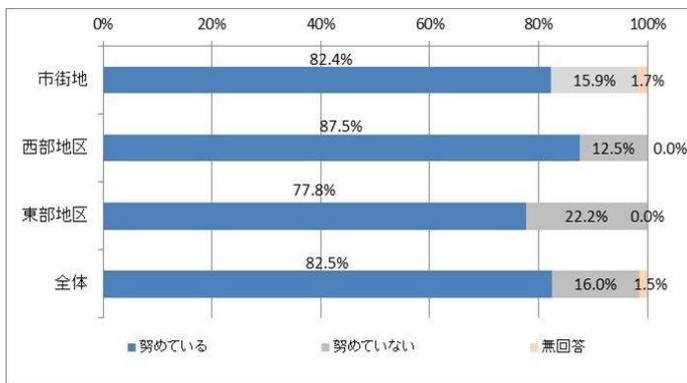


<令和4年度調査>

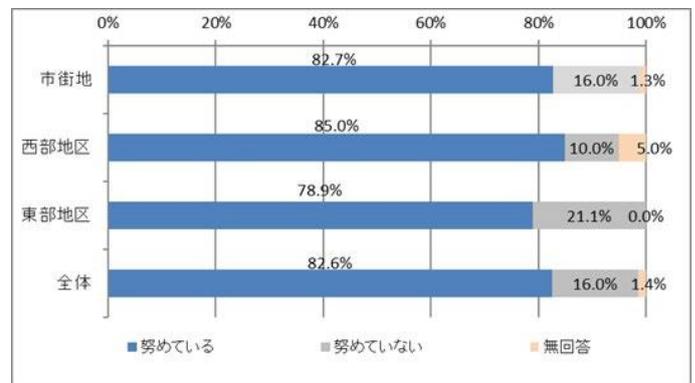
(全年齢層)



(60歳以上)



(60歳以上)



### (3) 30分以上の運動の実施状況

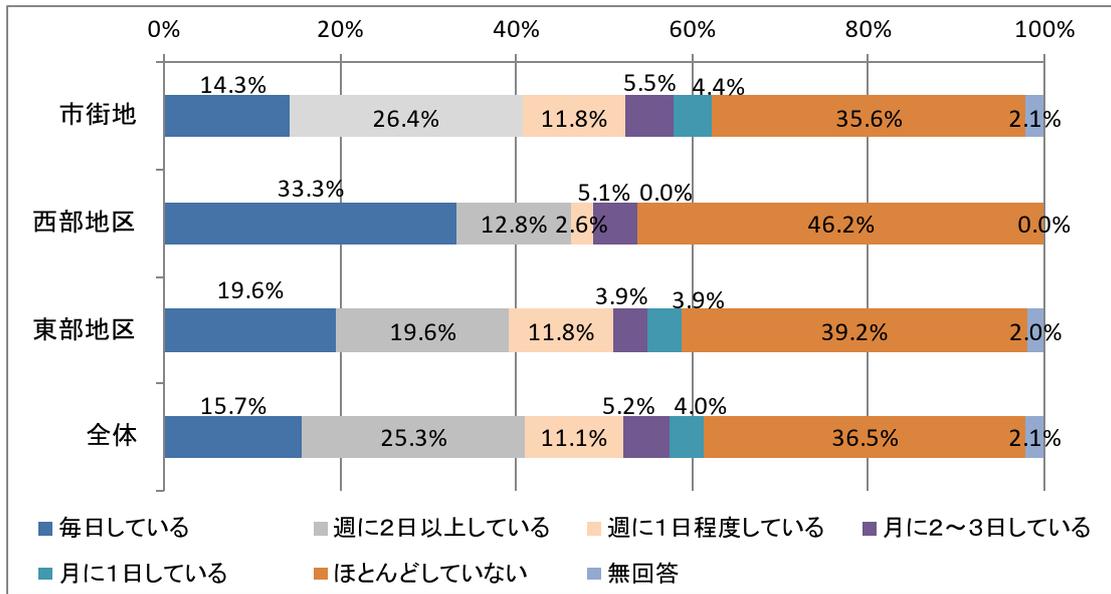
1日30分以上の運動を行っている頻度についてみると、全年齢層では「ほとんどしていない」が最も多く36.5%となっている。一方、週に1日以上（「毎日」「週に2日以上」「週に1日程度」の合計）運動している割合は、52.1%と半数以上を占めている。

60歳以上の回答者についてみると、「ほとんどしていない」が32.7%と最も多くなっているものの、週に1日以上運動している割合は56.1%と、全体よりも高い割合を示している。

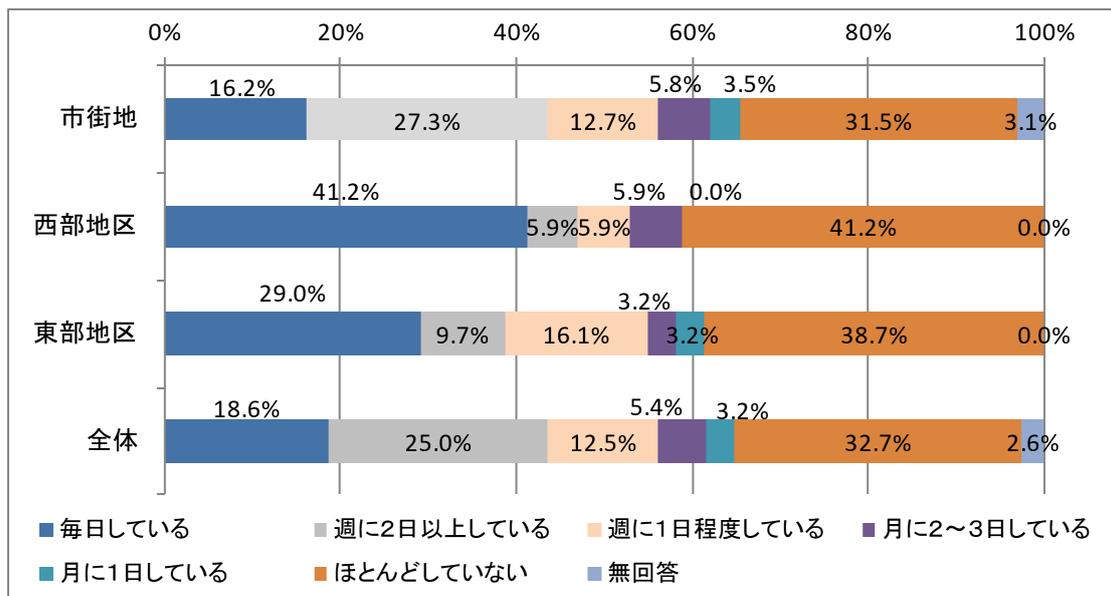
総じて30分以上の運動を週1日以上実施している市民の割合は、全年齢層、60歳以上とも、昨年度調査の結果よりも減少している。

<令和6年度調査>

(全年齢層)

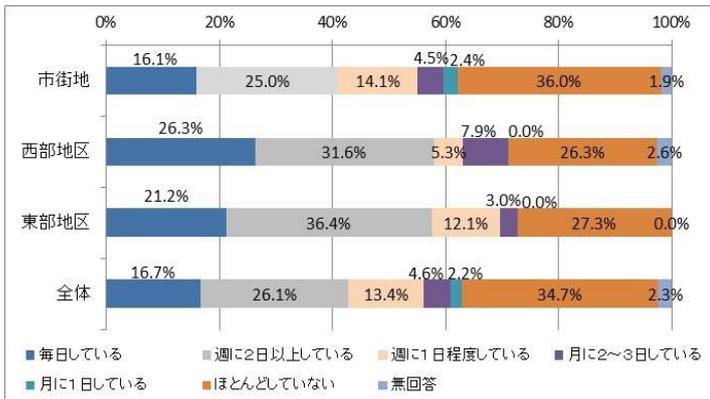


(60歳以上)



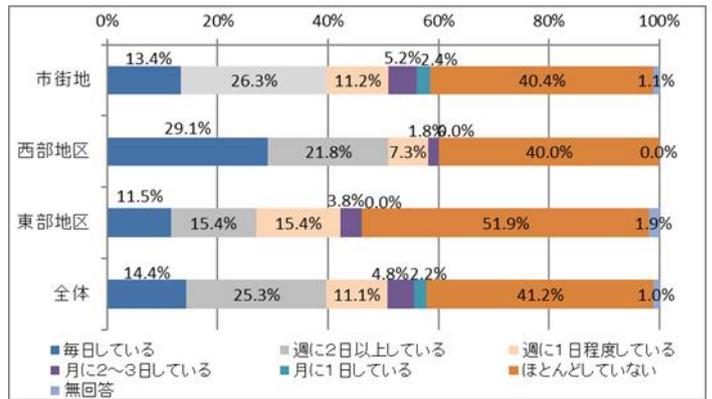
<令和5年度調査>

(全年齢層)

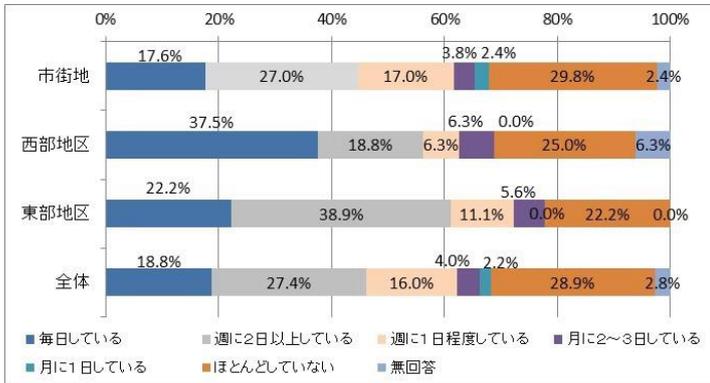


<令和4年度調査>

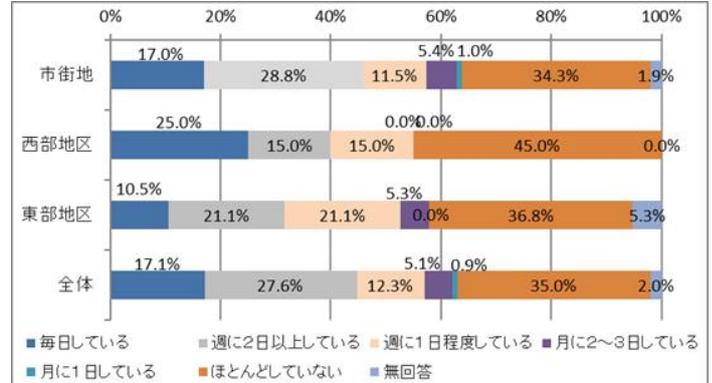
(全年齢層)



(60歳以上)



(60歳以上)



(4) 市立根室病院の分娩再開の認知度について

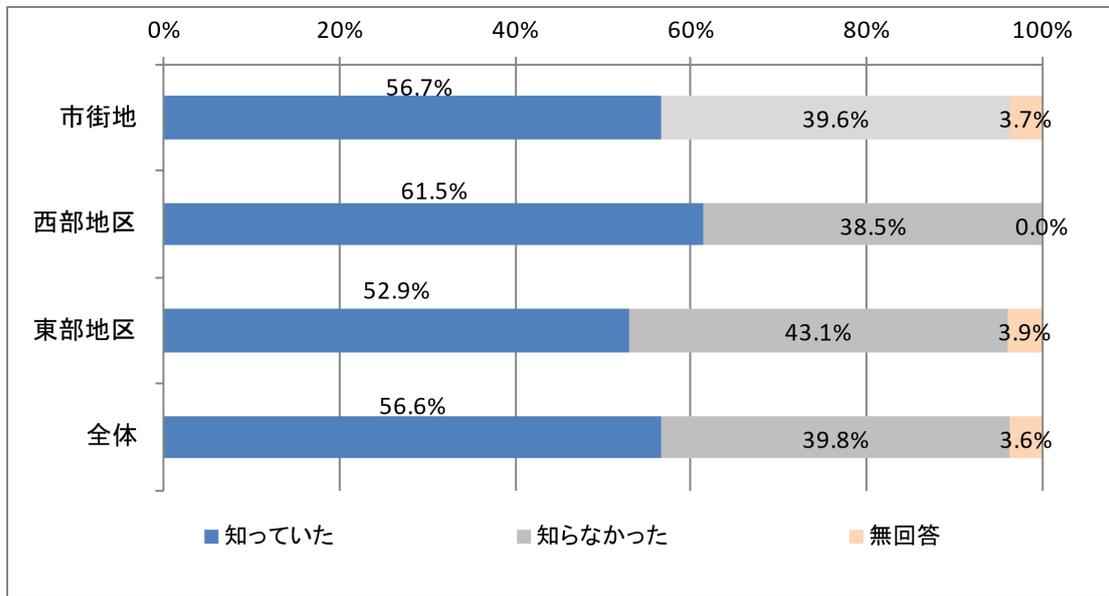
本設問は、平成 30 年度調査から追加した項目で、今年分娩が再開されてから 8 年目となる。

根室市では、平成 29 年 4 月 1 日から経産婦の方を対象に分娩を再開しているが、そうした状況を市民が認知しているかどうかについて調査した結果、56.6%の方が「知っていた」としており、昨年度調査と比較して認知度は低下した。過去 3 年間の結果をみると、認知度は概ね 60%前後にとどまる状況となっている。

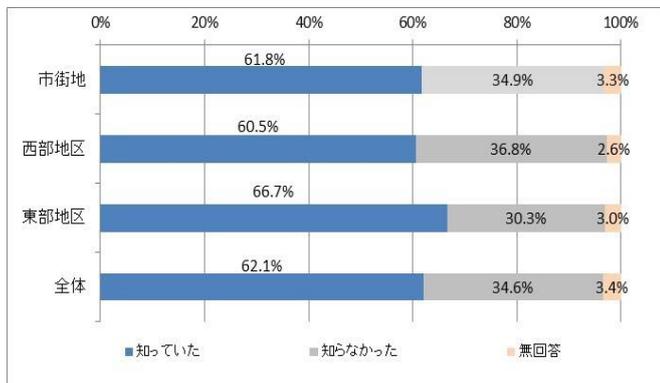
年齢階層別でみると、30 代をピークに年齢が上がるほど、認知度が低くなる傾向がみられる。20 歳代～40 歳代の子育て世代の認知度は、65.4%となっており、市民全体よりも高くなっている。

市立根室病院の分娩再開の認知度

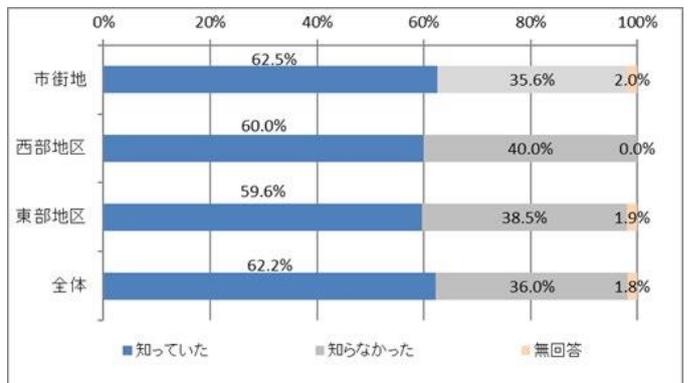
<令和 6 年度調査>



<令和 5 年度調査>



<令和 4 年度調査>



年齢階層別分娩開始の認知度

(令和6年度調査)

	年齢階層								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	16	24	58	77	46	150	0	371	159
知らなかった	9	24	23	36	40	148	0	280	83
無回答	0	0	0	1	1	14	1	17	1
計	25	48	81	114	87	312	1	668	243
	構成比								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	64.0%	50.0%	71.6%	67.5%	52.9%	48.1%	0.0%	55.5%	65.4%
知らなかった	36.0%	50.0%	28.4%	31.6%	46.0%	47.4%	0.0%	41.9%	34.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.1%	4.5%	100.0%	2.5%	0.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(令和5年度調査)

	年齢階層								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	9	23	75	62	48	185	2	404	160
知らなかった	4	21	19	25	28	126	2	225	65
無回答	0	3	1	1	3	14	0	22	5
計	13	47	95	88	79	325	4	651	230
	構成比								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	69.2%	48.9%	78.9%	70.5%	60.8%	56.9%	50.0%	62.1%	69.6%
知らなかった	30.8%	44.7%	20.0%	28.4%	35.4%	38.8%	50.0%	34.6%	28.3%
無回答	0.0%	6.4%	1.1%	1.1%	3.8%	4.3%	0.0%	3.4%	2.2%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(令和4年度調査)

	年齢階層								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	5	37	95	79	56	207	1	480	211
知らなかった	15	31	36	30	31	134	1	278	97
無回答	0	1	2	0	1	10	0	14	3
計	20	69	133	109	88	351	2	772	311
	構成比								子育て世代 (20歳代～40歳代)
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	
知っていた	25.0%	53.6%	71.4%	72.5%	63.6%	59.0%	50.0%	62.2%	67.8%
知らなかった	75.0%	44.9%	27.1%	27.5%	35.2%	38.2%	50.0%	36.0%	31.2%
無回答	0.0%	1.4%	1.5%	0.0%	1.1%	2.8%	0.0%	1.8%	1.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## (5) 施策に対する認知度

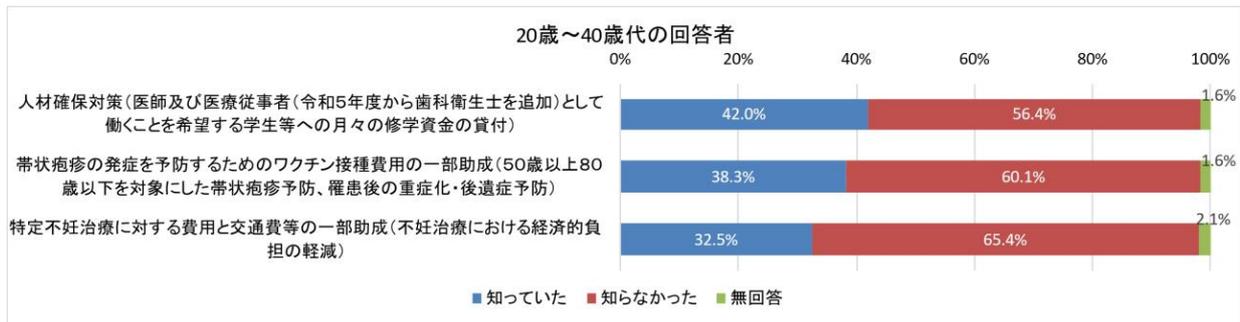
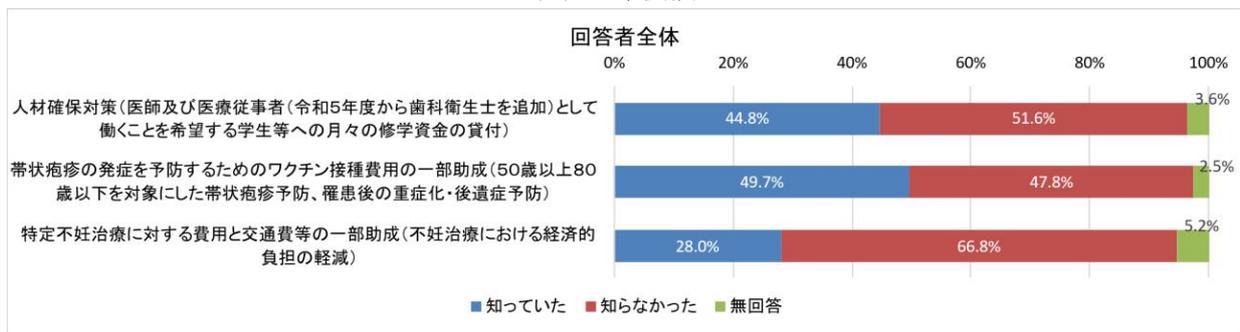
### ①市民全体

根室市で実施している保健医療に関する施策の認知度についてみると、市民全体の認知度は、人材確保対策については、44.8%が知っていたとしており、昨年度よりも認知度はやや低下した。新たに調査項目となった施策の認知度は、帯状疱疹ワクチン費用の一部助成が49.7%、特定不妊治療に係る費用の一部助成が28.0%となった。

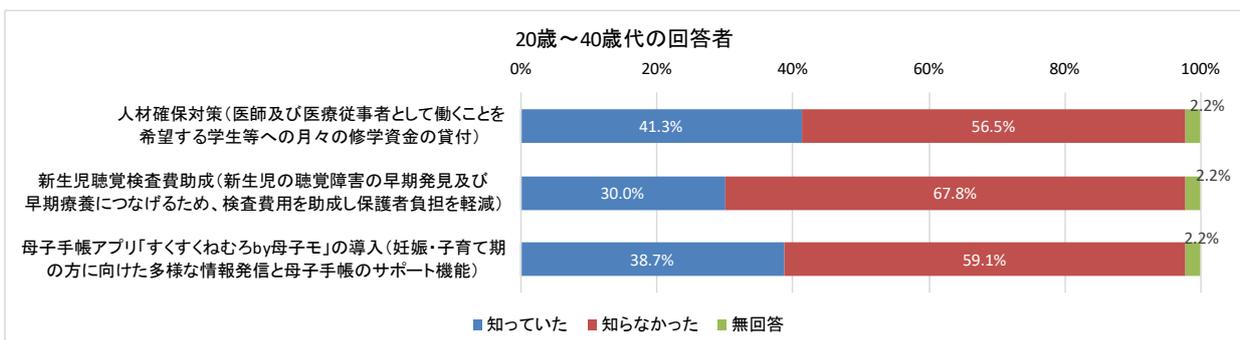
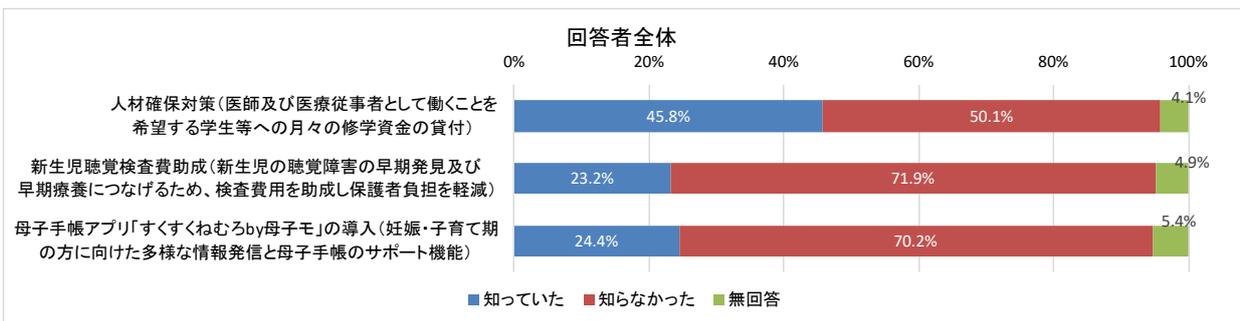
20歳代～40歳代の子育て世代の認知度についてみると、人材確保対策の認知度は昨年度をやや上回っている。

### 保健医療に関する施策の認知度

#### <令和6年度調査>



#### <令和5年度調査>

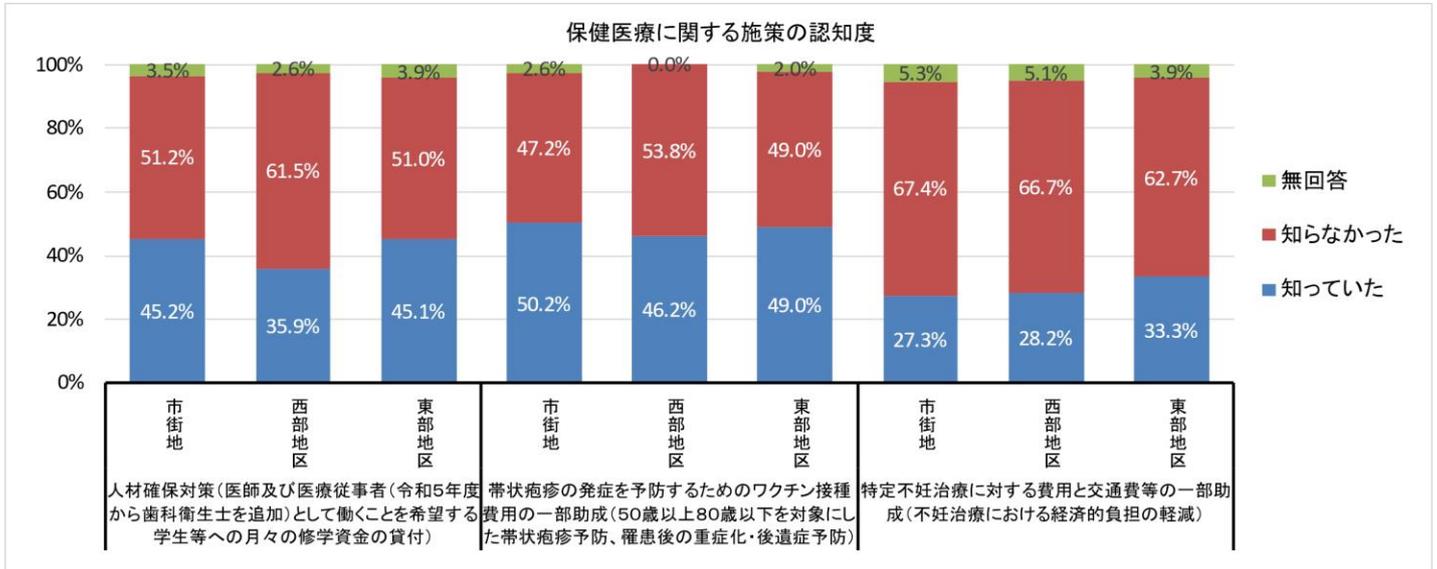


## ②地区別

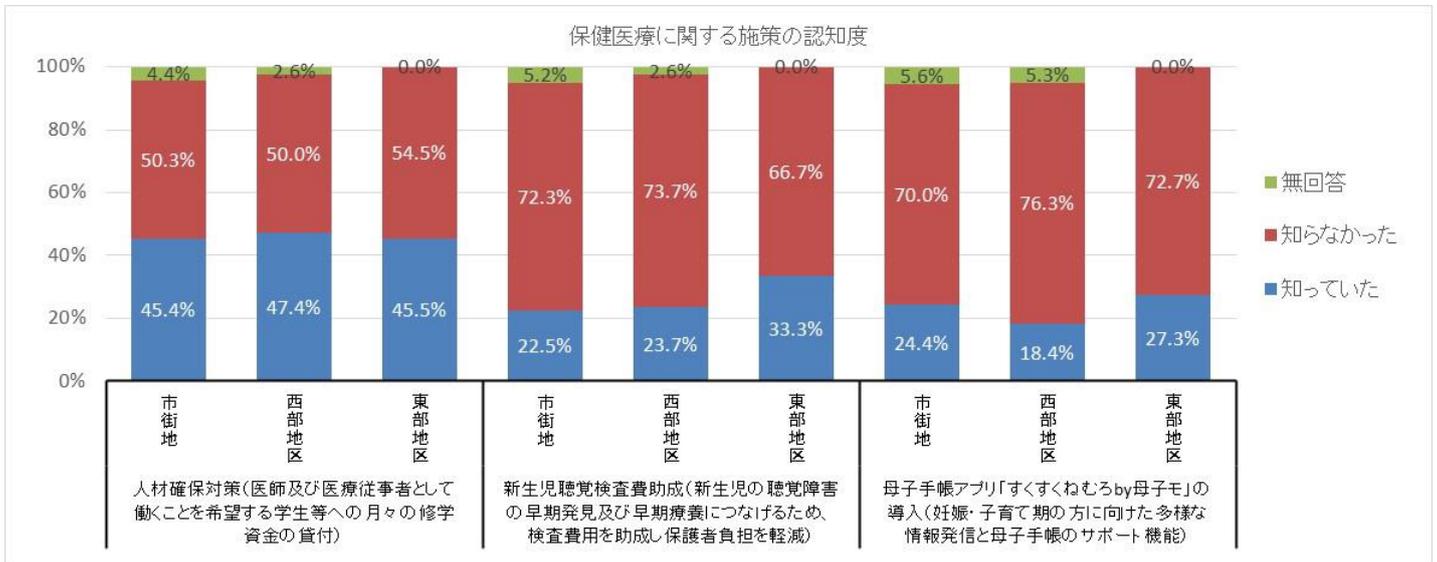
保健医療関連施策の認知度を地区別にみると、昨年度の結果と同様、それぞれの施策に対する認知度について地区別の特性はみられない。

昨年度との比較では、人材確保対策に対する西部地区の認知度が昨年度よりも低下している。

### <令和6年度調査>



### <令和5年度調査>



(6) 根室市の医療環境の状況について

①医療環境に対する満足度

市内の病院などの医療環境に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、11.8%となっている。昨年度より向上しているものの、依然として満足度は1割程度という状況にある。

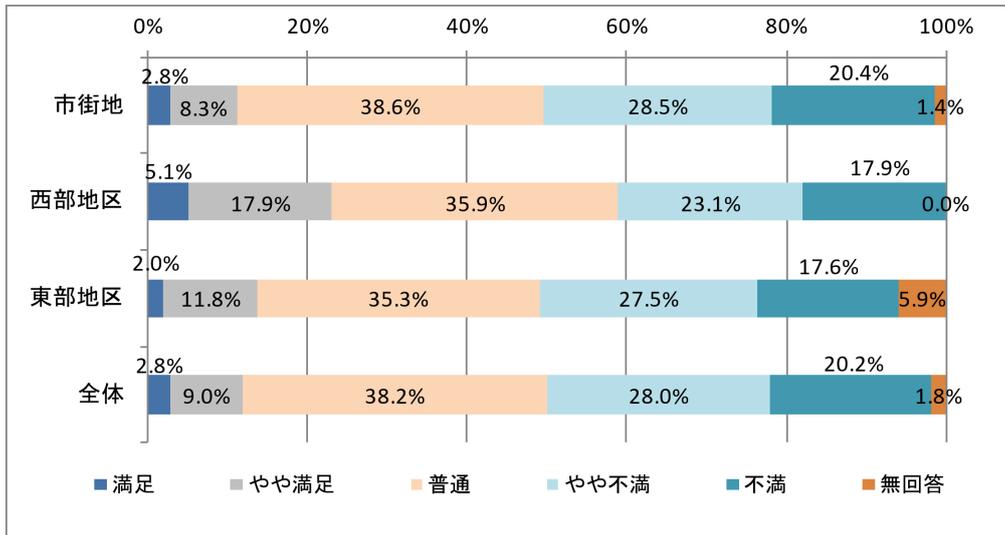
地域別では、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地は11.1%、西部地区が23.0%、東部地区が13.8%と全ての地域で昨年度よりも上昇している。

これまでの調査結果を比較すると、市立病院での分娩が可能となった平成30年度調査以降、「普通」の回答割合が高くなっており（平成28年度調査で17.0%、平成29年度調査で21.9%）、普通以上の満足度を感じている住民が概ね50%を超えていた。

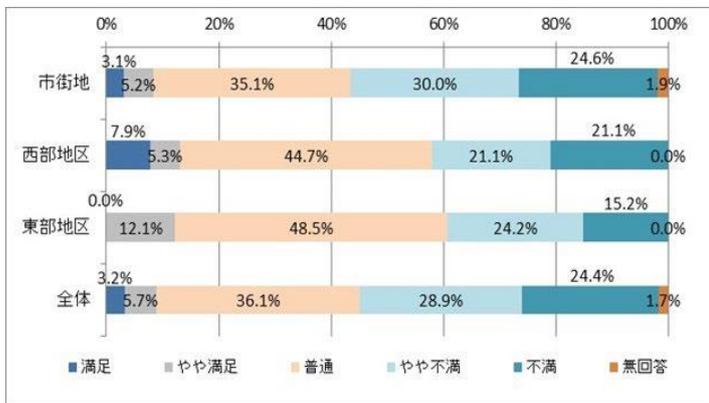
令和4年度・5年度は50%を下回って推移したが、今年度は「不満」の割合の低下もあり、普通以上の満足度を感じている住民の割合は50.0%まで回復している。

根室市の医療環境に対する満足度

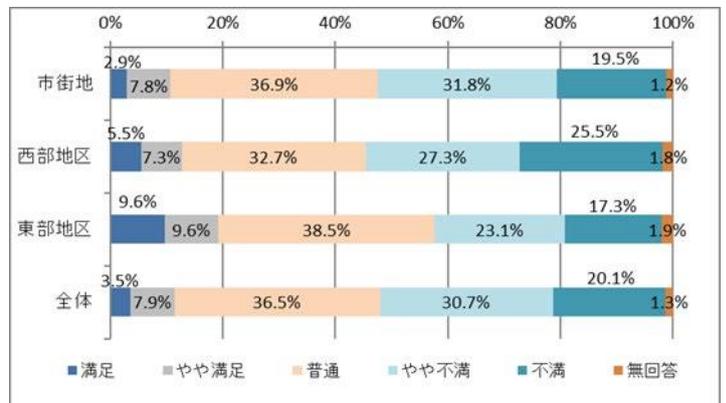
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



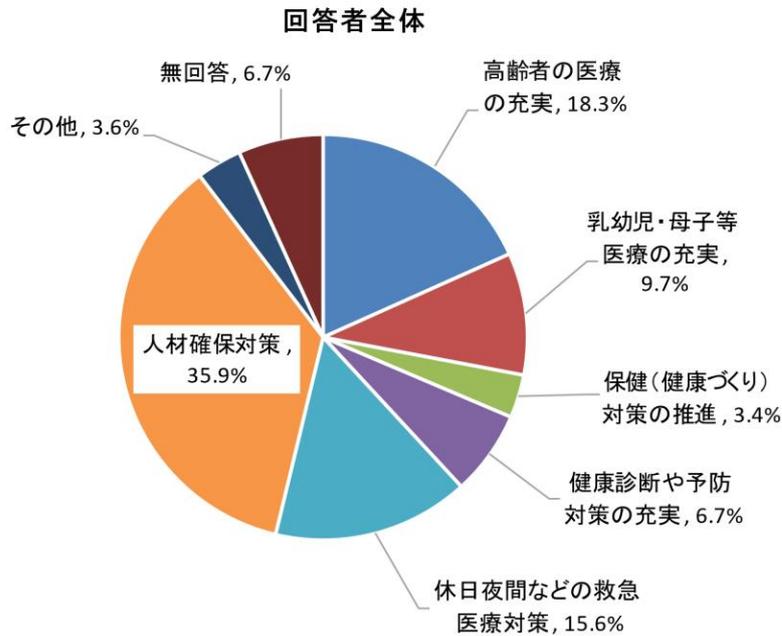
(7) 保健医療政策について

①市民全体

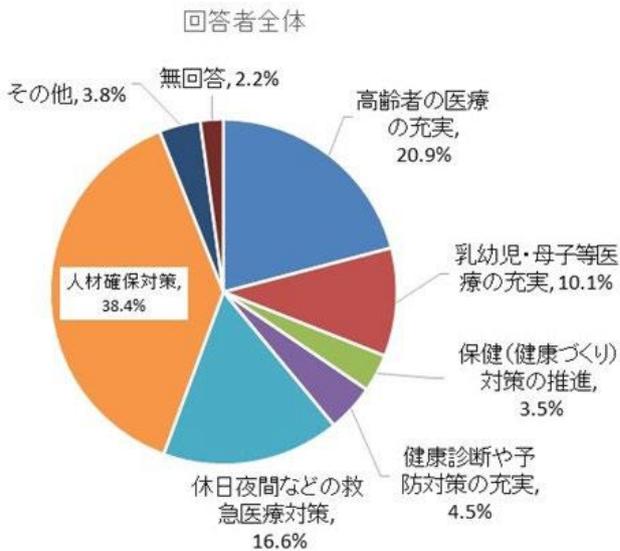
根室市の保健医療に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を1つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、これまでの調査結果と同様、「人材確保対策」が最も多く、35.9%を占めている。

これに次いで、「高齢者の医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」、「乳幼児・母子等医療の充実」が続いており、「人材確保対策」に次いで上位にあげられている項目は、順位に変動はみられるものの、これまでの調査の結果と同様であった。

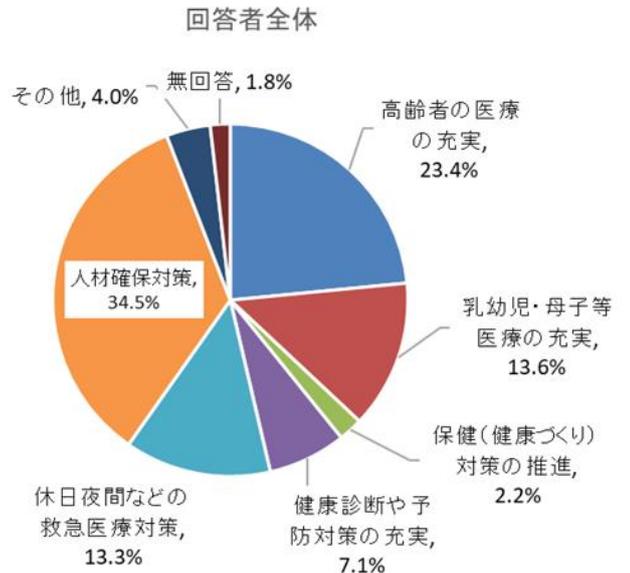
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>

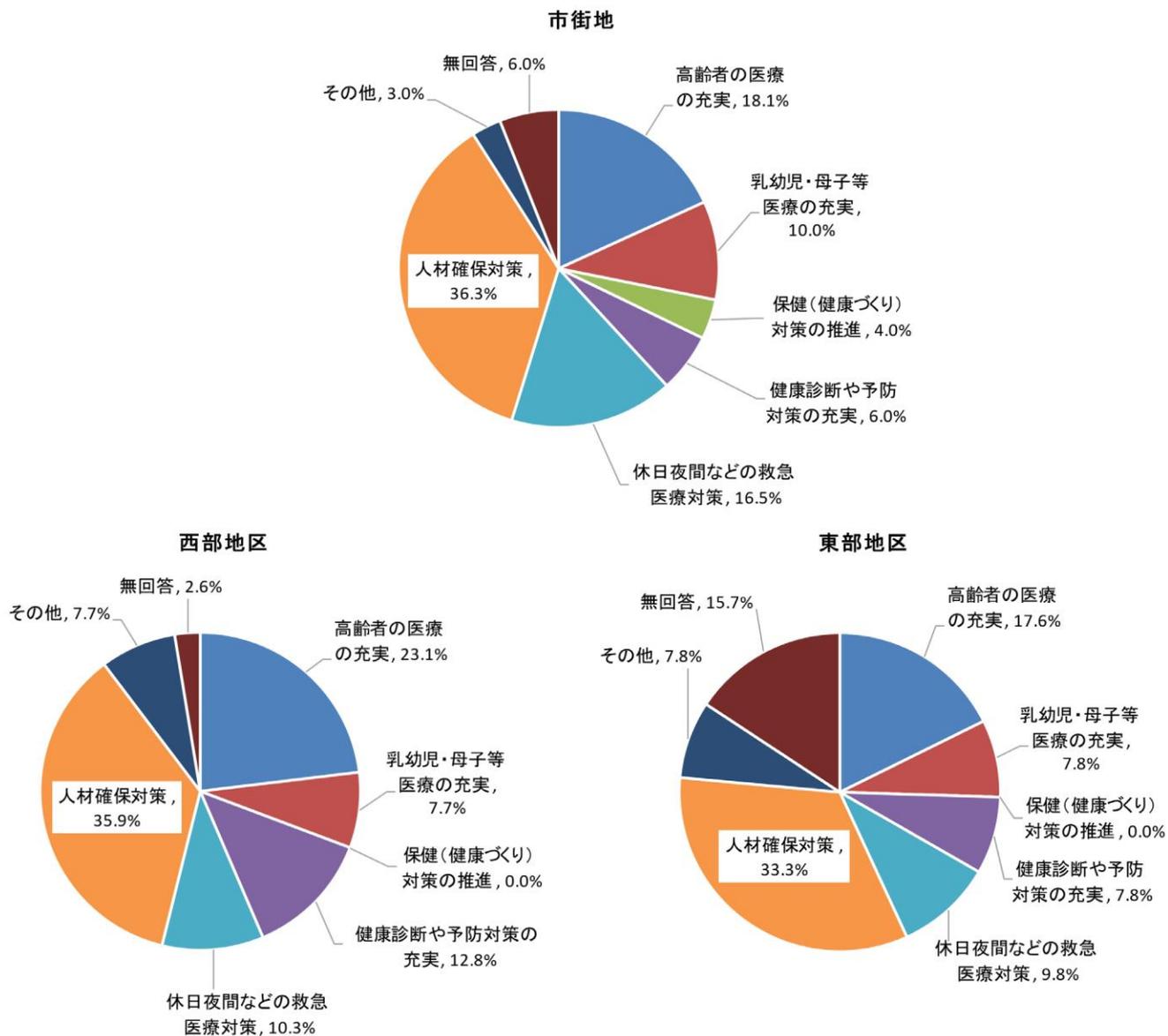


<令和4年度調査>



## ②地区別

地区別に重要と考える保健医療政策についてみると、各地区とも「人材確保対策」、「高齢者の医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」、「乳幼児・母子等医療の充実」が上位となっており、これまでの調査と同様の結果となっている。



### 3. 6 少子化・子育て支援について

#### (1) 施策に対する認知度

##### ①市民全体

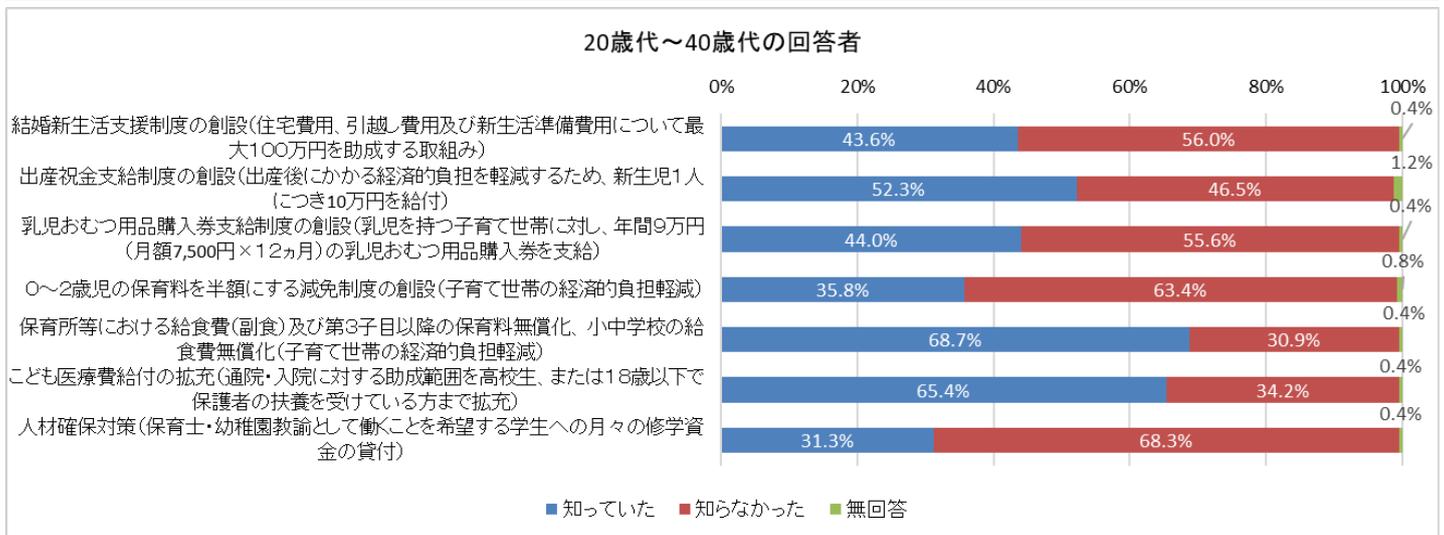
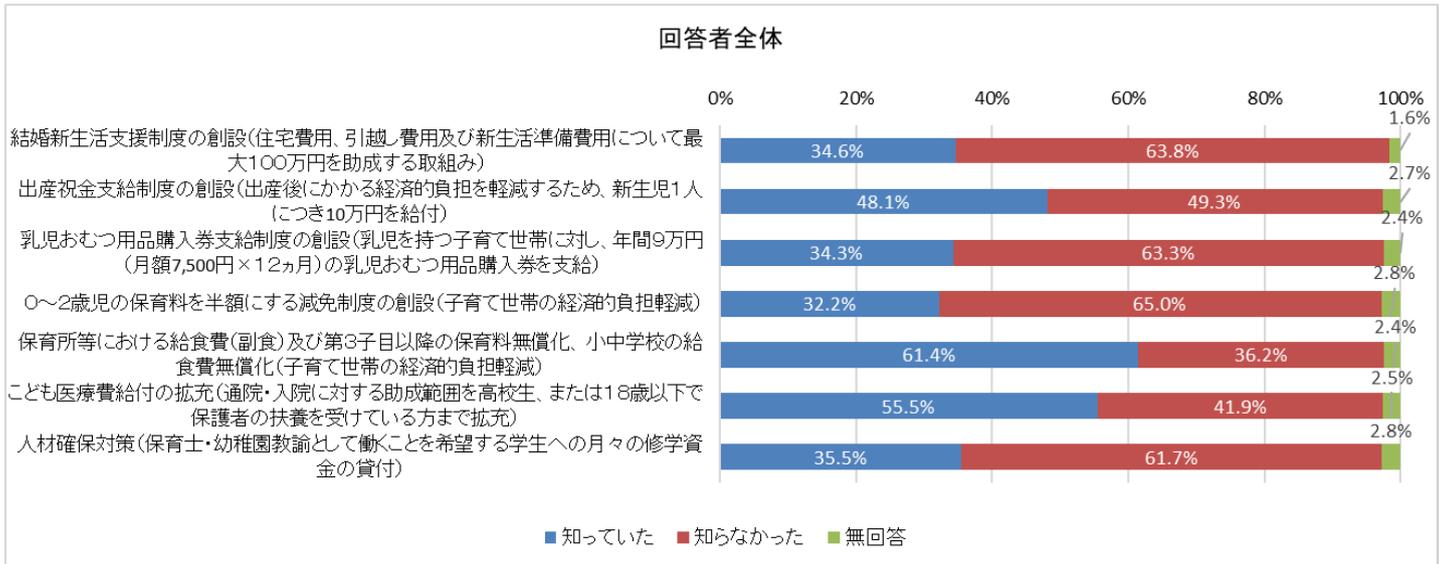
根室市で実施している少子化・子育て支援に関する施策の認知度についてみると、市民全体の認知度は、「保育所の給食費及び第3子目以降の保育料・学校給食費の無償化」の認知度が最も高く61.4%、「こども医療費給付の拡充」が55.5%と続き、これらは昨年度よりも認知度が上回っている。

一方で、「人材確保対策」「出産祝金支給制度の創設」「結婚新生活支援制度」は昨年度よりも認知度が下回った。

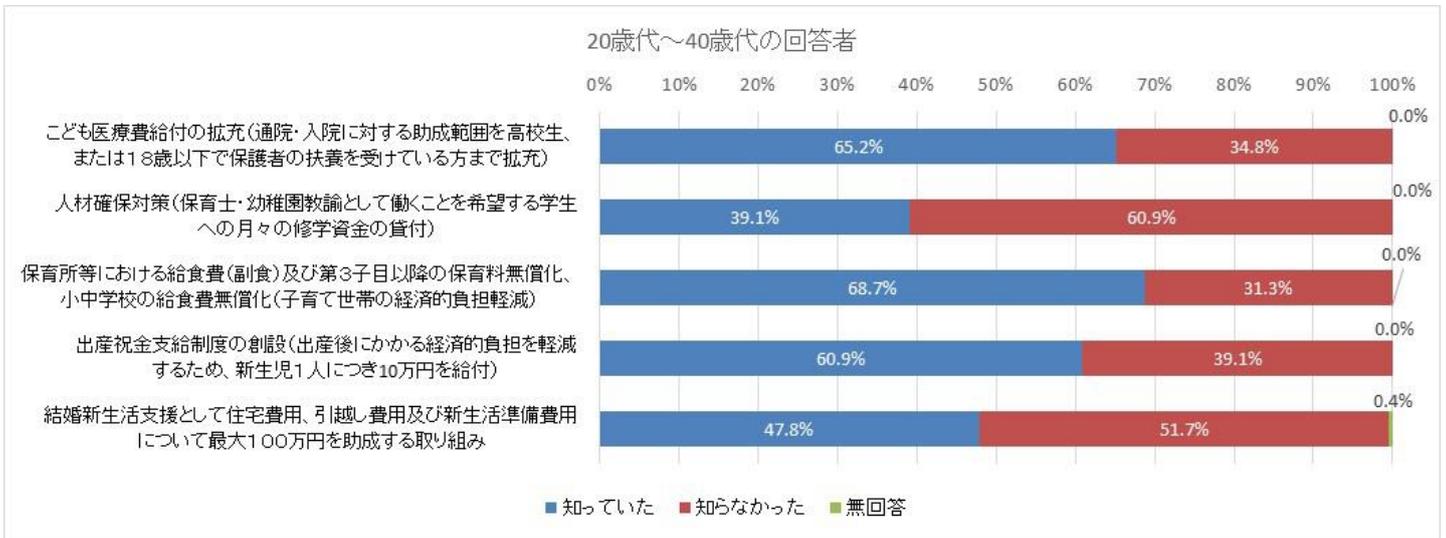
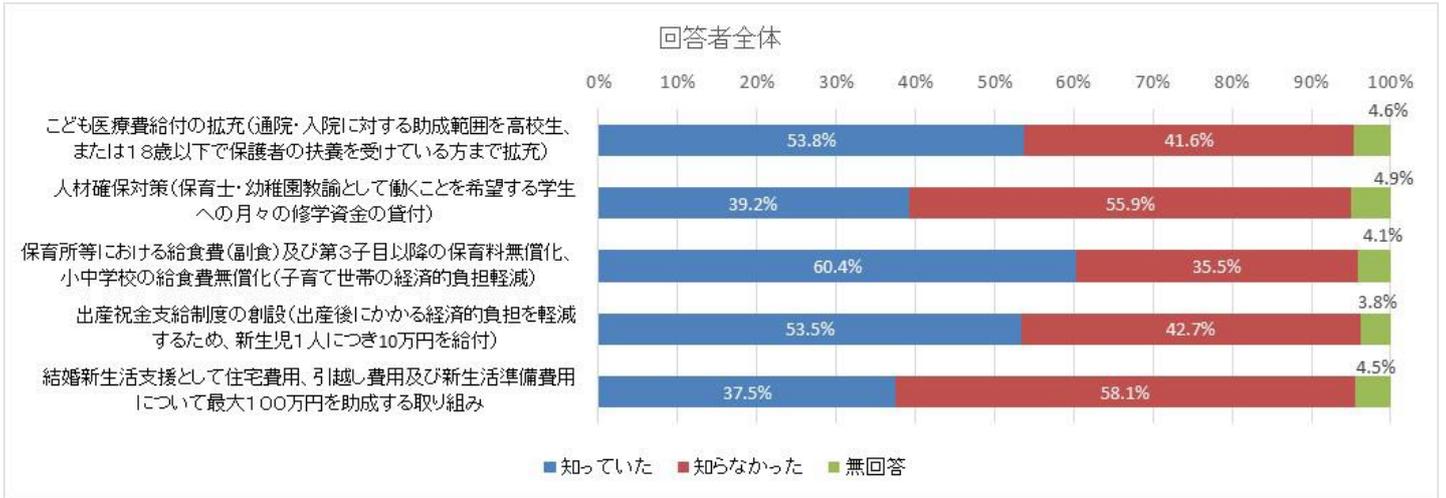
また、今年度から項目に加わった「0～2歳児の保育料を半額にする減免制度の創設」は認知度が32.2%、「乳児おむつ用品購入券支給制度の創設」は認知度が34.3%となっている。

20歳代～40歳代の子育て世代についてみると、「人材確保対策」を除く6項目で全体の認知度を上回っている。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>

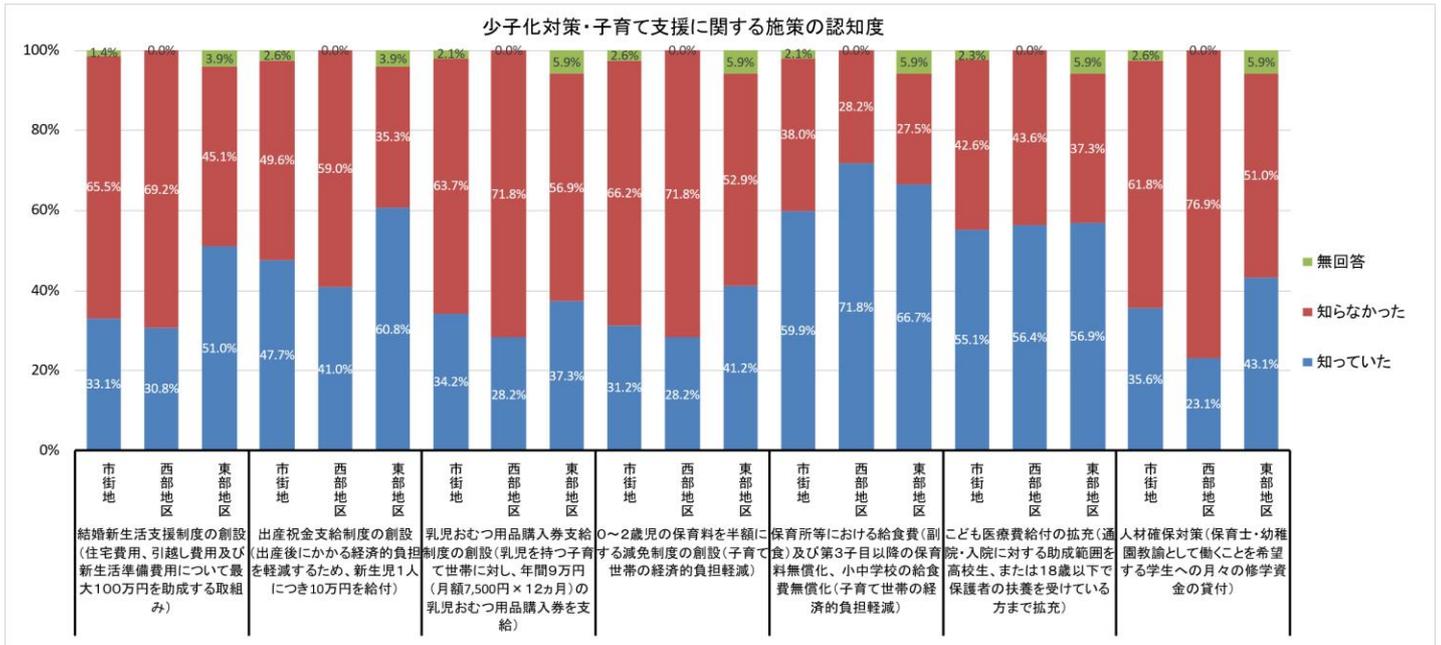


## ②地区別

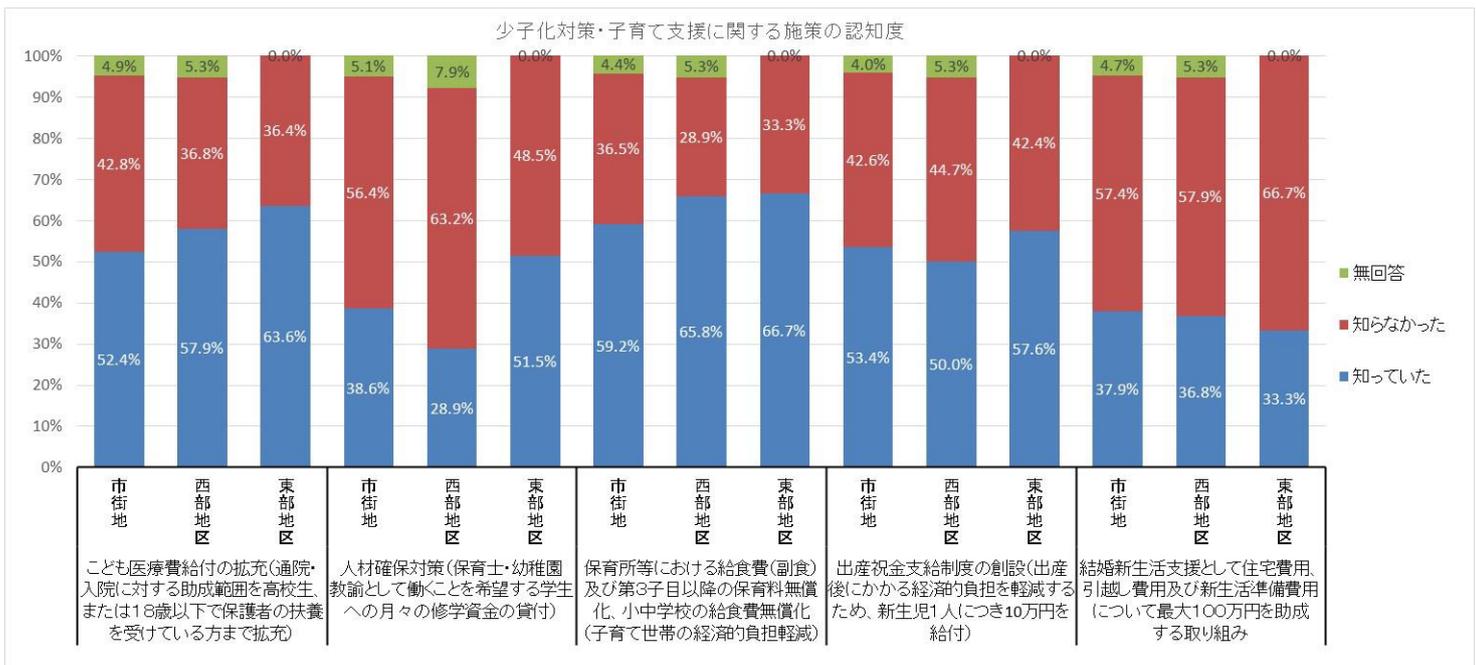
「少子化対策」、「地域の子育て支援」に関する主要施策の認知度を地区別でみると、各地区とも「保育所の給食費及び第3子目以降の保育料・学校給食費の無料化」に対する認知度がこれまでの調査結果と同様に最も高くなっている。また、東部地区において、各施策の認知度が高い傾向にある。

昨年度との比較では、東部地区において「結婚新生活支援制度」に対する認知度が大きく上昇している。

### <令和6年度調査>



### <令和5年度調査>



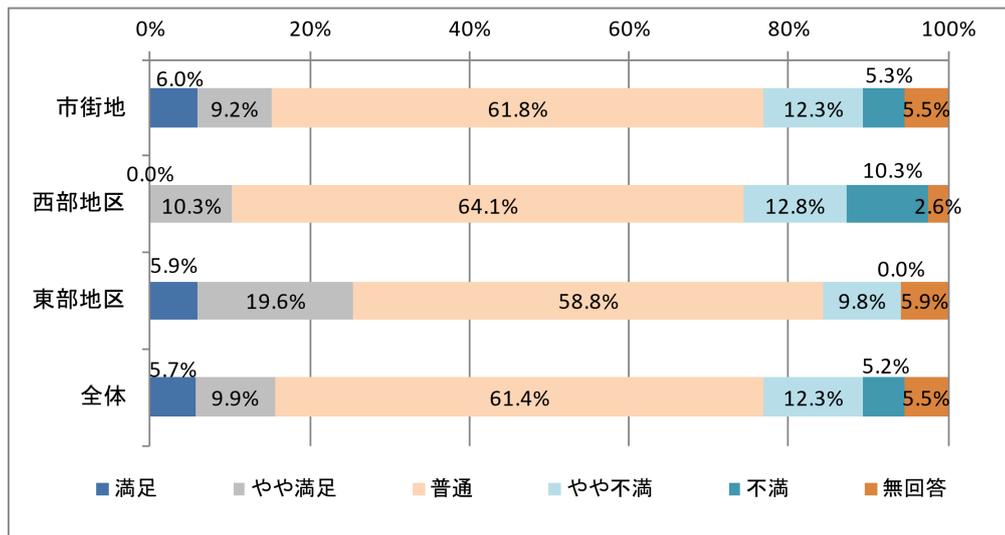
## (2) 乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、15.6%となっており、昨年度の調査の結果をやや上回った。

地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地、東部地区で昨年度を上回り、西部地区で昨年度を下回っている。

乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

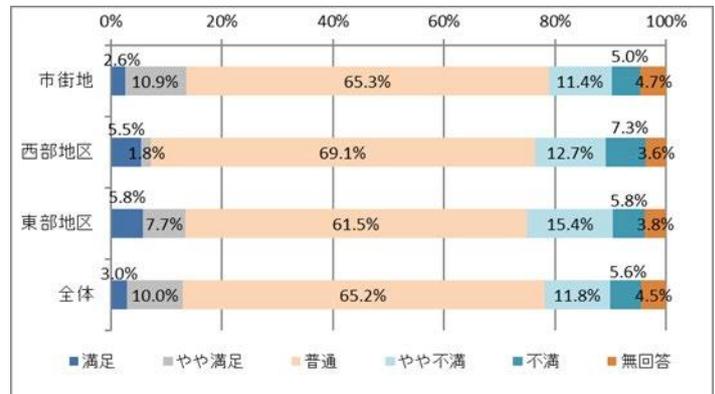
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



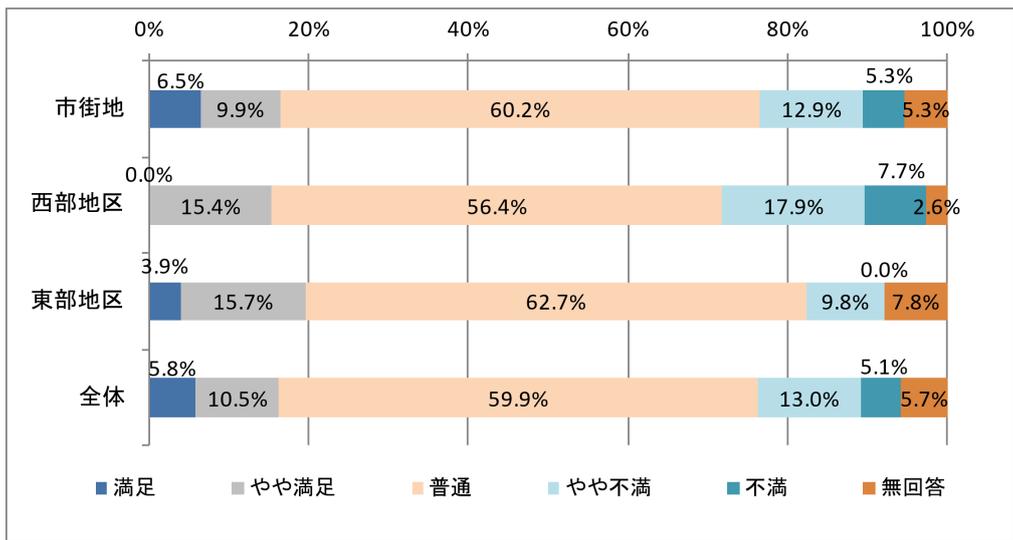
### (3) 子育てのための環境や支援に対する満足度

子育てのための環境や支援に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、16.3%となっており、調査を開始した平成28年度(5.2%)から一貫して増加基調にある。

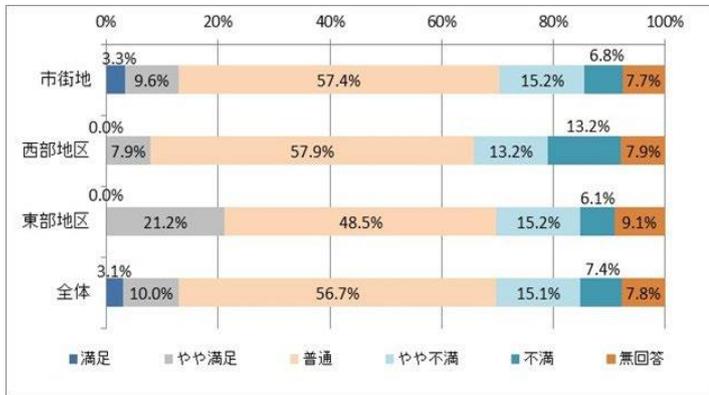
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地では一貫した増加をみせているが、回答者数の少ない西部地区および東部地区では、調査年によって増減がみられている。

子育てのための環境や支援に対する満足度

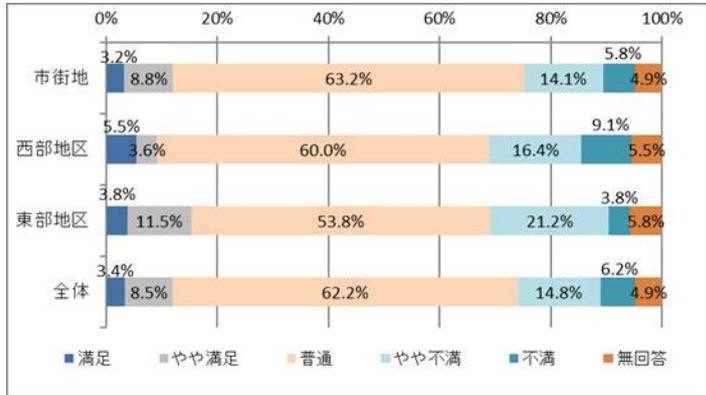
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



#### (4) 少子化・子育て支援策

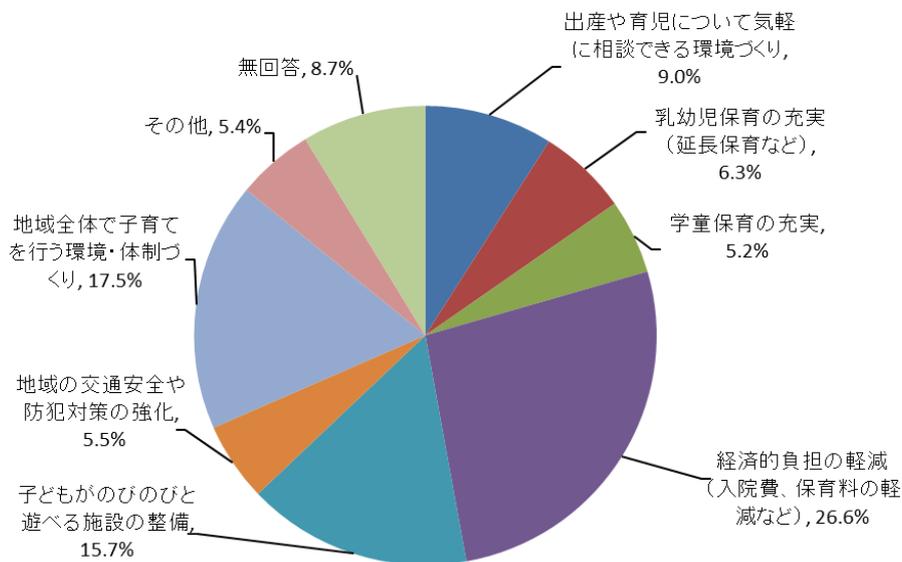
##### ①市民全体

根室市の少子化・子育て支援に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を1つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、「経済的負担の軽減」が最も多く、26.6%を占めた。次いで、「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」が17.5%、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が15.7%、「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」が9.0%の順であった。

「経済的負担の軽減」の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、昨年度よりも回答割合が低下している。ただし、物価高騰などの影響もあり、引き続き回答に占める割合の高い状況が続いている。

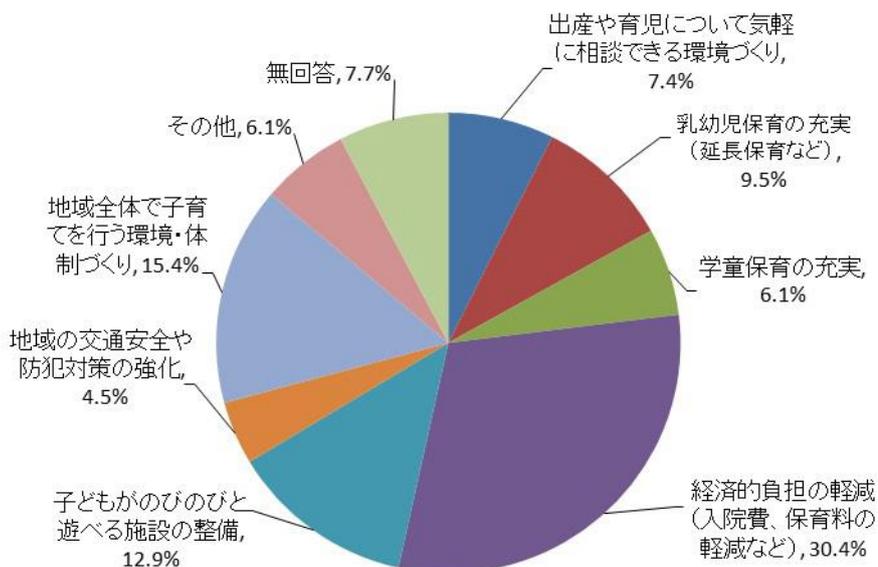
<令和6年度調査>

回答者全体



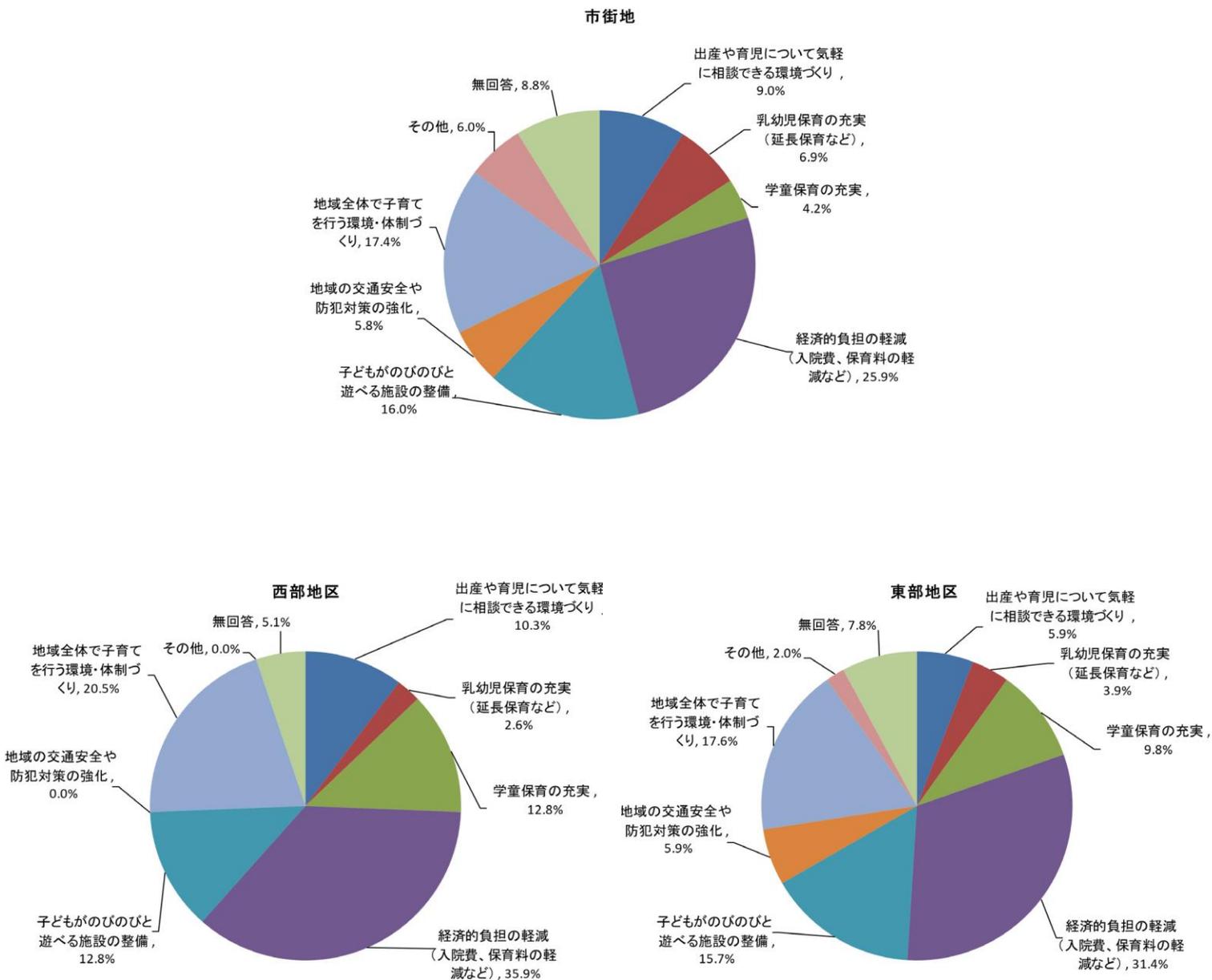
<令和5年度調査>

回答者全体



## ②地区別

各地区とも、「経済的負担の軽減」の割合が最も高く、次いで、「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」の回答割合が高くなっている。「経済的負担の軽減」は、特に西部地区、東部地区での回答割合が高い。



### 3. 7 高齢者支援について

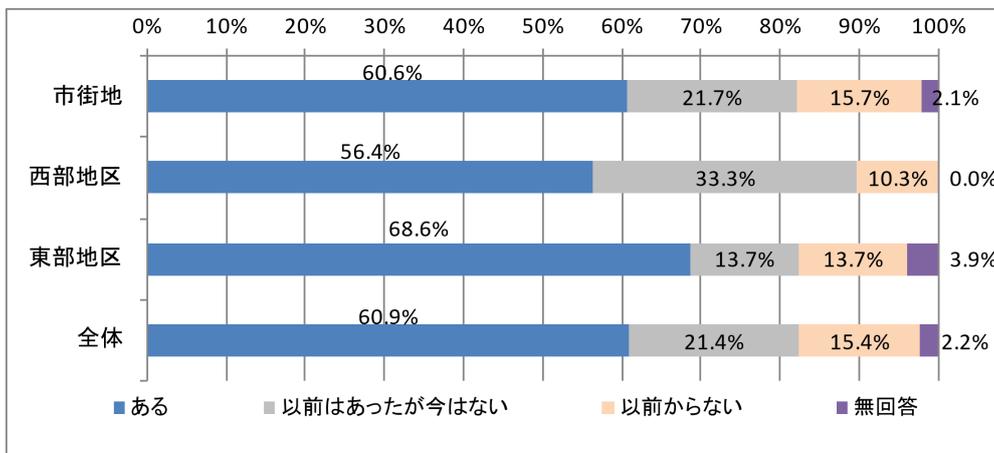
#### (1) 趣味・楽しみ、生きがいの有無

趣味・楽しみ、生きがいの有無を、回答者全体で見ると60.9%が「ある」としており、昨年度調査を下回った。地区別にみても、各地区とも昨年度調査を下回っている。

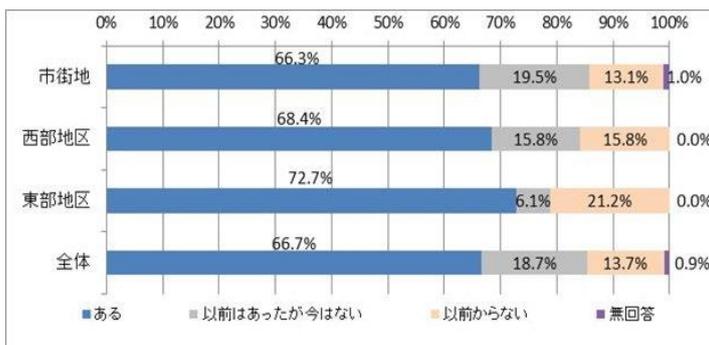
60歳以上の回答者で見ると、回答者全体よりも「ある」の回答割合が低くなっており、こうした傾向は昨年度までの結果と同様となっている。さらに、昨年度と比べて「以前はあったが今はない」の回答割合が増加している。

市民全体の趣味・楽しみ・生きがいの有無

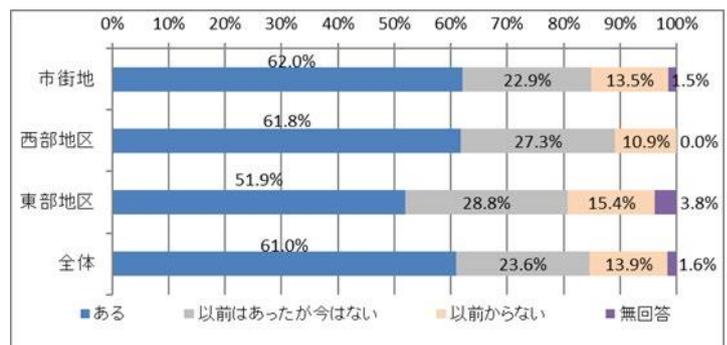
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>

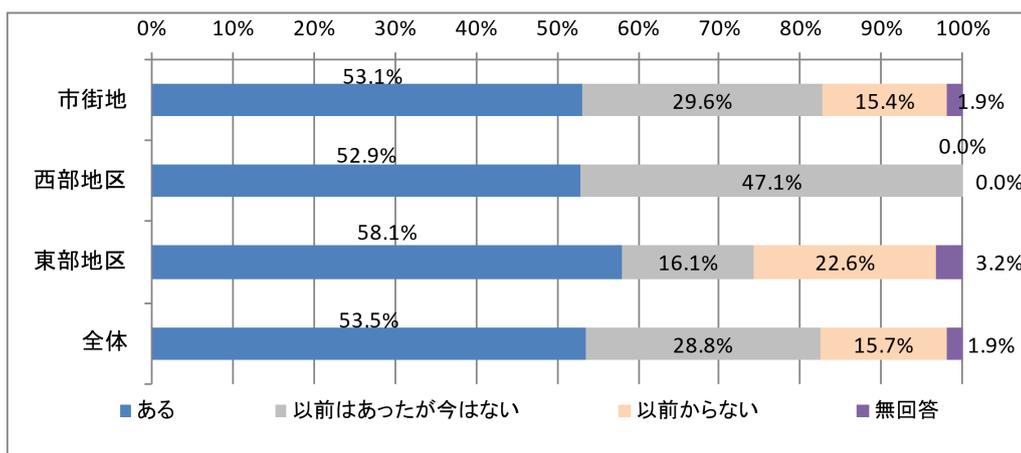


<令和4年度調査>

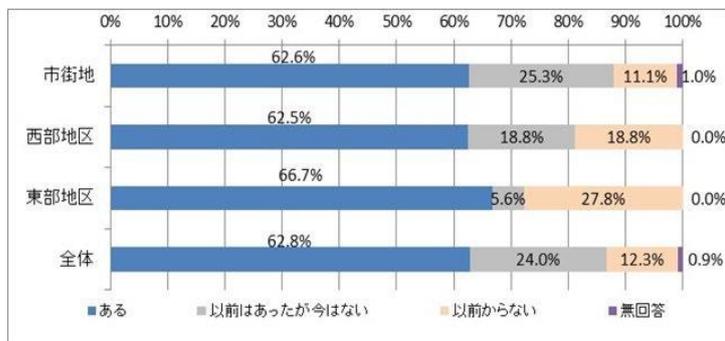


60歳以上住民の趣味・楽しみ・生きがいの有無

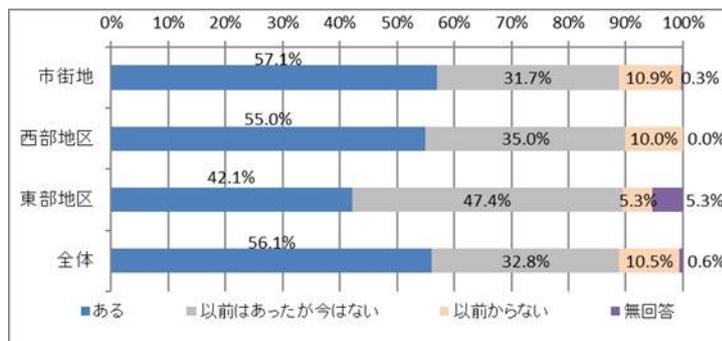
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



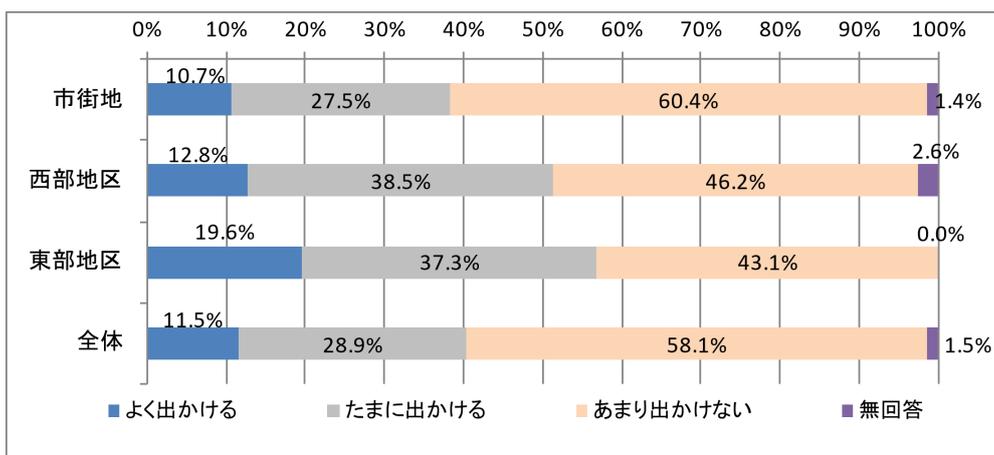
## (2) 町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

町会等の行事、サークル、地域イベントに出かけるかどうかについて、回答者全体で見ると、「よく出かける」は11.5%となっており、例年と同程度で推移している。

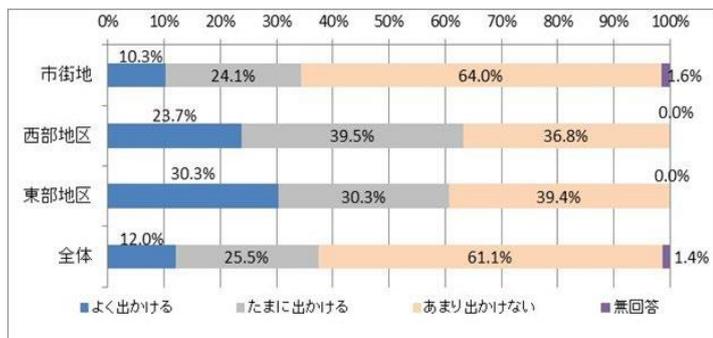
地区別で見ると、「よく出かける」の割合は、昨年度大きく上昇していた西部地区、東部地区では低下した。市街地では例年通りで推移している。

60歳以上の回答者で見ると、東部地区では回答者全体よりも「よく出かける」の回答割合が高くなっており、こうした傾向は昨年度までの結果と同様となっている。

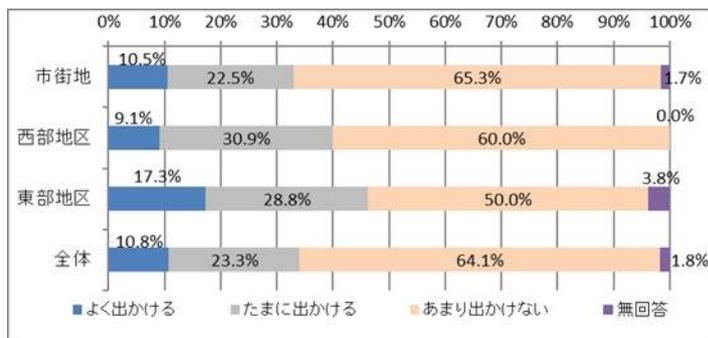
市民全体の町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況  
 <令和6年度調査>



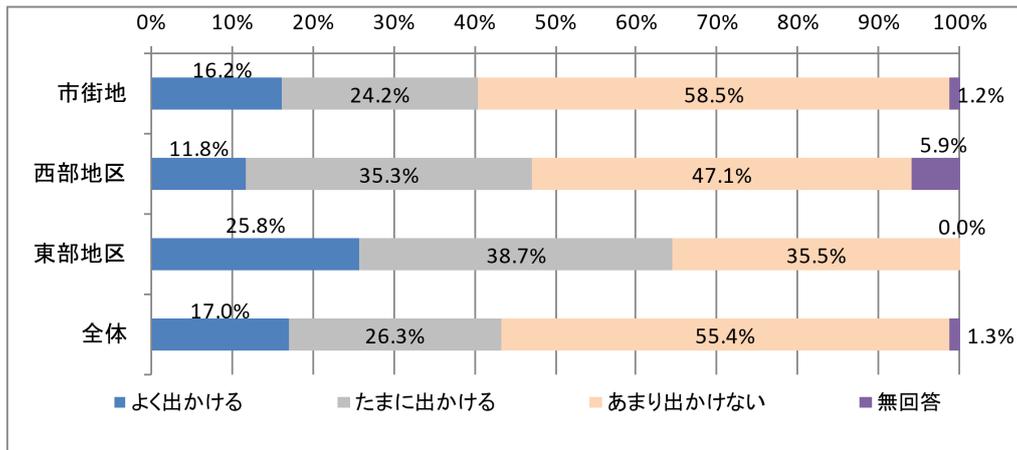
<令和5年度調査>



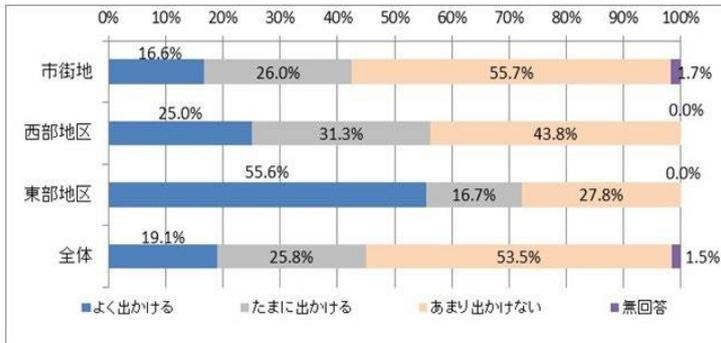
<令和4年度調査>



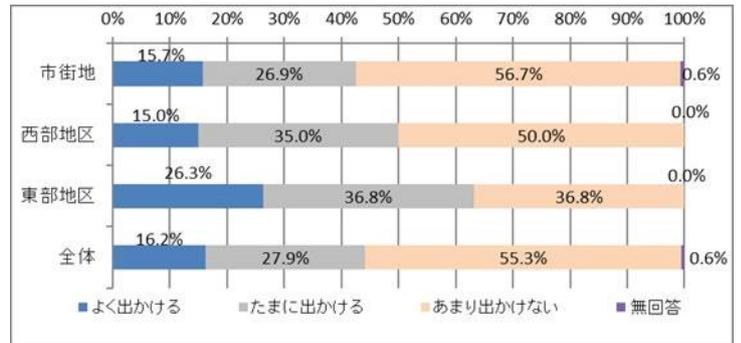
60歳以上住民の町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況  
 <令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



### (3) 施策に対する認知度

#### ①市民全体

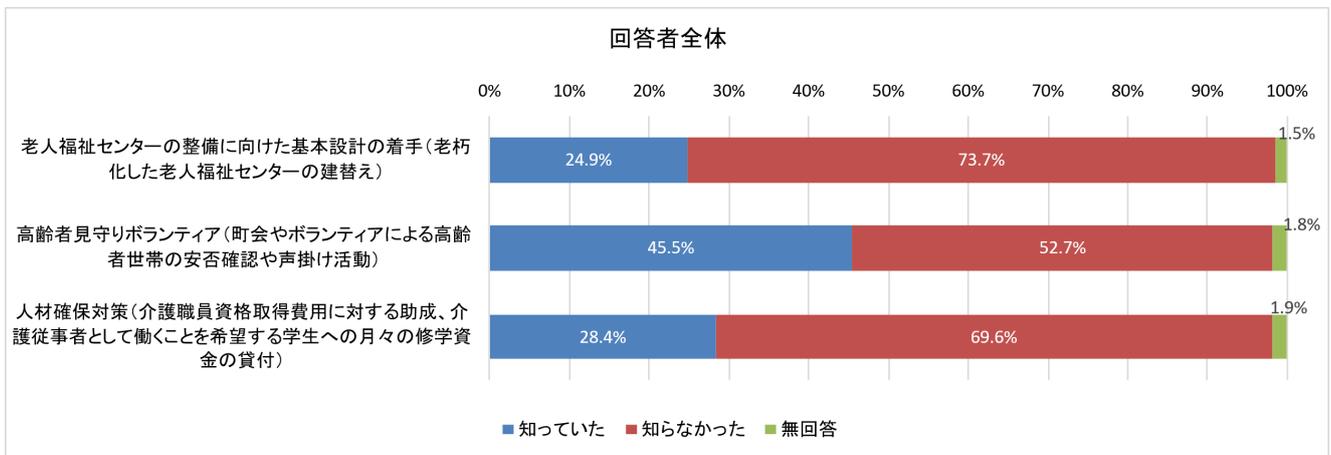
根室市で実施している「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度をみると、市民全体では、「高齢者見守りボランティア事業」の認知度が45.5%、「人材確保対策」の認知度が28.4%となっており、比較可能な2施策の認知度はいずれも昨年度から低下した。

また、今年度から項目に加わった「老人福祉センターの整備に向けた基本設計の着手」は認知度が24.9%となった。

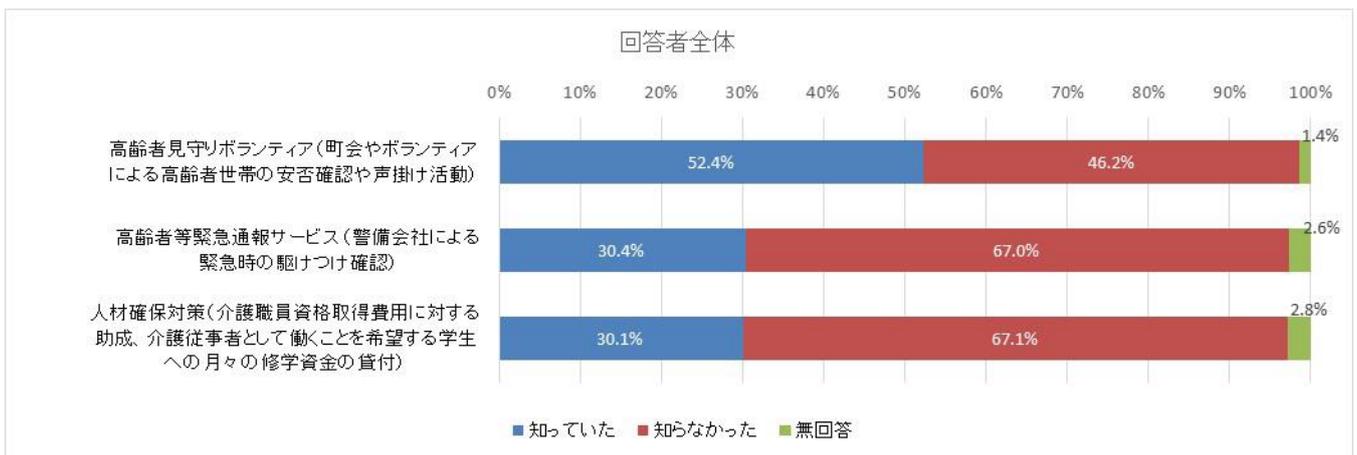
一方、65歳以上の回答者の認知度をみると、「高齢者見守りボランティア事業」が60.4%、「人材確保対策」が34.1%の認知度となっており、回答者全体よりも認知度が高くなっている。

市民全体における「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度

<令和6年度調査>

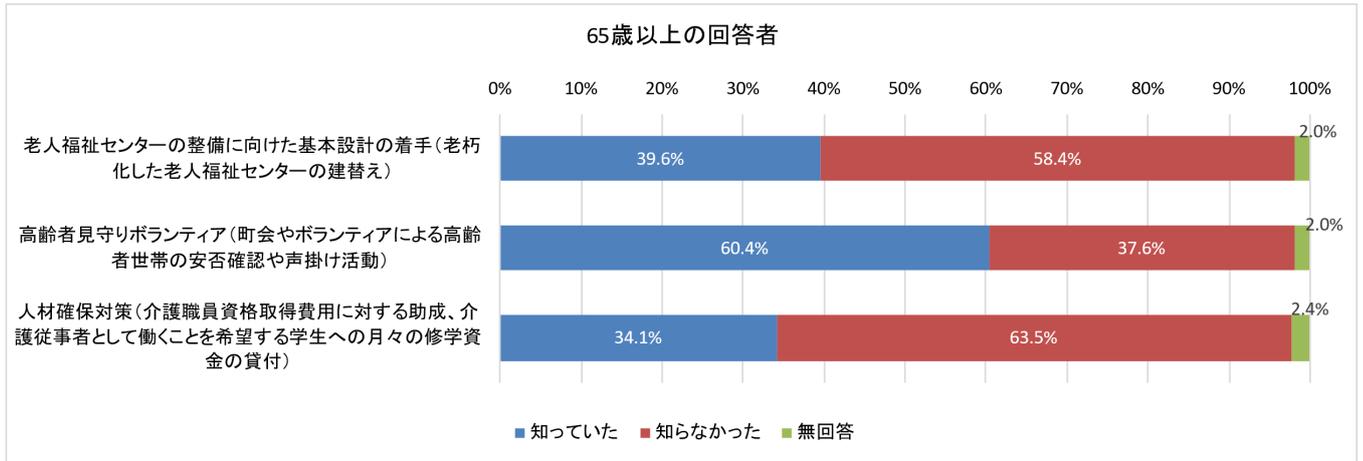


<令和5年度調査>

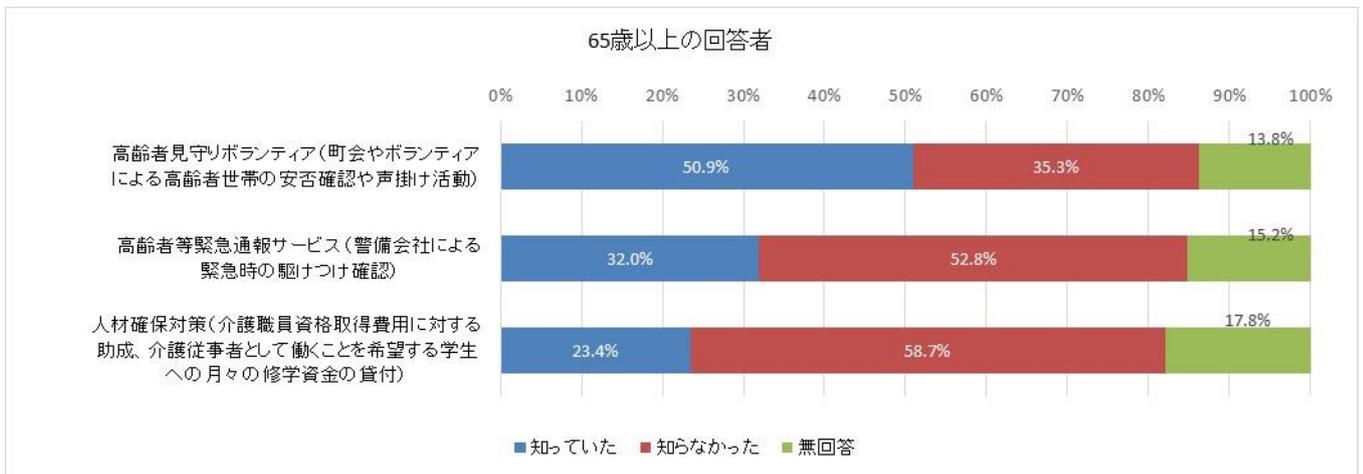


65歳以上住民における「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>

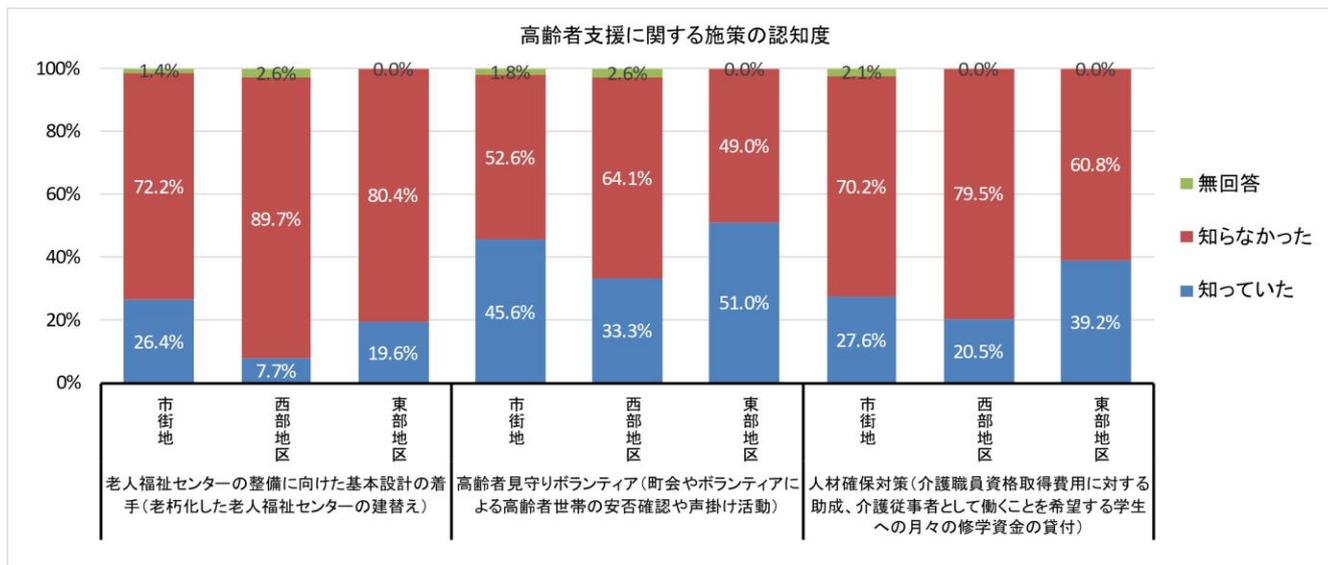


## ②地区別

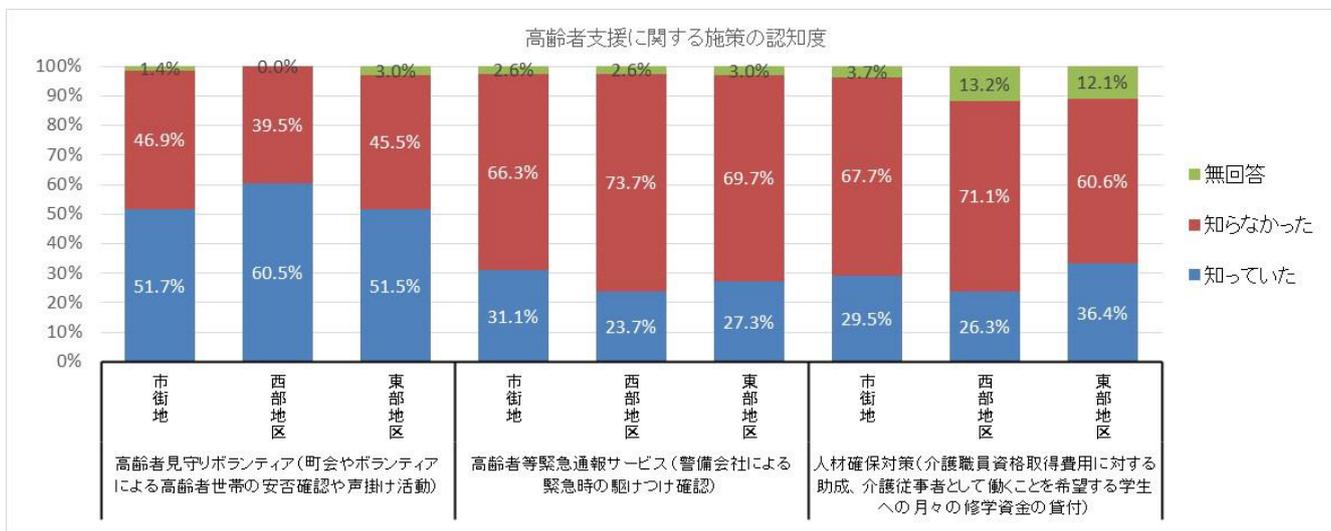
高齢者支援に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、いずれの地区も「高齢者見守りボランティア事業」が最も認知度が高い。ただし、全ての地区で認知度は昨年度を下回っている。

今年度から調査項目に加わった「老人福祉センターの整備に向けた基本設計の着手」は、当該施設が所在する市街地に比べて、それ以外の西部地区、東部地区での認知度は低く、地域による差がみられた。

＜令和6年度調査＞



＜令和5年度調査＞



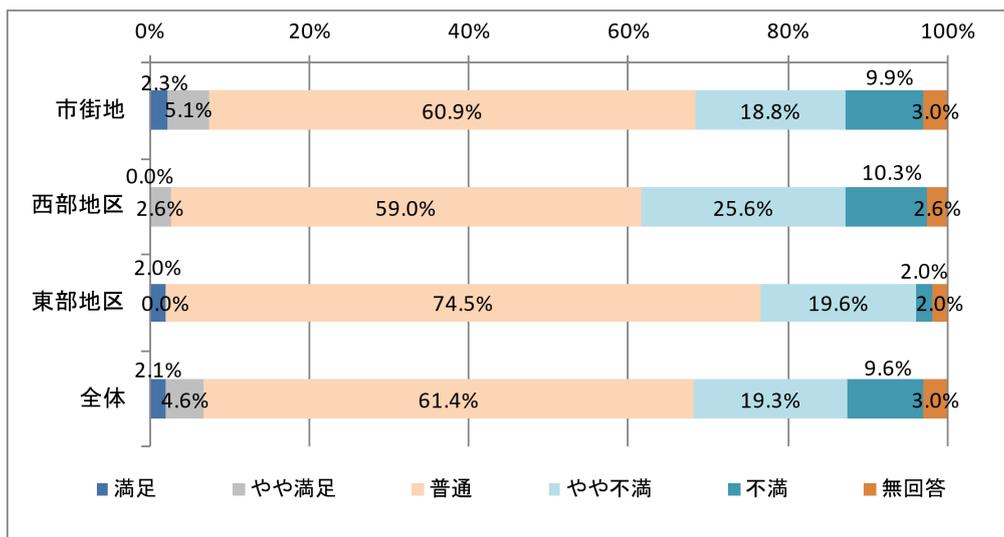
#### (4) 高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

高齢者のための福祉施設の数や内容等の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、6.7%となっており、昨年度までの調査の結果とほぼ同水準であった。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地と西部地区が昨年度と同程度となっているものの、昨年度の満足度が高かった東部地区では一転して大きく低下した。

高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

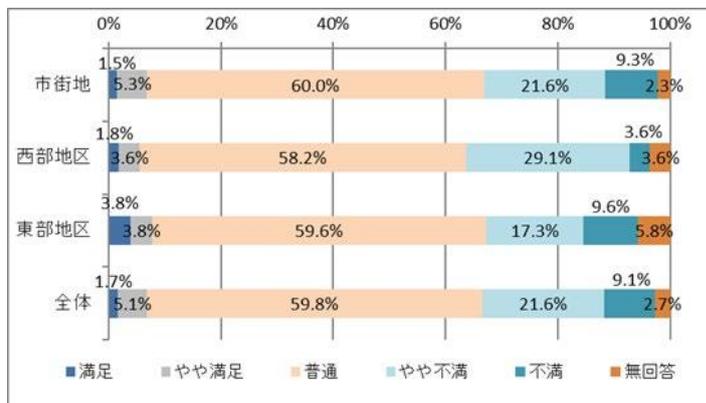
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



(5) 高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する満足度

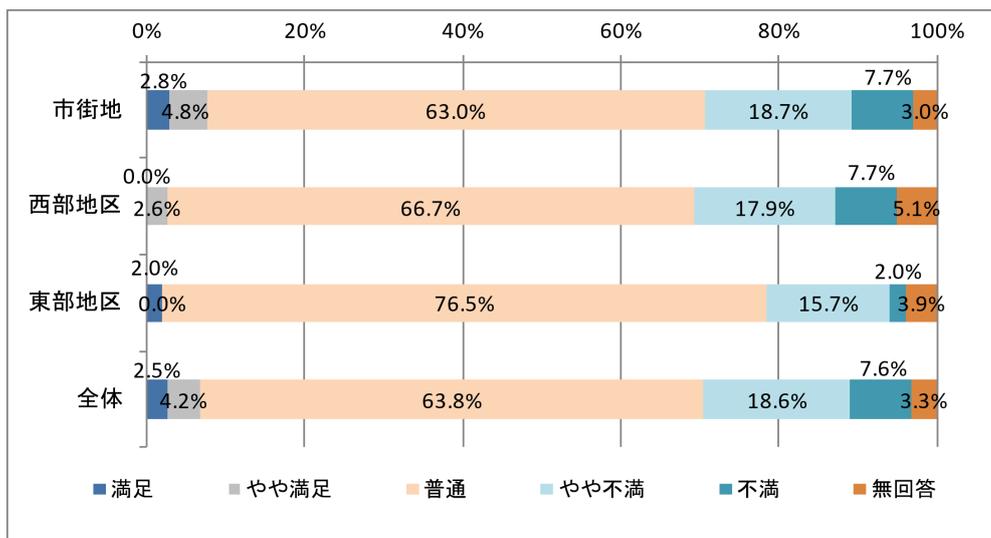
高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、6.7%となっており、昨年度調査と同程度の結果となった。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合は26.2%と昨年度よりも下回ったものの、全体的に満足度があまり高くない状況がうかがえる。

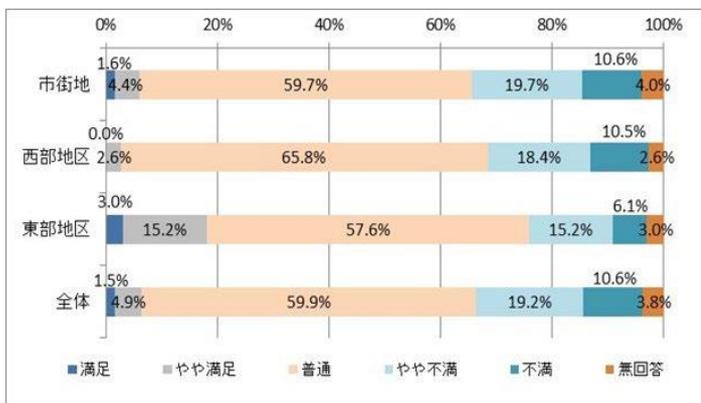
地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地と西部地区が昨年度と同程度となっているものの、昨年度の満足度が高かった東部地区では一転して大きく低下した。

高齢者の健康や生活の安全の・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する満足度

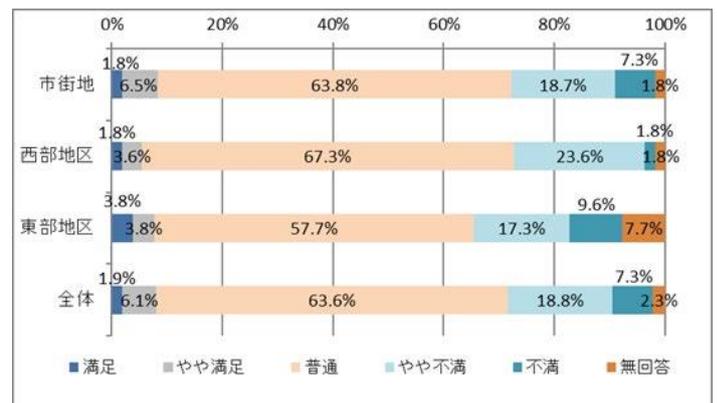
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

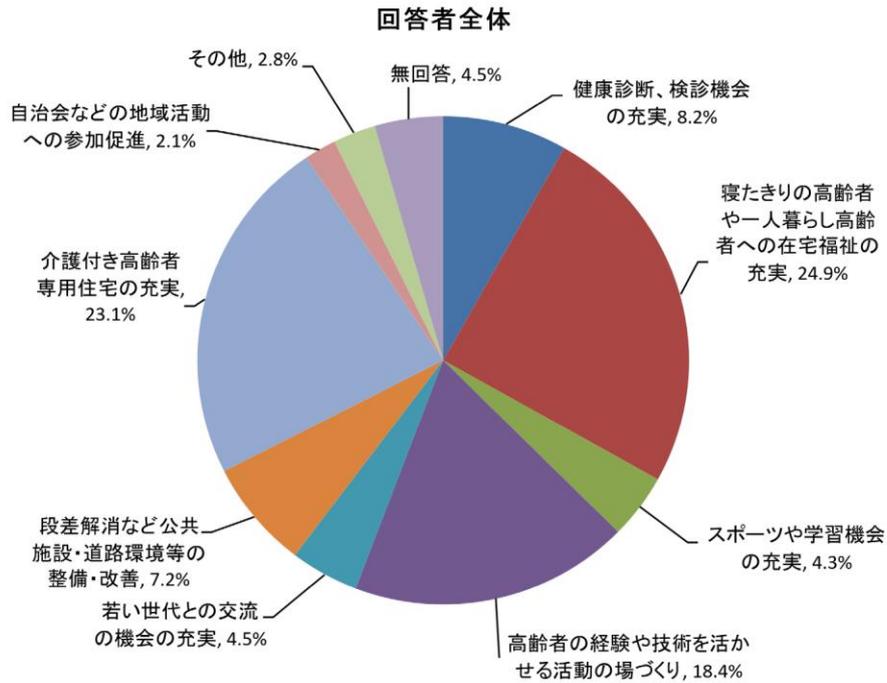


(6) 高齢者にとって重要と思う施策について

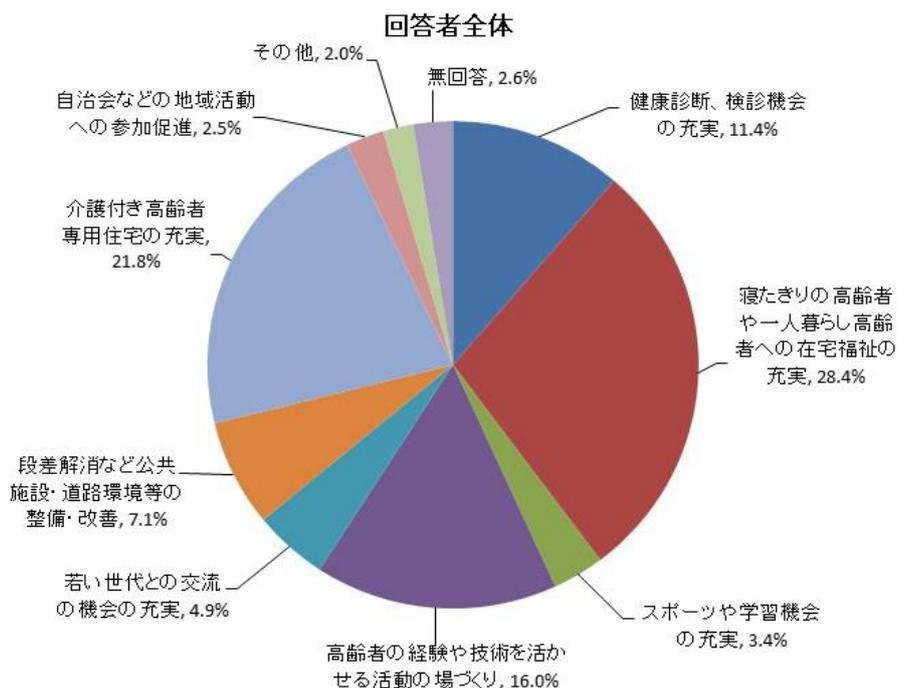
①市民全体

今後の高齢化に向けた支援施策として重要であるとする項目をみると、「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」が24.9%と最も多く、次いで、「介護付き高齢者専用住宅の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」となっており、昨年度調査と同様の結果となっている。

<令和6年度調査>



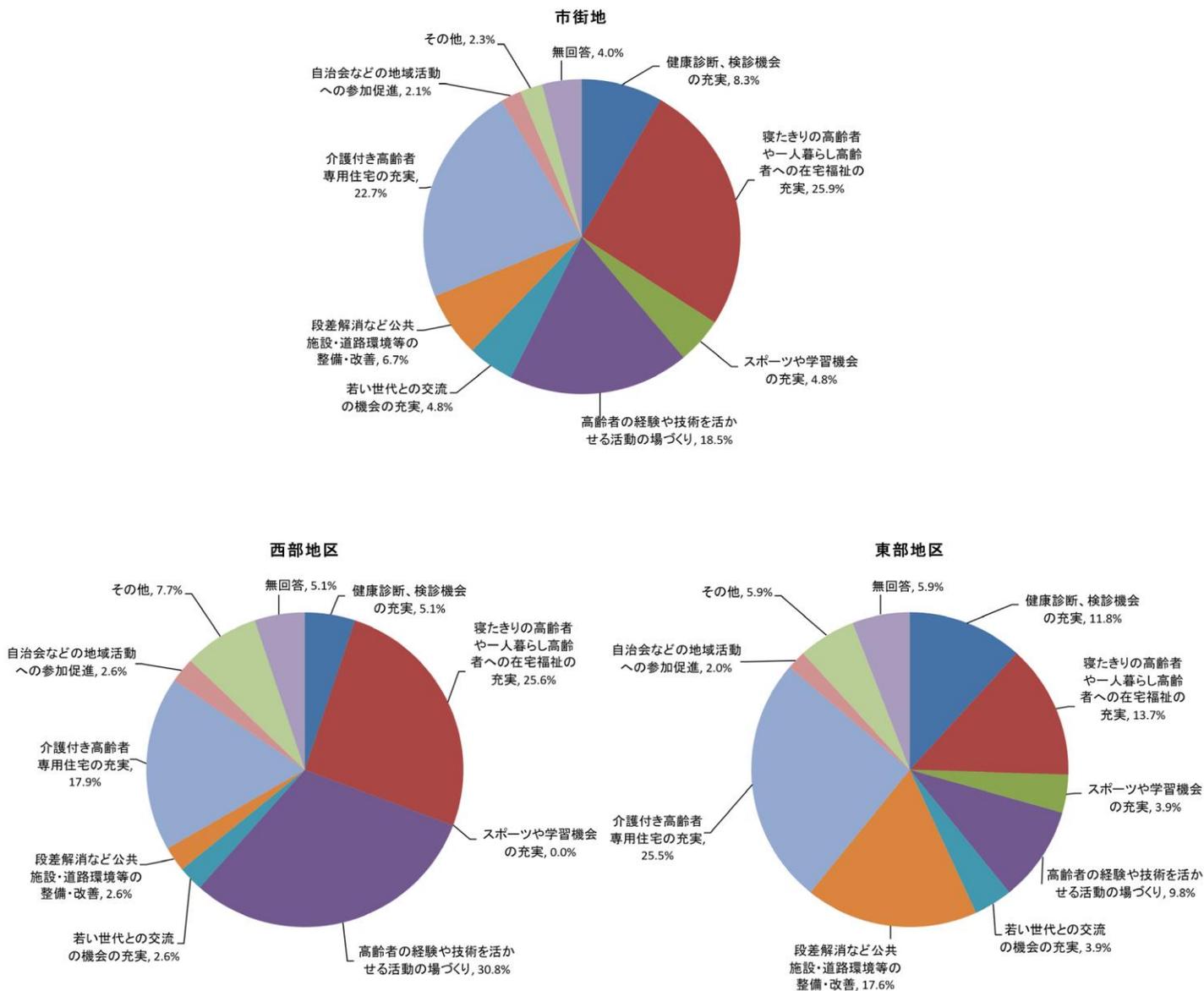
<令和5年度調査>



## ②地区別

市街地、西部地区では、回答者全体と同様に「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」、「介護付き高齢者専用住宅の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」が上位にあがっている。

一方、東部地区では、「段差解消など公共施設・道路環境等の整備・改善」をあげる割合が高くなっており、「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」をあげる割合が少なくなっている。

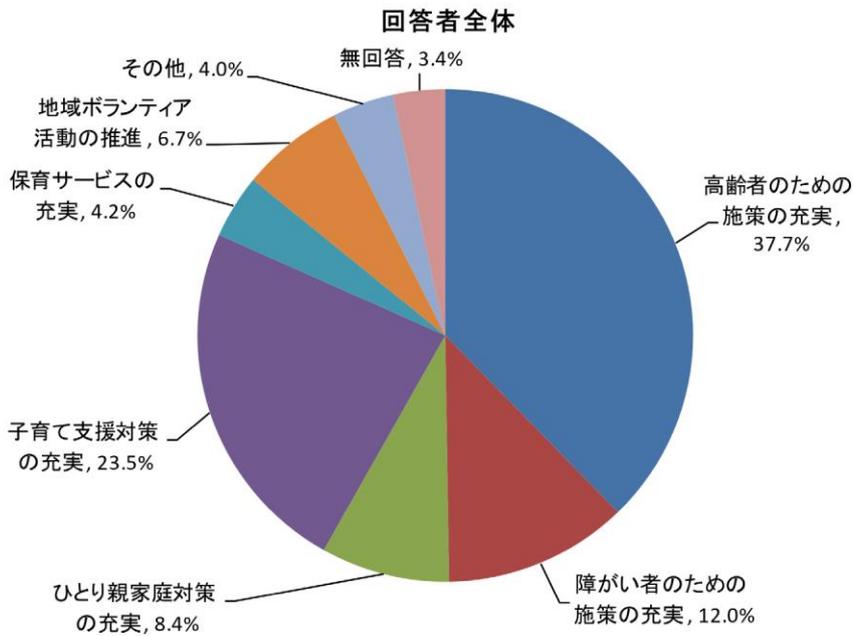


### 3. 8 社会福祉全般について

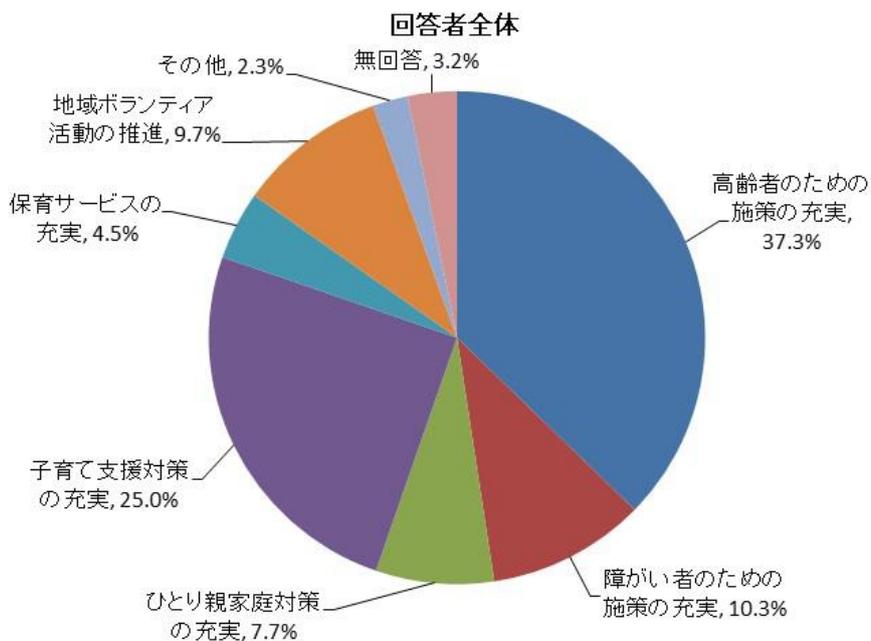
#### (1) 市民全体

社会福祉に関して重要と考えている項目についてみると、昨年度調査までの結果と同様に、「高齢者のための施策の充実」をあげる回答者の割合が最も高く、次いで、「子育て支援対策の充実」の順となっている。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>

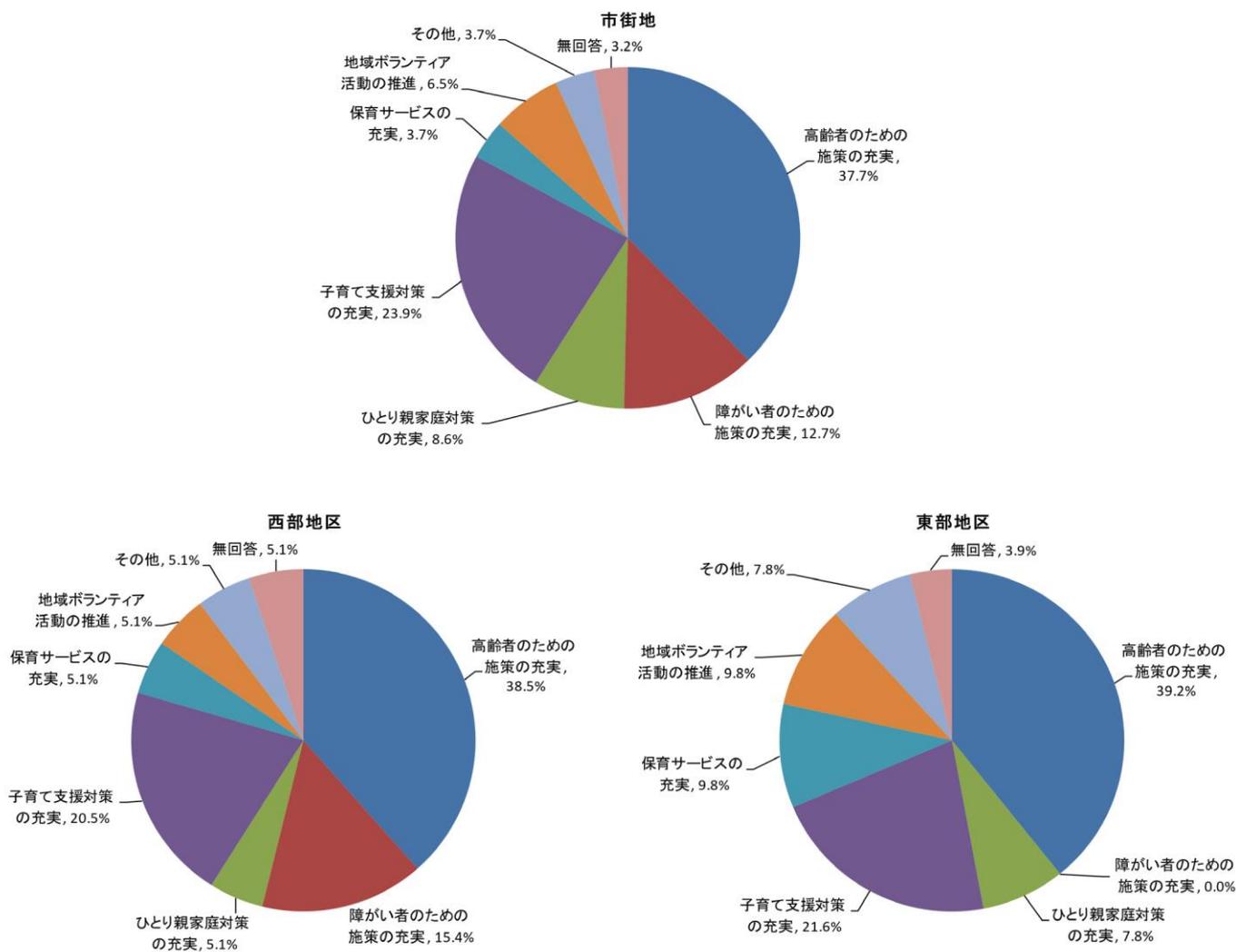


## (2) 地区別

地区によって順位は異なっているものの、いずれの地区も「高齢者のための施策の充実」、「子育て支援対策」が上位にあがっている。

一方、東部地区では、他地区と比べて「保育サービスの充実」「地域ボランティア活動の推進」をあげる回答割合の割合が高くなっている。

昨年度調査の結果と順位の変動がみられる地区もあるが、「高齢者のための施策の充実」、「子育て支援対策」の2項目が上位になっているのは例年と同様である。



### 3. 9 交通について

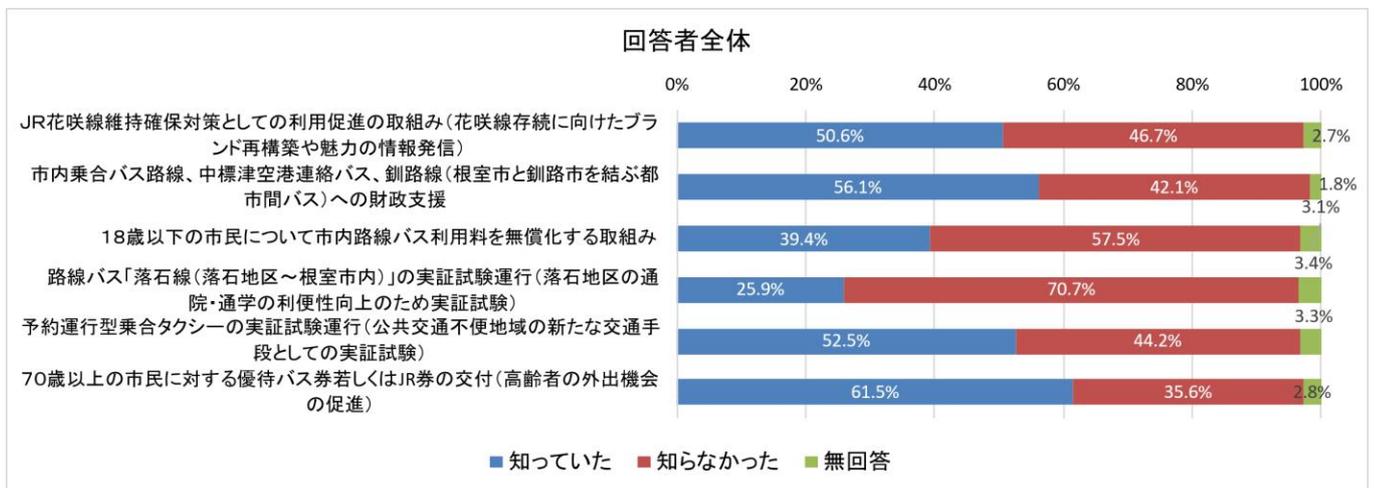
#### (1) 施策に対する認知度

##### ①市民全体

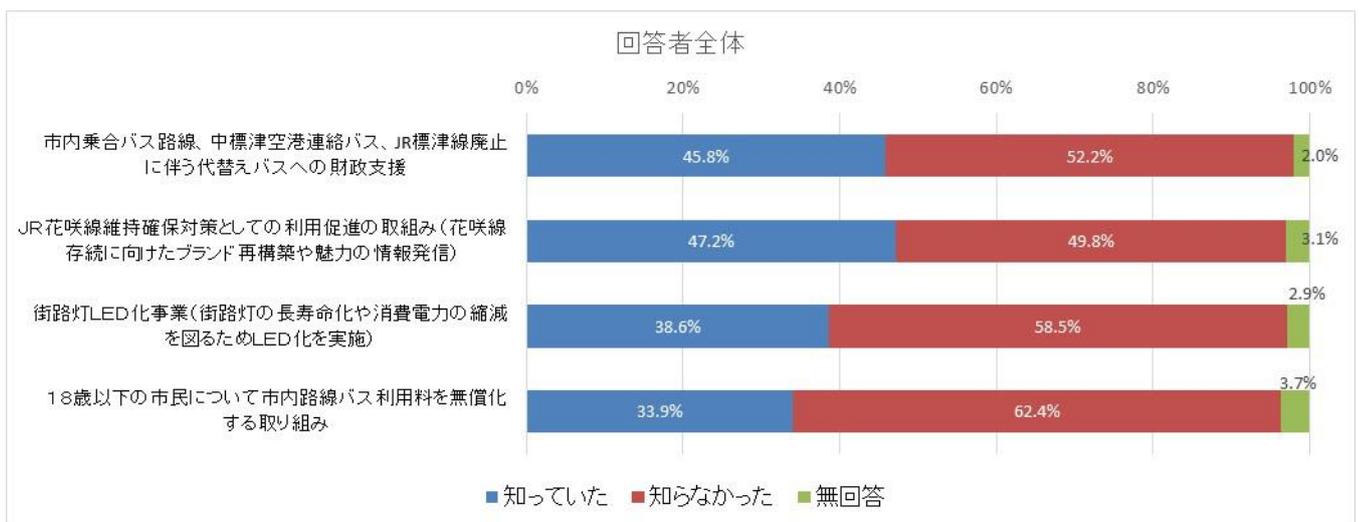
根室市で実施している交通に関する主要施策についての認知度をみると、「70歳以上の市民に対する優待バス券若しくはJR券の交付」が61.5%と最も高く、次いで「市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、釧路線への財政支援」が56.1%、「予約運行型乗合タクシーの実証試験運行」が52.5%となっている。そのほかに今年度から項目に加わった「路線バス『落石線』の実証試験運行」は認知度が25.9%となっている。

昨年度調査の結果と比較すると、比較可能な3つの施策の認知度はいずれも昨年度よりも高くなっている。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>

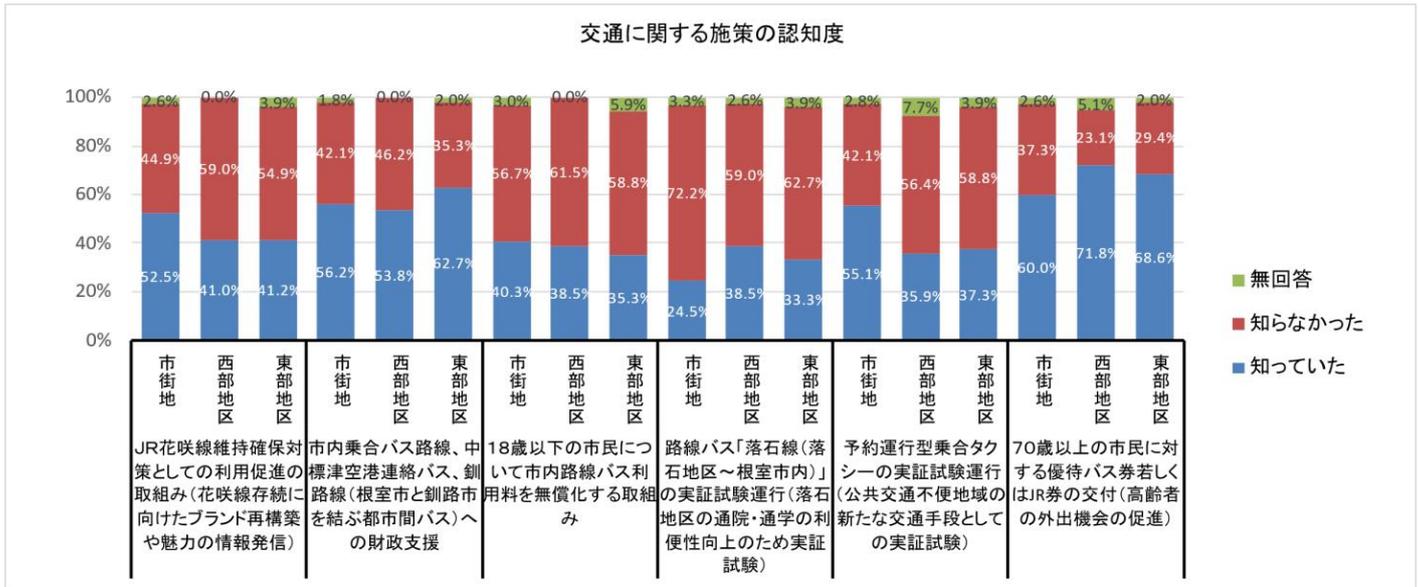


## ②地区別

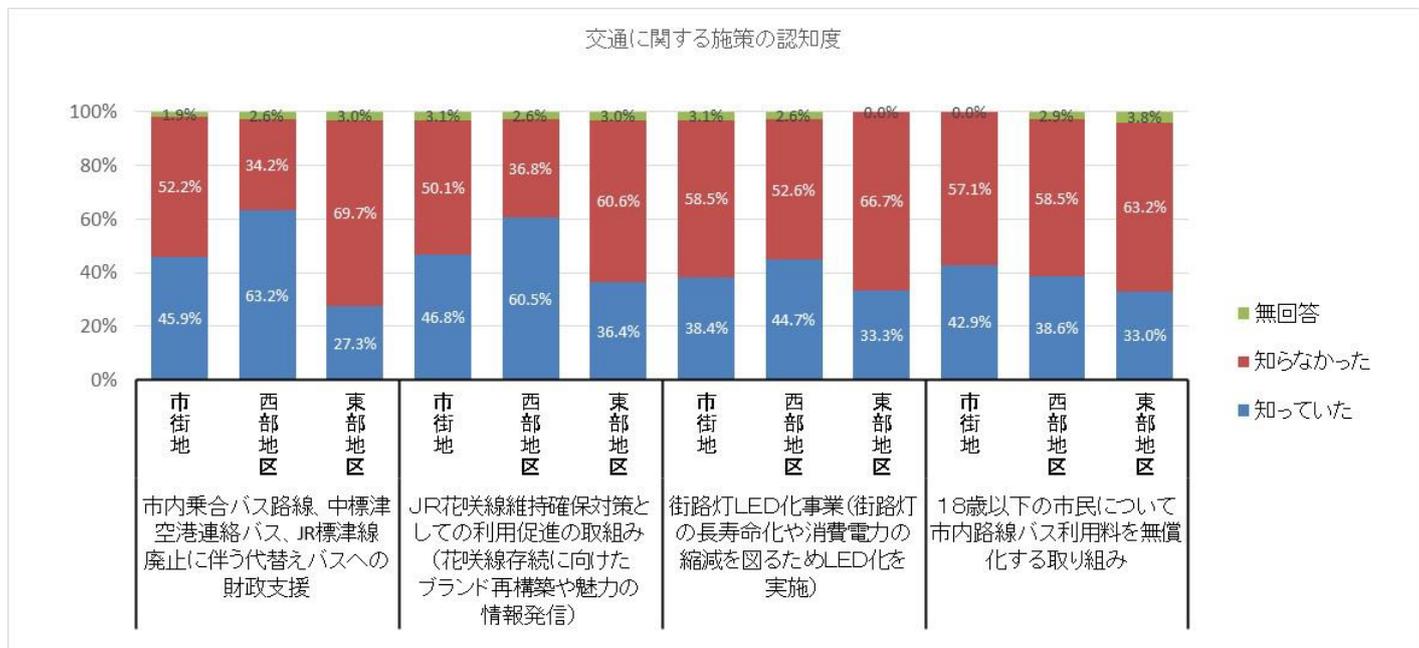
交通に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「路線バス『落石線』の実証試験運行」では落石地区を有する西部地区での認知度が、他の地区に比べて高くなっている。また、「JR 花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み」では根室駅を有する市街地での認知度が高い。

昨年度調査の結果と比較すると、市街地、東部地区での認知度は概ね昨年度の結果よりも向上しているものの、西部地区での認知度は総じて昨年度よりも低下している。

### <令和6年度調査>



### <令和5年度調査>

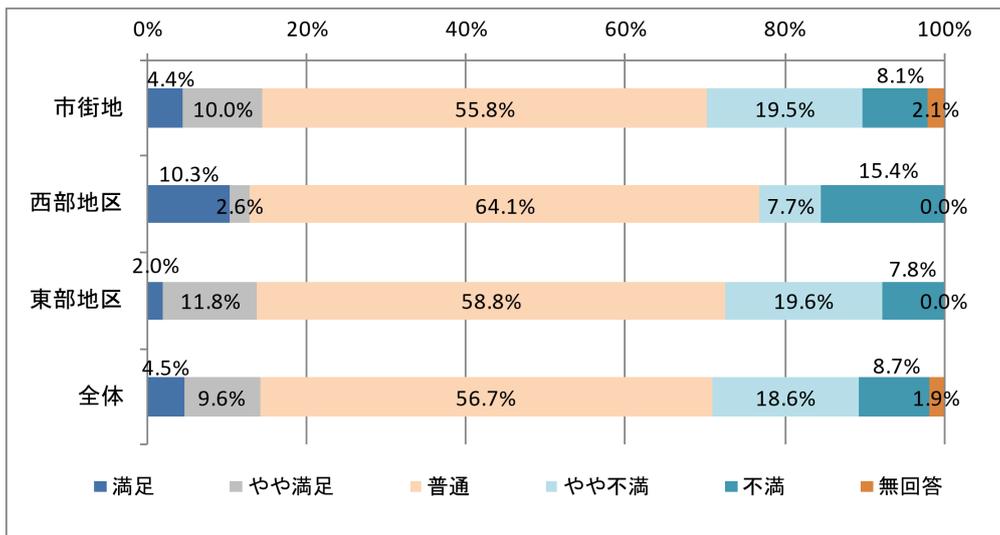


## (2) 市内の幹線道路の整備状況に対する満足度

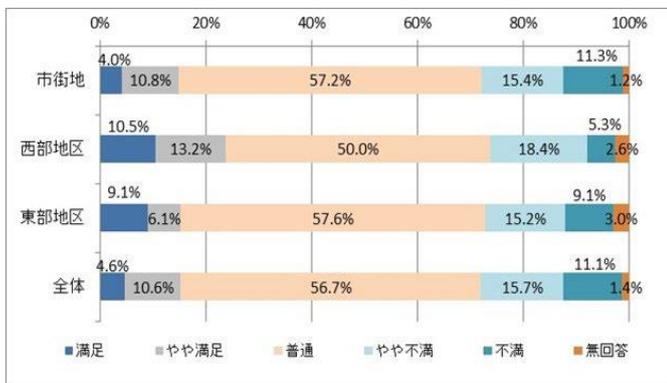
市内の幹線道路の整備状況に対する市民全体の満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする割合は14.1%と、昨年度調査の結果よりも満足度がやや低下している。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は市街地、東部地区で同程度となっている。昨年度と比べると、市街地、東部地区では「満足」と「やや満足」を合わせた割合が昨年度と同程度で推移しているが、西部地区では低下している。

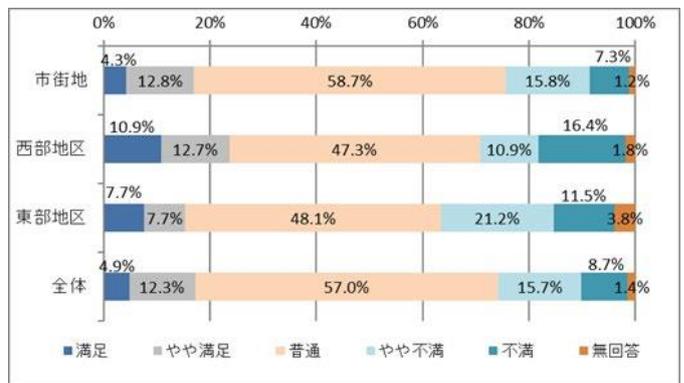
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

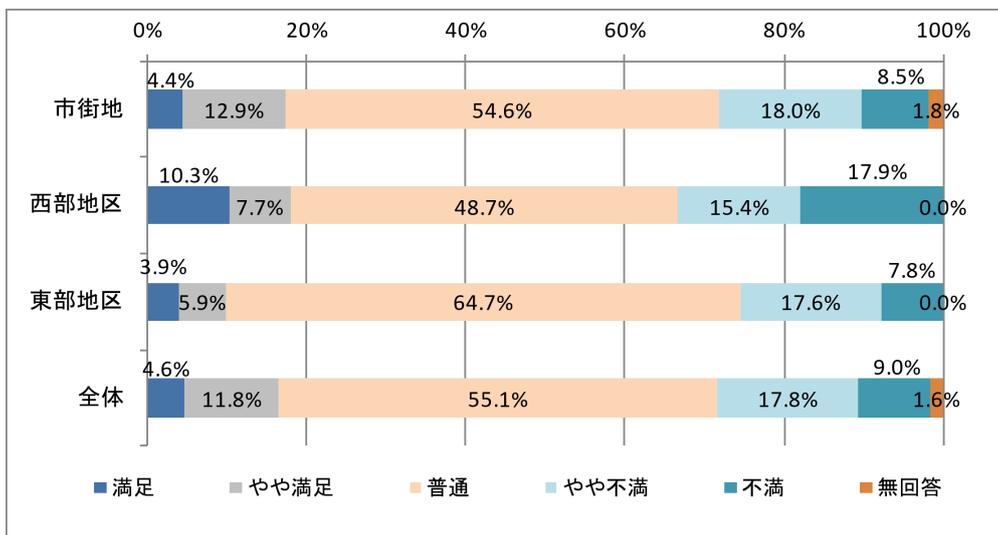


### (3) 市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度

市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は16.4%となっており、昨年度調査の結果よりやや低下している。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、東部地区でやや低い傾向にある。昨年度と比べると、各地区ともに「満足」と「やや満足」を合わせた割合がやや低下している。

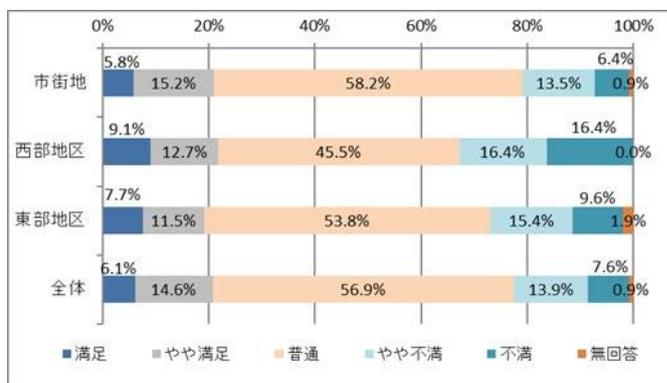
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

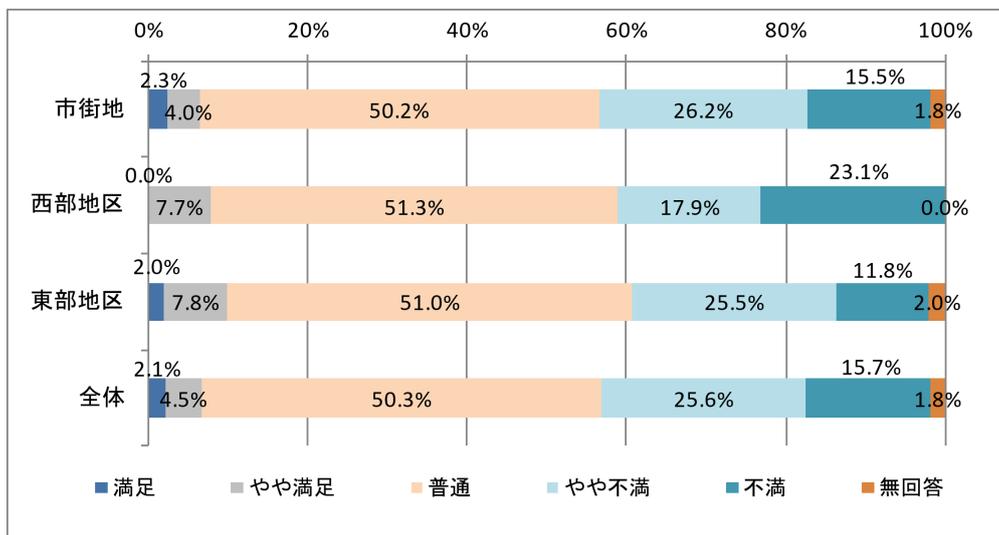


#### (4) 公共交通機関の利便性に対する満足度

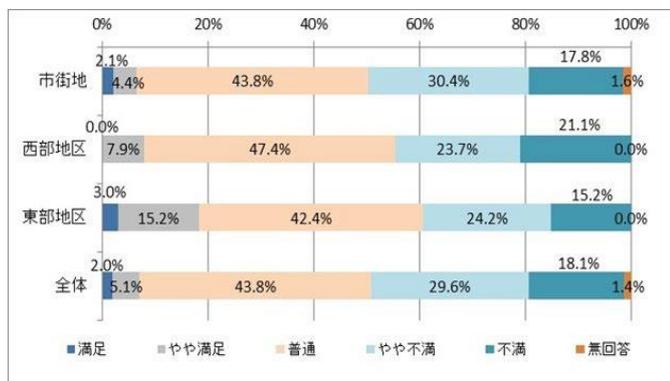
公共交通機関の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は6.6%となっており、昨年度と同程度で推移している。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、東部地区が最も高くなっている。昨年度と比べると、伸びが目立っていた東部地区の満足度が低下している。

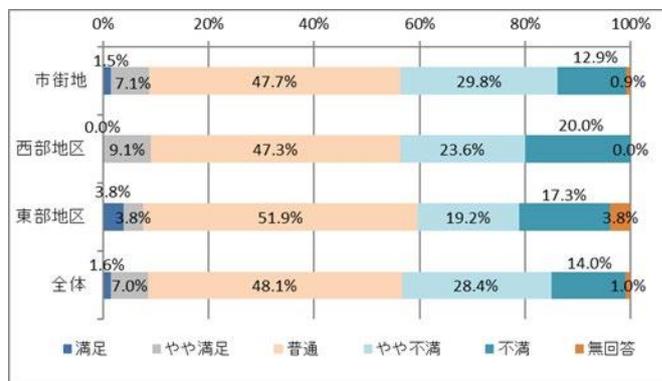
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



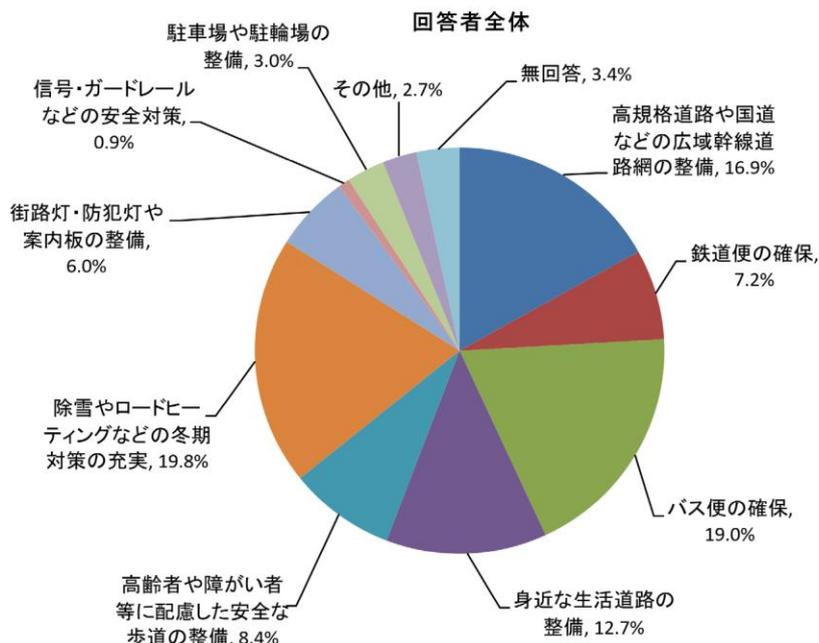
## (5) 交通に関する施策について

### ①市民全体

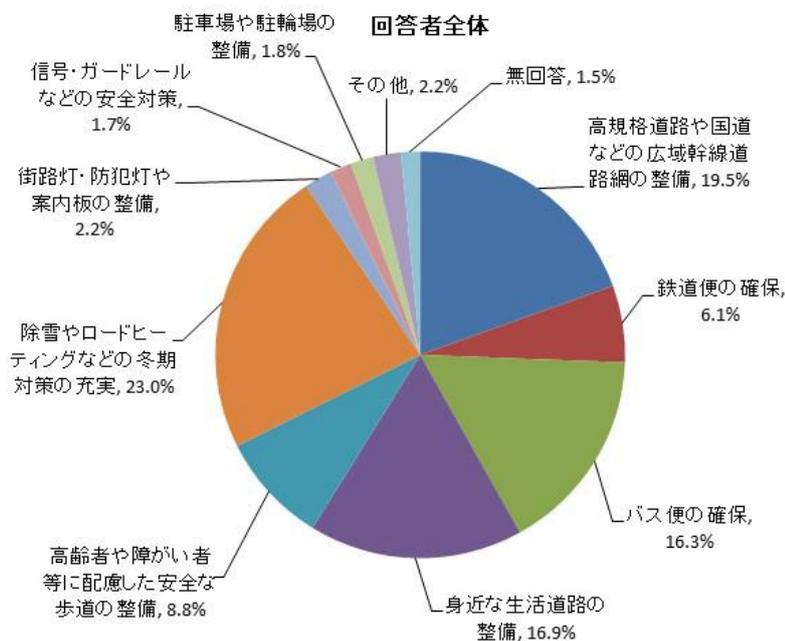
今後重点的に取り組むべきと考える交通施策については、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が最も多く、次いで、「バス便の確保」、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網整備」、「身近な生活道路の整備」の順となっており、2位以降の順位に変動はみられたものの、総じてみれば昨年度までと同様の回答傾向となっている。

昨年度調査の結果と比べると、「バス便の確保」を望む回答の割合が増加している。

<令和6年度調査>



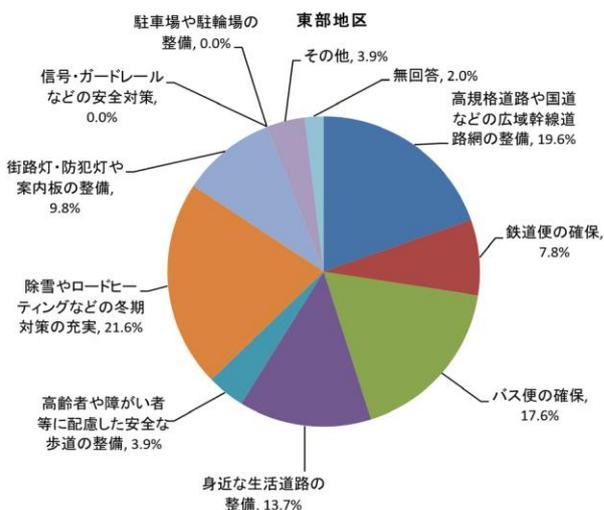
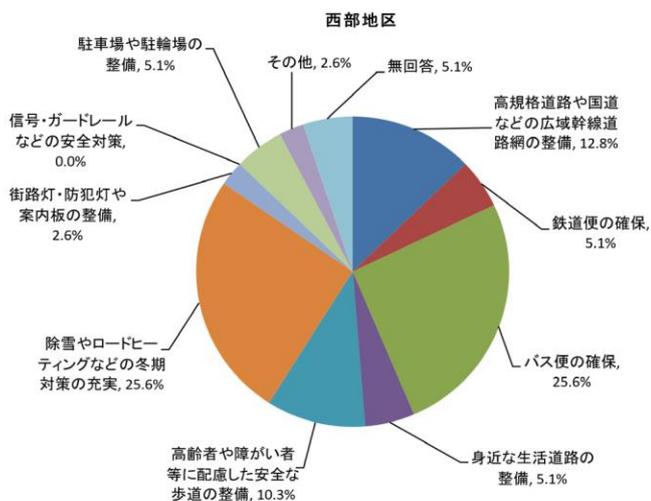
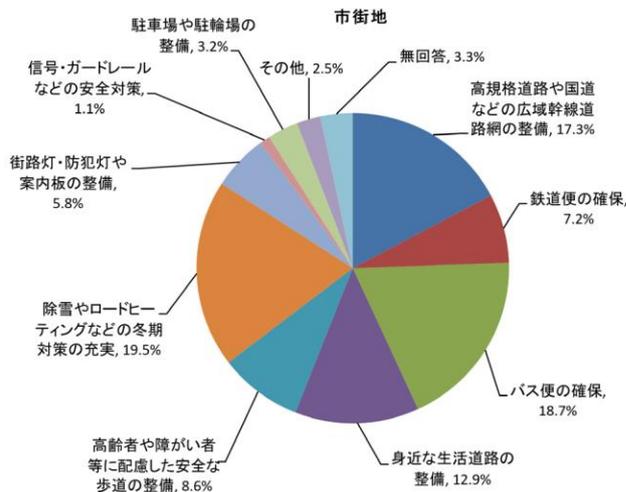
<令和5年度調査>



## ②地区別

地区によって順位は異なっているものの、いずれの地区も「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が上位にあがっている。

地区別にみると、西部地区では「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」、「バス便の確保」の回答率が高い。



### 3. 10 生活環境について

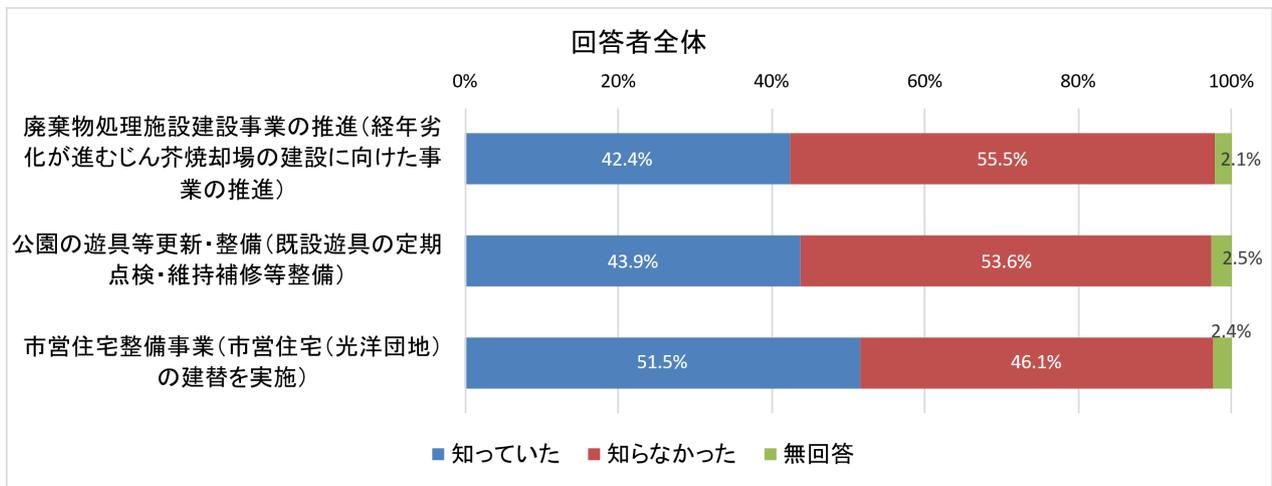
#### (1) 施策に対する認知度

##### ①市民全体

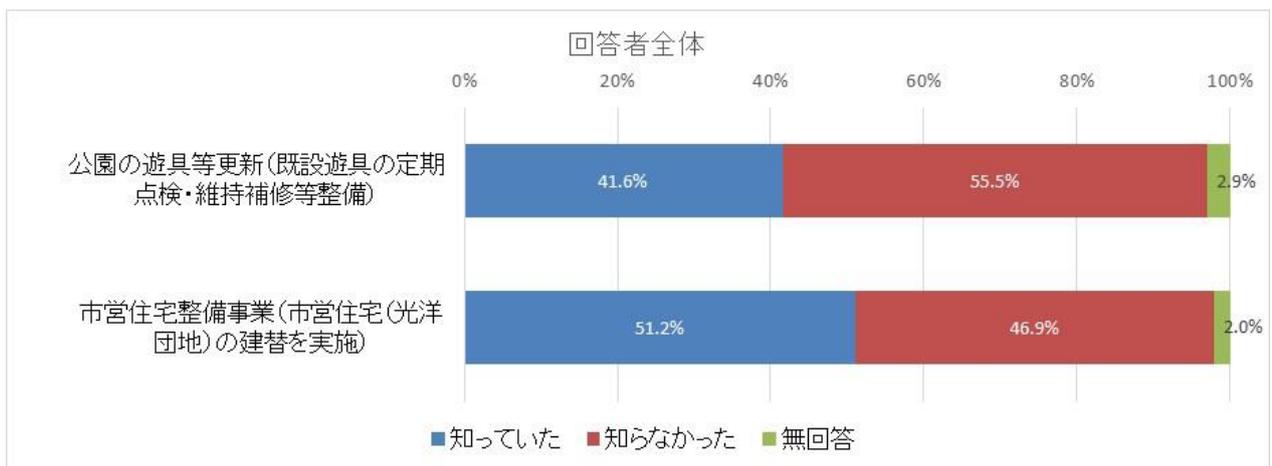
根室市で実施している生活環境に関する主要施策についての認知度をみると、「市営住宅整備事業」で51.5%、「公園の遊具等更新」で43.9%となっている。いずれも認知度は昨年度から大きくは上昇しなかった。

また、今年度より調査項目に加わった「廃棄物処理施設建設事業の推進」の認知度は、42.4%となっている。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>

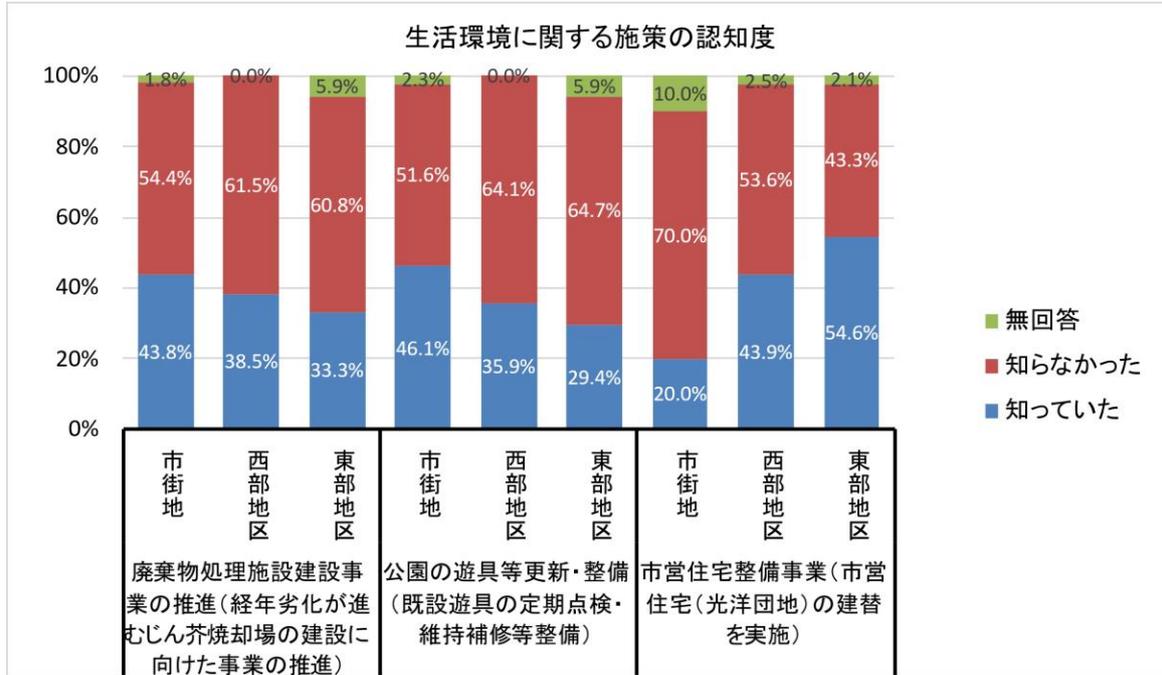


## ②地区別

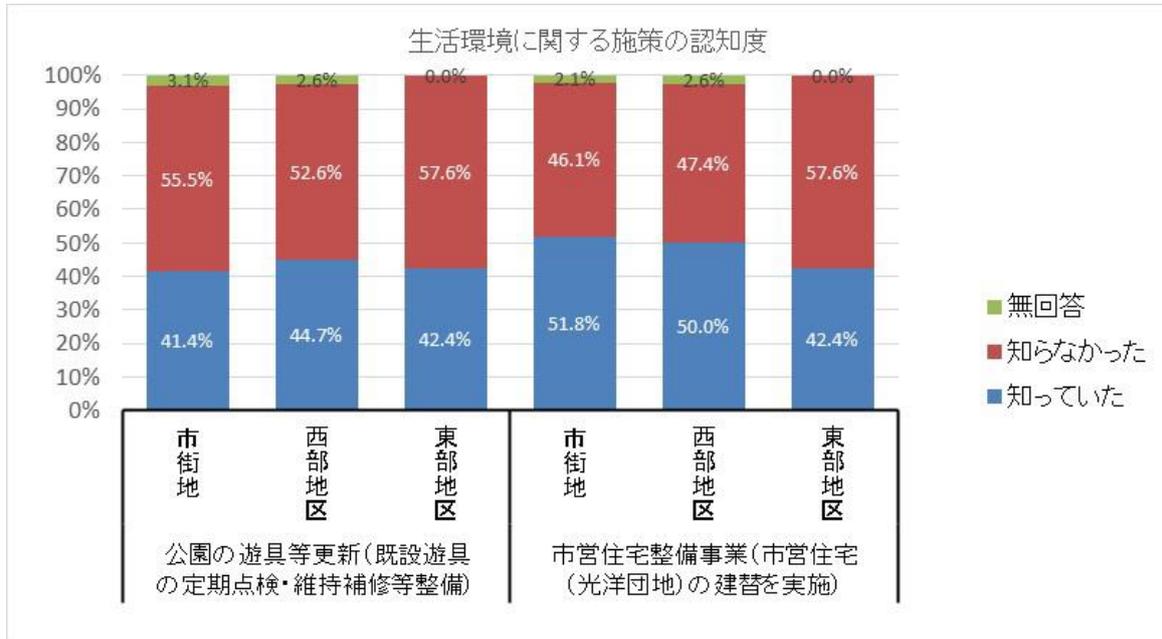
生活環境に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「廃棄物処理施設建設事業の推進」、「公園の遊具等更新・整備」では市街地での認知度が高く、「市営住宅整備事業」では東部地区での認知度が高くなっている。

昨年度調査の結果と比べると、「市営住宅整備事業」の市街地での認知度が大きく下落している。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>

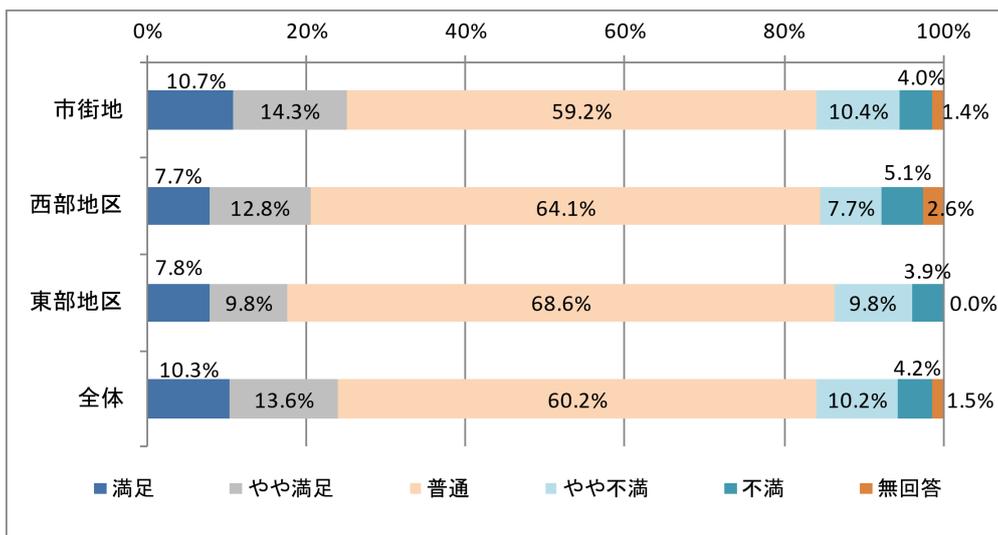


## (2) 郊外の森林環境に対する満足度

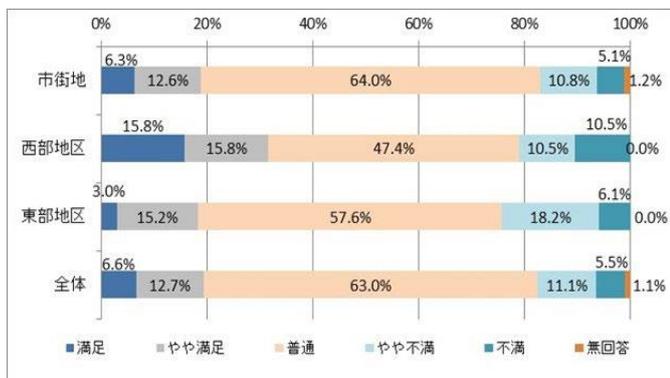
郊外の森林環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は 23.9% となっており、昨年度までの調査結果より上回った。

地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地が 25.0%で最も高くなっている。昨年度と比べると、これまで他地域より高い傾向で推移してきた西部地区の満足度が低下している。

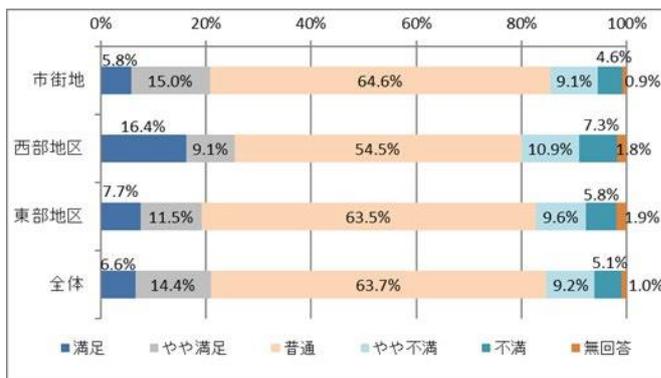
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

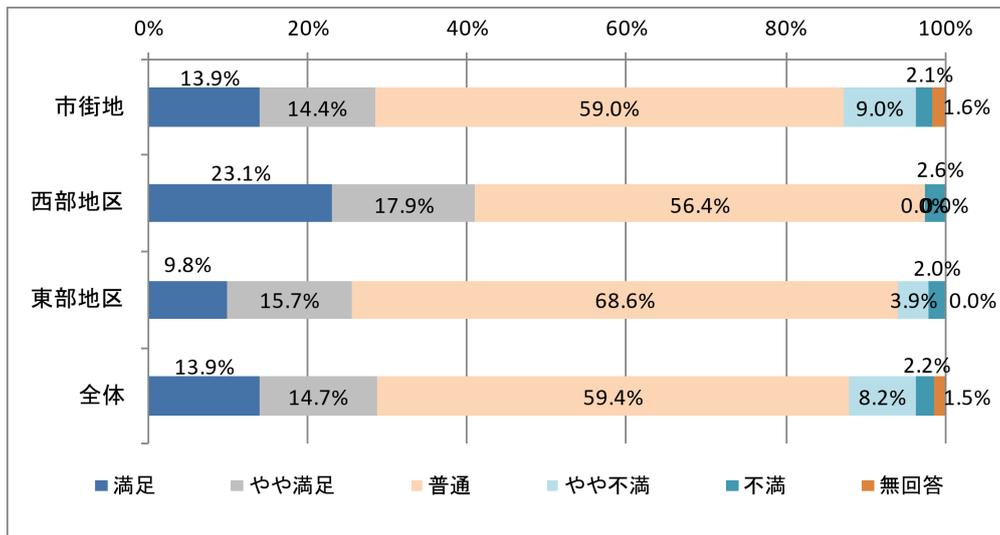


### (3) 住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度

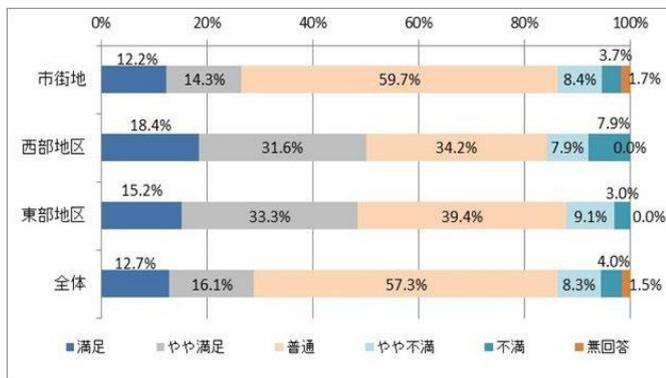
住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は28.6%となっており、昨年度調査の結果と同程度で推移している。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、西部地区で高くなっている。昨年度と比べると、西部地区、東部地区で低下している。

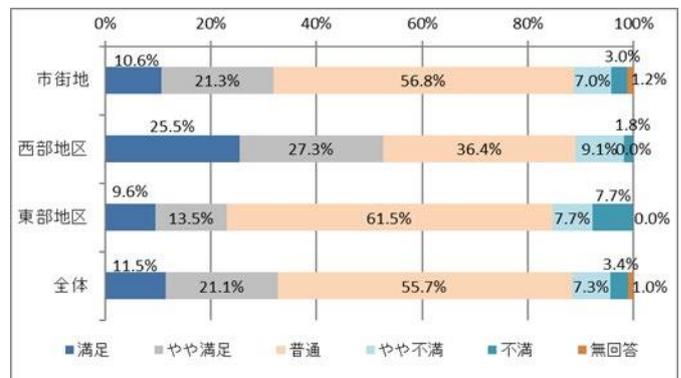
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

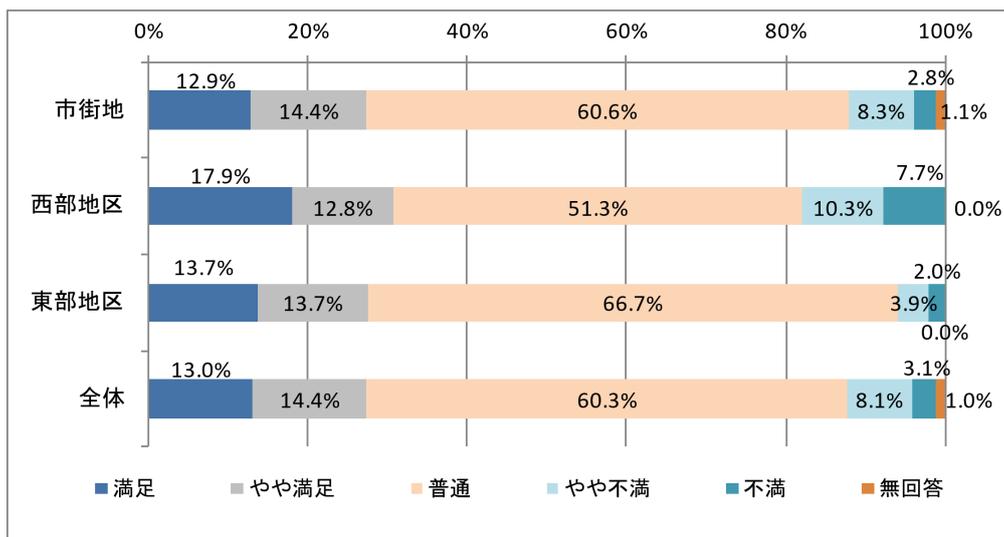


#### (4) 上水道の整備状況に対する満足度

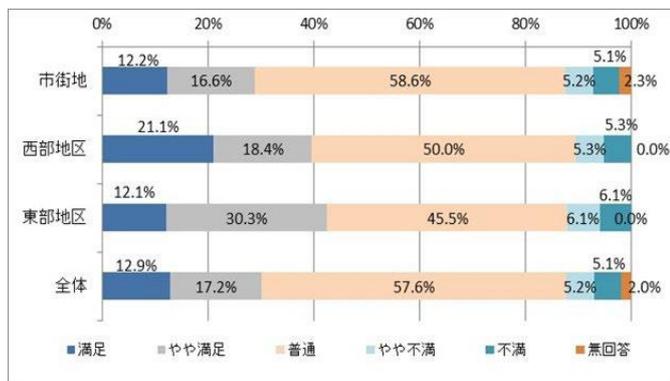
市内の上水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は市民全体で27.4%となっており、昨年度の調査結果よりやや低下した。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、各地区とも同程度となっている。昨年度と比べると、市街地では昨年度と同程度になっているものの、西部地区、東部地区では低下している。

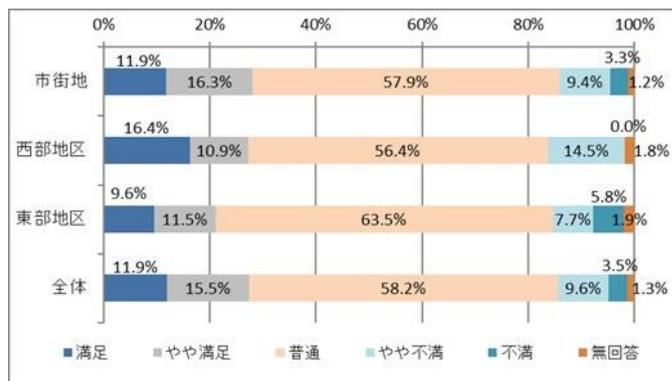
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

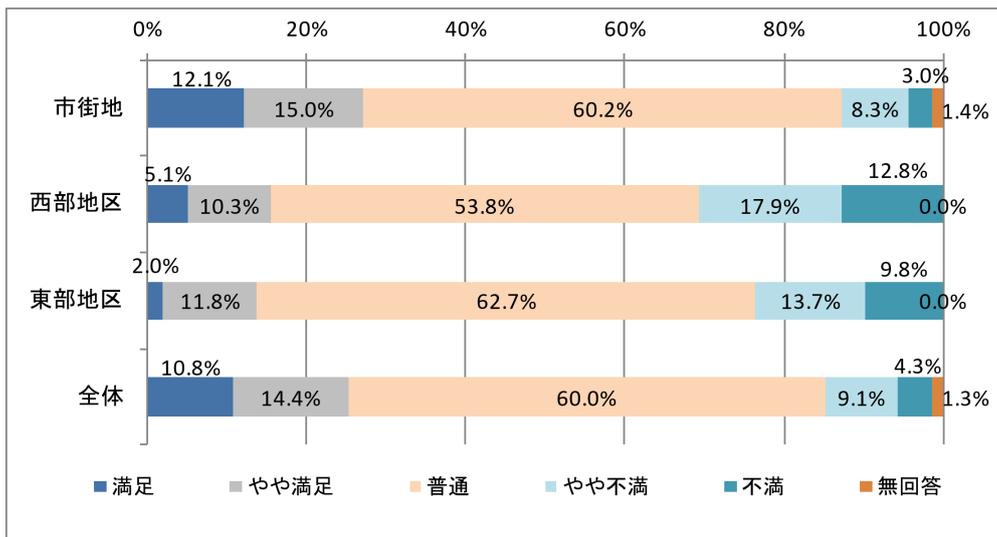


### (5) 下水道の整備状況に対する満足度

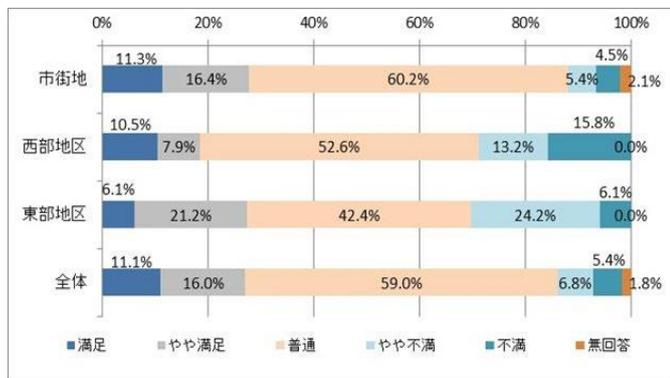
市内の下水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市民全体で25.2%となっており、昨年度と同程度となっている。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で高く、西部地区、東部地区では低くなっている。昨年度と比べると、市街地と西部地区は同様の水準となっているのに対して、東部地区で低下している。

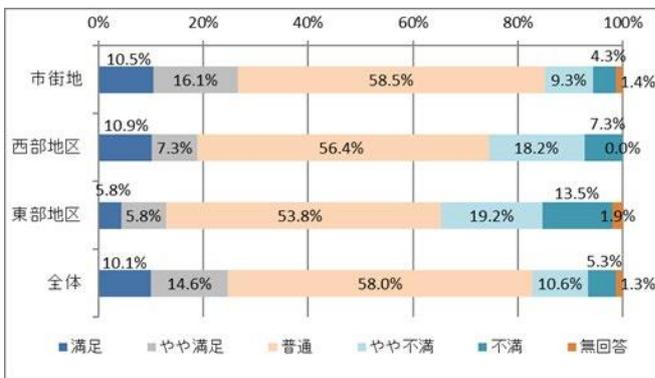
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

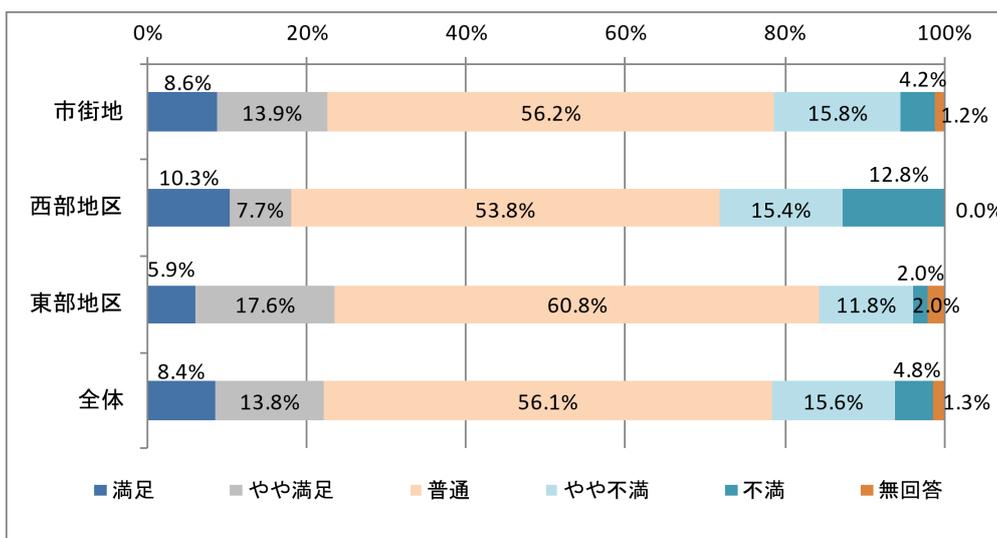


## (6) 公園や広場の利用のしやすさに対する満足度

市内の公園や広場の利用のしやすさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市民全体で22.2%となっている。「ふるさと遊びの広場」(愛称：わんぱーく)が令和3年12月にオープンしたことで、一時期は満足度の上昇がみられたものの、効果が一巡したためか、直近の調査では満足度が横ばいとなっている。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地と東部地区は全体と同様の水準にあるものの、西部地区の満足度がやや低くなっている。昨年度と比べると、各地区とも概ね同傾向で推移している。

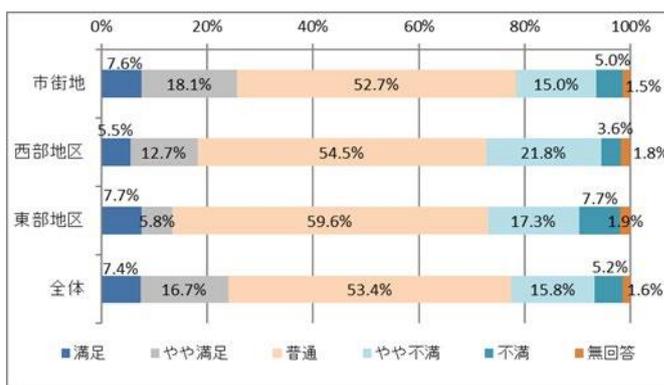
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

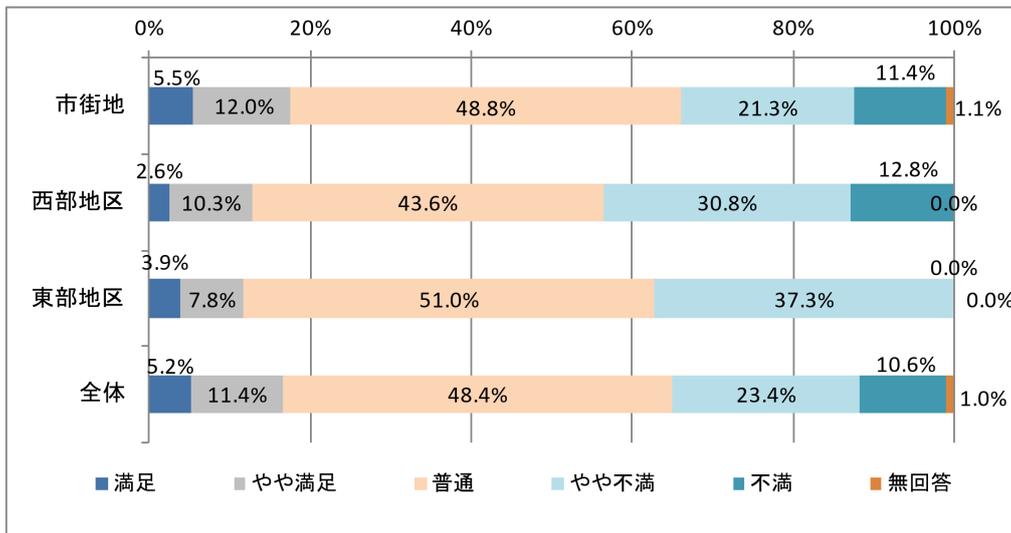


### (7) 買い物の利便性に対する満足度

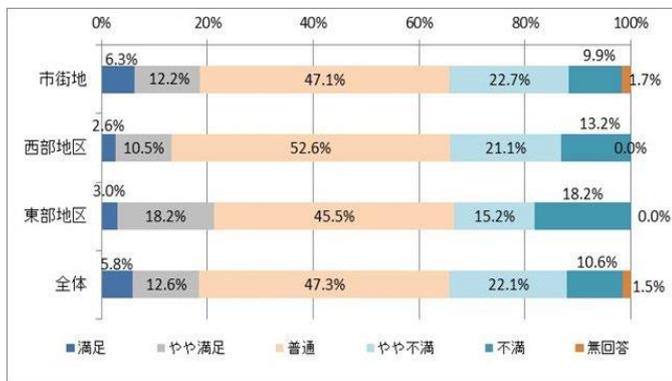
市内の買い物の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市民全体で16.6%となっており、これまでの調査と概ね同程度で推移している。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地でやや高くなっている。昨年度と比べると、市街地、西部地区では概ね同程度となっているが、東部地区で低下している。

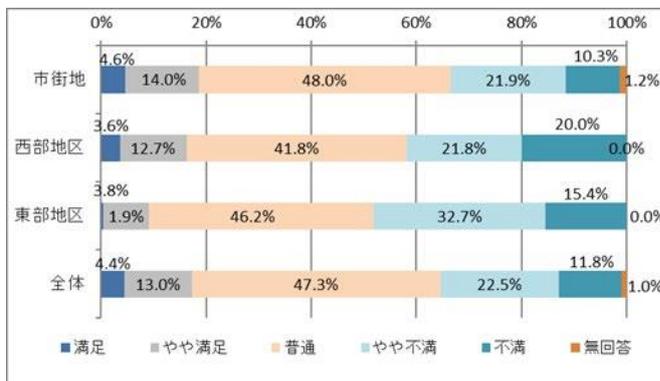
＜令和6年度調査＞



＜令和5年度調査＞



＜令和4年度調査＞



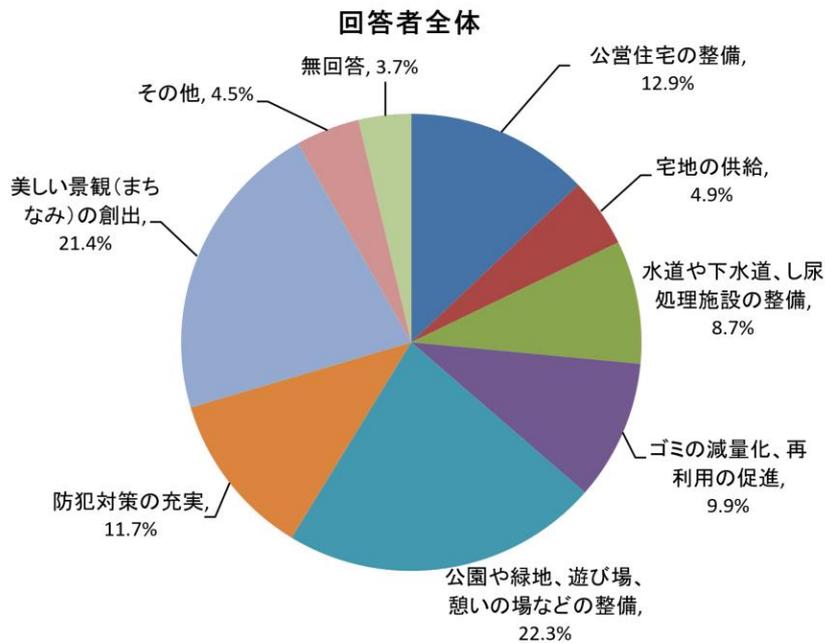
## (8) 生活環境に関する施策について

### ①市民全体

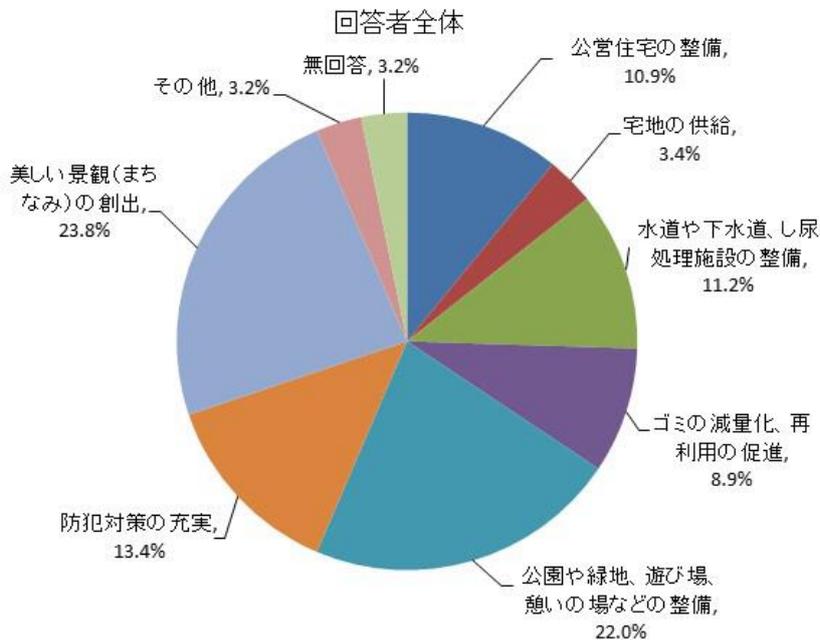
生活環境について、今後重点的に取り組むべきと考える施策を1つ回答してもらった結果、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」が22.3%と最も多く、次いで、「美しい景観（まちなみ）の創出」、「防犯対策の充実」の順となっている。

昨年度までの調査結果と比べると、昨年度に初めて2位となった「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」の順位が1位となり、「美しい景観（まちなみ）の創出」を上回る結果になったが、これらは概ね同程度の回答率となっている。

<令和6年度調査>



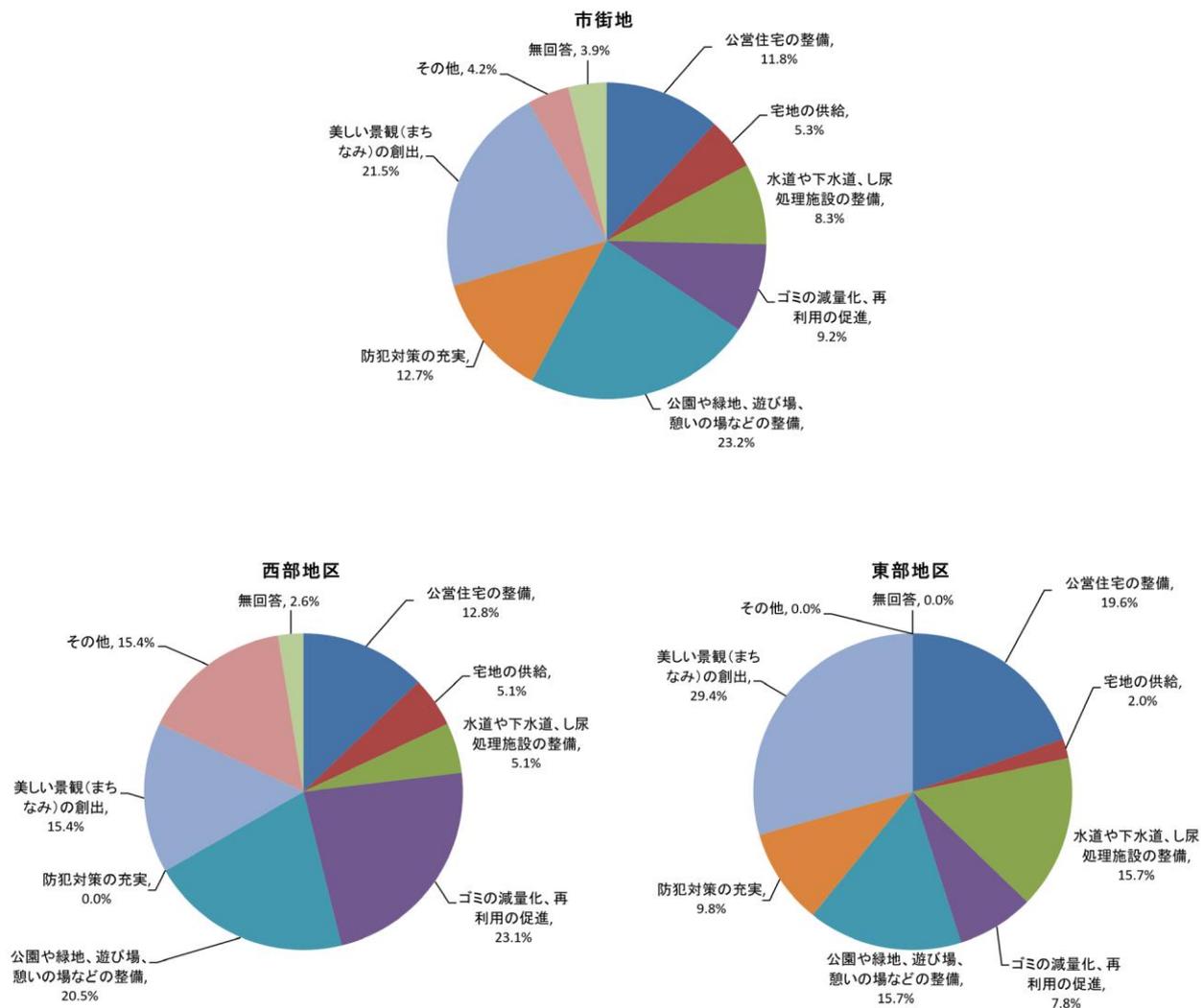
<令和5年度調査>



## ②地区別

地区によって順位は異なっているものの、いずれの地区も「美しい景観（まちなみ）の創出」、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」、「公営住宅の整備」が上位にあがっている。

地区別にみると、西部地区では「ゴミの減量化、再利用の促進」の回答割合が高く、東部地区では「水道や下水道、し尿処理施設の整備」の回答割合が他の地区よりも高くなっている。



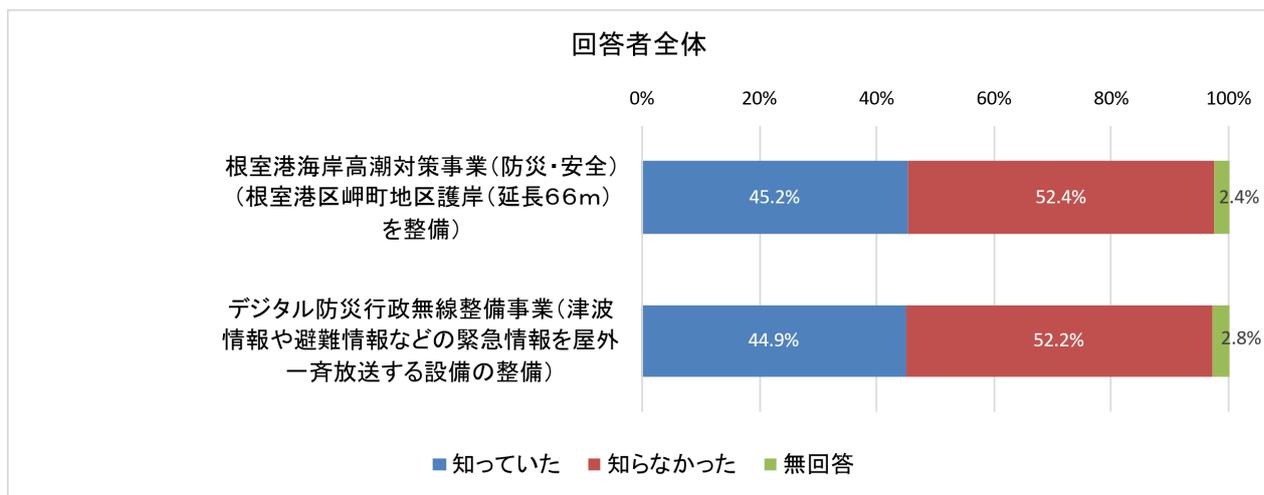
### 3. 1 1 防災・減災対策について

#### (1) 施策に対する認知度

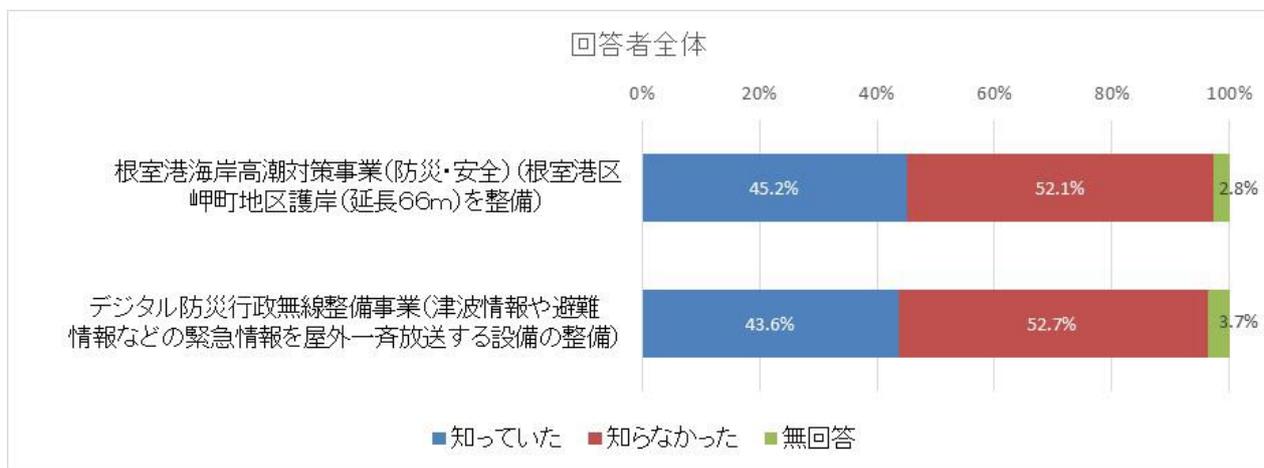
##### ①市民全体

根室市で実施している防災・減災に関する主要施策についての認知度をみると、「根室港海岸高潮対策事業」で45.2%、「公園の遊具等更新」で44.9%となっている。2事業とも昨年度調査と同程度の結果となっている。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>

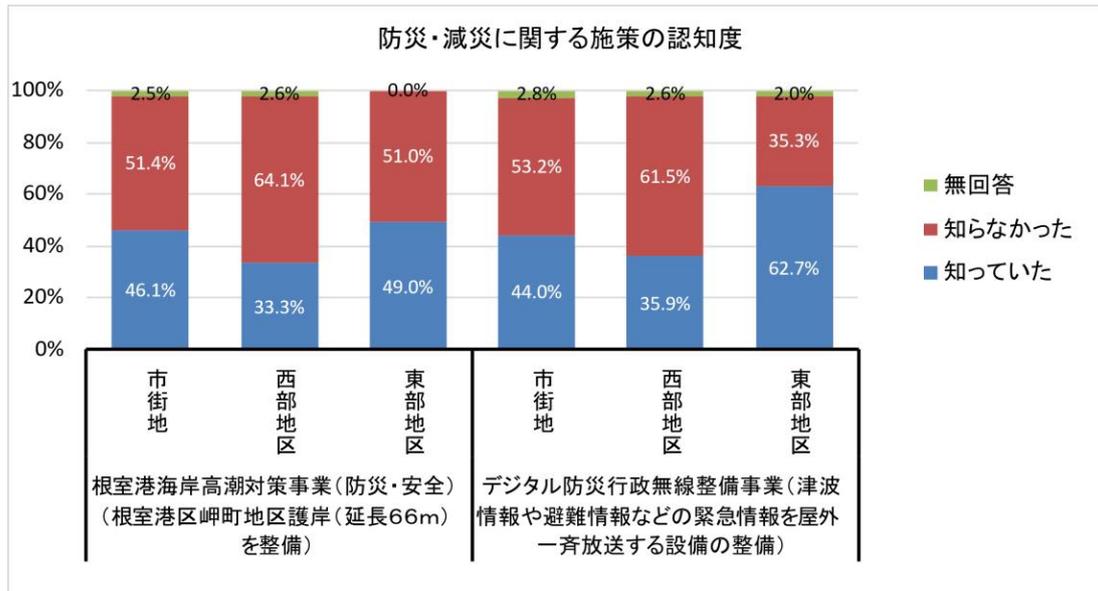


## ②地区別

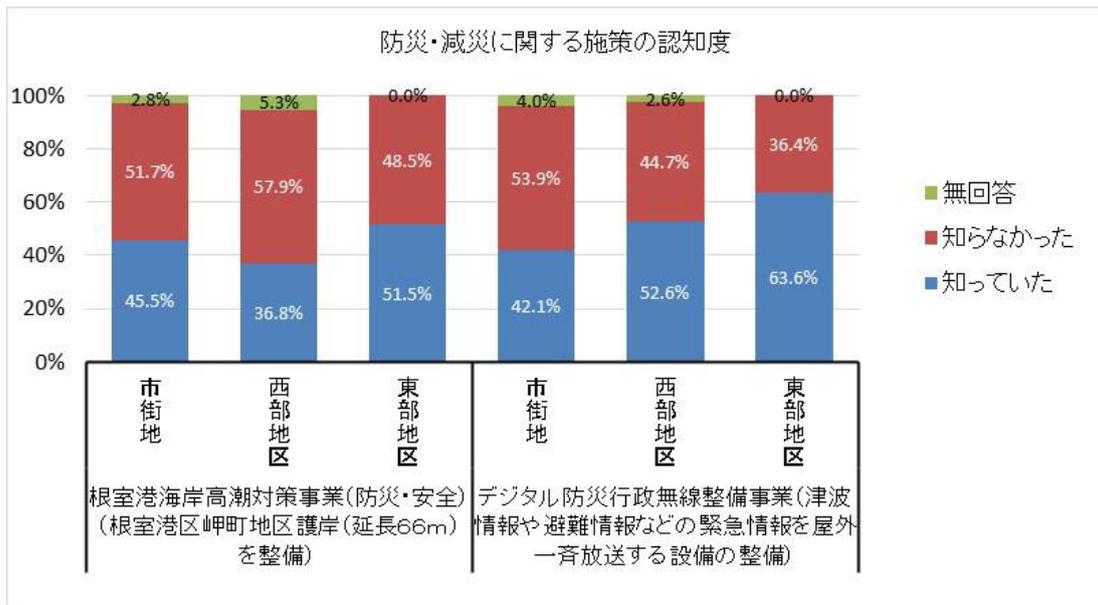
防災・減災に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、2事業とも漁業者の多い東部地区での認知度が高くなっている。一方、西部地区での認知度はいずれの事業でも低くなっている。

昨年度調査の結果と比べると、概ね同程度の結果となっているが、西部地区での「デジタル防災行政無線整備事業」への認知度は低下した。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



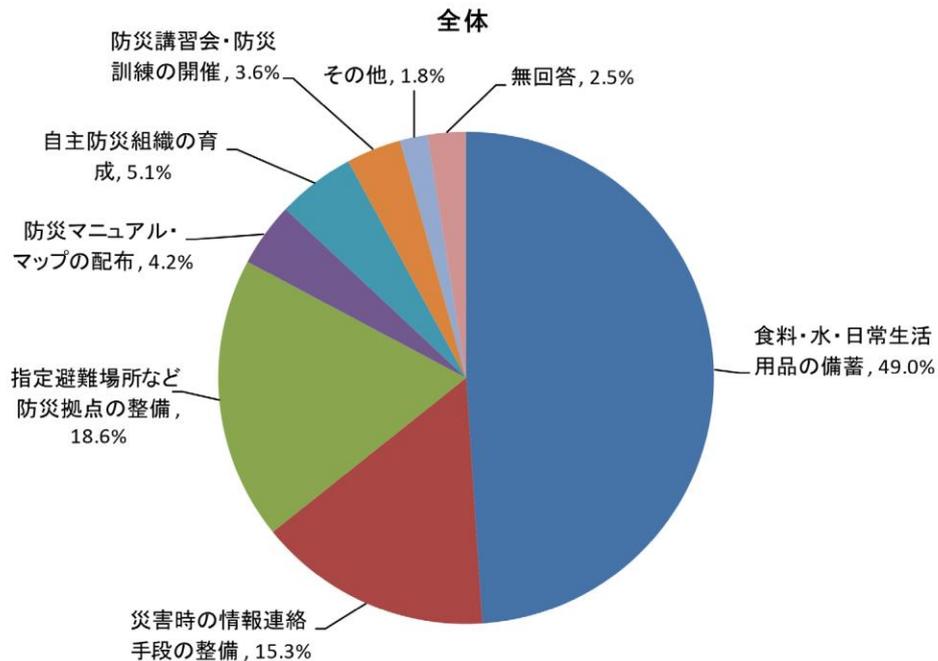
## (2) 防災対策に関する施策について

### ①市民全体

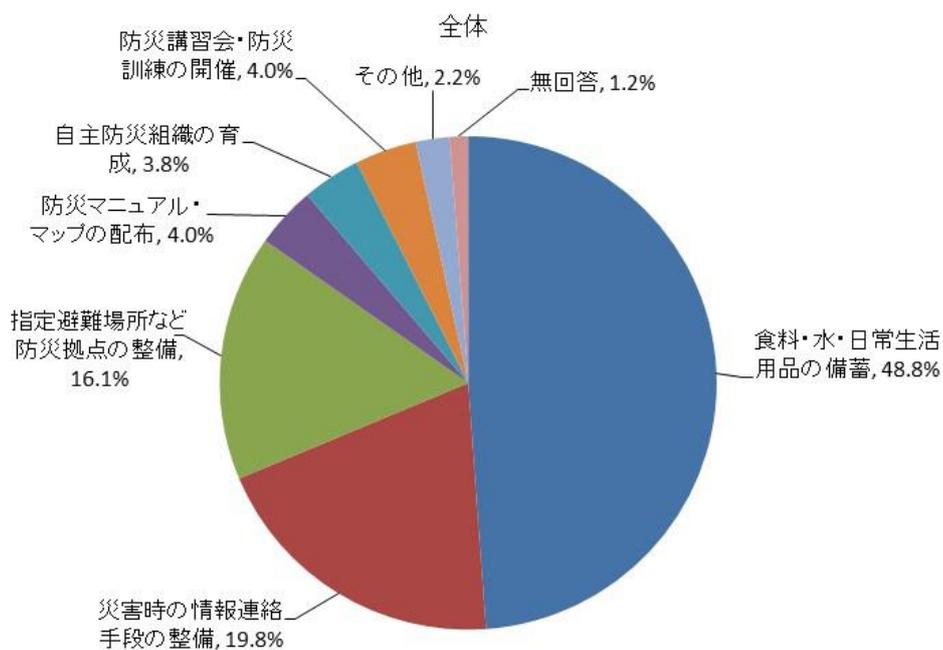
防災・減災対策として重要であると考える項目を1つ回答してもらった結果をみると、「食料・水・日常生活用品の備蓄」が49.0%と最も多く、次いで、「指定避難場所など防災拠点の整備」、「災害時の情報連絡手段の整備」と続いている。

順位に変動はみられたものの、昨年度とほぼ同様の結果となっている。

<令和6年度調査>



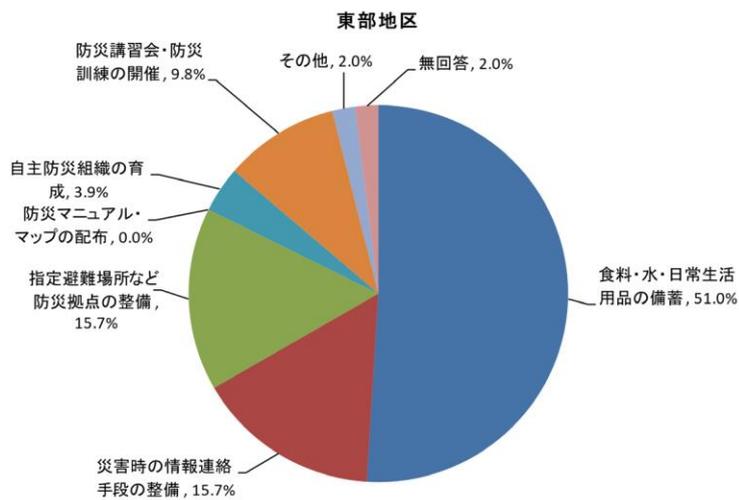
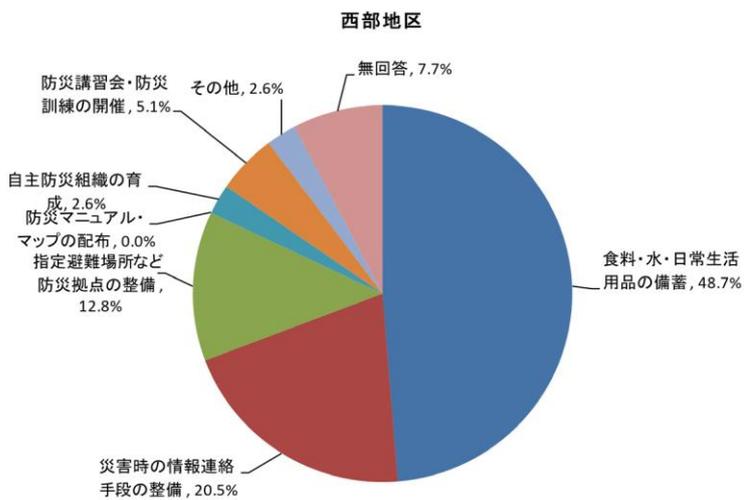
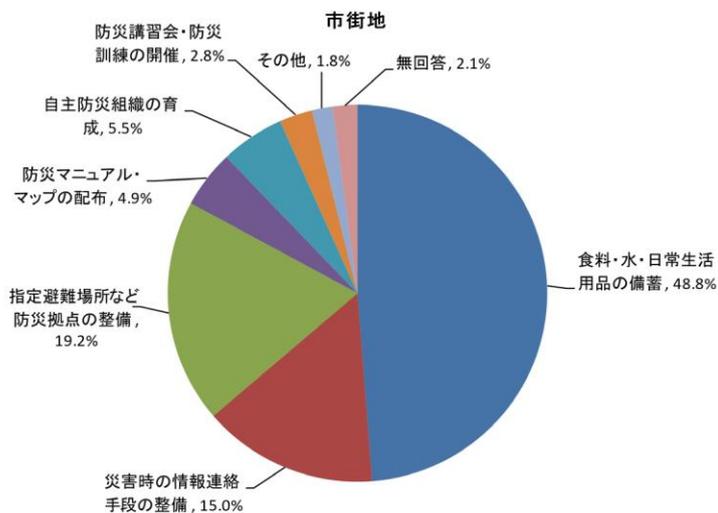
<令和5年度調査>



## ②地区別

各地区とも「食料・水・日常生活用品の備蓄」、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」の3項目が上位にあがっている。

それ以外の項目では、東部地区での「防災講習会・防災訓練の開催」の回答率が他の地区と比べて高い。



### 3. 12 学校教育・社会教育について

#### (1) 施策に対する認知度

##### ①市民全体

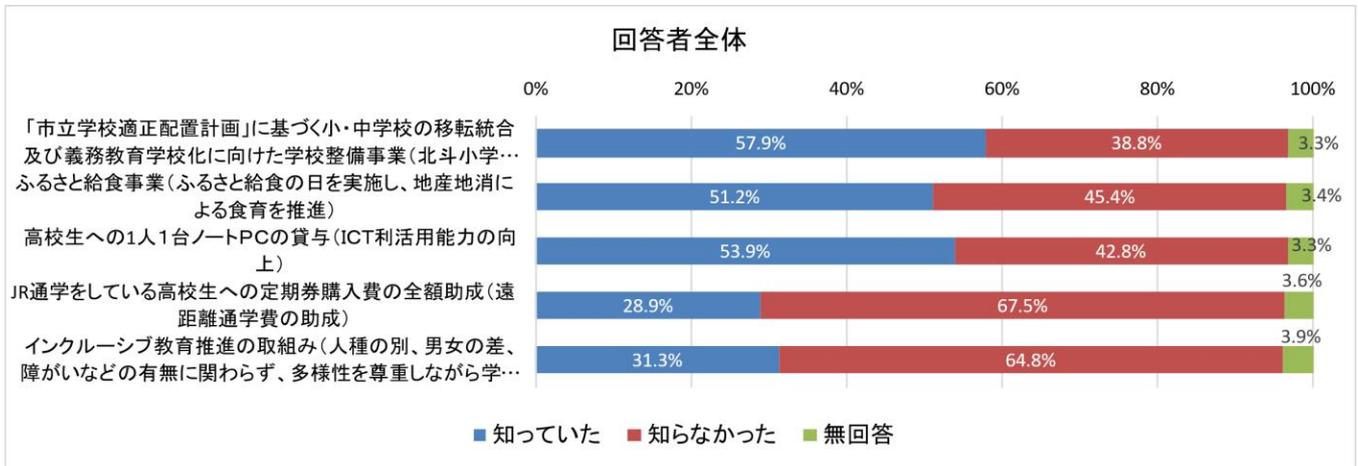
根室市で実施している学校教育に関する主要施策の認知度をみると、『市立学校適正配置計画』に基づく小・中学校の移転統合及び義務教育学校化に向けた学校整備事業「ふるさと給食事業」「高校生への1人1台ノートPCの貸与」が50%を上回っている。

昨年度の結果と比較すると、比較可能な2事業ではいずれも認知度が昨年度よりやや向上した。

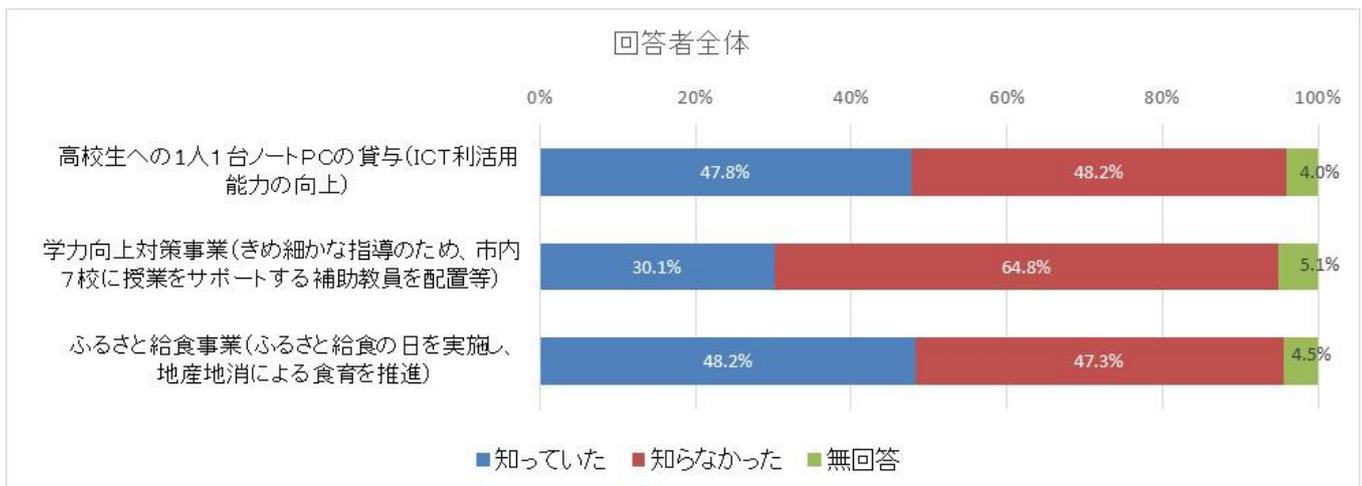
子育て世代である20歳代～40歳代の回答者についてみると、5つの事業とも市民全体の認知度を上回っている。

市民全体における「学校教育」に関する主要施策についての認知度

<令和6年度調査>

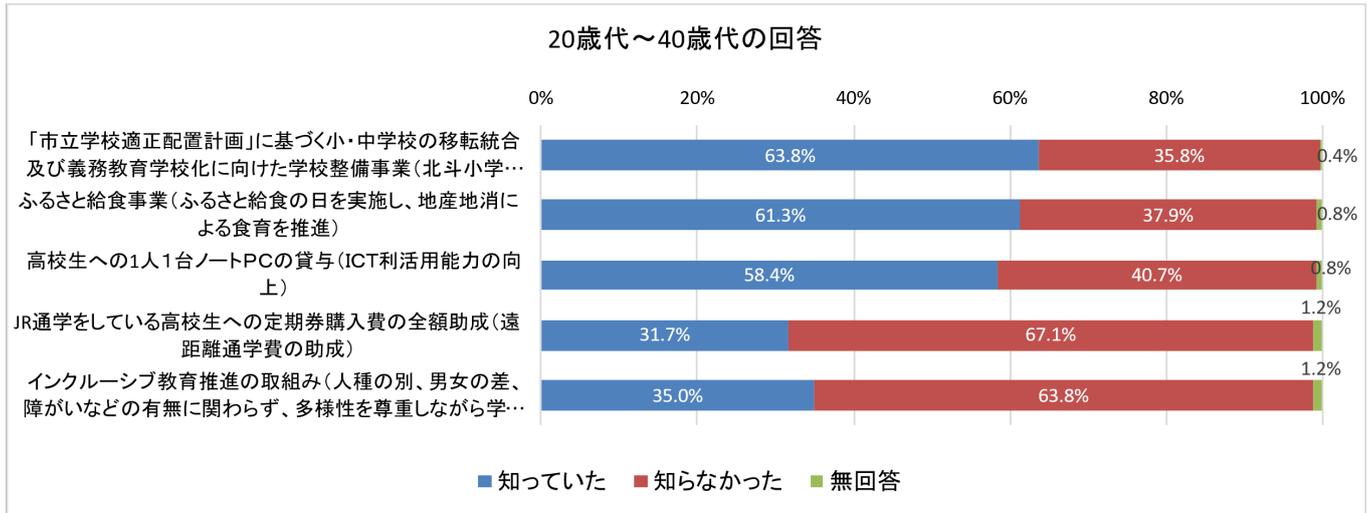


<令和5年度調査>

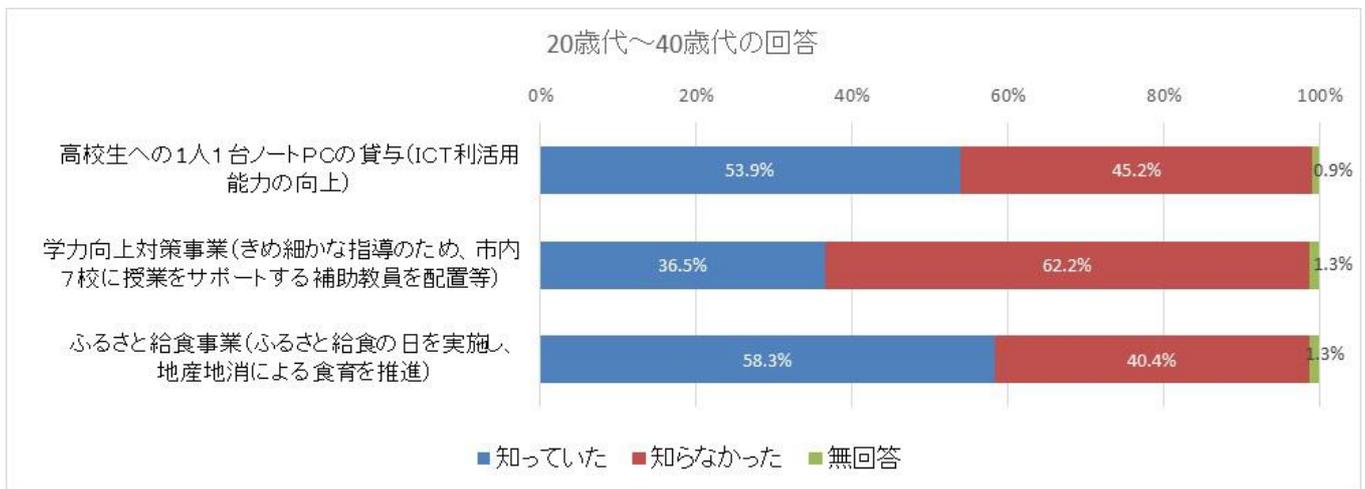


20歳代～40歳代の住民における「学校教育」に関する主要施策についての認知度

<令和6年度調査>



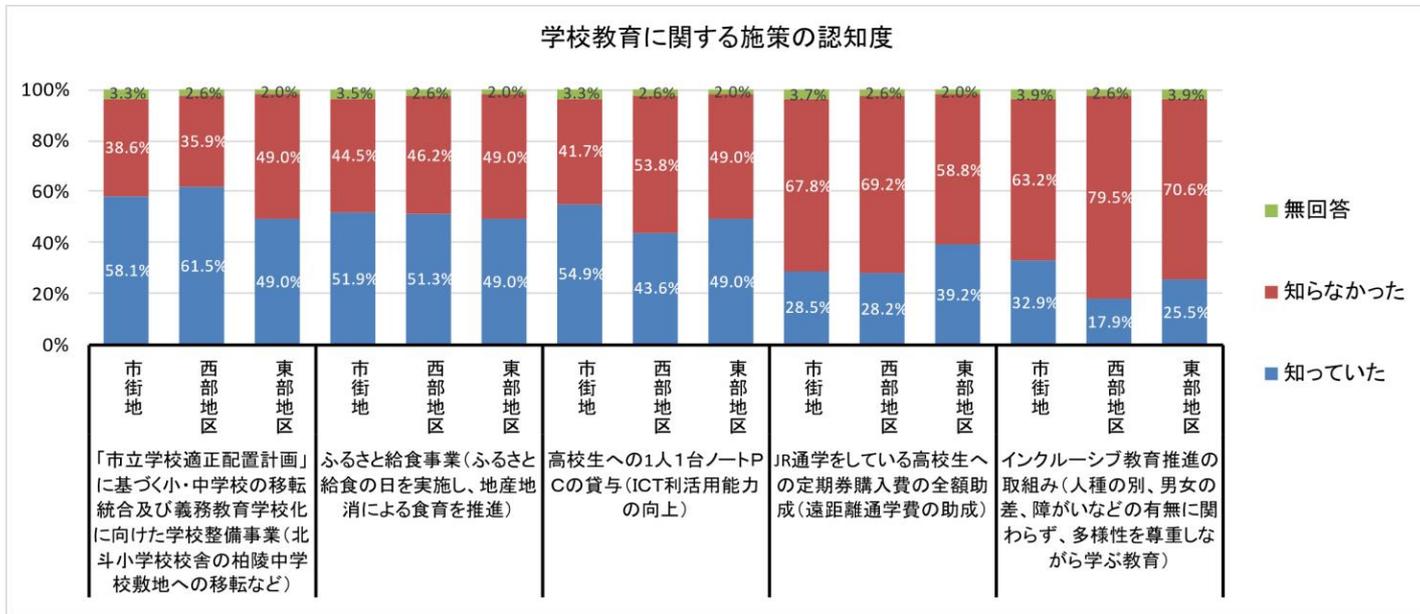
<令和5年度調査>



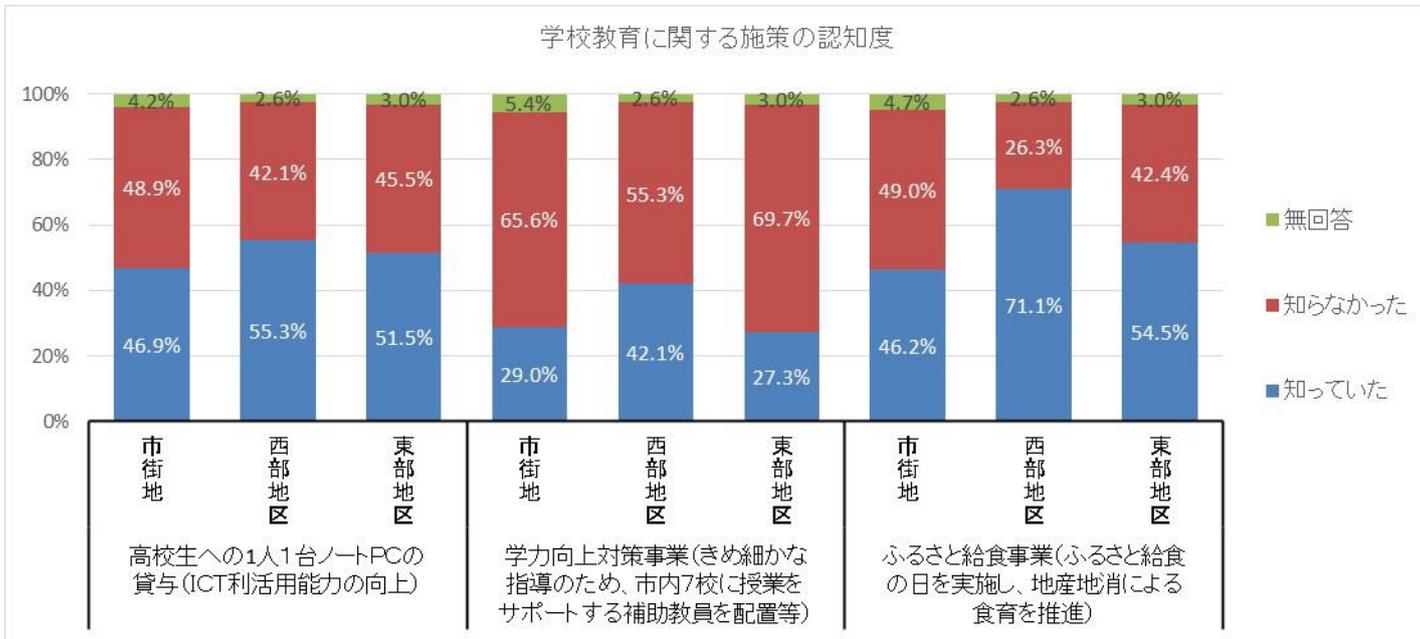
## ②地区別

学校教育に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、昨年度は地区ごとに開きのあった「ふるさと給食事業」の認知度は、各地区ともに50%程度となった。「インクルーシブ教育推進の取組」は、市街地での認知度が他の地区よりも高い。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



## (2) 教育施設や教育環境に対する満足度

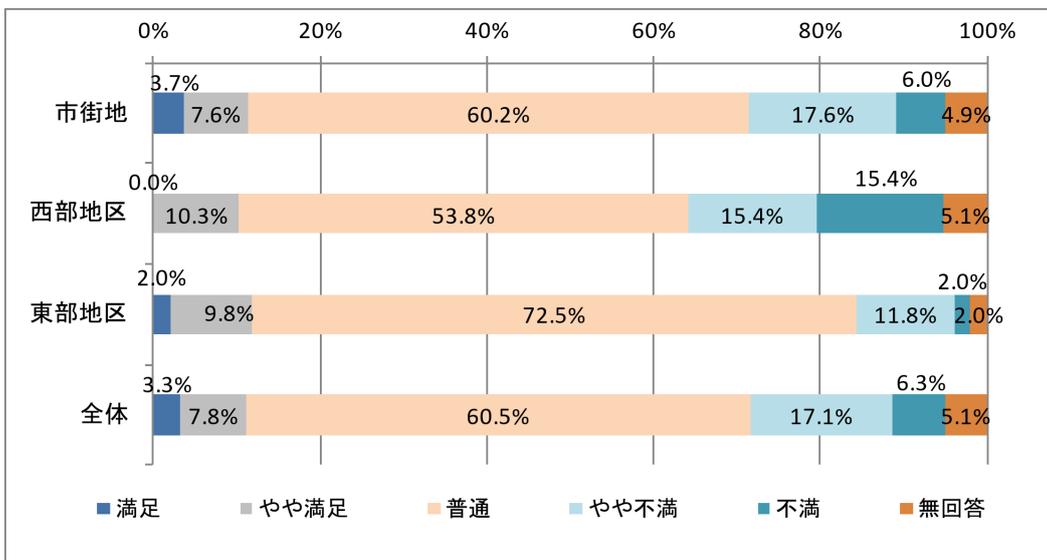
教育施設や教育環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は市民全体で 11.1% となっており、昨年度の調査結果とほぼ同水準であった。

地区別に満足度の割合をみると、市街地は昨年度調査よりやや向上した一方で、西部地区、東部地区では低下している。

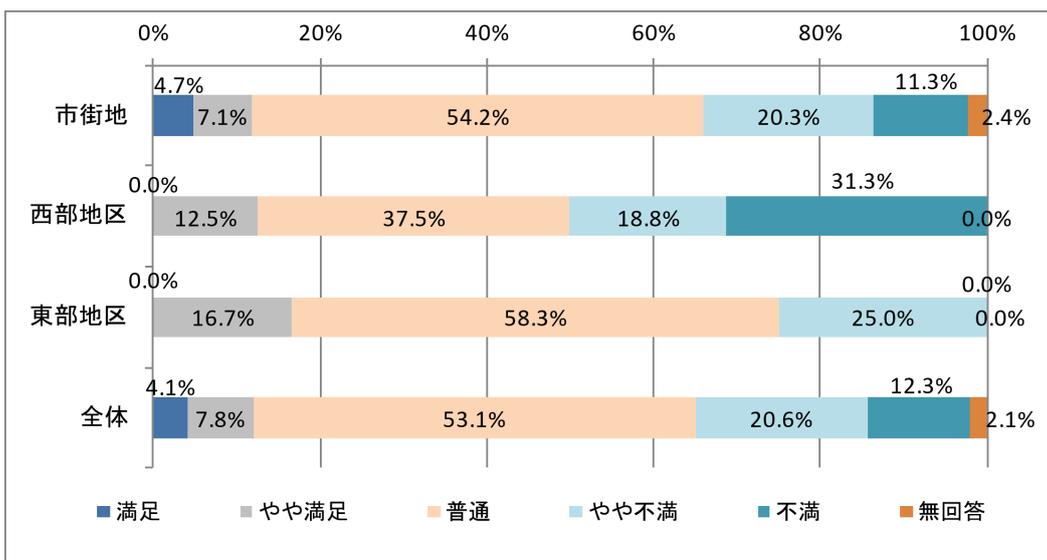
子育て世代である 20 歳代～40 歳代の回答者の評価でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は 11.9% で、市民全体の評価と同程度の結果となった。昨年度調査の結果と比べると、子育て世代における「不満」と「やや不満」の割合が増加している。

<令和 6 年度調査>

(回答者全体)

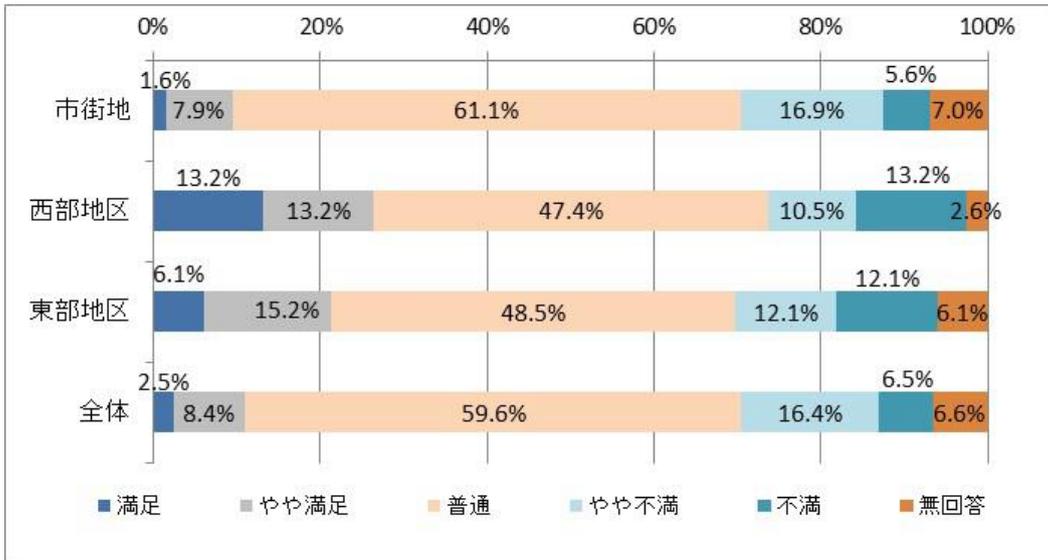


(20 歳代～40 歳代)

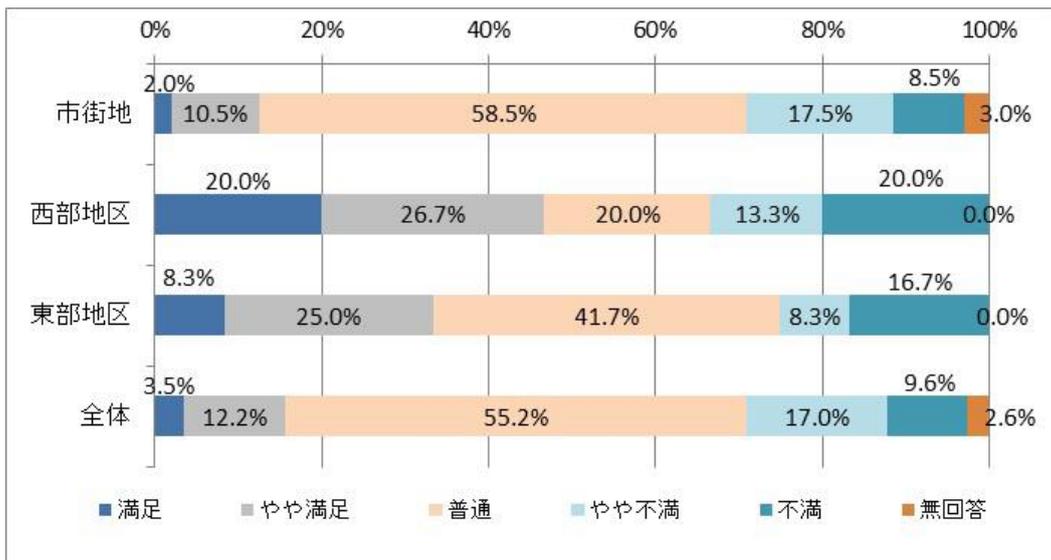


<令和5年度調査>

(回答者全体)



(20歳代～40歳代)



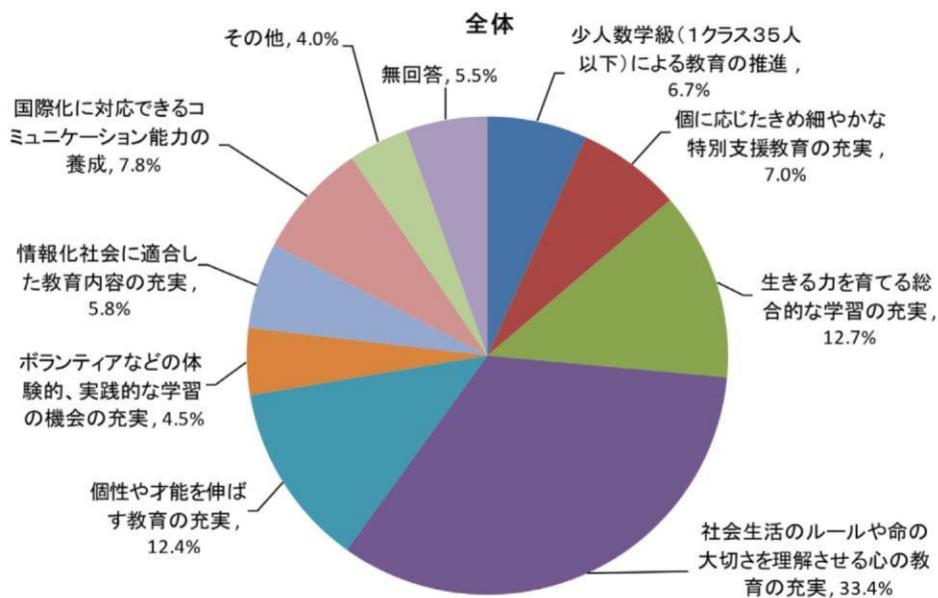
### (3) 学校教育に関する施策について

#### ①市民全体

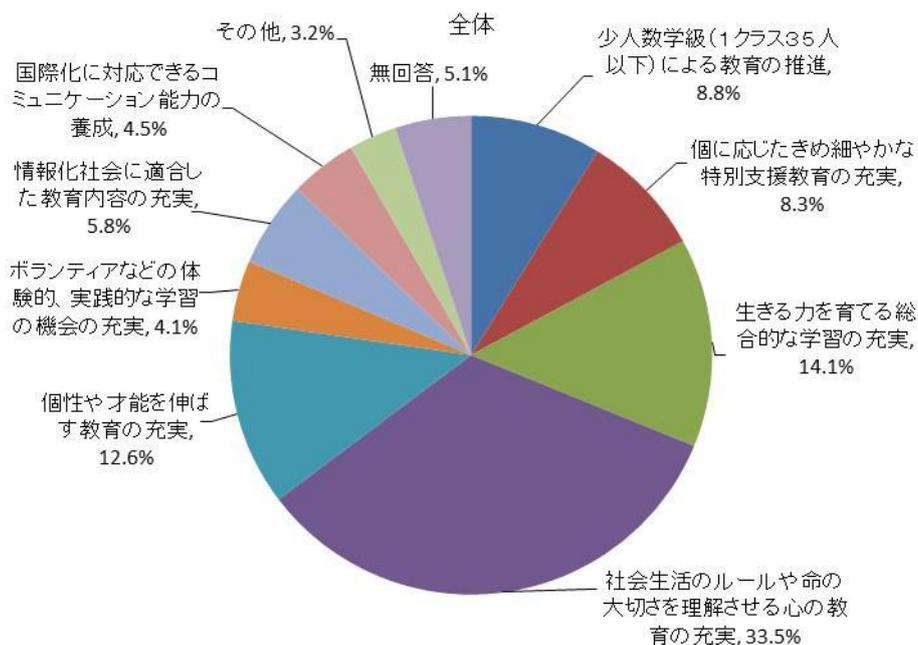
学校教育の充実のために力を注ぐべきと思う施策を1つ回答してもらった結果をみると、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっており、次いで、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」の順となっている。

昨年度調査の結果と比べると、「国際化に対応できるコミュニケーション能力の養成」の回答割合がやや増加しているほかは、ほぼ同様の結果となっている。

<令和6年度調査>

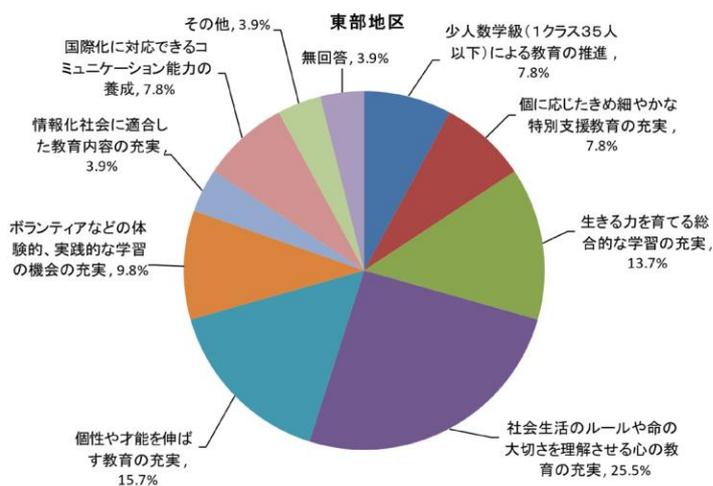
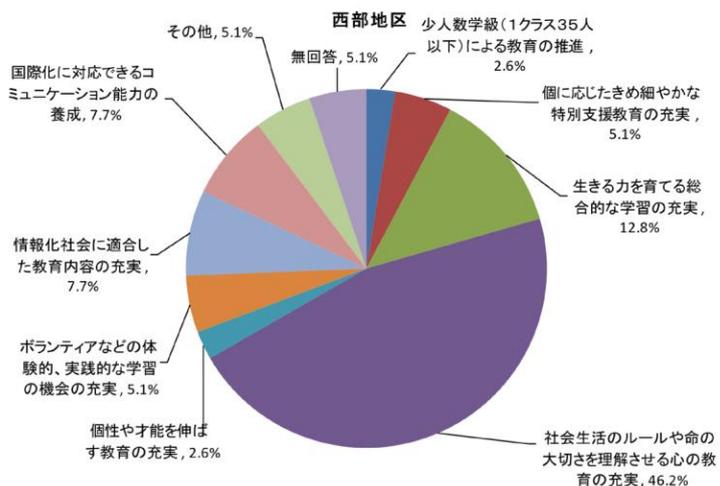
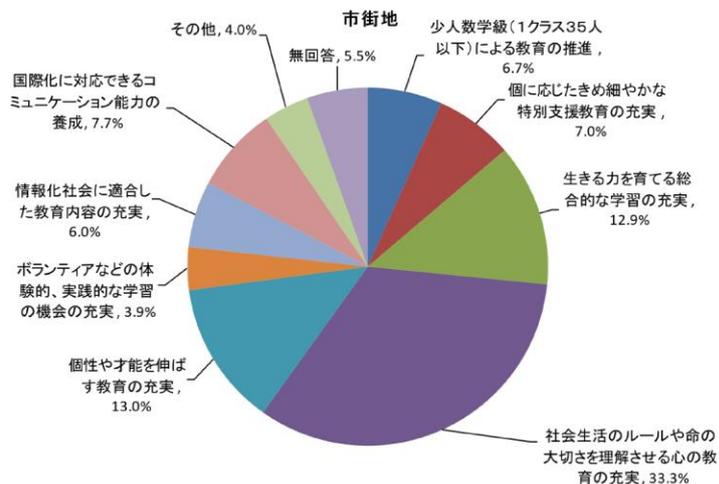


<令和5年度調査>



## ②地区別

市街地と東部地区は「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」と続いている一方で、西部地区は「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」の回答割合のみが突出して多い。



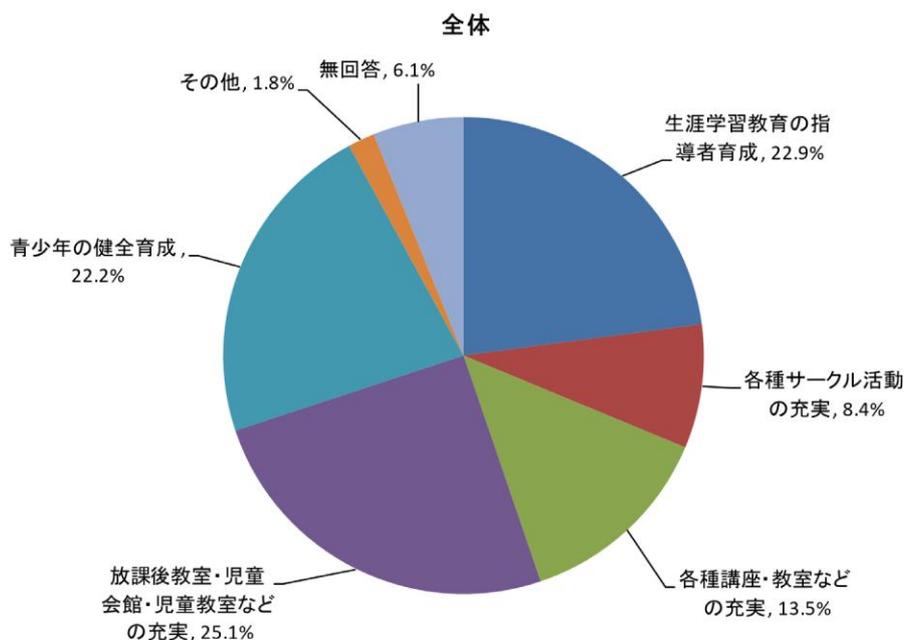
#### (4) 社会教育に関する施策について

##### ①市民全体

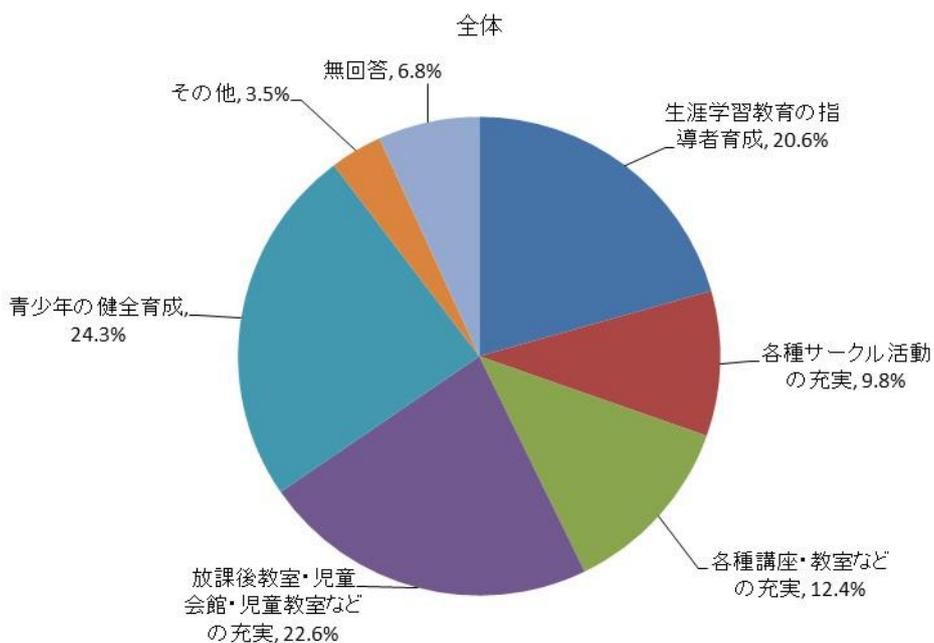
社会教育に関して重要であると考えられる項目 1 つを回答してもらった結果をみると、「放課後教室・児童会館・児童教室などの充実」が 25.1%と最も多く、次いで、「生涯学習教育の指導者育成」、「青少年の健全育成」の順となっている。

順位に変動はみられたものの、この3項目の回答率が高いことは昨年度と同様である。

<令和6年度調査>

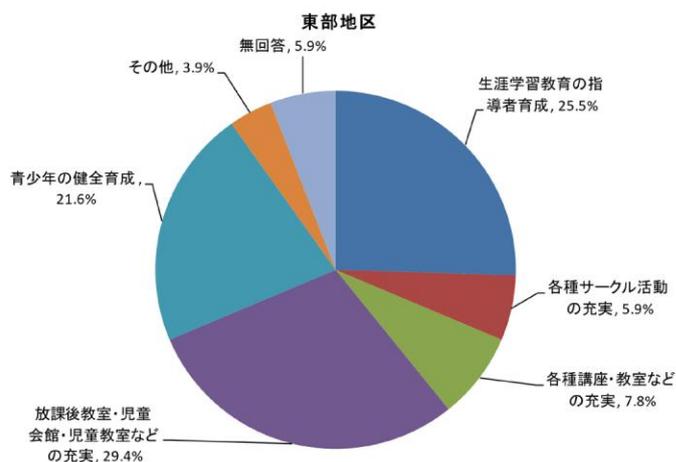
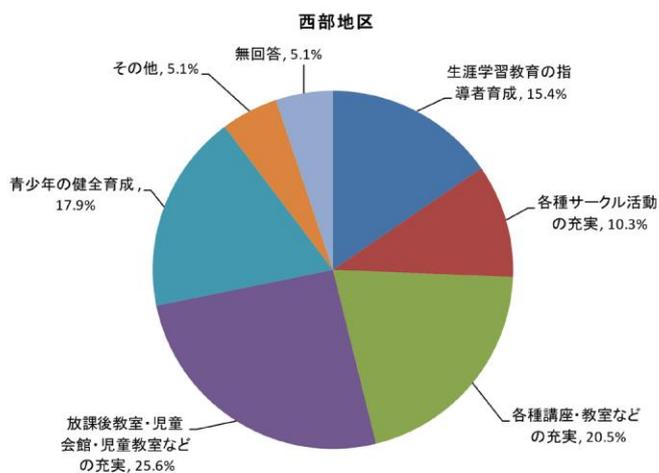
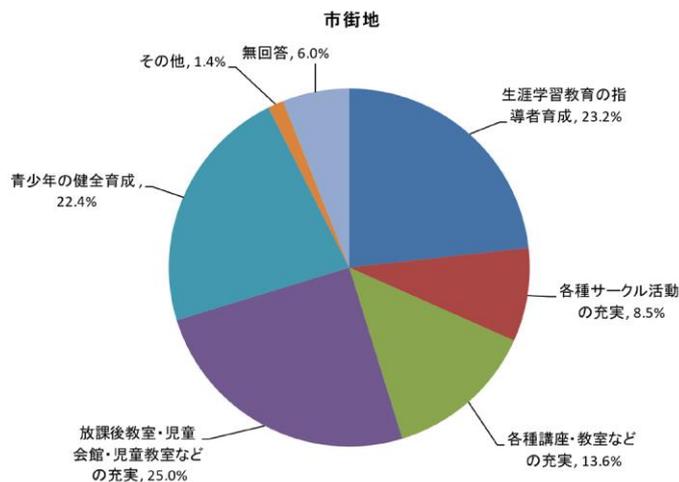


<令和5年度調査>



## ②地区別

地区別の状況を見ると、各地区ともに「放課後教室・児童会館・自動教室などの充実」が最も高いが、それに次ぐ項目については、市街地と東部地区では「生涯学習教育の指導者育成」、西部地区では「各種講座・教室などの充実」となっている。ただし、総じてみれば各地区ともに同様の傾向がみられる。



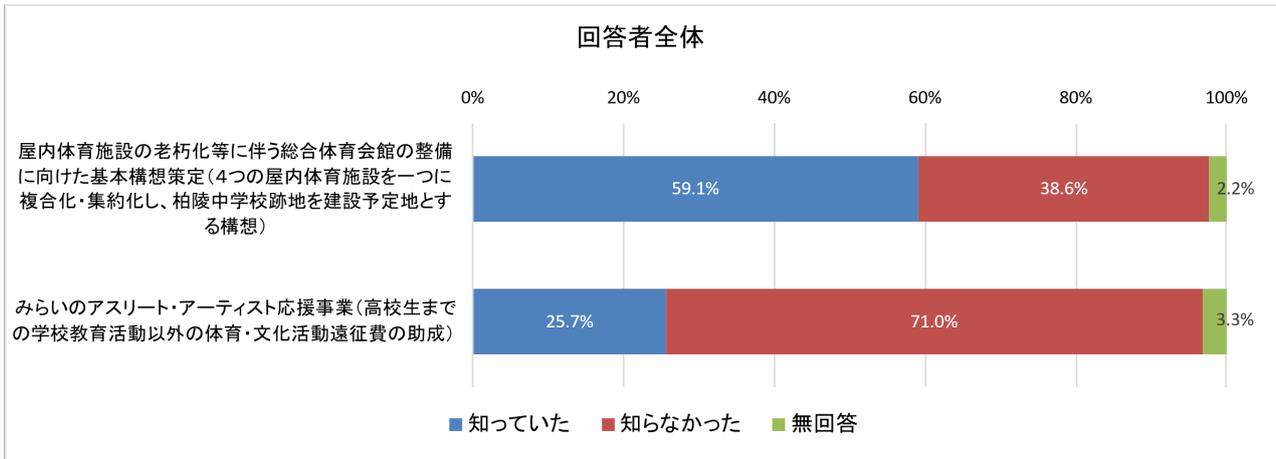
### 3. 13 スポーツ・レクリエーション・文化について

#### (1) 施策に対する認知度

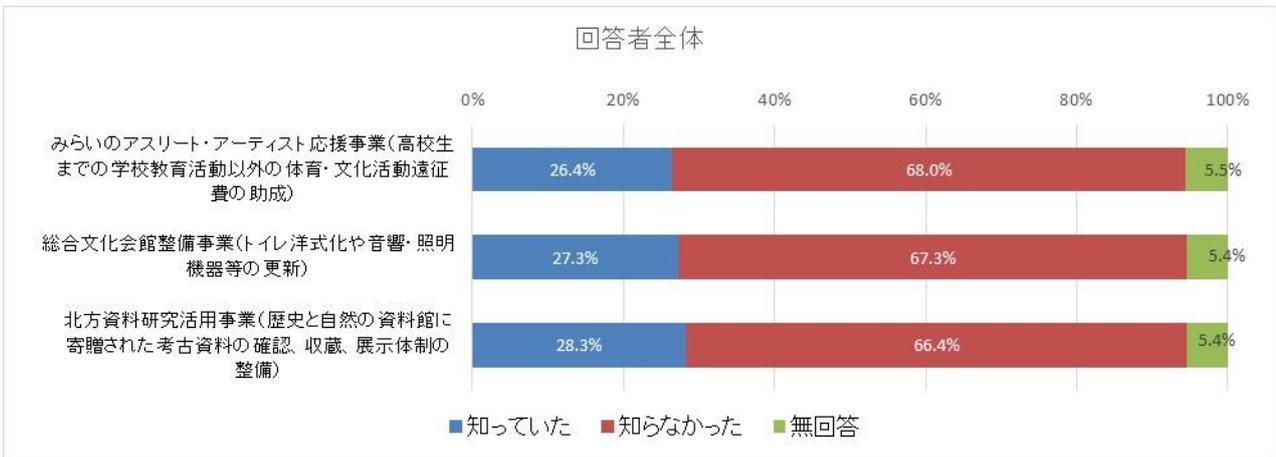
##### ①市民全体

市で実施しているスポーツ・レクリエーション・文化に関する主要施策についての認知度をみると、今年度より回答項目に加わった「屋内体育施設の老朽化等に伴う総合体育会館の整備に向けた基本構想策定」の認知度は59.1%となった。昨年度と比較可能な「みらいのアスリート・アーティスト応援事業」は、同程度の結果となった。

<令和6年度調査>



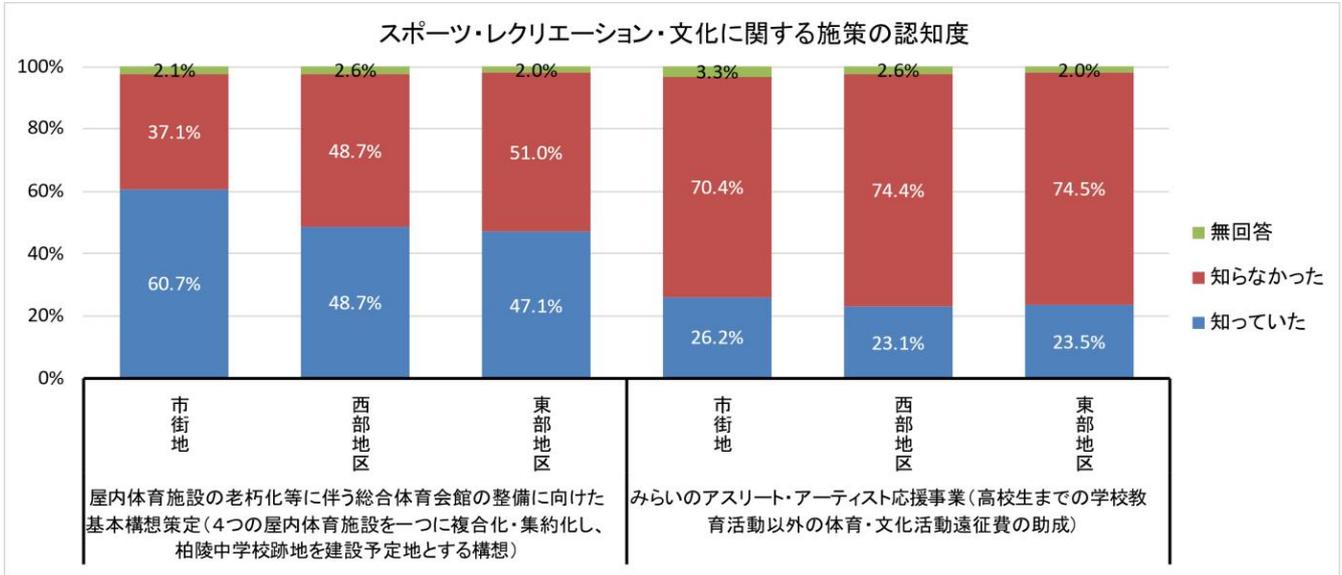
<令和5年度調査>



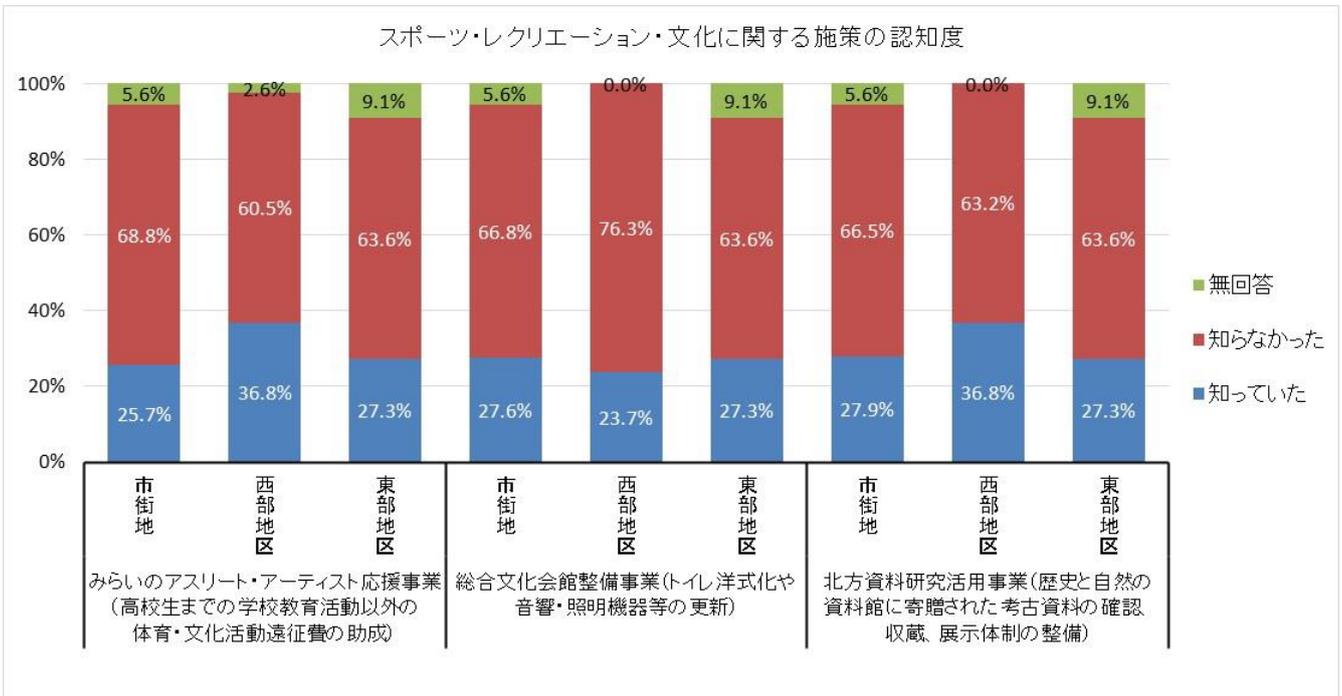
## ②地区別

スポーツ・レクリエーション・文化に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「屋内体育施設の老朽化等に伴う総合体育会館の整備に向けた基本構想策定」は市街地で高い。

### <令和6年度調査>



### <令和5年度調査>

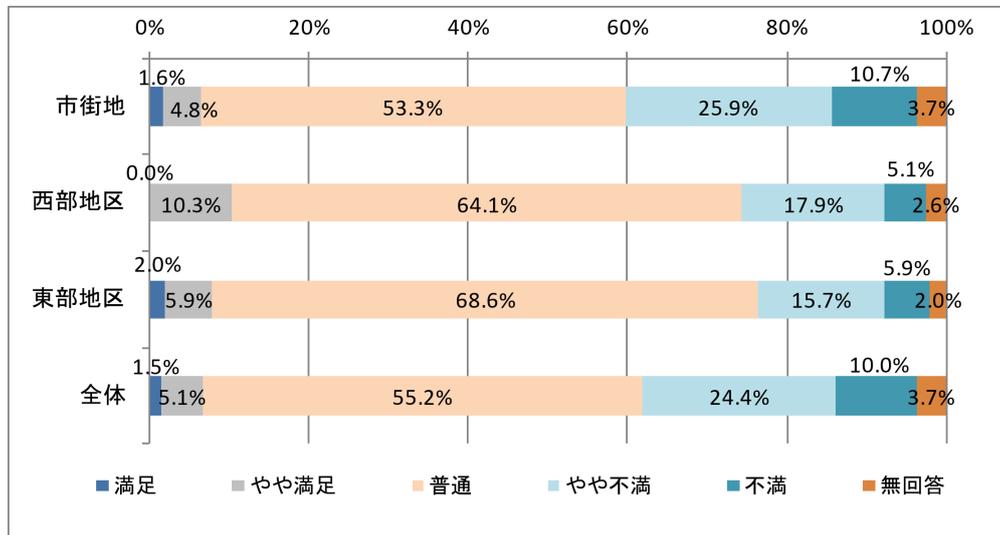


## (2) スポーツ施設の状況に対する満足度

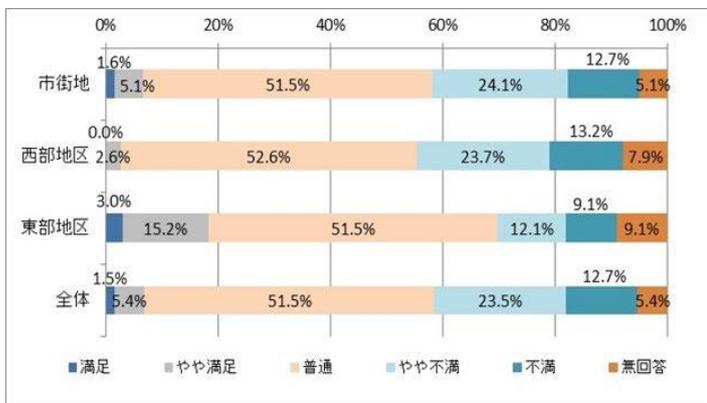
スポーツ施設の状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は市民全体で6.6%となっており、昨年度の調査結果とほぼ同水準であった。

地区別に満足度の割合をみると、西部地区の満足度がやや高くなっている。

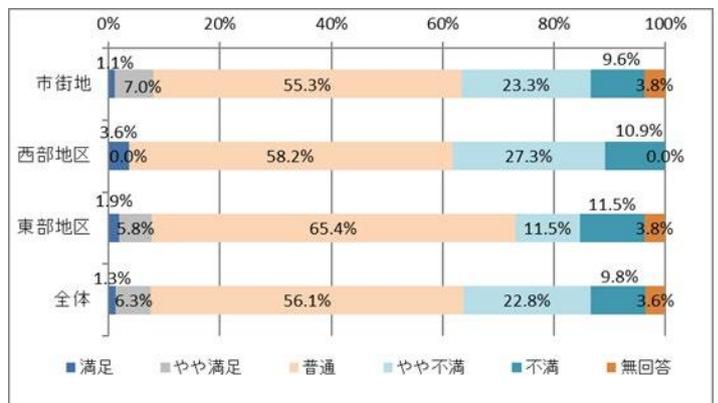
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



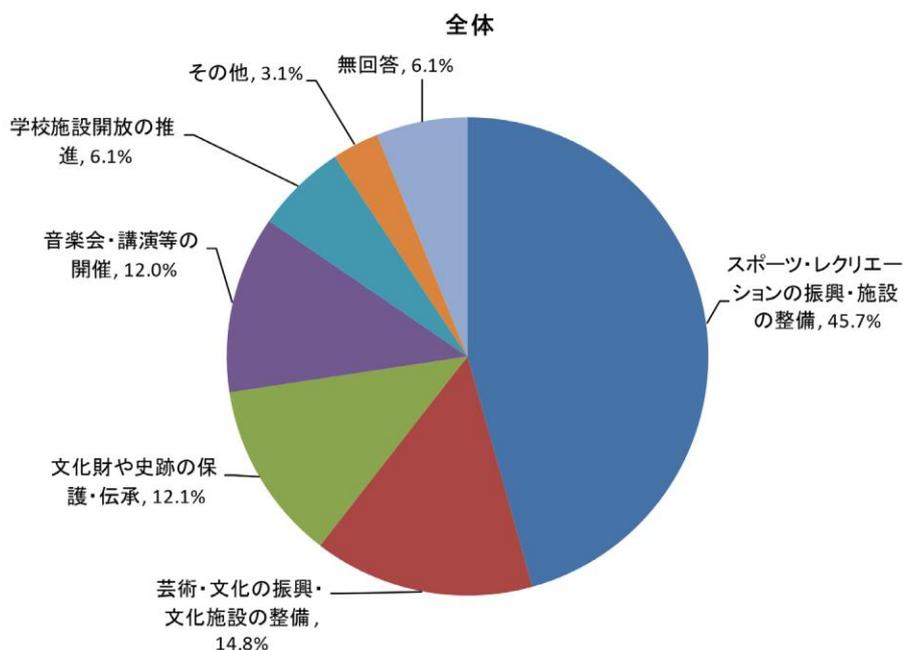
### (3) スポーツ・レクリエーション・文化に関する施策について

#### ①市民全体

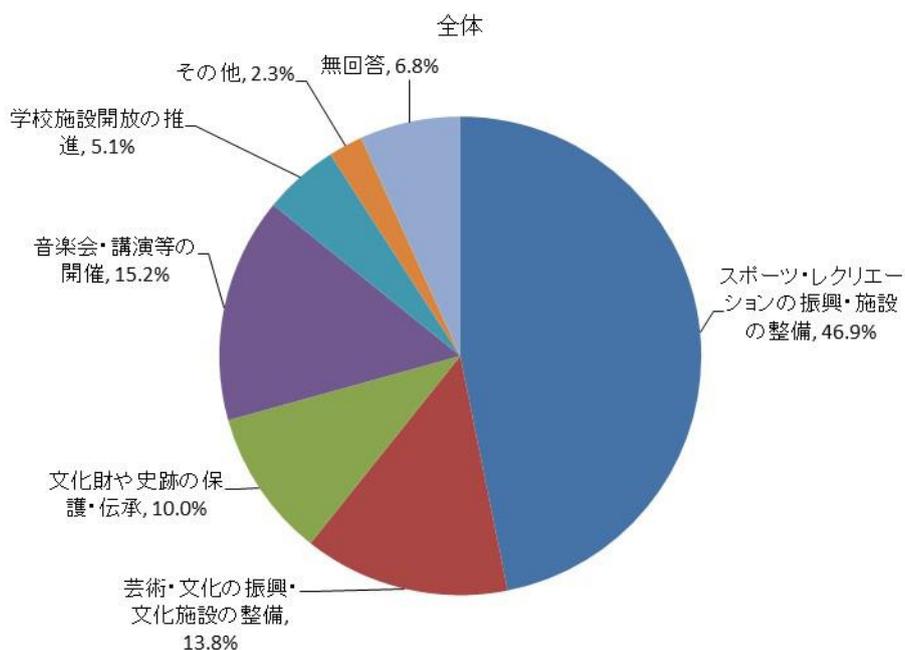
スポーツ・レクリエーション・文化について今後重点的に実施すべきと思う施策を1つ回答してもらった結果をみると、「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が45.7%と最も多く、次いで、「芸術・文化の振興・文化施設の整備」、「文化財や史跡の保護・伝承」、「音楽会・講演等の開催」の順となっている。

これは昨年度とほぼ同様の結果となっている。

<令和6年度調査>

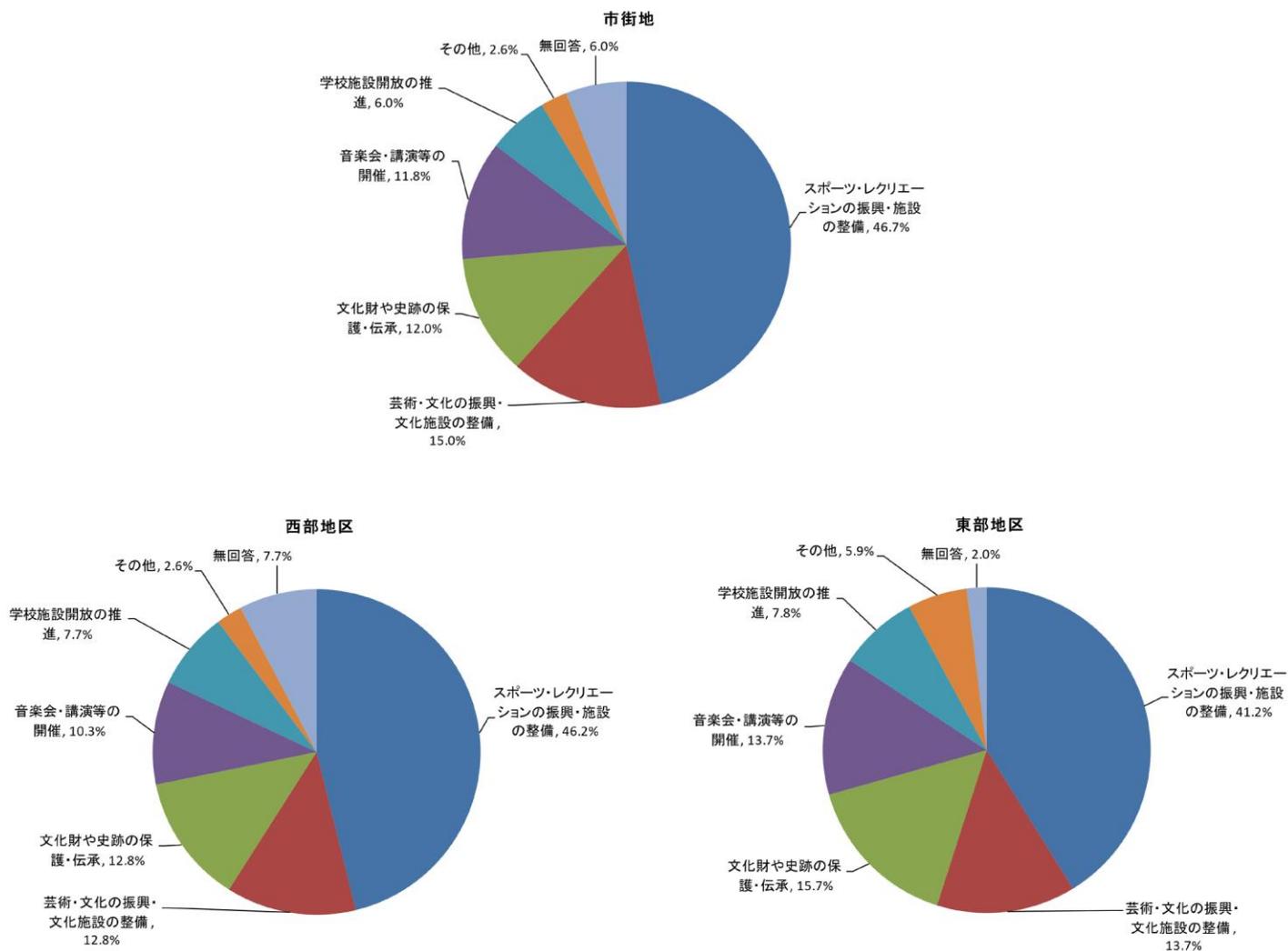


<令和5年度調査>



## ②地区別

地区別の状況を見ると、各地区とも「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が最も多くなっている。そのほかの項目については、地区によって順位がやや異なっているが、市民全体と同様に「芸術・文化の振興・文化施設の整備」、「文化財や史跡の保護・伝承」、「音楽会・講演等の開催」が回答の中心となっている。



### 3. 14 産業の振興について

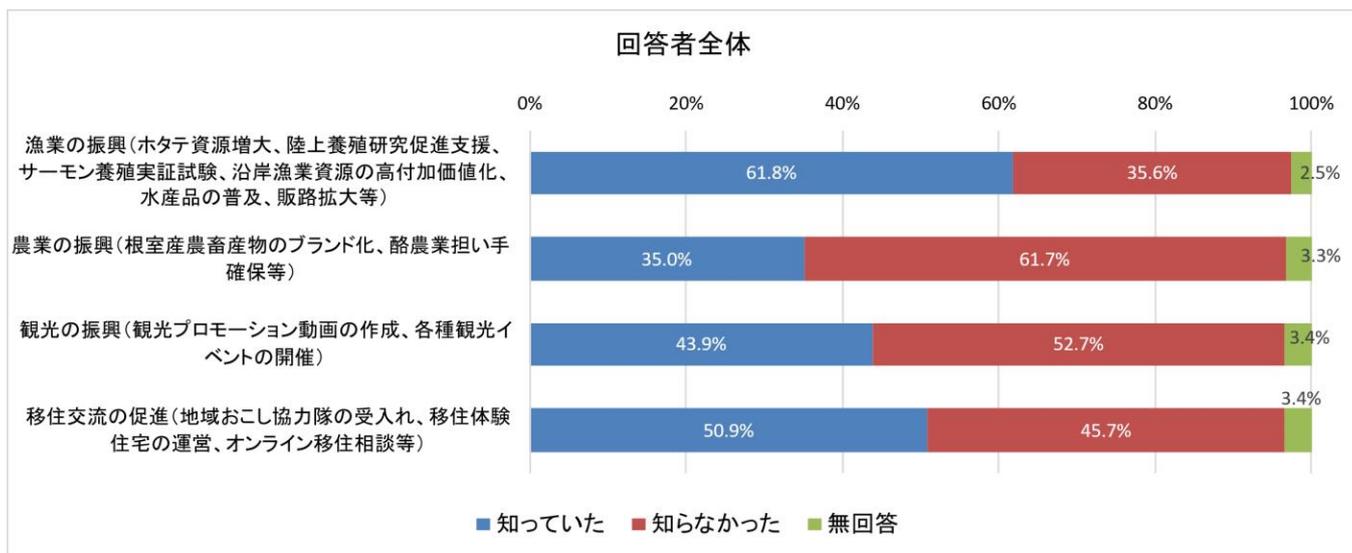
#### (1) 施策に対する認知度

##### ①市民全体

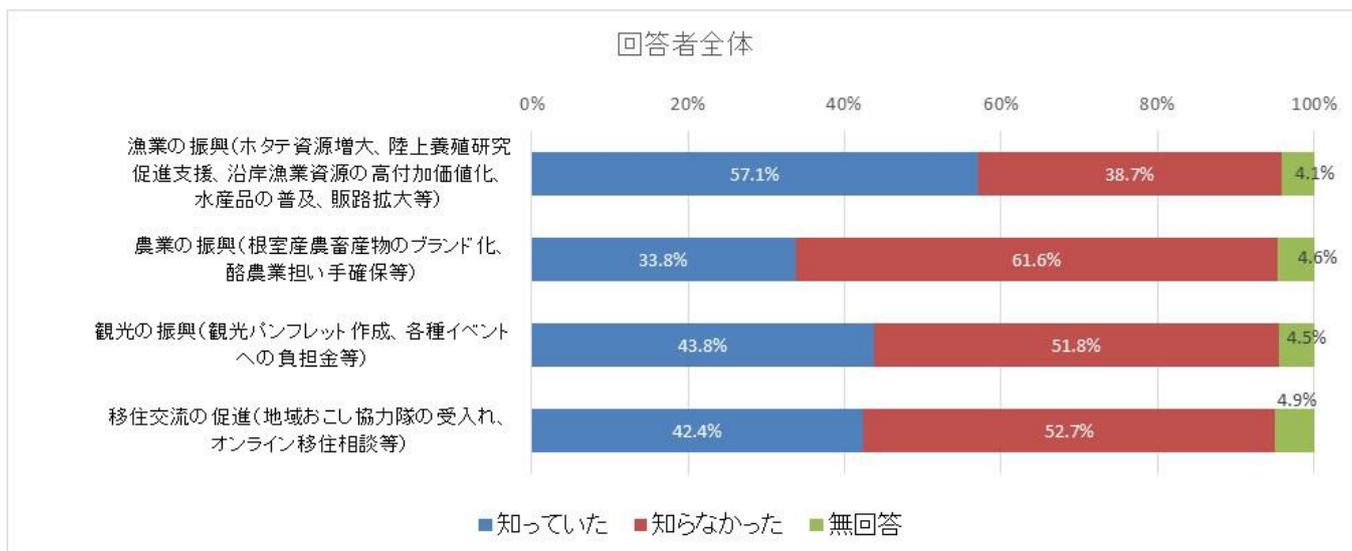
市で実施している産業振興に関する主要施策についての認知度をみると、「漁業の振興」に対する認知度が61.8%と最も高く、次いで「移住交流の促進」が50%を上回った。

昨年度の調査結果と比較すると、「漁業の振興」と「移住交流の促進」の認知度が向上し、その他の項目については昨年度と同程度の結果となった。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>

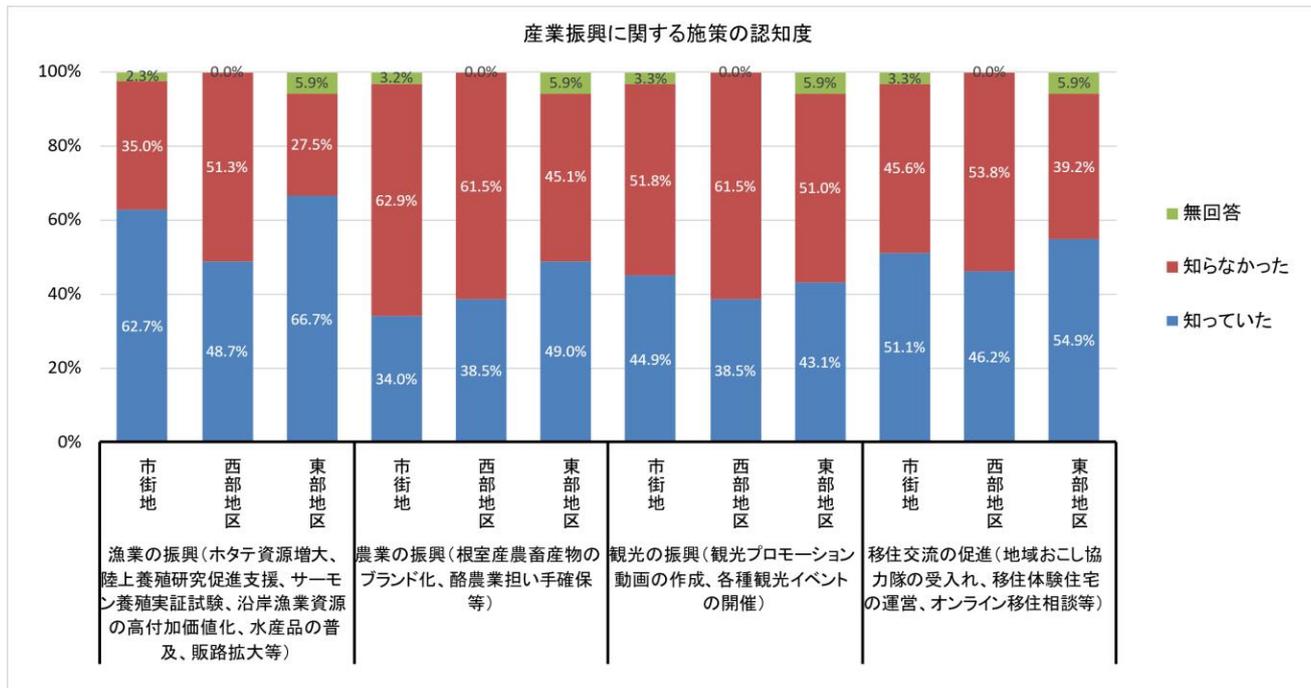


## ②地区別

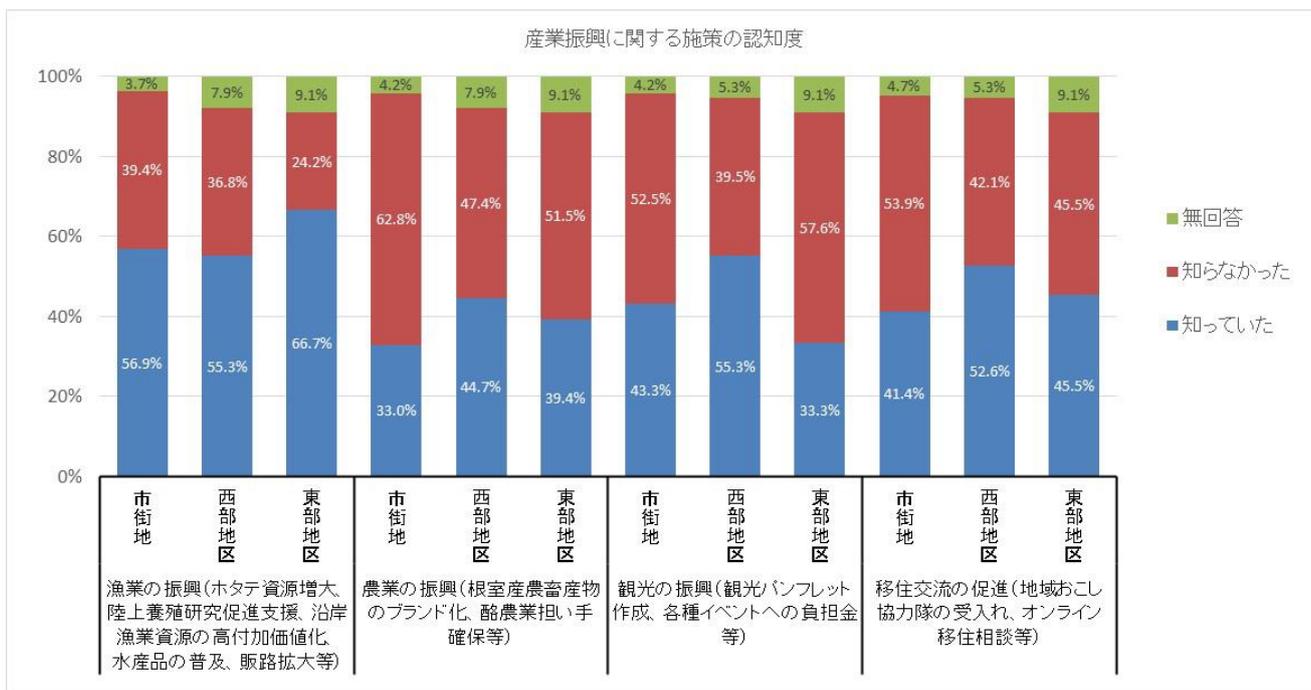
産業振興に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、各地区とも「漁業の振興」の認知度が高い。

昨年度の調査結果と比べると、市街地と東部地区では各施策への認知度の向上傾向がみられる反面、西部地区では低下傾向がある。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



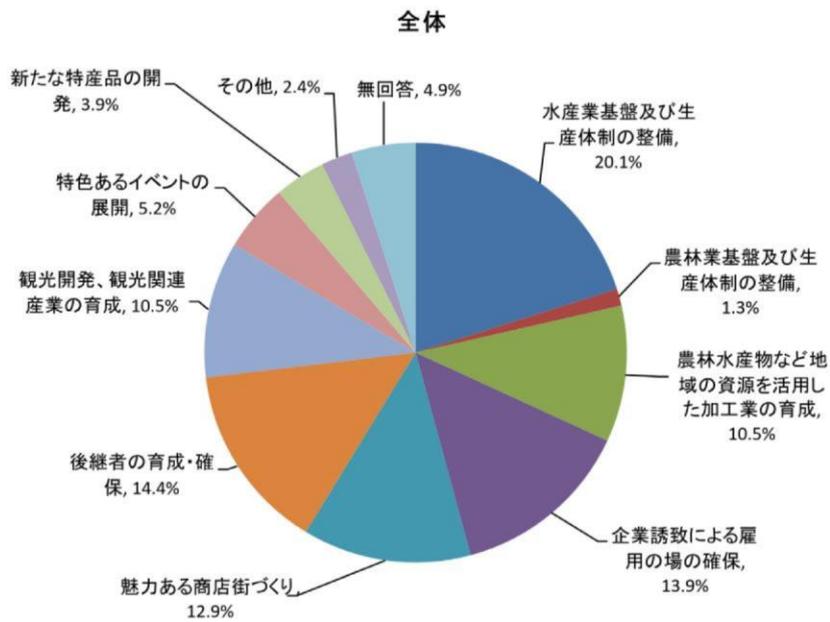
(2) 産業振興施策について

①市民全体

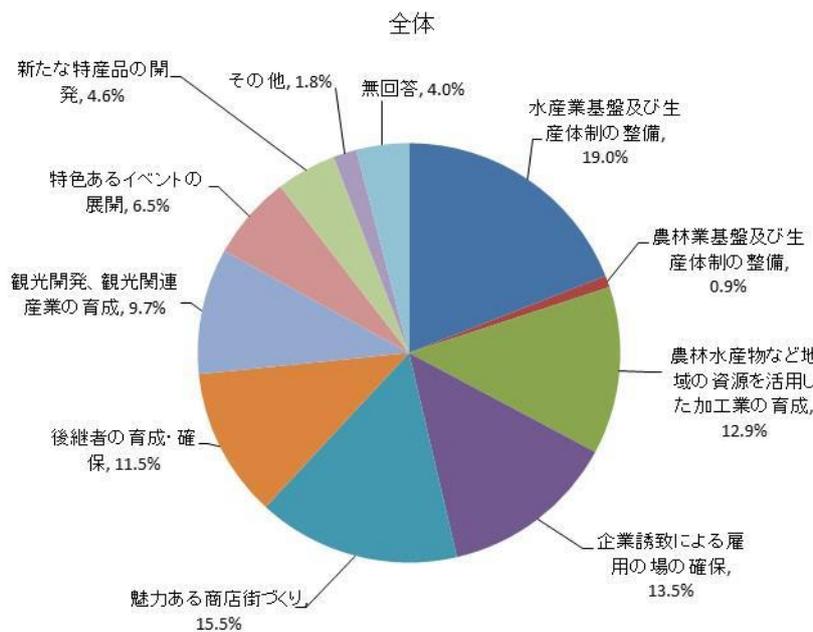
根室市の産業振興について、今後重点的に取り組むべきと思う施策を1つ回答してもらった結果、「水産業基盤及び生産体制の整備」が20.1%と最も多く、次いで、「後継者の育成・確保」、「企業誘致による雇用の場の確保」、「魅力ある商店街づくり」の順となっている。

昨年度の調査結果と比較すると、上位項目の順位にやや変動がみられるものの、ほぼ同様の結果となっている。

<令和6年度調査>

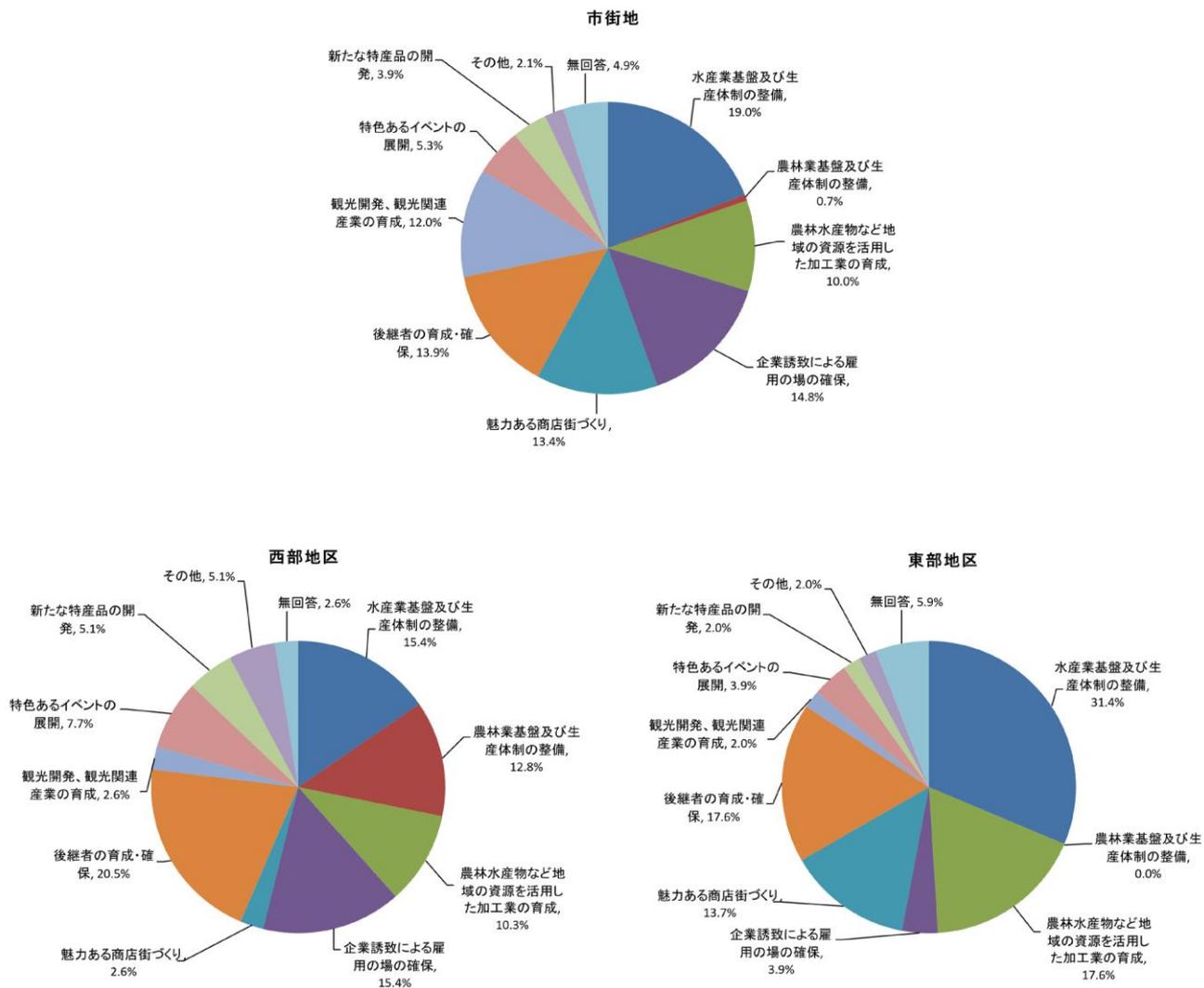


<令和5年度調査>



## ②地区別

地区別の状況を見ると、いずれの地区においても「水産業基盤及び生産体制の整備」の回答割合が比較的高くなっているが、そのほかの項目については、地区によって順位がやや異なっている。市街地では「観光開発、観光関連産業の育成」の回答率が他の地区より高い。西部地区での「後継者の育成・確保」や、漁港を有する東部地区での「水産業基盤及び生産体制の整備」の回答割合が他の地区より高いことも特徴的である。



### 3. 15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）

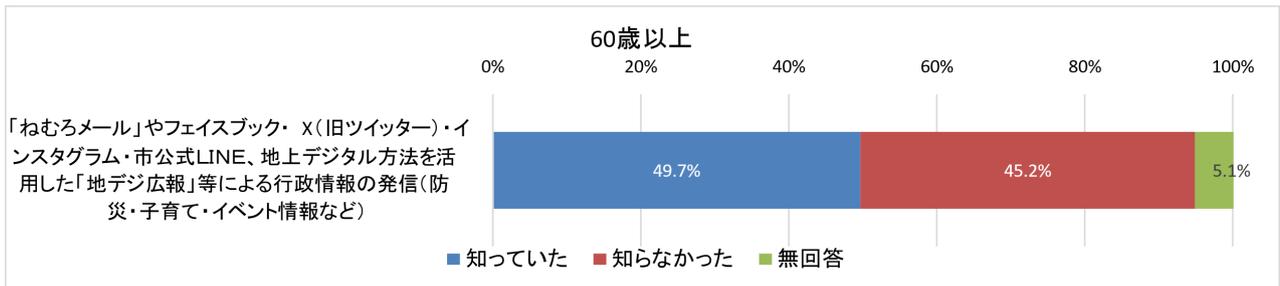
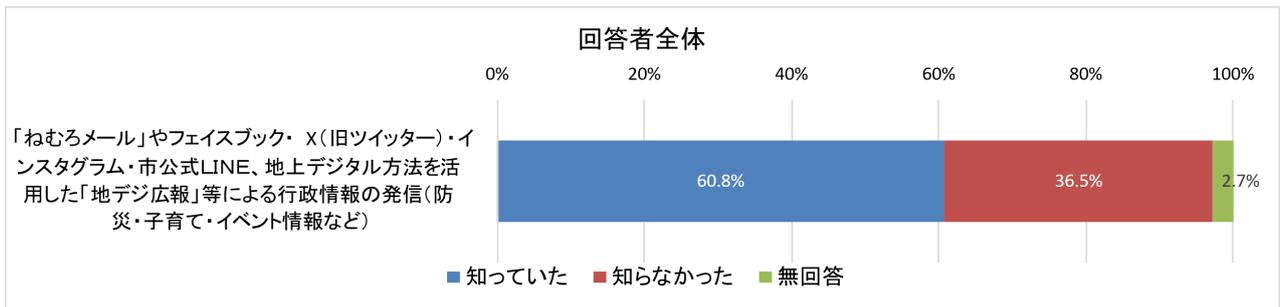
#### （1）施策の認知度

##### ①市民全体

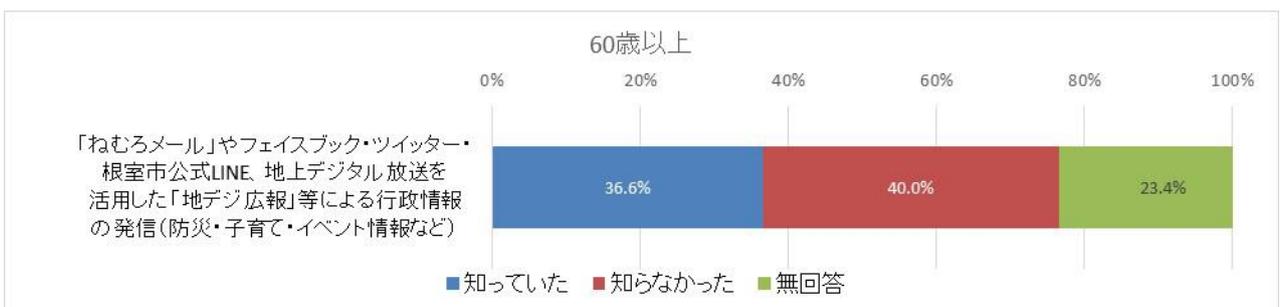
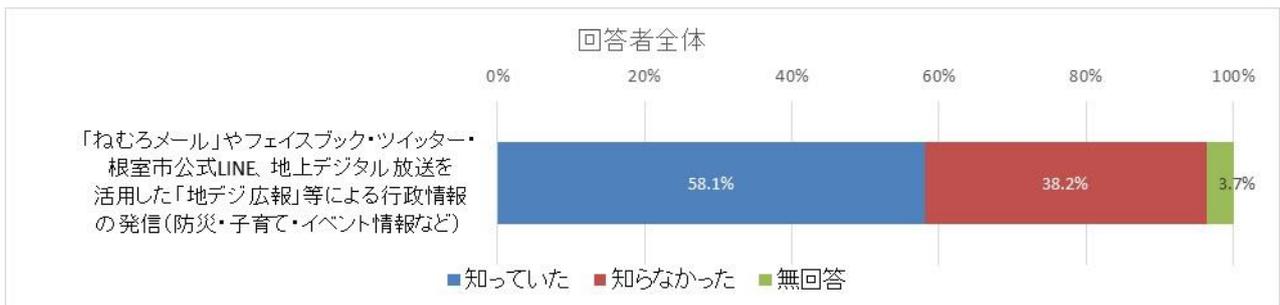
市で実施している情報の共有化に関する主要施策についての認知度をみると、60.8%となっている。昨年度の調査結果をやや上回っており、引き続き6割近い市民に認知されている。

60歳以上の市民についてみると、認知度は49.7%と市民全体を下回っているが、昨年度までと比較して大きく向上している。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>

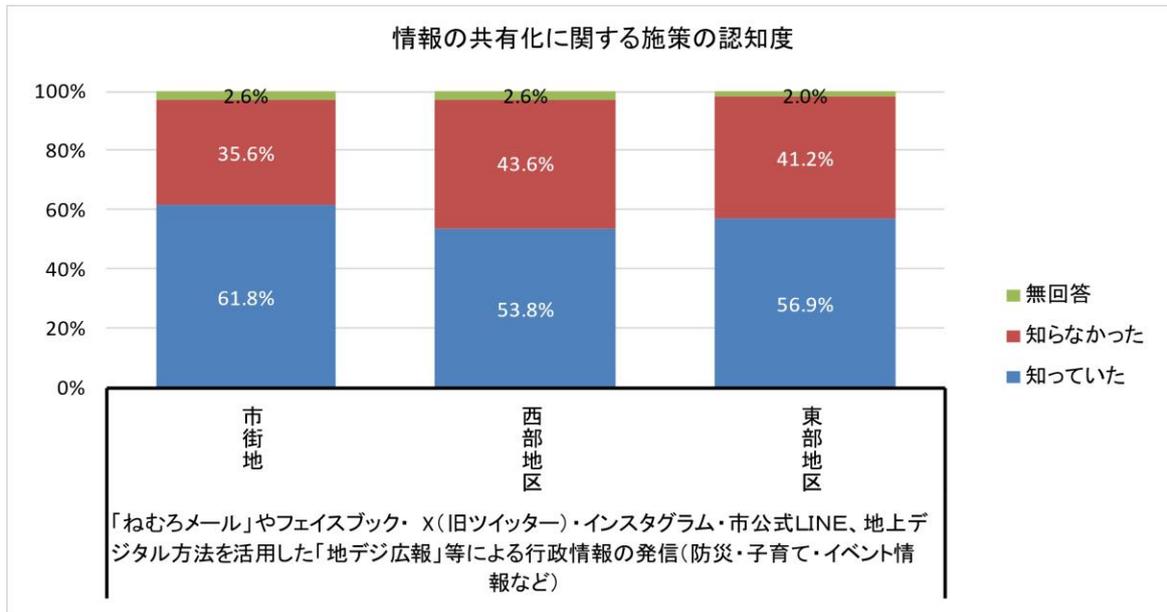


## ②地区別

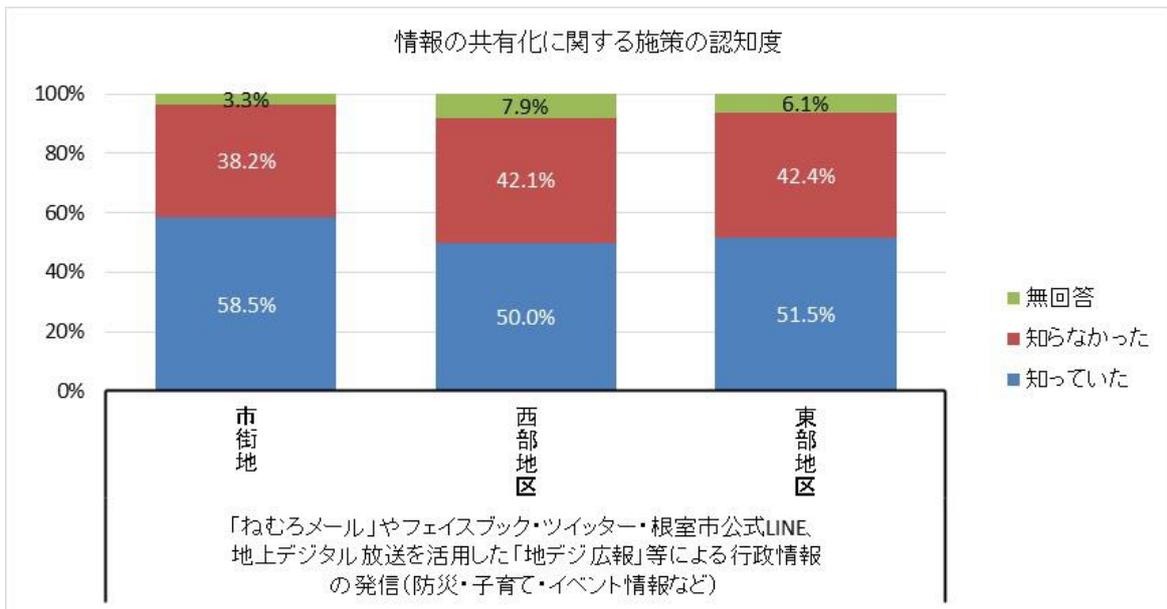
情報の共有化に関する施策についての認知度を地区別にみると、西部地区と東部地区の認知度が低くなっているが、いずれの地区でも半数以上の認知を得ている。

昨年度調査の結果と比べると、いずれの地区も昨年度調査を上回った。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



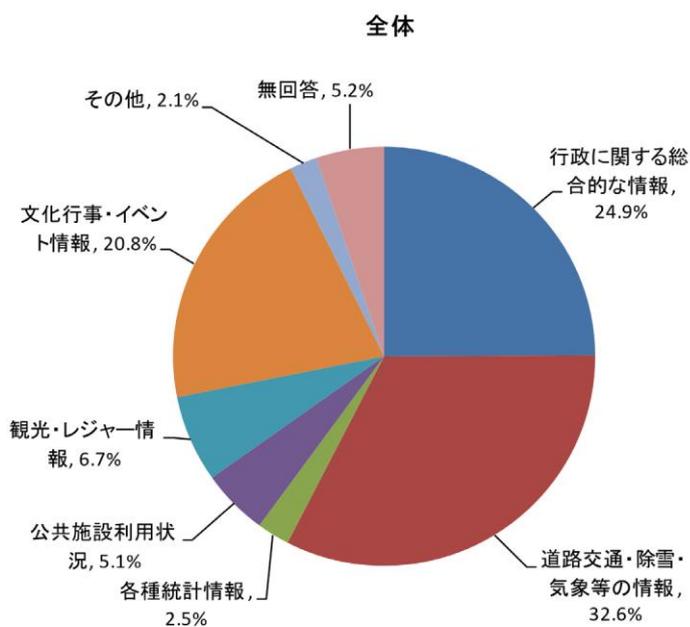
## (2) 情報の共有化に関する施策について

### ①市民全体

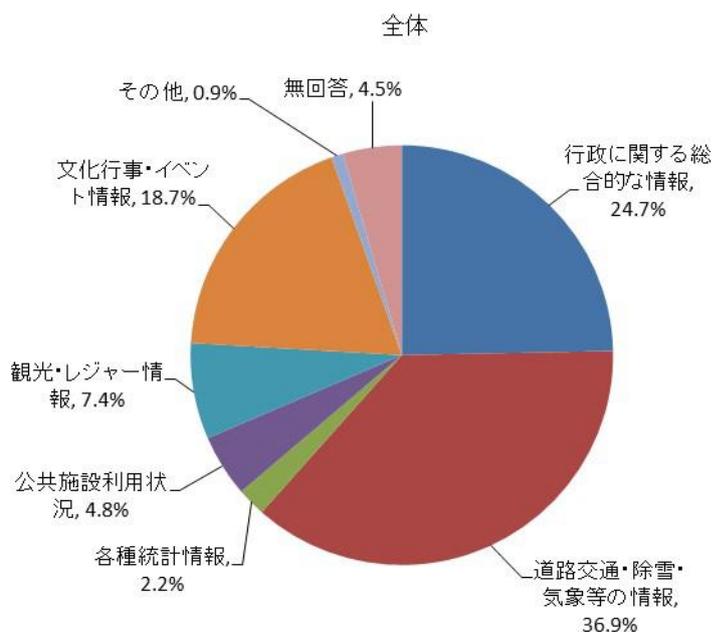
行政からの情報提供に対する要望を1つ回答してもらった結果をみると、「道路交通・除雪・気象等の情報」が32.6%と最も多く、次いで、「行政に関する総合的な情報」、「文化行事・イベント情報」と続いている。

これは昨年度とほぼ同様の結果となっている。

<令和6年度調査>

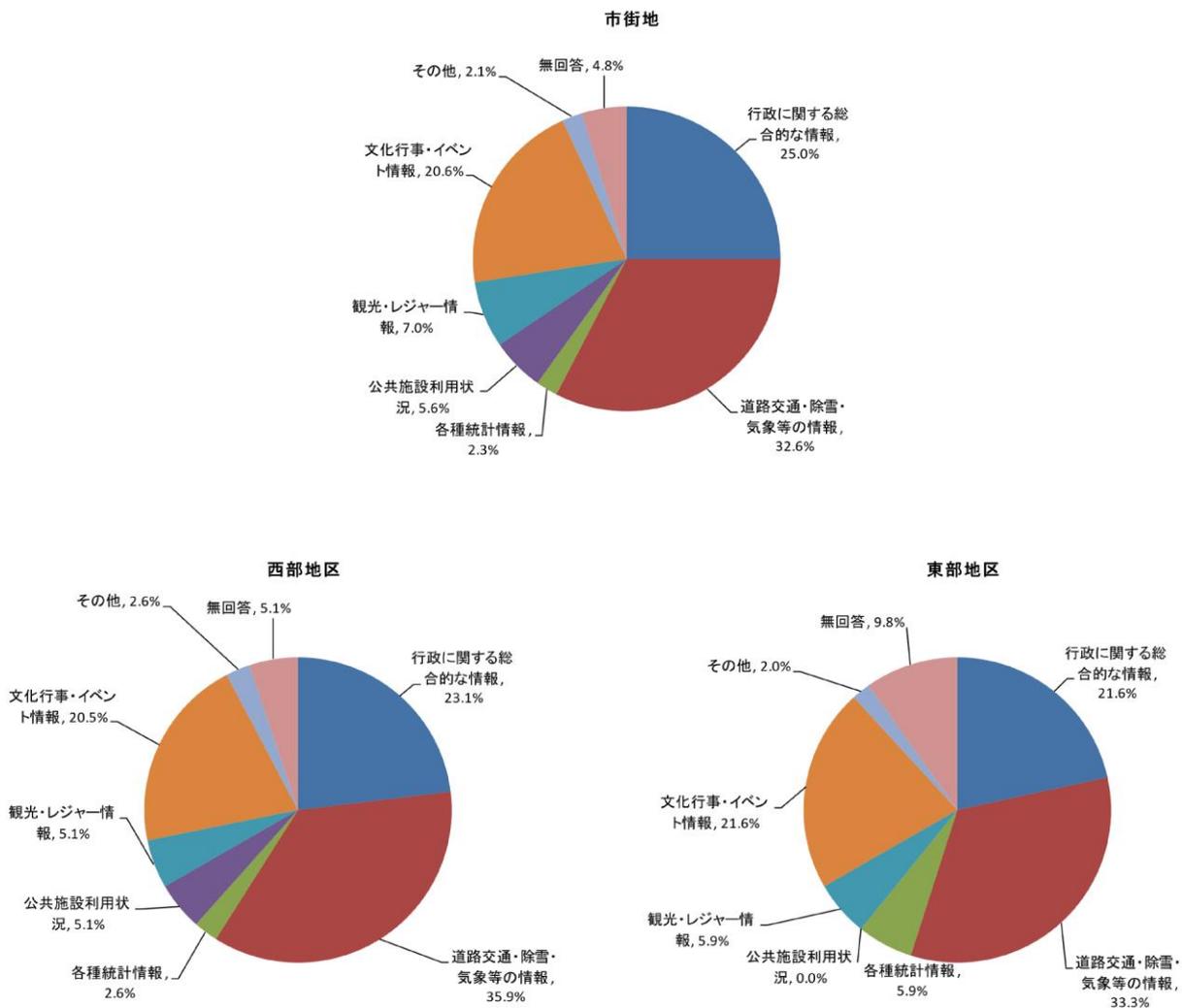


<令和5年度調査>



## ②地区別

地区別の状況を見ると、各地区とも「道路交通・除雪・気象等の情報」、「行政に関する総合的な情報」、「文化行事・イベント情報」が上位3項目となっている。これは各地区ともに同様の傾向となっている。



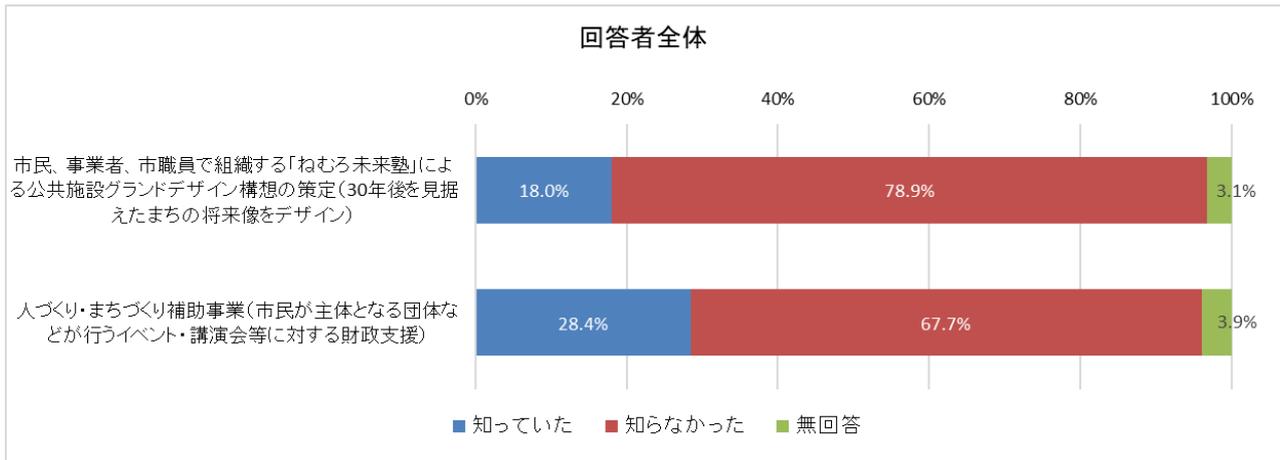
### 3. 16 市民協働について

#### (1) 施策の認知度

##### ①市民全体

今年度より調査項目に加わった、市民協働に係る施策の認知度は、「市民、事業者、市職員で組織する『ねむろ未来塾』による公共施設グランドデザイン構想の策定(30年後を見据えたまちの将来像をデザイン)」が18.0%、「人づくり・まちづくり補助事業(市民が主体となる団体などが行うイベント・講演会等に対する財政支援)」が28.4%となった。

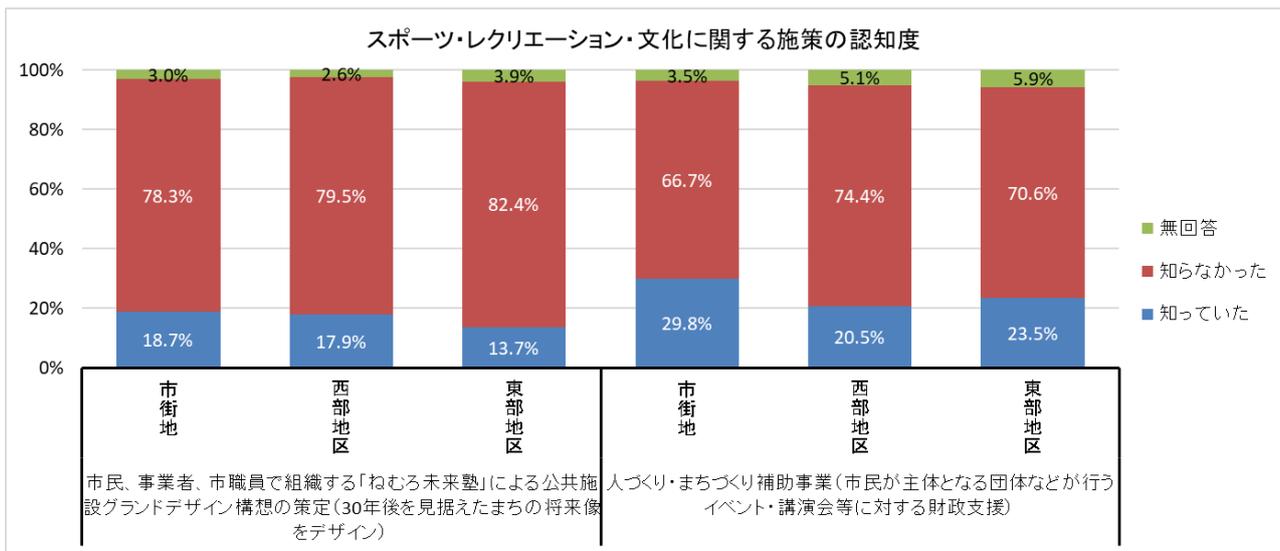
<令和6年度調査>



##### ②地区別

地区別の状況を見ると、いずれの施策についても市街地での認知度が高くなっている。

<令和6年度調査>



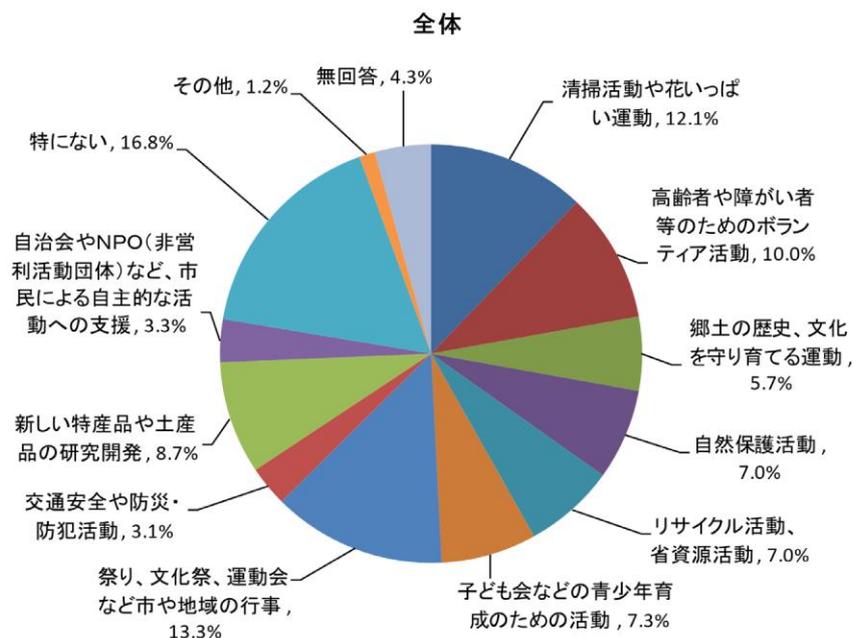
## (2) 「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動

### ①市民全体

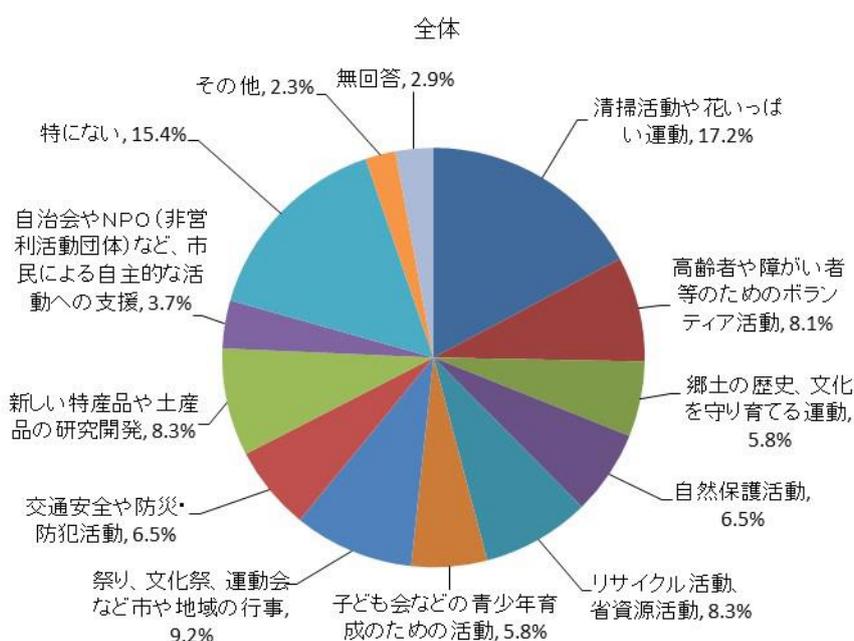
市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に、参加する活動を1つ回答してもらった結果をみると、各項目に回答が分散しているが、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」、「清掃活動や花いっぱい運動」、「高齢者や障がい者等のためのボランティア活動」の回答率が比較的高い。ただし、最も回答率が高かったのは「特にない」となった。

昨年度調査の結果と比べると、順位に変動がみられるが、回答の分散傾向は同様である。

<令和6年度調査>

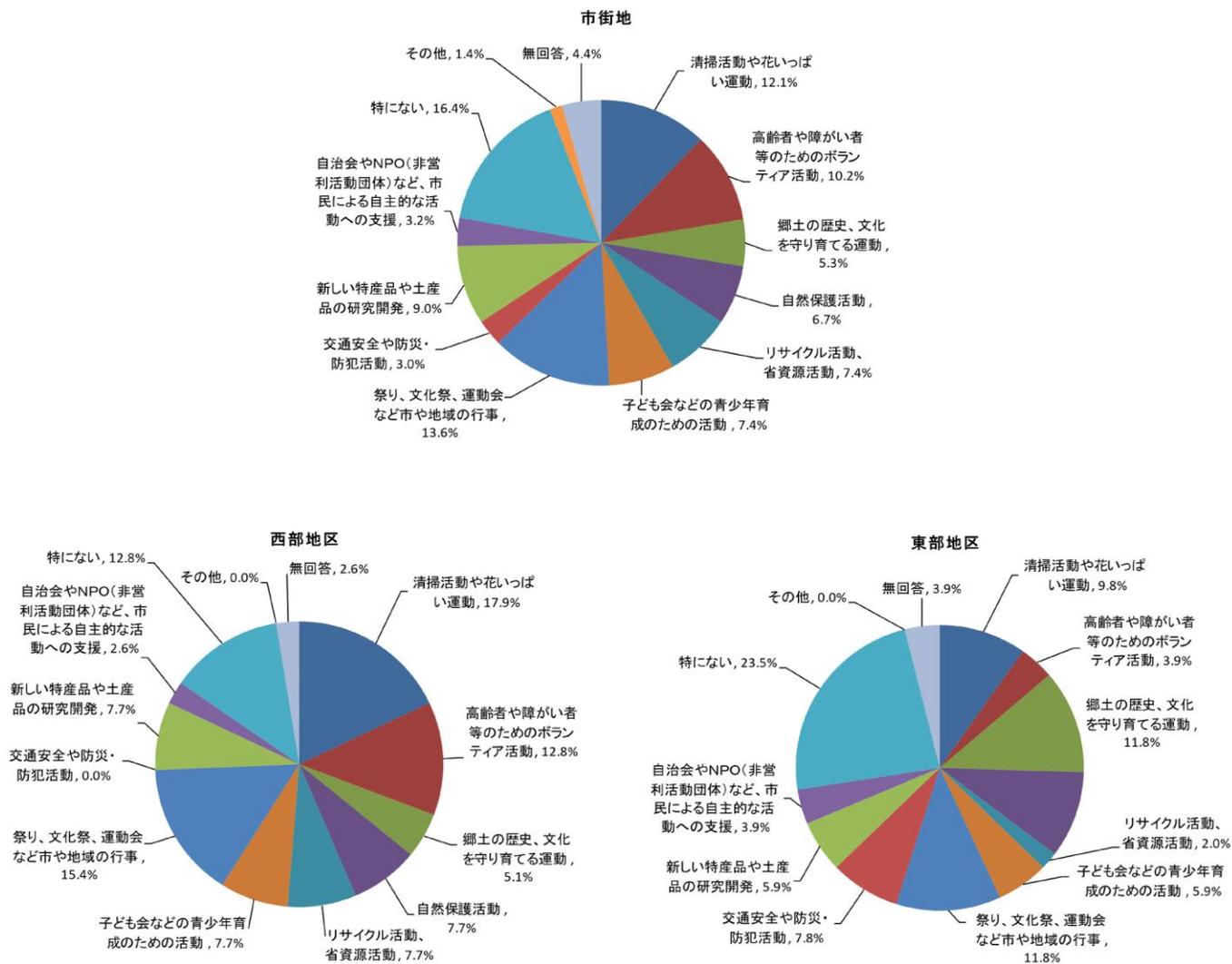


<令和5年度調査>



## ②地区別

地区別の状況を見ると、いずれの地区においても回答は分散する傾向にある。「特にない」を除くと、市街地では「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」、西部地区では「清掃活動や花いっぱい運動」、東部地区では「郷土の歴史、文化を守り育てる運動」と「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」の2項目の回答率が最も高くなっている。

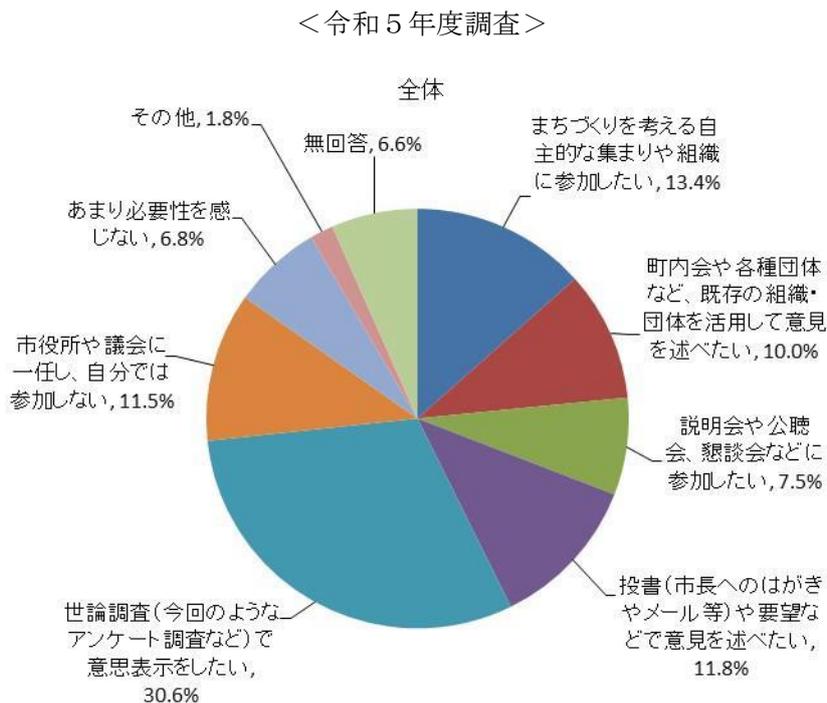
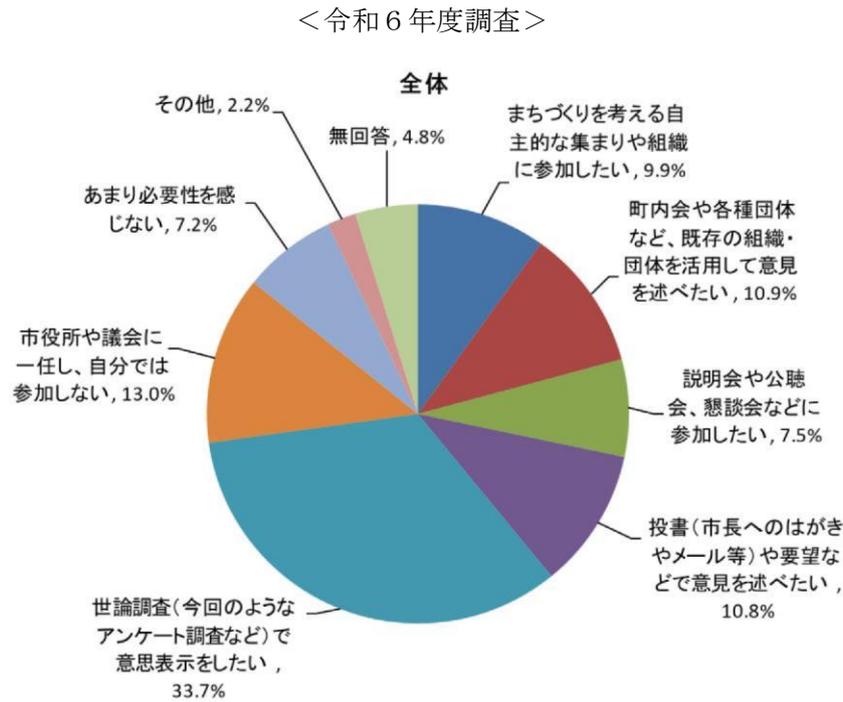


### 3. 17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）

#### （1）市民全体

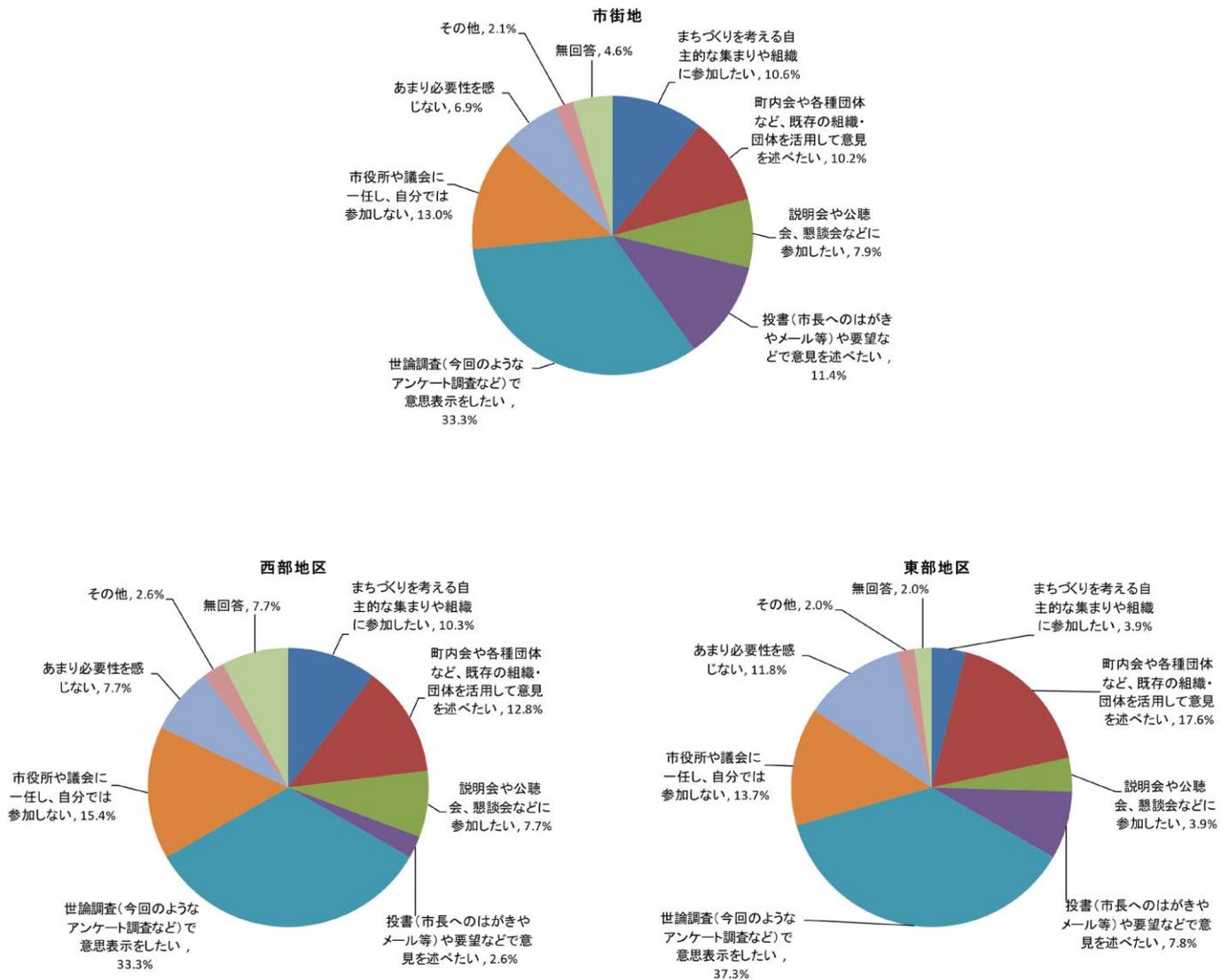
まちづくりへの参加方法を1つ回答してもらった結果をみると、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」が33.7%と最も多く、次いで、「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」が13.0%で続いた。

昨年度と比較すると、市民参画に対して消極的な回答率がやや向上しているが、総じてみれば昨年度と大きく変わらない傾向となっている。



## (2) 地区別

地区別の状況を見ると、いずれの地区においても「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」の回答割合が最も高くなっている。その他の項目については、東部地区で「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」の回答割合が他の地区より高い。「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」の回答割合は、いずれの地区でも一定数みられる。



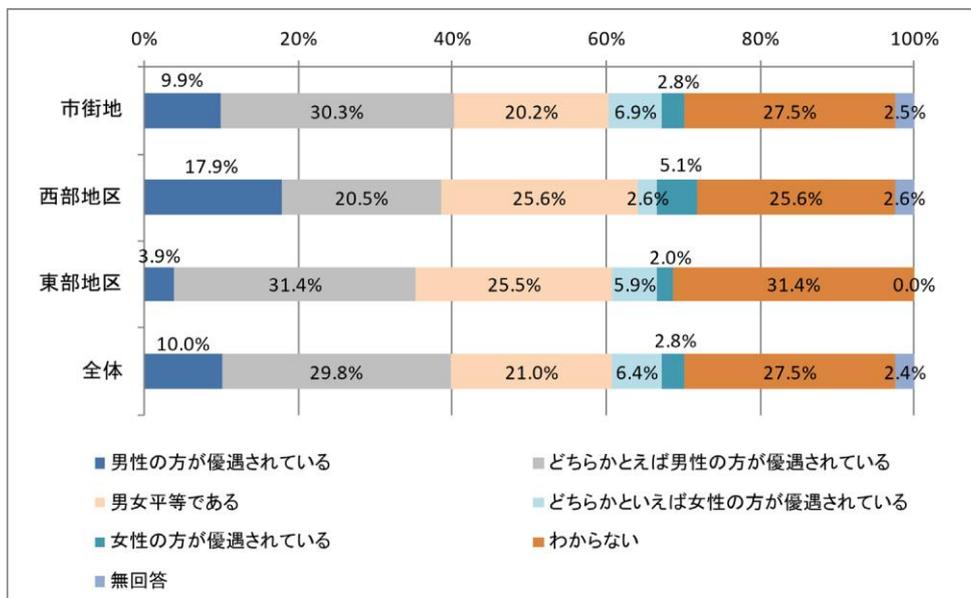
### 3. 18 男女共同参画について

生活全般を通しての男女平等については、市民全体では、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて 39.8%となっており、「男女平等である」は 21.0%となっている。

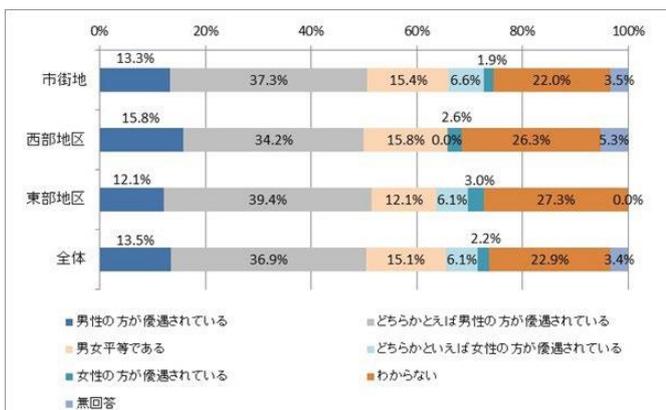
こうした男性の方が女性よりも優遇されていると考えている傾向は、各地区ともほぼ同様となっている。

昨年度調査と比べると、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と考える割合は低下しており、「男女平等である」と考える割合が向上している。

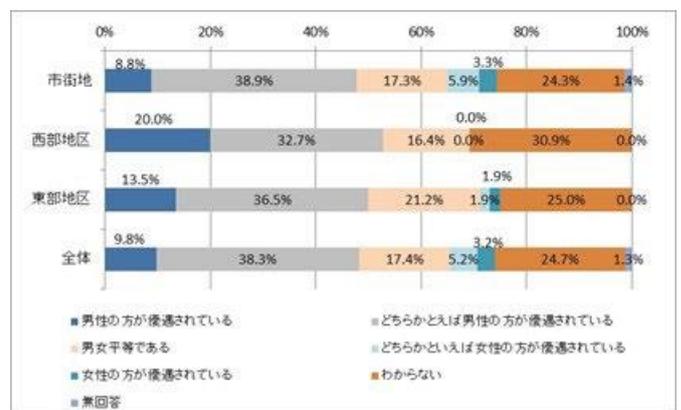
<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



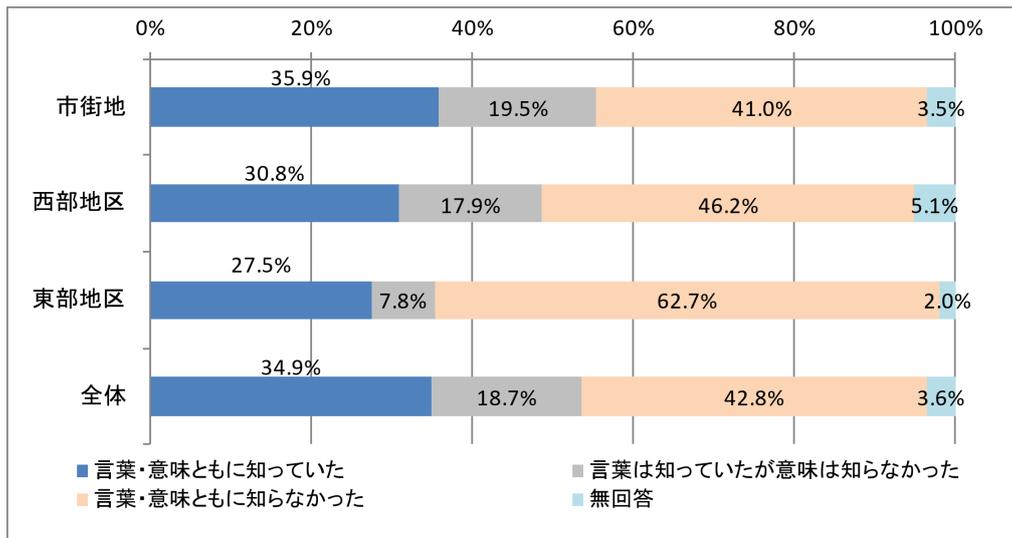
### 3. 19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

「ワーク・ライフ・バランス」の認知度をみると、市民全体では「言葉・意味ともに知っていた」が34.9%、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が18.7%となっており、言葉だけでも知っていたとする回答も含めると、認知度は53.6%となっている。

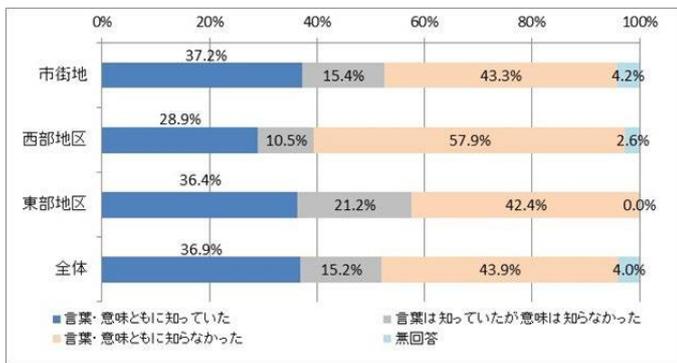
地区別にみると、東部地区での認知度が低くなっている。

ここ数年、認知度は50%台で推移しており、あまり大きな変化はみられていない。

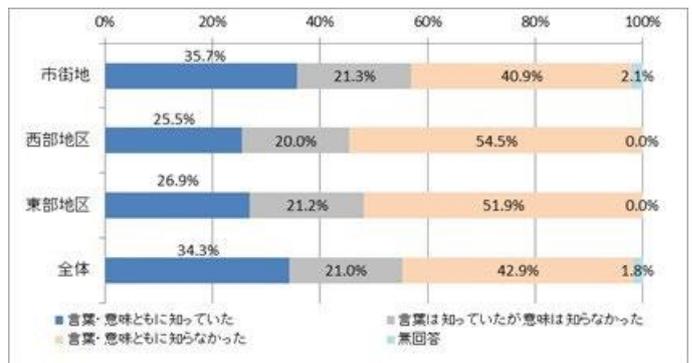
＜令和6年度調査＞



＜令和5年度調査＞



＜令和4年度調査＞



## 4. 市民意識調査結果のまとめ

本調査では、現行の第9期根室市総合計画（平成26年度策定）及び根室市創生総合戦略（平成27年度策定）の実施効果を評価するために設定した将来目標値またはKPIのうち、市民意識に関する指標を中心に、平成25年度に実施した市民意識調査との整合性を確保した項目を平成28年度以降の毎年調査において設定している。

また、平成30年度調査からは市政に対する認知度の項目を新たに設けている。これは、市政に対する認知度を把握するだけでなく、市政の周知も兼ねている。今回は7回目の調査となり、各種市政の周知効果の浸透度合いの増減評価が可能となっている。

本調査は、平成25年度に実施した市民意識調査実施時から11年経過時点の市民意識の結果であるが、その間にロシア200海里内サケマス流し網漁の禁止やサンマの不漁、令和2年からの新型コロナウイルス感染症の影響、さらには令和4年2月からのロシアによるウクライナ侵攻の影響等により、経済環境は大きく変化しており、市民の不安意識も増長されている状況が生じている。

そのような背景を踏まえ、本市民意識調査の結果を整理すると、概ね以下のとおりとなった。

### <回収率>

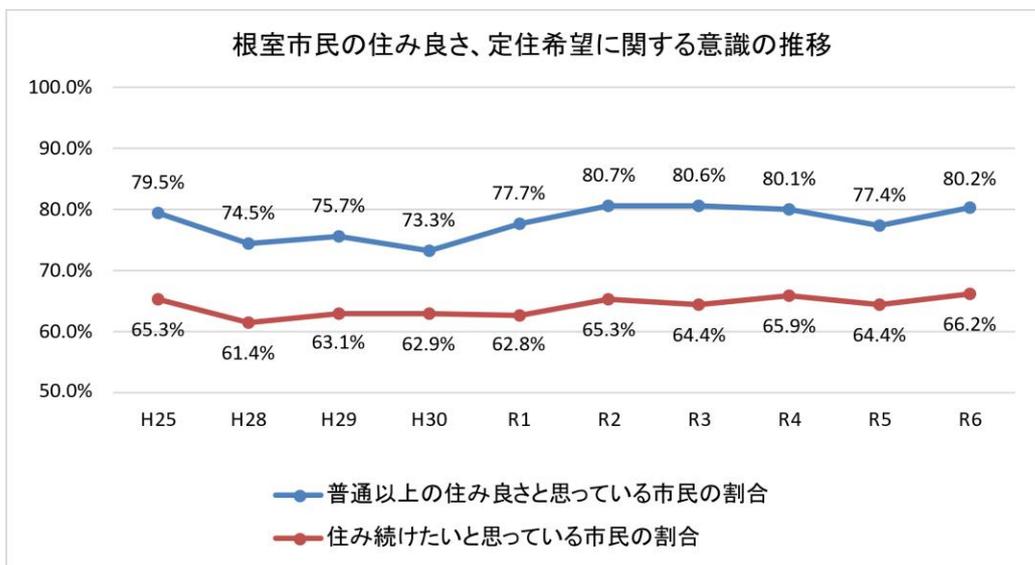
- ・本調査の有効回収率は22.0%であった。過去最低となった昨年度の数値は上回ったものの、概ね25～30%で推移してきたこれまでの傾向よりも低い回収率である。
- ・9回目の調査となり、既に2回以上対象者となっている市民の割合も増加していることから、これが回収率の低下に影響を与えている可能性がある。
- ・一方、これまでの調査結果でも明らかなように、市民の市政への参加方法として本調査のようなアンケート調査で意思を表示したいとの意向が高いこと、又、本調査への回答を若い世代を含めた幅広い年齢層から回答いただけていることから、市民の市政に対する関心度合いは引き続き高い水準にあることがうかがえる。

### <根室市のイメージについて>

- ・物価の高騰や近年の海水温上昇、日本の対ロシア関係の悪化などの影響もあり、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業を取り巻く経済環境はますます深刻な状況となっている。道内経済は新型コロナウイルス感染症の影響から持ち直しが進む中で、なおも根室市の否定的なイメージは改善されていない状況にある。
- ・根室市のイメージとしては、これまでの結果と同様に「市民として誇りや郷土愛があるまち」や「個性（特色）のあるまち」をあげる住民が多くみられる一方で、「その他」の回答も多い。
- ・この「その他」の内容をみると、これまでの調査結果とほぼ同じで、「活気がない」「何もない」「寂しい」「暗い」「過疎のまち」といったマイナスイメージをあげる回答が多かった。一方、数は少ないものの、「自然が豊かで住みやすいまち」「漁業が有名なまち」といったプラスイメージをあげる回答もみられる。
- ・こうしたイメージに基づく、根室市での居住の満足度についてみると、満足とする回答は市民の3割弱程度となっており、これまでの調査結果と概ね同様の水準となっている。

<定住意識>

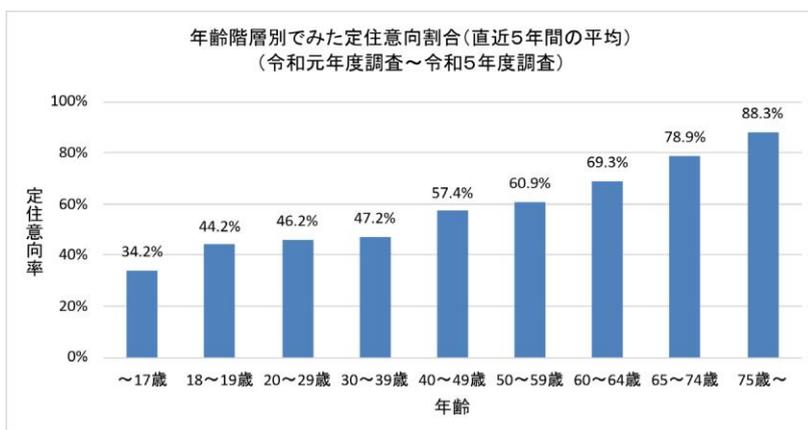
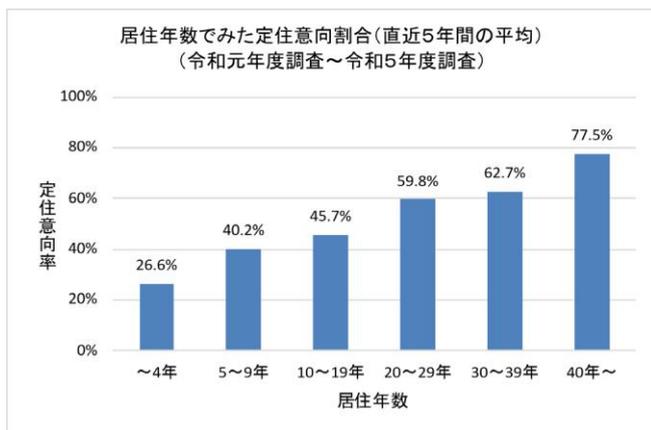
- ・市民の居住満足度及び定住意向についてみると、普通以上の住み良さと思っている市民の割合は、80.2%となっており、「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた「住み続けたい」という定住意向は66.2%となっている。例年同程度の割合で推移している。



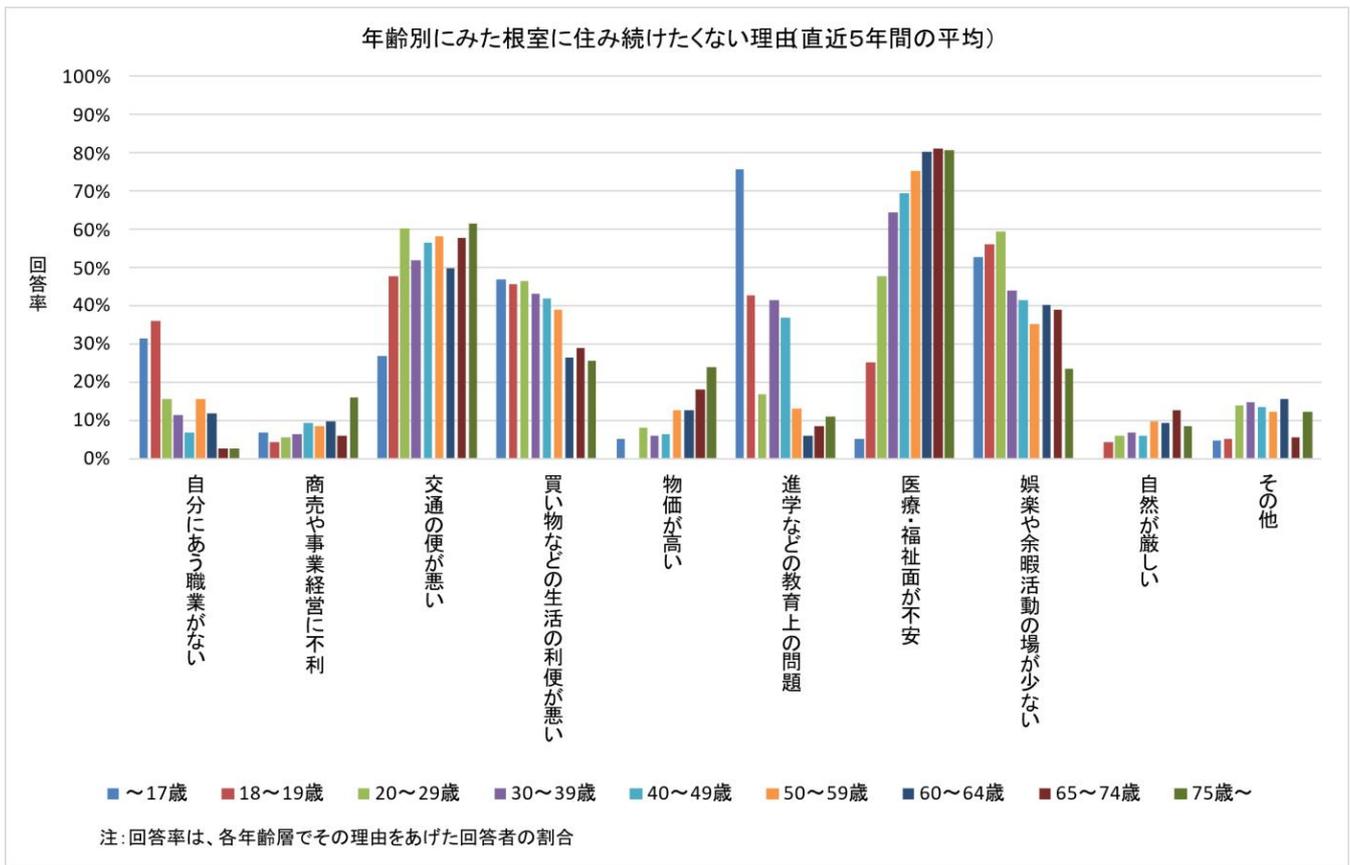
注：普通以上の住みやすさ：これまでの市民意識調査において、「とても住みよい」「住みよい」「普通」と回答した市民の割合

住み続けたい：これまでの市民意識調査において、「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」と回答した市民の割合

- ・「住み続けたい」と考える市民は、居住年数が長いほど、また高齢者ほど割合が高くなる傾向がみられる。



- ・「住みたくない」とする市民の理由をみると、医療・福祉、交通の便、娯楽や余暇活動の場、買い物等の利便性に対する不満があげられている。これは、これまでの調査結果とほぼ同じ状況であり、市民の定住意識の促進に向けて、引き続き重要な課題であるといえる。



## <保健医療支援・子育て支援・高齢者支援>

### (保健医療支援)

- ・市民の健康管理意識は依然として高く、市民の70%以上が健康管理に努めていると回答している。健康のための運動意識もこれまでの調査結果とほぼ同様で、30分以上の運動を週に1度以上行っているとする市民の割合は50%を超えている。こうした健康管理意識や運動実施状況は、60歳以上の住民でさらに高くなっている。
- ・今年度で再開から8年目を迎える市立根室病院での分娩再開(平成29年4月)については、昨年度よりやや認知度の水準は低下したものの、半数以上の市民から認知されている。特に20歳代～40歳代の子育て世代では6割以上が知っており、認知度が概ね定着している状況がうかがえる。
- ・ただし、医療環境全般でみると、総じて市民の評価は低く、満足あるいはやや満足とする市民は10%程度で、普通とする回答を含めても50%前後にとどまっている。これは、これまでと同様に、市内で受診できる診療科目が少ないこと、市立病院での分娩が経産婦のみ対象で初産への対応ができておらず、出産のために釧路に出向く必要があることなどへの不安感・不便さが反映されたものと考えられる。

### (少子化・子育て支援)

- ・少子化・子育て支援に関する市の施策に対する認知度は、こども医療費給付の高校生以下までの拡充、保育所等における給食費及び第3子目以降の保育料及び小中学校の給食費の無償化、出産祝金支給制度の創設といった経済的支援に関しては認知度が比較的高くなっている一方で、人材確保対策に関する事業の認知度はそれほど高くない状況にあり、昨年度調査とほぼ同じような状況となっ

- ている。また、今年度調査から調査項目に追加された「0～2歳児の保育料を半額にする減免制度の創設」、「乳児おむつ用品購入券支給制度の創設」については、認知度は30%台にとどまっている。
- ・20歳代～40歳代の子育て世代では、「人材確保対策」を除く6項目では認知度が市民全体を上回っており、周知PRの成果がうかがえる。
  - ・今後の子育てに関する支援策については、引き続き経済的負担の軽減を望む意見が多くなっている。給付金の支給のみならず、制服や教材の現物支援など、より具体性の高い支援を求める声もみられた。加えて、働きながら子育てができる労働環境づくりについても求められている。

#### （高齢者支援）

- ・高齢者のための施設や支援制度に対する満足度は、いずれも例年と同様に、満足とする回答が10%未満にとどまっており、不満とする回答（25～30%程度）を大きく下回っている。
- ・市が実施している高齢者支援策の認知度について、高齢者見守りボランティア事業の認知度が比較的高い一方で、人材育成事業の認知度が低いという状況は、昨年度までの調査の結果とほぼ同様である。
- ・高齢者支援策としては、昨年度までの調査結果と同様、寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実、介護付き高齢者専用住宅の充実、高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくりを望む意見が多い。

#### ＜交通・生活環境・防災・減災＞

##### （交通）

- ・市民の交通インフラに対する満足度は決して高くないが、道路交通に関しては70%以上が、公共交通機関に関しては50%以上が「普通」以上の満足度となっている。
- ・交通に関する施策に対する市民の認知度は、高齢化の影響もあって、70歳以上の市民に対する優待バス券もしくはJR券の交付への認知度は6割を超えている。また、JR花咲線の存続が課題となっている現状を背景として、JR花咲線の維持確保対策に対する認知度も比較的高い。市内乗合バスや中標津空港連絡バス等への財政支援については、令和5年10月にJR標津線廃止代替バスの運行が終了し、根室市と中標津空港とを結ぶ公共交通網に大きな影響が出たこともあって、関連する当施策への認知度が高まっている。
- ・交通施策に対する要望としては、昨年度までの調査の結果と同様に、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」に対する要望が最も多く、「バス便の確保」、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網整備」、「身近な生活道路の整備」に対する要望も引き続き多くみられている。

## （生活環境・防災・減災）

- ・生活環境に対する市民の満足度は、身近な自然、上下水道、公園や広場とも、概ね 80%前後が普通以上と回答しており、これまでの調査と同様の結果となっている。
- ・しかしながら、買い物の利便性に関しては、普通以上とする回答は 60%を超えてはいるものの、これまでの調査結果と同様に、不満とする住民の割合が、満足とする住民の割合を上回っている。
- ・防災・減災に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、漁業者の多い東部地区で高潮対策や防災無線への認知度が高くなっている。
- ・今後の生活環境に関する施策については、「美しい景観（まちなみ）の創出」「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」の 2 項目に対する要望が多くなっている。
- ・防災・減災に関する施策についても、これまでの調査結果とほぼ同様の結果となっており、「食料・水・日常生活用品の備蓄」がほぼ半数を占め、次いで、「指定避難場所など防災拠点の整備」、「災害時の情報連絡手段の整備」が重要施策としてあげられている。

## ＜教育・スポーツ・文化＞

### （教育）

- ・教育施設や教育環境に対する満足度は、例年と同様に、満足とする回答が 10%程度にとどまっており、不満とする回答（20～25%程度）を下回っている。
- ・学校教育に関する施策に対する市民の認知度は、『市立学校適正配置計画』に基づく小・中学校の移転統合及び義務教育学校化に向けた学校整備事業「ふるさと給食事業」「高校生への 1 人 1 台ノート PC の貸与」に対する認知度が高い。なお、「ふるさと給食事業」については、平成 29 年度から始まった事業であり、当初は 30%台の認知度にとどまっていたが、子育て世代を中心に徐々に認知度が高まっている状況がうかがえる。
- ・学校教育の充実に向けて、今後望む施策としては、これまでの調査結果とほぼ同様に、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」「生きる力を育てる総合的な学習の充実」「個性や才能を伸ばす教育の充実」が上位にあげられている。
- ・社会教育に関して今後望む施策としては、「放課後教室・児童会館・児童教室などの充実」「生涯学習教育の指導者育成」「青少年の健全育成」が上位にあげられており、順位こそ変動があるものの、昨年度までの調査結果と同様の結果となっている。

### （スポーツ・文化）

- ・スポーツ施設の状況に対する市民の満足度は、例年と同様に、満足とする回答が 10%未満にとどまっており、不満とする回答（30～40%程度）を下回っている。
- ・スポーツ・文化に関して望む施策は、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」「芸術・文化の振興・文化施設の整備」「文化財や史跡の保護・伝承」「音楽会・講演等の開催」が上位にあげられており、昨年度までの調査結果とほぼ同様の結果である。

## ＜産業＞

- ・近年の根室市の産業経済は、さんま、さけの不漁が続いていることで、依然として厳しい状況下にある。特に漁業においては、これまでもロシアとの漁業協力関係の影響を大きく受けている中で、

令和4年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻に対する欧米・日本等の経済制裁へのロシアからの反発の影響も加わり、さらに厳しい状況となっている。

- ・こうした経済状況下において、市民の産業経済に対する関心は生活環境や教育などの他の施策よりも総じて高くなっている。根室市で実施している産業振興に関する施策の認知度をみると、特に「漁業の振興」に関する施策の認知度が高くなっている。
- ・今後に望む産業施策としては、これまでの調査と同様に「水産業基盤及び生産体制の整備」が最も高くなっているほか、「後継者の育成・確保」「企業誘致による雇用の場の確保」「魅力ある商店街づくり」が上位にあげられている。

#### <行政情報・市民協働・市民参画>

- ・市で実施している行政情報に関する施策として、『ねむろメール』やフェイスブック、ツイッター、根室市公式 LINE 等による行政情報の発信」の認知度をみると、昨年度調査と同様に 60%近い認知度となっている。60 歳以上の市民についても、およそ半数からの認知を得ている。
- ・市民が行政からの提供を望む情報としては、これまでの調査結果と同様に、「道路交通・除雪・気象等の情報」「行政に関する総合的な情報」「文化行事・イベント情報」を望む意見が多くなっている。
- ・市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に参加する活動を訪ねた設問については、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」「清掃活動や花いっぱい運動」「高齢者や障がい者等のためのボランティア活動」が上位となっているが、最も回答率が高かったのは「特になし」となっている。
- ・まちづくりへの参加方法については、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」が最も多いが、次いで多いのは消極的な回答である「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」となっている。
- ・男女平等に関する意識については、男女平等であると考える回答が 21.0%と例年と比較すると向上しているものの、依然として男性が有利との認識は 40%程度を占める状況が続いている。
- ・ワーク・ライフ・バランスの認知度については、言葉だけでも知っていたとする回答も含めると、認知度は 53.6%となっており、例年とほぼ同じ水準で推移している。

## 5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるKPIの動向

現行の第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値のうち、市民意識に関する指標について、その達成状況を以下に整理する。

なお、令和3年6月に策定された第2期根室市創生総合戦略において、第1期総合戦略の目標値やKPIをそのまま継続することが決められたほか、市民意識に関する重要業績評価指標（KPI）として市民意識調査におけるアンケート回収率が新たに加えられることになった。

ただし、総合計画で示される目標値の中には、今回の調査と同様の手法で実施した前回の市民意識調査のほかに、平成23年度に実施された「根室市高齢者実態把握調査」、平成26年度に実施された「根室市健康づくりのためのアンケート」、「子ども・子育て支援アンケート」の結果も用いられており、調査対象者数の違いなどから、直接的に比較することが困難な指標もある。

また、市民意識そのものには、「あいまいさ」という不安定要因が含まれていることから、今回の調査結果だけで判断するのではなく、継続的に調査を実施し傾向を把握することで、より適切な評価が可能になることに留意する必要がある。

本モニタリング調査は、平成28年度調査を第1回目調査として実施し、今年度が9年目の調査となることから、今年度調査の結果に関して、第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値策定年度との比較に加えて、5年目調査である令和2年度調査との比較を行っている。

### <上昇指標>

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今年度調査で上昇が確認された指標は以下のとおりである。

#### 【令和6年度調査において上昇が確認された指標】

- ・ **健康管理に努めている市民の割合**
  - ・ 病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合
  - ・ 子育ての環境や支援に満足している保護者の割合
  - ・ 乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合
- ・ **健康管理に努めている市民の割合（60歳以上）**
  - ・ 上水道の整備状況におおむね満足している市民の割合
- ・ **下水道の整備状況におおむね満足している市民の割合**
  - ・ 公園等の利用しやすさに満足している市民の割合
  - ・ 市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合
- ・ **教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合**
- ・ **スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合**
- ・ **週1回以上スポーツ（運動）をする市民の割合**

注：太字はすでに総合計画及び総合戦略の目標を達成している指標を示す。

- ・総合計画及び総合戦略における市民意識に関する 22 個の指標のうち、令和 6 年度に目標を達成した指標は 6 個、目標を達成した指標を含め、計画策定時の指標を上回っている指標は上記に示した 12 個であった。
- ・すでに総合計画及び総合戦略の目標を達成している指標は、主として健康関連や生活インフラ関連の満足度に関するものである。
- ・そのほか、目標は達成していないが、評価が向上している項目としては、乳幼児や子どものための福祉施設の状況、子育てのための環境や支援などがあげられる。これは、給食費・保育費・医療費の無料化等の経済支援の実施、「子ども向け屋内遊戯施設『ふるさと遊びの広場』」のオープンなどにより、子育て世代を中心に市民の満足度が徐々に向上しているためと考えられる。

### <減少指標>

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今回低下（1 ポイント以上）が確認された指標は以下のとおりである。

#### 【今回低下（1 ポイント以上）が確認された指標】

- ・健康状態が良好と感じている市民の割合
- ・趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60 歳以上）
- ・町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60 歳以上）
- ・高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65 歳以上）
- ・住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合
- ・公共交通機関の便利さに満足している市民の割合
- ・郊外の森林景観について満足している市民の割合
- ・日常の買い物の便利さに満足している市民の割合
- ・北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合
- ・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合

- ・総合計画及び総合戦略における市民意識に関する 22 個の指標のうち、計画策定時の指標を下回っている項目は、上記に示した 10 個となっている。
- ・評価指標が計画策定時から低下している項目は、昨年度調査の結果と同様となっている。特に、高齢者福祉、公共交通の利便性、買い物の利便性といった項目に関しては、これまでの調査と同様に市民の不満足意識が確認されていることから、引き続き重点的な対応が求められている分野と考えられる。
- ・ただし、計画策定時の指標値については、本調査で実施した市民意識調査以外の調査結果の値も含まれていることに留意する必要がある。

<令和2年度調査との比較>

- ・第1期根室市創生総合戦略が策定されてから5年目で、かつ総合計画の計画期間のほぼ中間年である令和2年度の調査結果（5回目の市民意識調査）と比較すると、新たに評価が向上した項目が3項目、評価が低下した項目が3項目あった。
- ・特に、令和3年度にオープンした愛称わんぱーくに対する評価や、給食費、医療費等の子育て支援に関する新規事業が相次ぎ実施されている子育て関連に関する評価は、自由回答においても確認されている。
- ・一方で、医療機関に対する評価は、令和5年4月の市立根室病院の病床数縮小もあって引き続き低くなっている。また、森林景観に対する評価も引き続き低く、アンケートの自由回答からは太陽光発電や風力発電施設等による景観への懸念がうかがえる。

令和2年度調査（5年目調査）結果との比較

	指 標
令和2年度調査結果より低下した指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康状態が良好と感じている市民の割合</li> <li>・<b>趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60歳以上）</b></li> <li>・町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60歳以上）</li> <li>・高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65歳以上）</li> <li>・<b>健康管理に努めている市民の割合（60歳以上）</b></li> <li>・上水道の整備におおむね満足している市民の割合</li> <li>・<b>下水道の整備におおむね満足している市民の割合</b></li> <li>・市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合</li> <li>・スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合</li> <li>・日常の買い物の便利さに満足している市民の割合</li> <li>・北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合</li> </ul>
令和2年度調査結果より上昇した指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理に努めている市民の割合</li> <li>・<b>病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合</b></li> <li>・子育ての環境や支援に満足している保護者の割合</li> <li>・乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合</li> <li>・公園等の利用しやすさに満足している市民の割合</li> <li>・住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合</li> <li>・公共交通機関の便利さに満足している市民の割合</li> <li>・<b>教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合</b></li> <li>・週1回以上スポーツ（運動）をする市民の割合</li> <li>・<b>郊外の森林景観について満足している市民の割合</b></li> <li>・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合</li> </ul>

注：太字は、昨年度調査から入れ替わった項目

現行総合計画及び総合戦略における市民意識に関する指標の増減傾向

指標もしくはK P I	総合計画	総合戦略	目標値 (R6)	計画策定時の値		H28調査	増減	R02調査	増減	R06調査	計画時からの増減	R02からの増減
				調査年	値							
1 健康状態が良好と感じている市民の割合	○		45.0%	H26	39.8%	39.3%	▽	38.0%	▼	33.4%	▼	▼
2 健康管理に努めている市民の割合	○		66.0%	H26	66.0%	70.5%	△	72.4%	△	74.9%	△	△
3 病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合	○	○	35.0%	H25	10.3%	6.0%	▼	10.6%	△	11.8%	△	△
4 子育ての環境や支援に満足している保護者の割合（20～40代）	○	○	30.0%	H25	7.7%	6.3%	▼	10.0%	△	16.5%	△	△
5 乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合	○	○	30.0%	H25	5.7%	4.0%	▼	10.3%	△	15.6%	△	△
6 趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60歳以上）	○		65.0%	H26	61.1%	67.1%	△	56.9%	▼	53.5%	▼	▼
7 町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60歳以上）	○		55.0%	H26	52.9%	52.7%	▽	48.2%	▼	43.3%	▼	▼
8 高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65歳以上）	○		30.0%	H23	21.9%	8.0%	▼	9.5%	▼	7.5%	▼	▼
9 健康管理に努めている市民の割合（60歳以上）	○		75.0%	H26	69.6%	85.6%	△	82.4%	△	82.1%	△	▽
10 上水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		88.0%	H25	85.1%	84.0%	▼	88.2%	△	87.7%	△	▽
11 下水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		83.6%	H25	78.0%	79.3%	△	85.7%	△	85.2%	△	▽
12 公園等の利用しやすさに満足している市民の割合	○		44.4%	H25	20.0%	18.0%	▼	20.6%	△	22.2%	△	△
13 住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合	○		59.7%	H25	36.4%	38.4%	△	27.5%	▼	28.6%	▼	△
14 公共交通機関の便利さに満足している市民の割合	○		28.0%	H25	9.5%	4.5%	▼	6.3%	▼	6.6%	▼	△
15 市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		74.1%	H25	62.6%	55.6%	▼	76.7%	△	70.8%	△	▼
16 教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合	○		60.0%	H25	48.5%	46.4%	▼	71.0%	△	71.6%	△	△
17 スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合	○		60.0%	H25	48.6%	39.8%	▼	63.4%	△	61.8%	△	▼
18 週1回以上スポーツ（運動）をする市民の割合	○		45.0%	H26	36.0%	55.4%	△	51.7%	△	52.1%	△	△
19 郊外の森林景観について満足している市民の割合	○		43.0%	H25	35.9%	37.8%	△	23.3%	▼	24.0%	▼	△
20 日常の買い物の便利さに満足している市民の割合	○		36.0%	H25	22.5%	13.0%	▼	18.9%	▼	16.6%	▼	▼
21 北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合	○		25.0%	H25	20.7%	17.1%	▼	22.9%	△	16.5%	-	▼
22 まちづくりへ参加したいと思う市民の割合	○	○	85.0%	H25	79.4%	79.3%	▽	71.7%	▼	72.8%	▼	△

注1：増減の「△」は総合計画・総合戦略策定時から上昇、「▽」は減少、「▼」は1ポイント以上減少を示す。

注2：網掛けは目標値を達成していることを示す。

## 6. 根室市創生総合戦略の評価

平成 27 年度に策定された根室市創生総合戦略及び令和 3 年に策定された第 2 期根室市創生総合戦略は、客観的効果検証を行うとともに、社会経済の情勢、市民意向の変化等に的確に対応し、逐次改善していくための P D C A サイクルを構築している。

第 2 期根室市創生総合戦略では、第 1 期根室市創生総合戦略の総括及び今後の社会経済の潮流を踏まえ、人口減少問題や雇用情勢の変化、新型コロナウイルス感染症による地域社会の変容、医療、福祉、教育など社会全体への未来技術の活用に向けたデジタル・トランスフォーメーションの推進、技術革新（Society5.0 の実現に向けた技術活用）や持続可能な開発目標 S D G s 、今後の段階的回復に向けたインバウンド対策などの新たな視点に着目した施策が立案されている。

### 6. 1 基本目標別の施策実施効果の評価検討

令和 3 年 6 月に策定された第 2 期根室市創生総合戦略は、戦略理念、基本目標は、第 1 期根室市創生総合戦略の基本目標を原則引き継ぐとともに、国や北海道の長期ビジョンを踏まえて、新たな施策を追加している。

このため、今回は、第 2 回根室市創生総合戦略の施策体系に基づく評価検討を行うこととし、第 1 期根室市創生総合戦略を踏襲している施策に関しては、昨年度までの評価を踏まえ市民意識の観点からの施策実施効果についての評価検討を行う。

評価検討の方法は、主として市民意識調査結果から、総合戦略に対する意識に関連する項目や自由意見を抜粋し、市民意識を整理した。

第 2 期根室市創生総合戦略においては、第 1 期根室市創生総合戦略と同じく「子どもたちに誇れるまち、ひと、しごと」を戦略理念として、若い女性をはじめ、次代を担う市民が働き、出会い、結婚し、出産・育児等のライフステージを根室市で過ごすことのできる地域を目指すとともに、段階的に移住・定住から関係人口、交流人口の受入れまで、人の流れを更に生み出すことを目標として、以下 3 つの基本目標が引き継がれている。

#### ○雇用対策

「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる。

#### ○子育て支援

住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

#### ○人材育成

みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

ここでは、これらの基本目標別に市民の評価の動向を整理する。

(1) 基本目標1 「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる

①経済・雇用対策の推進

根室市では、基本目標達成に向け、第1期根室市創生総合戦略に引き続き、以下の経済・雇用対策が推進されている。

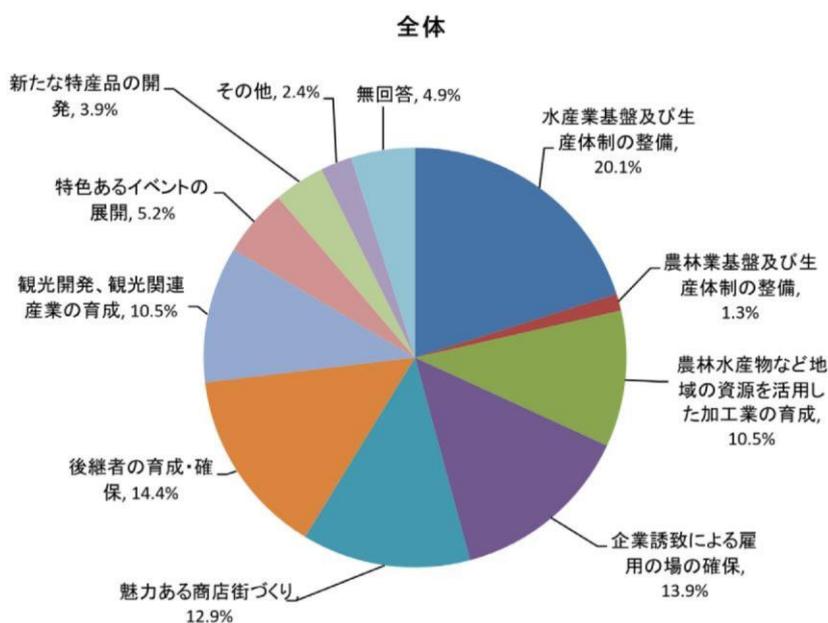
- a) 農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進
- b) 労働力不足解消のための雇用のミスマッチ解消など需給不均衡の改善
- c) 商工業後継者の不足に伴う事業承継のための支援等の充実
- d) U I ターン者向け支援の充実による起業促進と労働力の確保
- e) 産学官金の連携及び農商工連携と6次産業化の促進

1) 産業振興について重要だと思う施策

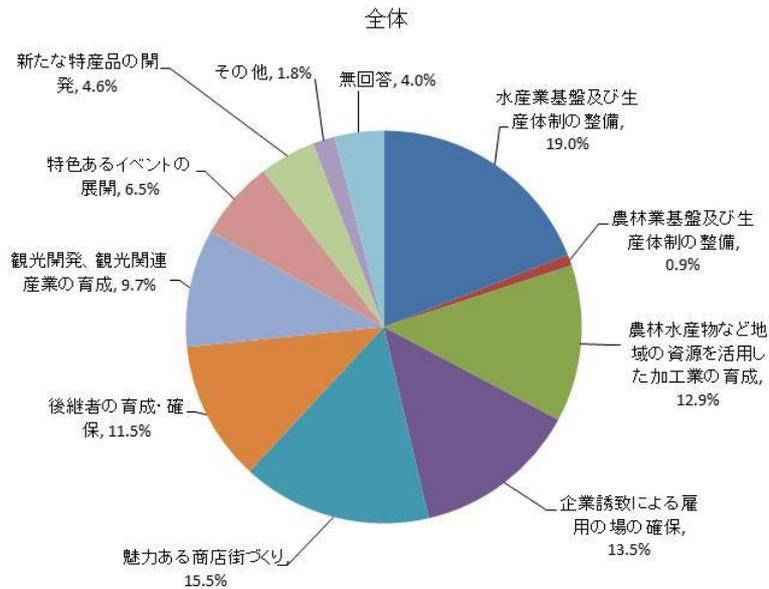
根室市の産業振興について、今回の市民意識調査から今後重点的に取り組むべきと思う施策についてみると、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が最も高くなっている。この結果は昨年度調査の結果と同様であった。また、これに次ぐ施策には「後継者の育成・確保」、「企業誘致による雇用の場の確保」、「魅力ある商店街づくり」が挙げられている。

平成28年のロシア200海里内サケ・マス流し網漁の禁止、近年の不漁、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済的影響に加えて、令和4年2月以降のロシアのウクライナ侵攻による様々な経済への影響、令和5年8月からの中国による日本産水産物輸入停止などの要因も加わり、根室の基幹産業である漁業に対する不安感が増している状況が一層強くなっていることから、中長期を見据えた産業振興だけでなく、より短期的な経済対策への期待が強くなっている状況がうかがえる。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



## 2) 経済・雇用対策についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から、経済・雇用対策に関する意見をみると、基幹産業である漁業と若年層の雇用の場に関する意見が多くあがっていたほか、労働条件の改善に関する意見もみられた。

特に、漁業については、すでに市の政策として、育てる漁業への転換が継続的に推進されているところであるが、日本の対ロシア関係の悪化や、根室近海の魚種の変化などの影響で、さらに厳しさが増した状況下であり、早期の成果が強く求められているところである。

### <経済・雇用対策の推進に関する意見>

年代	問 23 意見・提案
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室市の魅力は、食（特に水産）だと感じています。産業が今後も発展していくような支援・発想（廃棄されているものを活用するなど）が今もされていますが、さらに必要になってくると思います。</li> <li>宿泊施設を整備すること、根室の自然をいかしたアクティビティが展開されていくことが、観光客誘致につながると思います。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室は一次産業の町です。漁業の未来を考えて下さい。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産業の事で、カニ・エビ・ホタテなど、放流しているのを聞いていますが、大きくならないうちに取り上げてしまう。エビなど、SS や S を取らないでももう少し大きくなるまで、待たれないのか。又、小さいものは、取らないで海へ戻すことは出来ないのか。ホタテも放流しても、その場所にさしあみなどすると、放流したホタテが取られてしまう。せっかく放流しても育たないうちに取り上げるのはいかがなものか、もう少し考えたらどうでしょうか。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>賃金を上げてほしい。雇いたくても雇えない企業への給与面の支援も視野に入れてほしい。</li> <li>外国人の雇用に頼りすぎない。日本人の働き方を改革する。安い賃金で日本人を雇えないから外国人に依頼するのではなく、必要な賃金を日本人に支払って、その上で外国人の雇用にも尽力する。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者が根室に残り働ける環境を整える事や、働く場所への補助、または資格を取れる環境を整えると良い。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりにこれといった具体的な意見はありませんが、水産業のまちなので、これからの漁業（環境変化に対応した）の方向性と具体的な対応が必要と思います。生活の中では、せっかく新庁舎ができたのだから、時計や温度など市民が外気をわかるようなことを庁舎近くに建てたらいいかな。私は「ふみきり」のことはよくわかりませんが、「大正町」のふみきりに「信号機」があればいいと思う。ふみきりの「シャダンキ」は今までと同じく、あわせて信号機があればと思う。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院で働く人が不足している話も聞き、美容室もなかなか希望の日に予約が取れず、人口減を実感しています。大学進学で市外に出た若者が戻って来る事が少ないので、戻りたくなる街である事</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
	が重要かと思えます。涼しさが最大の魅力なので、アピールして欲しいです。
30 歳代	・ なんだかんだで経済、稼ぐ力が地域にあることが重要だと思いますので、経済振興に力を入れていただけたらと思います。
65-74 歳	・ 人口がどんどんと減少して寂しくなって参りました。地域の産業が発展しないと町は発展していかないと考えています。特に根室は水産業で栄えて来た町なので、漁業の不振などその影響が大きいのだと思います。現在は、作り育てる漁業に目を向けて進んでいますので、期待をしています。私は昆布漁をしていますが、今年は気候の変動や海水温の上昇で昆布の育生も薄く、成長も悪く、将来が、この先が大変心配しております。道も力を入れて調査をする様ですが。
60-64 歳	・ 根室に不安があるので、学生が戻ってこない。働く場所、低賃金など条件が悪すぎる。せめて、札幌、東京を往来する交通費の負担を軽くしたら戻って来る機会も増え、生まれ育った所で生活したいという気も出てくるかもしれない。活気がないと、人手がないと、これ以上、変わり様がないような気もする。
50 歳代	・ 住みたい、住み続けたいと思う反面、高齢化に伴い、施設や住環境の充実した都市部への転居も考えてしまいます。やはり水産業の町の復活に大きく期待します。
40 歳代	・ 今のままでは人口減少する一方だと思う。もう少し一次産業の後継者に対して支援していった方が良いと思う。今回行われたまちづくり補助のときわ台で行われたフェスも名前が根室にちなんだ物ではないのはどうかと思う。銭湯や温泉施設を増やし、キャンプ場をもう一度作った方が良い。根室はやっている事が中途半端で他の町より魅力がない。海産物を取った以外は何も良い所がない。
20 歳代	・ 自分としては同年代のほとんどが、根室市から出て戻って来ないのが気になる。今の高校生が進学後戻りやすい「まちづくり」が何かあれば、活気のある町になると思う。大学専門学校等に進んだあとの就職活動で、地元の仕事があれば戻りやすいと思う。
75 歳以上	・ この数年、サケ・マス・サンマ・イカ・カニ魚の不漁により、街全体に活気がなくなったように思われます。何か特産品を活かして新たな物産を！は難しい事で、産物を地方へ送る楽しみも、喜んでもらえる楽しみも無くなり、寂しい限りです。自然が相手でどうしようも無いことですが、「漁師街」にたくさん魚が「大漁」ですね。願うことは。
65-74 歳	・ 若者が帰りたいという気持ちになるような根室であってほしい。このままではどんどん根室が人が居なくなるような気がする。何とかならないものだろうか。
18-19 歳	・ 商店街が何もなく死んでいる。賑やかさが無い。若者には何もないのが苦痛。根室に居る意味があるのか…？人口が少なくなるのも当然だと思ふ。
30 歳代	・ 新たな特産物（海産資源）を早急に考えるべき。例：オランダせんべい、タイエーのやきとり弁当、えびラーメン（カップラーメン）、乾物等の日持ちの良い物は、他の地域に供給しやすいため良い。エスカロップのもと（喫茶どりあん・喫茶ばら）味のようなセットもの。厚岸のカキ飯的なもの。
30 歳代	・ 根室市は高齢化が進んでいます。若い方々の仕事や活躍できる場を設けなければ、若い人は来ないと思います。安定した職の提供が必要だと思います。
20 歳代	・ 見直す所はたくさんあります。まちづくりやら地域おこしなど騒ぐ前に、市民の労働時間を見直し、労働時間をごまかしている会社を徹底して調べ、見直すことが最優先なのは？ワーク・ライフ・バランスという言葉をご存知ですか？
60-64 歳	・ 根室に不安があるので、学生が戻ってこない。働く場所、低賃金など条件が悪すぎる。せめて、札幌、東京を往来する交通費の負担を軽くしたら戻って来る機会も増え、生まれ育った所で生活したいという気も出てくるかもしれない。活気がないと、人手がないと、これ以上、変わり様がないような気もする。建物ばかり新しくしても中で働く人の知識などが低くいと困る。採用条件がどうなっているのか。市役所の職員と市民が身近にならないと、一緒に良くしようと思わないと無理だと思う。市民も無関心の人が多いと思う。
65-74 歳	・ 医療従事者について、看護師不足等、なぜ職に付いた若い看護師等がすぐにやめてしまうのだろうか。
50 歳代	・ 若い方々が働きやすい環境の整備、そして娯楽、イベントなど。他県から人を呼び込んで街を活性化させてほしい。これ以上過疎化しない様（人の流出を防ぐ意見でも）、何かしらの強み（根室市の）を持てる様な市であれば 人々が集まって来るのではないかと？流出しないのでは？それか、半導体工場の様な会社の誘致をして、人々を強制的に増やす様にするとか？今後の根室市に期待します。（ふるさと納税を活かして下さい）
75 歳以上	・ 町中が淋しすぎます。若い人達が起業できる環境を整備すべきだと思います。とにかく町の活性化を考えてもらいたい。逆にこの様な商売をやってみませんか、役所から提案する事も良いのでは。その為には他都市、地方の成功例を職員が取りまとめる行動を。当然視察も必要になってきます。帯広等で成功している屋台村も良いと思います。場所の提供があれば取り組みやすいのでは。立派なものはない。もうすでに取組んでいたらすみません。もっともっと根室の町が良いと言われる様をお願いします。根室が大好きな市民です。

## ②交流人口の拡大（市民意見）

根室市における交流人口の拡大に向けた施策は以下に示すとおりであり、誘客強化と観光プロモーションの強化となっており、特に、自然環境を活かした国際観光地に向けた取組みが進められている。

また、新型コロナウイルス感染拡大を契機としたテレワーク等の新たな就労形態に対応したワーケーション受入れ、根室市の医療が抱える課題解消に向けた医療従事者、介護人材の移住促進に向けた取組みが進められている。

- a) 世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化
- b) 長期滞在者など交流人口の誘客強化と本格移住の促進

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から交流人口の拡大に関する意見についてみると、これまでの調査の結果と同様に観光振興に関する意見が多く、今後の根室市の産業振興として観光に対する期待が大きい状況が把握される。

具体的な内容としては、宿泊施設や飲食店、観光スポット等の観光客向けの施設整備、自然等の根室市が有する資源の有効活用など、これまでと同様の意見が多くを占めていたほか、観光客向けの情報発信の強化、景観対策に関する意見もみられた。そのほか、根室駅前をはじめとした中心市街地の活性化についての意見もみられている。

### <交流人口の拡大に関する意見>

年代	問 23 意見・提案
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域が中心より離れているため、行政の皆様とのつながりが少ないのが現状であり、定期的な住民との交流会などの機会を持って頂きたいです。また、厚床では、高齢化が進んで市内へのサービスに通う方も多くなっており、一日（往復）にも大変なのが実態です。職員さんが定期的に来て頂いて、サービスを受ける事が可能な体制を作って欲しいものです。また、実現するための人員（指導者）の確保が大変、募集しても集まらないと言われます。行政の皆様、特にトップの方は、「いかに集めるか」が一般の方とは違いますので、大いに知恵を出して下さい。市長のお話では、人口比で一番お金のある市ですので、よろしくお願い致します。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりに関係ないかと思いますが、根室に観光として来ていただく為には、イベントの開催のアピールを常にすると良いと思います。（紙面上ではしていますが）明治公園か運動公園にキャンプ場があれば、沢山の人達が、根室市に来てくれると思います。食べ物おいしい町・家族で遊ぶ町・北海道の東、根室のまちづくりを希望します。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球の大会等で地方から人々が来ると、球場の古さやホテルの古さに驚かれるので根室人として恥ずかしい。宿泊施設やスポーツ等の施設が充実していないと観光客や来訪者が留まってくれない。どこの街へ行っても駅前が発展しているので飲食店や土産店等増やした方が良い。先日、観光客が「お昼ご飯は駅に行けば何かあるよね」と言う会話をしていました。こちらとしては何もないよと教えたかったのですが、たぶんがっかりしたと思いますよ。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段通っている道のそばに、あやめの花がたくさん咲いている。数年前からみると、とても増えていて、キレイ。写真を撮っている人もいるが、そのすぐそばには、たくさんのソーラーパネルがあり、とても残念である。私有地なのかもしれないが、手をかければ、観光名所にもなるのでは。ツルなどもある事がある。根室は自然がたくさんあるので、もっと注目してほしい。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ねむろ下町商店街」、「根室市」の LINE 登録しているが、更新が少ない。花火やイベントの情報をたくさん送ってほしい。（後で知った、自分で調べたなど、登録している意味がわからなくなってくる）。</li> <li>・運動公園、明治公園の遊具増設・道の駅の充実、新鮮な野菜や乳製品の販売、イベント、散策路の整備・空き家バンクの充実、空き家の整備、解体</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>本州では酷暑なので、道東の気候を活かして、避暑地の売り込みをしてはどうかと思います（すでに釧路でやっているようですが）。オンラインで会議もできる世の中ですので、在宅ワークをしている方々に、根室でも仕事をしながら過ごせるような受け入れはどうかと思います。また、何か、根室にしかない、特徴的なイベントがあるといいなと思います。（例えば上川の写真甲子園のような）水産関係ではない、何かがいいなと。</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光、宿泊施設の新設で観光面を充実させて、根室へ旅行に来てくれるように願いたい。</li> </ul>
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスの接続を良くしたり、若い世代の公共交通に対する意識の取組（利用促進）。根室の魅力を今以上に発信し観光客を呼び込んでほしい。市と市民団体が協力して活動ができるようにしてほしい。</li> </ul>
18-19 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>「根室は自然が豊か！」という言葉をよく聞きますが、やはり全国的には水産業が有名なこともあって、その印象が薄れてしまっている気がします。風蓮湖や落石岬、春国岱などに希少性の高い植物などが自生したり、他にも様々な動植物もいますし、根室十景以外にも心の底から美しいと言えるような景色もたくさんあると思います。そのような根室の魅力を伝えることがこれからは大事になっていくと思います。今は情報化社会なので YouTube やインスタグラムの公式アカウントで 20 分ほどの動画を投稿するのもいいと思います。それと並行して、街並みの景観を改善し、子育て支援を思い切って大胆なことをやったら、安易な考えかもしれませんが、人口が増えるかとも思っています。とにかく、根室の魅力をインターネットなどで紹介する時、10 秒ほどの動画ではなく、四季折々の映像や実際に現地で自然ガイドさんと散策している動画を公開するのもいいと思います！</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少を止めるための取り組みと同時に、関係人口・交流人口創出のために、「持続可能な観光地域づくり」の重要性が高まっていると思います。「持続可能な観光地域」とは、市民にとって住み良い地域だと考えます。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客は根室の海産物を食べたいと根室に来ますが、とれたての物をその場で焼いて食べられる施設がなく、残念な思いで帰る人も居たので、厚岸のコンキリエのようなその場で食べられる場所があるといいと思います。ホテルも少なく、あっても汚いかもう泊まりたくないと聞くので宿泊する場所も必要だと思います。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>落石岬にある旧日本軍の無線所跡は、太平洋戦争へと突入する合図となった、択捉島単冠湾に集結した、日本海軍の太平洋艦隊へ突撃の指令となった「ニイタカヤマノボレ」の暗号電文をモールス信号で発信した場所と理解しています。根室市はこの歴史遺産を良く保存管理していく責任があるはずですが、それなのに、何故、個人に貸与しているのでしょうか。建物は改修されて、昔の面影を失っています。また、一般人の見学もできません。これでは市の管理責任が間違っているのではありませんか。歴史の頁の遺産に目をつぶりたいというのですか。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノサップ岬、車石等、沢山の観光資源は、素晴らしいです。最高にするために、もっと盛り上げていって欲しいです。早急に、補修しなくてはいけないところを直したり、飾り付けやモニュメント、色々目玉となりえるので、楽しみにしています。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室の町並み、景観が淋しいと感じます。ナナカマドの木は実が落ちるときたないし不衛生に見えます。道路沿いの花壇も、もう少し華やかにすると、明るい町に見えるのではないのでしょうか。</li> <li>食で観光客が来ているようなのでその人たちが宿泊できる宿や（安くてキレイ）、駐車場があれば便利だと思います。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室十景の中でも、特に長節湖・落石岬などへの散策道が整備されていないように感じます。</li> <li>桂木周辺（根高の下の方）の自然豊かな場所に、太陽光パネルが設置されているが、せっかくの景観が台無しになっている気がします。設置規制条件等できないのでしょうか。</li> <li>宿泊施設が少ない事。根室の町が住みやすく、観光客に自慢できる自然を持つ根室を、今以上にアピールする。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室駅前前の活性化。観光客の方が駅から降りた時の第一印象は良くないと思う。さびれた街。活気がない。と思われる景観。熊と鹿の対策。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>素通りの町根室を変えて、根室で泊まってもらいお金を根室に落してもらえよう夕方から夜にかけてのイベントを、さんま、カニ祭りの中に盛り込み、夜、釧路や阿寒へ行ってしまふのができないのでしょうか。ノサップ岬の周辺に市で土地をふるさと納税で購入し、観光大手会社を入札で協定してホテル街を作り、正月だけではなく「朝日に一番近い街根室」を観光客に見ていただくのも良いと考えます。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間制限などのない自由に使える駐車場を市内に増やして欲しい。市立病院の側にコンビニを作って欲しい。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者にとって、生活が「根室のみで完結しない」から釧路や中標津に出て行きたいと思うのです。困ったら外に買い物に行っているのです。本屋も服屋も市内にあるものでは事足りないのです。若者のほとんどがです。根室市のお金を他市町に流しているのと同じです。当の若者も「根室に住まなくても」と思ってしまう。もっと若者の声をきいてください。新しい取組で独自の良さを作っていく段階ではないです。「衣・食・住」をはじめとした生活基盤そのものを、根室から出なくてもおむね完結するような環境を整えてください。ずっと住んでいなくなる景観づくり、施設整備を維持してください。このままでは「祭りのときに来れば良い」だけのまちです。</li> </ul>

(1) 基本目標2 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

①Society5.0（ソサエティ 5.0）時代に向けた人材育成

第2期根室市創生総合戦略で追加された施策であり、次代を担う子どもたちの確かな学力向上に向けた取組みが推進されている。

a) 良好な教育環境の整備と義務教育の充実

1) 教育環境に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、根室市の教育環境に対する市民意識についてみる。

市民の根室市の教育環境に対する満足度意識について、昨年度までの市民意識調査の結果と比較してみると、令和2年度までは不満と感じている市民の割合が減少するとともに、満足と感じている市民の割合が増加するなど、満足度の改善傾向がみられていたが、それ以降は概ね横ばいでの推移となっている。

教育環境に対する市民の満足意識の変遷

項目	満足											不満足										
	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 策定時	増減	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 策定時	増減
「子どもの教育施設や教育環境」について	11.1%	10.9%	10.5%	10.9%	6.8%	5.9%	4.2%	4.1%	4.7%	5.4%	△	23.4%	22.9%	19.3%	23.2%	21.9%	25.7%	29.8%	46.6%	42.8%	43.3%	▼

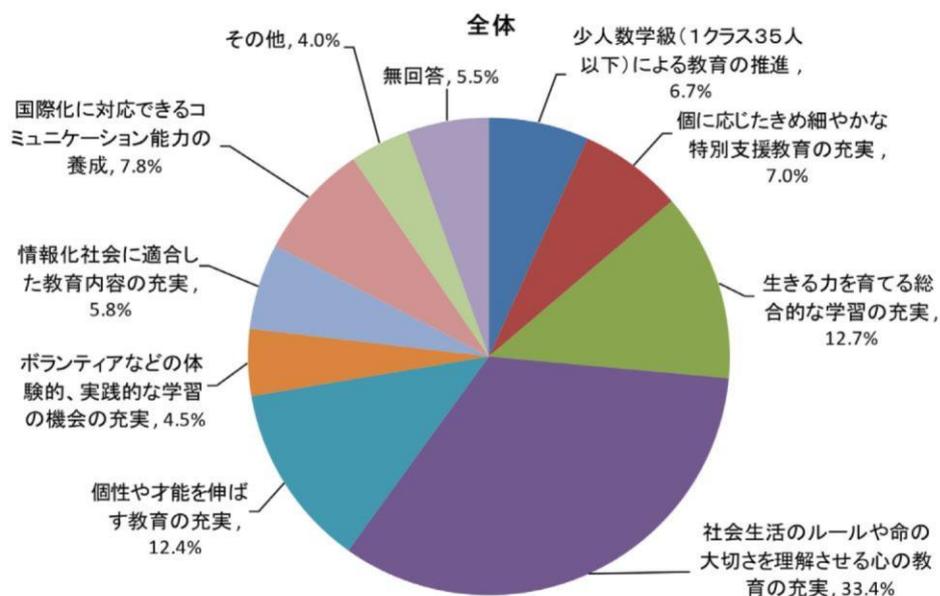
注：増減は、計画策定時に対する増減を示す。

△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する。

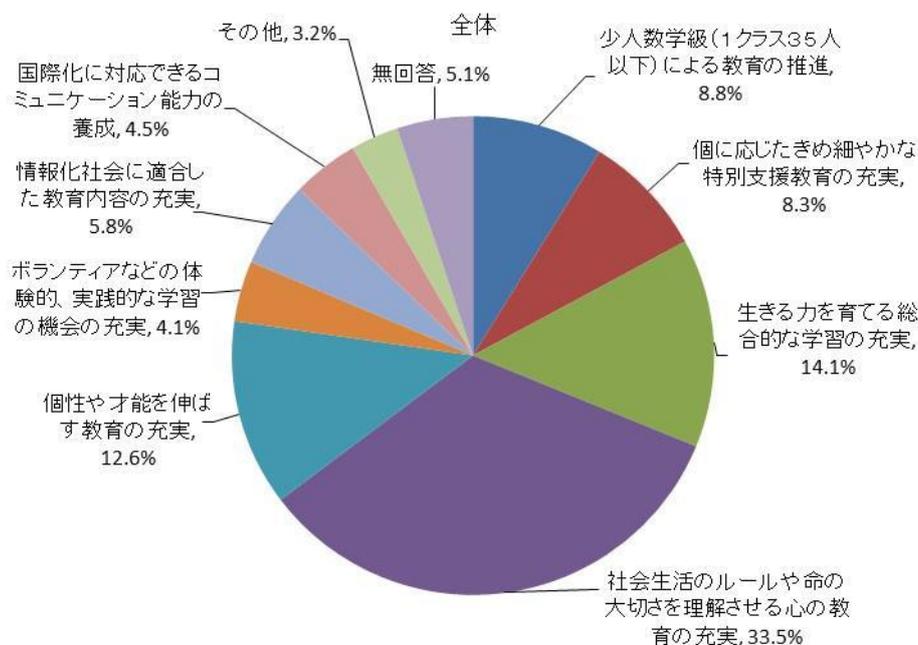
## 2) 教育環境について重要だと思う施策

根室市の教育環境について重要だと思う施策についてみると、例年と同様に「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっており、次いで、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」が上位にあがっている。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



### 3) 教育環境についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、根室らしさを生かした水産学習に対する評価の声があった一方で、大学や専門学校などの教育機関の整備、教員の資質向上などに関する意見がみられた。

#### <教育環境に関する意見>

年代	問 23 意見・提案
65-74 歳	・ 人口減により根室市の消滅が言われている。企業誘致や学校（大学、専門学校）等の設立が必要ではないか。隣の中標津町にまける。
20 歳代	・ 市の人口は減る一方かと思いますが、だからこそ子ども達の教育にかける予算や補助が一層充実すればいいなと思いました（小～高校まで）。
75 歳以上	・ 特色ある短大や専門学校の新設で若者を呼び込み、質の高い指導者（教授陣）による新しい風を起こし、活気づけることが望まれる。
50 歳代	・ 子ども達に平和教育について教えてあげてください。
20 歳代	・ 若手教員が多いのに育てる環境や周りの人材配置が不適切に感じます。学校給食の栄養バランスも良いとは思えません。品数も少なく味も給食費の額と見合っていない。委員会や局は町外の学校の教員の現状、管理職の現状をどこまで正確に把握していますか？ ・ 地域柄を感じる水産学習は根室ならではであり、魅力に感じています。そんな良い点もありますが、学校現場の若手教員の資質向上+管理職の適正な配置をお願いします。教員の資質向上は子どもの成長につながります。子どもの成長が親や地域の安心につながると私は思います。あと、子どもから大人まで、言葉に障がいがある人たちが悩みを相談できたり、言語聴覚士とリハビリできたりする環境を整えば（連携とれたり）いいなと思っています。それが学校ともつながることができるのもっと良いです。
30 歳代	・ 未来のある子供たちのために大人が助けたり、守ったりしないと根室の将来が不安です。子供たちが気軽に遊んだり、悩みを打ち明ける場所が必要だと思います。学校にカウンセラーを呼ぶなど、機会があれば子供たちの気持ちや将来が変わると思います。
40 歳代	・ 教育に力を入れて欲しい。未来の根室市や日本を創るのは子どもたちです。
20 歳代	・ 若い人が住み続けたいと思うような施策にしていけないと人口が減り、高齢者だけが増え、いずれは根室市が生きなくなる。根室市に大学など教育施設ができれば、地方からも若い人が集まるようになるし、地元の若い人も地方へ出なくなると思う。それに伴い、就職先の施設も建設できれば良いと思う。根室市は魅力ある働き場所がない。
18 歳未満	・ 高校生や中学生の人も楽しめるような広い体育館施設を作ってほしい。根室には公園がいくつかあるが、遊具のバリエーションが少なく、小学生以下の子供達だけが楽しんでいる気がした。屋内施設を作らなくても、外でスポーツを楽しめるような場所があっても良いと感じる。
50 歳代	・ 市立図書館が小さいので、旧花咲小を解体後、跡地に移転新築または現施設の増築により蔵書を増やして欲しい。歴史と自然の資料館は予想よりも展示内容が良かったので、もっと広報した方が良い。
30 歳代	・ 子育て世帯ですが、給付金をばらまくのではなく、中学や高校等必要な物（制服や教材費）等で支援していただきたい。教室のエアコンをつけて欲しいです。子供が減って、使う教室も少ないのに、そのくらいできないのかと。
30 歳代	・ ネイチャーガイドの育成。動植物や独特の原生の風景など、根室にある資源、その価値をまず市民が認識できるような取組み。市民が根室に興味を持てる取組み。放課後の子どもの居場所の充実。郡部に公園もなければ放課後教室への足もない。郡部校から、市街地や放課後教室、又は図書館やわんぱーく等へのバスや Mobi 等交通手段を構築してほしい。
18-19 歳	・ 学生の資格取得促進のため、英・漢・数検の検定料、1 回無料
40 歳代	・ 根室市内では、放課後教室はやってもらえるのに厚床になると人がいないからできないと言われてたりするので、市内と市外も同じ環境だとありがたいです。でも何かやりたくてお話しをする時は、市で決まっているのでダメと言われてたりして、都合が良いように返答されている？人材不足はわかるのでそれなら厚床にしかできない事も認めてほしいです。これから厚床も人が増える魅力的な町にしたいので、人を増やすためにしたい事をどうやったらできるか一緒に考えてほしいです。よろしくお願いします。

## ②子育て・少子化対策の推進

根室市では、基本目標の達成に向け以下の政策に関する各種の施策が推進されている。

- a) 出会い、結婚、妊娠、出産、育児に関する機会や相談、支援体制の強化
- b) 子ども医療費助成など子育て世代の経済的な負担軽減の推進
- c) 保育施設の整備と多様な子育て支援サービスの充実

### 1) 子育て・少子化対策に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの子育て・少子化対策に対する市民意識についてみる。

市民の子育て・少子化対策に関連する項目の満足度意識について、昨年度までの調査結果と比較してみると、平成 30 年度以降は、給食費の無償化、保育費無償化、医療費の無償化など、年々充実した経済対策の実施により、満足と感じている市民の割合が増加傾向にあり、不満意識を感じている市民の割合も概ね減少傾向にある。

子育て・少子化対策に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

項目	満足											不満足										
	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策 定 時	増 減	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策 定 時	増 減
「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」について	15.6%	13.8%	13.0%	8.1%	10.3%	7.9%	7.3%	4.3%	4.0%	5.8%	△	17.5%	21.2%	17.4%	26.3%	17.5%	25.8%	28.9%	46.4%	47.7%	45.5%	▼
「子育ての環境や支援制度の状況」について※	16.3%	13.1%	11.9%	9.2%	9.0%	6.1%	5.8%	4.9%	5.2%	—	—	18.1%	22.4%	21.0%	26.9%	20.0%	28.1%	31.1%	42.1%	41.6%	—	—

注：※は平成 28 年度調査から追加した項目。

増減は、計画策定時に対する増減を示す。

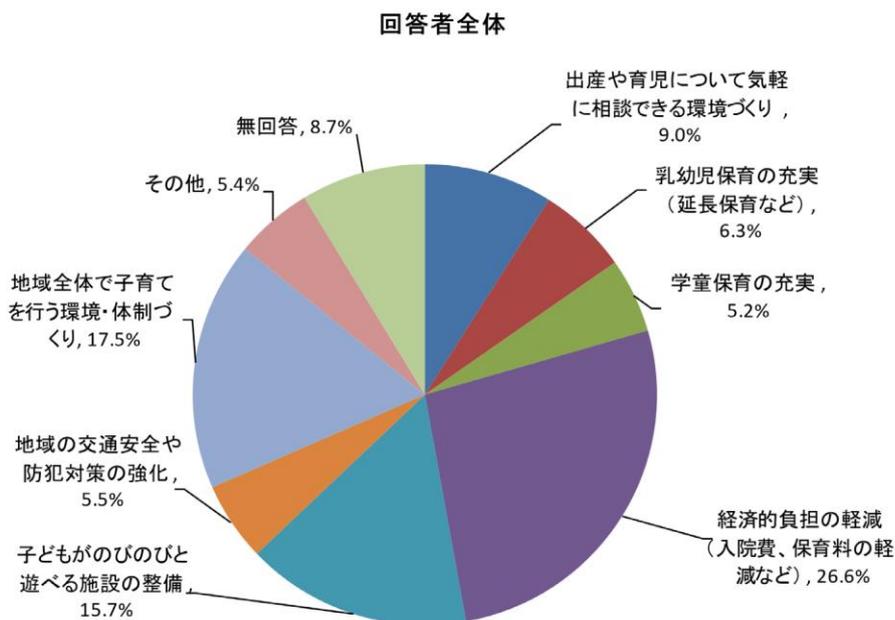
△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する。

## 2) 子育て・少子化対策について重要だと思う施策

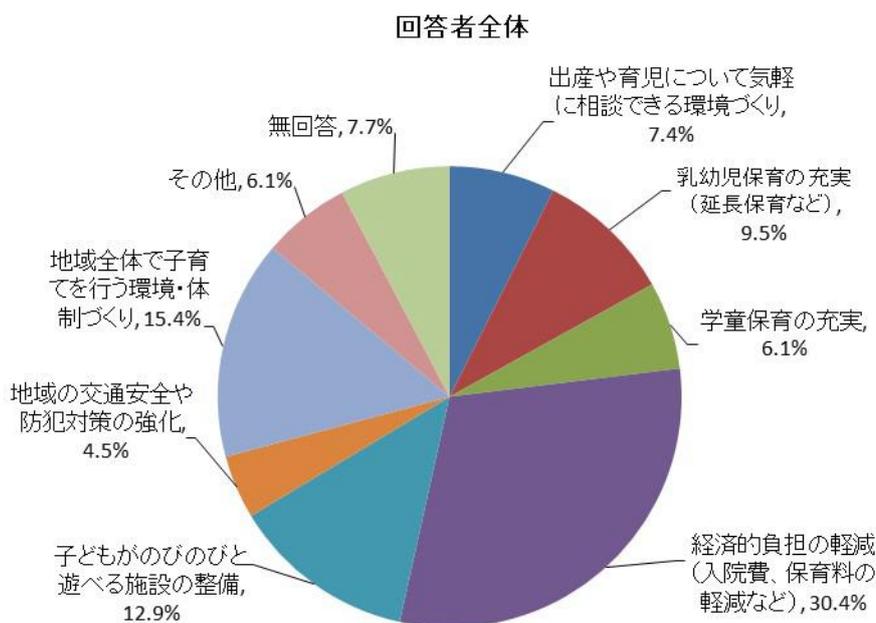
次に、子育て・少子化対策について重要だと思う施策についてみると、「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」と「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が多い状況は、昨年度までの調査結果と同様であった。

ただし、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」に関しては、令和3年12月に子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」（愛称：わんぱーく）が竣工したこともあって、令和4年度以降の回答割合は、それまでよりも低くなっている。

<令和6年度調査>



<令和5年度調査>



### 3) 子育て・少子化についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、近年の給食費、医療費、保育費等に関する支援策の実施、子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」（愛称：わんぱーく）の整備などにより、子育て対策については評価が高くなっている。また、令和4年度から始まった根室市子育て世帯生活支援事業については、おむつ用品以外への適用を望む意見などもみられるものの、概ね好評を得ている。

一方で、必要な買い物やケガの治療などのために市外に出なければいけないことを子育ての不便さとして挙げる意見もみられている。

#### <子育て・少子化対策に関する意見>

年代	問 23 意見・提案
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園（お残り保育も）、放課後教室、デイサービス（老人ホーム）などの機能をそなえた施設作り。一体化。幼児・児童を育てる親が、先生だけでなく、地域の高齢者に気軽に相談できる。また、高齢者も孫世代の子とふれあうことで若がえることができる。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供を産むことへの支援は手厚いと感じています。ただ、中高生になり将来を考えた時に根室では不便が多く、結局は根室を離れ、戻って来ないので、若い世代の人口確保につながらない。進学させるのにもお金がかかるので、一家で根室を出るパターンにつながるのではないのでしょうか。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが生まれ、根室市で子育てをしてみて、根室市の手厚い子育て支援があることがわかり、とても助けられています。保育園を利用するようになり、給食やおやつも充実したメニューでとてもありがたく思っています。保育園の給食は品数も多く、バランスのとれたメニューですが、学校給食は品数もメニューも少なく不満の声をよく聞くので、数年後、我が子も小学生ですが、栄養がとれるのか、満足できる量なのか、周りの話を聞くと心配です。無償化はありがたいのですが、子どもの成長に大切な給食ですので、給食センターの整備やメニューの改善をしてほしいです。その他、物価高で家計は大変なので、ひとり親世帯だけでなく他の子育て世帯への支援もお願いします。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「少子化対策」「地域の子育て支援」という項目があります。この調査書を見て気付きますのは、子育て家庭に金銭的支援をする、高齢者福祉にお金を掛ける、という「市で実施している（実施した）事業」の実績は書いてあります。それがどれくらい市民に認知されているか調査しているようです。大変結構なことです。反対はしません。ですが、この調査書を見てみると、若くて健康な人たちには、スポーツ・レクリエーション・文化活動でもやっておけばいい、たいしてここには予算組まない、さほど特筆する実績はない、というように感じてしまいます。</li> <li>・ わたしはむしろ少子化や子育て支援の前段階のサポートが必要なのではないかと考えます。若くて健康な人たちは一番行政から見放されていると思うのです。若くて健康なのだから、勝手になんでも自分でやれ、という風に。実際には、子供なんて生まれちゃったらなんとかなるものです。産むまでの道のりが、今の若者には遠すぎると思うのです。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在未就学の子ども2人を育てていますが、子育て支援などすごく助かっています。ただ、根室市内の病院では大きなケガ、病気に対応しきれず何かあったときには釧路まで行かなければならないことが不安です。子供の大学進学なども考えると、ずっと根室に住みつづけるのは難しいと感じてしまいます。小児科のクリニックなどがまた開院されたらすごくありがたいです。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道の端にあり、特に目立つことやものもなく、子どもの遊びの場も期待しましたが、うす暗く、たのしんでいる様子も伝わらないです。中標津のように子供がワクワクしているように思えないのが大変残念でした。光入る施設にしてはどうでしょうか。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これから先子供を産みたいと考えているが、釧路赤十字病院で産まなければいけないのですか。根室で産めるなら根室で産みたいです。</li> <li>・ 今でも子育てに関しては手厚いと思うのですが、もっとサポートしてくれたらうれしいです。ベビーシッターさんほしいです。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い子たちや、子育て世代が住みたいと思えるまちづくりをしてほしいです。子育て支援に力を入れているのは助かっていますが、子育てに必要な物が市内でそろわず、中標津や釧路まで皆さん出ていくのも大変です。子どもの物が買えるお店を呼んだり、子育て世代が気軽に入れる飲食店を呼んだりしてほしいです。昔ながらのお店は、小さい子どもを連れて入るには不向きです。力を入れている割に、その辺が整っていないのがとても残念です。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが産める環境があると良い。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園の遊具もほとんど同じようなものばかりなので、各々の公園に特徴をもったものがあると楽しめそうです。運動公園もスベリ台・ブランコ・鉄棒は最低でもあってほしいですね。わんぱーくももう少し楽しめるようなものにしてほしかった。水遊びできる場所がない。噴水も汚いし子供に</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
	は水すら汚くて触ってほしくありません。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代です。近年（特に根室市）では、子育てする家庭への支援がとても手厚くスピーディーに行われる為、とても感謝しております。4人目の子どもでやっと初めておむつ券を頂きましたが、別の月齢のお子さんはもらえなかった話も聞くので、おむつのみクーポンよりかは、子どものいる家庭におむつ以外も購入できるクーポンだと良いかと。もちろんオムツ使いますが、使う量は人それぞれ、早くはずれる子もいるので、子ども関連のクーポンが使いやすい。</li> <li>公園の遊具が少なすぎです。危ないと撤去するのもわかりますが、子どもが（3才~小学生、又は中学生）遊ぶものがなく結局家で遊ぶ。家ではゲームばかりになるので外で遊んでほしいが遊具も少ない。昔の様に遊べる所がないから、子どもへの給付等ばかりあっても、ありがたいですがその後の支援が必要なのでは？運動公園も新しくなる様ですがまず遠い…。ワンパークに行くという目的なら良いですが。公園があちこちにあっても遊具が同じ様なものばかり。子どもが危なくない様な遊具も沢山あるはず。危険を遠ざけてばかりいると子どもの力は育ちません。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合体育会館の構想、知らなかったです。青少年センターが老朽化してきているのでとても良いと思います。スポーツに取り組んでいる子ども達のやる気にもつながるのではと思います。ぜひ前向きに事業を進めてほしいです。低学年と幼児を育てています。わんぱーくが建ってから、遊び場に困らなくなりとてもありがたいです。2月末に出来上がる公園のほうも楽しみです。小中の給食費の無償化や、医療費の無償化、とてもありがたいです。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世帯ですが、給付金をばらまくのではなく、中学や高校等必要な物（制服や教材費）等で支援していただきたい。教室のエアコンをつけて欲しいです。子供が減って、使う教室も少ないのに、そのくらいできないのかと。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここ数年の間、子育てをするにあたり様々な支援、政策を受けることで本当に助けてもらうことが多く感謝の気持ちでいっぱいです。他地域の同じく子育てをする友人にも自信をもって話をするのできる自慢の根室市です。これからも、私達子をもつ、子育て世帯の他にも市民皆が生活の中で困ったことを素直に話したくなる、心強い市役所であってほしいと思います。私も子どもという未来の宝を預かる仕事に就く中で、一人一人の人間力を高めていけるよう日々の保育を大切にしていきたいです。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>未就学児などの子ができる習い事やスポーツ少年団など、もっと充実させてほしい。情報がほしい。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>おむつ用品購入券の使える場所が増えればいいかなと思います。（イオンやサツドラでも使えると良かったと思った）高校生まで医療費を負担してくれたのがとても助かりました。（ぜんそく、アトピーで通院することが多かったため）</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育施設について疑問です。2号認定の子は、親が休みでも無料で遅くまで預かってもらえるのに、1号の子は預かりの料金が発生する。このしくみは納得いかないです。2号認定の親は無料で預け放題になっていませんか？</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方に転入した娘が根室は子育ての支援がいろいろと充実していたと言っています。他の地域を見ないとわからないことがあると思います。他の地域を見て思うのは、もう少し市民が憩える、子供達も大人も気軽に立ち寄ってゆっくり遊んだり、高齢者は休んだりできる公園や場所が少ないと思います。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>市で実施している結婚新生活支援制度がまだ実施されていない頃（発表されていない時）に新聞で記事を見かけ、結婚する予定だったので市役所の方に問い合わせをしました。ですが、まだ分からないと冷たい対応をされました。聞いても分からず、発表されても自分達も新婚ということで支援の対象になると思っていたが、1ヵ月早かったため対象になりませんでした。新婚で、新築一軒家を建てたのに関わらず、1ヵ月（正確には数日）違うだけで対象にならないのは不平等だと感じました。市役所の職員の方も知らないというのはいかがなものかと思いました。せめて、職員の方の対応が良ければ自分も納得したかもしれませんが、今だに不平等だと感じます。今後、このようなことがないように支援など早めに発表していただきたいのと、職員育成に励んで頂きたいです。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの予防接種の予診票を出生時に必要な分を、冊子にまとめて渡してもらえるとスムーズに実施することができると思う。事前に病院へ取りに行くことや、次回の分の取り忘れがあると、取りに行くのが大変でした。幼児用の遊具ができる嬉しいです。低めのすべり台など。妊娠中や0歳児を抱っこしながらでも、見守って遊べる公園があると助かります。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育ては人類を育てるという大きな仕事です。どんな仕事よりも尊いです。子育てに力を入れられるようなサポートをもっとしてほしい。週に1~2回は早く仕事を終われるとか、休みが多くなるか考えてほしい。</li> </ul>

## ②周産期医療と小児医療体制の整備

根室市では、市立根室病院の充実を図るため、分娩の早期再開をはじめ、医師、看護師等の確保、充実に向けた周産期医療及び小児医療体制の整備に向けた対応を図っているところである。

分娩に関しては、平成 29 年 4 月に市立根室病院で 11 年ぶりに経産婦を対象に分娩が再開されている。

a)安心して子どもを産み育てられる周産期医療と小児医療体制の整備

### 1)周産期医療と小児医療体制に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの周産期医療と小児医療体制に対する市民意識についてみると、不満と感じている市民の割合は計画策定時よりも 13.7%低下している。満足と感じている市民の割合については、このところ 8~12%での推移で、計画策定時（10.3%）と比較して大きな変化とはなっていない。

市内の小児科医院が令和 3 年末に閉鎖され、小児科医療が市立根室病院のみとなったこと、市立根室病院の病床数が看護師不足の影響で令和 5 年 4 月にそれまでの 3 病棟 135 床から、2 病棟 107 床に縮小されたことなど、市の小児医療体制は縮小傾向が続いている。昨年度は満足度が 4 年ぶりに計画策定時の水準を下回るなど、予断を許さない状況にある。

医療体制に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

項目	満足											不満足										
	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策 定 時	増減	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策 定 時	増減
「病院などの医療機関の状況」について	11.8%	8.9%	11.4%	12.0%	10.6%	6.6%	7.7%	7.8%	6.0%	10.3%	△	48.2%	53.3%	50.8%	47.9%	47.6%	55.1%	55.7%	64.1%	69.5%	61.9%	▼

注：増減は、計画策定時に対する増減を示す。

△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する。

### 2)医療環境についての自由意見

今回調査における医療環境に対する自由意見をみると、市民の医療環境に対する不安意識が幅広い分野にわたっていることがうかがえる。

従前からの市立病院の診療体制などへの不満、市内の医療機関の数に対する不満の多い状況がみられるほか、周産期医療や小児医療だけではなく、訪問リハビリや通院手段の不足など、高齢者の医療環境についても不安意識が高い状況がうかがえる。

<周産期医療と小児医療体制ほか、医療環境に関する意見>

年代	問 23 意見・提案
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから益々少子化が加速し高齢化（団塊の世代）が増えるので、単身世帯に対する孤独の問題や高齢化に伴う病気や怪我で、骨折等によるリハビリが必要となってくる人が増えると思われるので、市立病院や他施設のリハビリの時間が短いため、リハビリ専門職を増員して訪問リハビリも充実すべきである。現在は厚岸の病院から訪問リハビリしてくれているので凄く助かるが、今後撤退したらと思うと不安でならないので、早急に根室市独自に訪問リハビリをやしてほしい。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリニックが少なく、眼科など科によっては医師が足りていないと感じています。そのため最悪数時間かけて隣の病院にかからなければならず、とても不便です。自分が高齢者になった時、長時間の移動に耐えられないだろうということを考えると、まずは医療を充実させてほしいと思います。</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
40 歳代	・ 高齢者向けに市内の病院を巡回する手段が必要だと思います。高齢ドライバー多過ぎだし運転が怖い。
40 歳代	・ 丸 5 年、根室に住み、深刻だなど感じたのが、医療面の不便さです。去年夫が骨折し、根室市立病院より紹介状をもらい、釧路に入院したのですが、医師をはじめ、地元根室市民があたり前のようにそれらの現状を受け入れている事に驚きました。私達転勤族や、移住者など市内に気軽に預ける先の無い者にとってはかなり悩ましい問題で、これではどんなに街に魅力があっても、安易に根室への移住・永住を勧められません。どうか、医療体制の拡充をお願いしたいです。市内でしっかり治療ができないとなると、ケガも病氣もしないのか一番ですが、やはりそれは普通に考えて困難に感じます。
40 歳代	・ 病院の受け入れ体制が悪すぎる。夜間激しいおなかの痛みにより電話をしたが、「今、来ても整形の医師しかいないので、今来られても困る。朝まで頑張ってください」と言われた。朝行っても 3 時間待ち。まずは医療ですね。こんな町は住みづらいですね。まずは市立病院の患者に対する対応の指導ですね。窓口の人も対応がひどい。
30 歳代	・ 子育ての充実、新たなまちづくり、人材の確保・育成は未来の根室市の発展にとっても大切なことだと思います。ただ、それ以上に死活問題となってくる医療体制の盤石化がより大切だと考えます。ただ、トータルバランスがとれていなければ、それも叶わないのかな、とも思いますのでなかなか難しいところです。限りある財源のなかで、どこに一番の重きをおくのかかなり難しいかと思いますが、まずはやはり今いる、さらにこれから生まれる貴重な根室市民を他へ流出させないことが大事になるのではと思います。そのため、ライフラインへのアクセスのしやすさはより良くしてほしいところです。
30 歳代	・ 不妊治療に対する助成が、他の自治体と比べて充実していません。他の自治体では全額支給としている地域もあります。高度な治療となると釧路市まで通院が必要で、月に何度も受診するため負担が大きいです。公共交通機関も充実していないため、自家用車での通院となります。負担を強めている要因の一つだと思います。経済的にも身体的にも不妊治療は苦しいものだとご理解いただきたいです。
65-74 歳	・ 子育て支援も大事ですが、私は年金受給者ですが年金だけでは生活が出来ないので、椎間板ヘルニアなどで病院に通院しながらアルバイトで収入を得ていますが、病院へ通うための交通費、病院代も削って、足のしびれを我慢しながら働いています。いつまで働けるかわかりません。高齢者にも毎日不安なく生活できる支援をお願い致します。
30 歳代	・ ロタワクチンが無料になったように、水痘やおたふくなど任意のワクチンもなんとかならないでしょうか？高額なのを理由に受けない子が周りにいるかと思うと怖いです。
75 歳以上	・ 市立病院の建物は立派ですが、看護師、医師の一部に非常識の言動の方が居られます。これら不満はどこへ届けばよいのですか。
75 歳以上	・ 市立根室病院で、外来で何ヶ所か受診しています。対応の連携が良くなく、特に採血や点滴の待つ時間がとても長く、看護師がとても少なく感じます。体調のすぐれない時はとても辛い思いをしています。
75 歳以上	・ 保険証の確認、15 分から 30 分も掛かる時があり、短縮出来ないのか待つ身に時間の無駄になっている。マイナカードを使う人が少なく使いたくない人も多いと思う。医師の診断が釧路病院に行くのと違う事がよく聞くので、医師の質の高い人をお願いします。予算の関係上難しいと思いますが。
65-74 歳	・ 医療の方は、医師の不足など問題があると思いますが、せめて看護師さんの数が足りないから、対応に問題があると思うのでもう少し人数が充実してほしいです。
20 歳代	・ 根室に来る前に心配だったのは医療に関してです。市立病院のロコミがひどくてそんなに不満があるのかと思いました。先日、市立病院に行ったところ、そこまでひどい印象はありませんでした。(むしろ、病院の開院時間になったら看護師、事務員の皆様が一斉に礼をされていて驚きました。百貨店ではないので看護師さん達の忙しい時間にわざわざしなくてもとも思いました)。医療従事者の皆さんがストレスなく、働ける環境作りが必要かと感じました。
40 歳代	・ 冬の間の高齢者の体力づくり (パークゴルフ場が閉まってしまうと運動をしない人達の筋力が減っていくのが心配です) このアンケートのおかげで知った事業が多かったです。ありがとうございました。
50 歳代	・ 医療の充実。根室ですべての医療が受けられるようにする。受診する科によって、休診などが多く、十分な医療を受けられない。高齢者が多いのに、釧路などに行く交通網が不便すぎる。(病院に行くための)
40 歳代	・ 市立根室病院の受診手順を、初めてでもわかる様、図面にして分かりやすくして下さい。また、会計横の椅子に座っていても、色々な科の番号が出るようにすれば座って待っていただけると思う。

(3) 基本目標3 みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

①コミュニティの維持・活性化

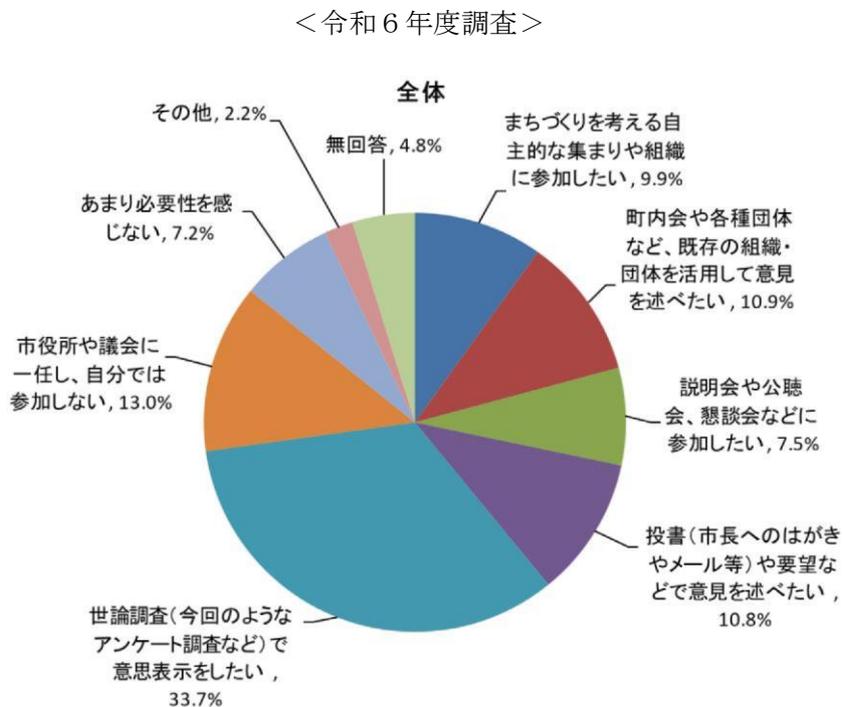
根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下のコミュニティの維持・活性化が推進されている。

- a) 市民活動団体の育成や市民活動の組織化、ネットワーク化の支援並びにシビックプライドの醸成
- b) 多様な主体がまちづくりに関わる市民協働・市民参画の推進
- c) 地域と多様な関わりを持つ関係人口の創出・拡大

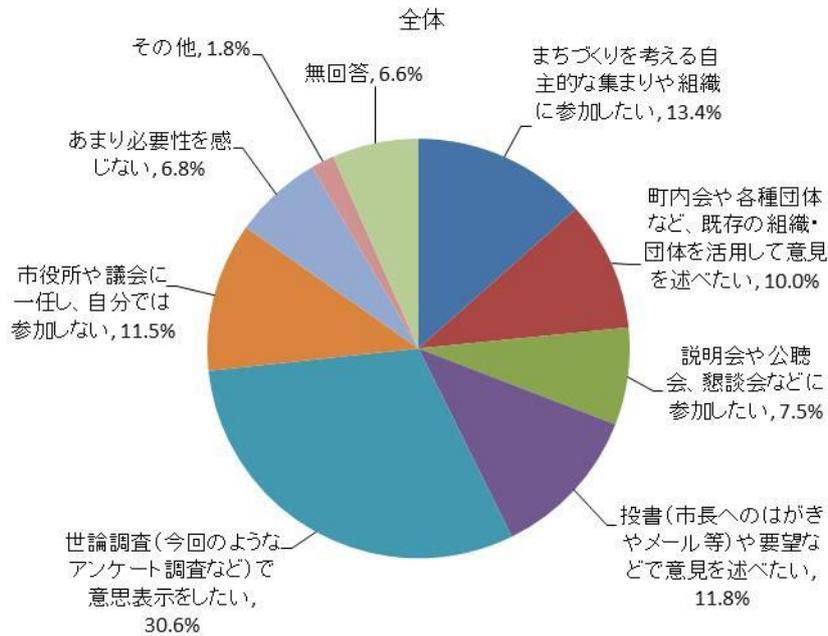
1) 市民のまちづくりへの参加意識に関する市民意識

今回実施した市民意識調査の結果からまちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、昨年度までの調査結果と同様に「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」とする要望である。このほか、まちづくりに対して積極的な回答の中では、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」や「投書（市長へのはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい」といった要望も多かった。

また、自主的にまちづくりに参加したいとする市民の割合は72.8%となっており、昨年度までと同様に70%を上回っていた。



<令和5年度調査>



2) コミュニティの維持・活性化に関する意見

今回の市民意識調査における自由意見の中からコミュニティの維持・活性化に関する内容をみると、情報提供のあり方、公共施設や娯楽施設などに関する要望、生活環境への要望に関する意見が多くみられた。

情報提供については、大きく行政情報と地域イベント等の情報発信を求める意見がみられ、このうち行政情報に関しては、市で実施している事業や施策情報の周知を求める意見があったほか、防災情報の即時性を求める意見もみられた。地域イベントに関しては、SNSのさらなる活用や更新頻度の改善などを求める意見がみられた。

公共施設や娯楽施設に関しては、公園や体育館、店舗、娯楽施設の充実を望む意見が多くみられたほか、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用できる施設を求める意見がみられた。

生活環境に関しては、防犯カメラや街灯の設置など、安心して暮らすことのできる環境を望む意見がみられた。そのほか、廃屋の撤去や路上のごみの処理など、公衆衛生の改善を求める意見もみられた。

<コミュニティの維持・活性化に関する意見>

年代	問 23 意見・提案
40 歳代	・ 図書館が狭い。運動公園の川が汚い、臭い。子供が遊べる川にして下さい。
30 歳代	・ 根室市の蒼香苑ペット合葬墓にお線香や花をお供えできるよう入れ物を備え付けて欲しいです。ペットも大切な家族、よろしくお願いします。
40 歳代	・ 根室⇄中標津空港線のバスが、去年より停留所が増えて時間がかかり、地味にストレス。飛行機の遅延にも対応しないとの事で毎回そわそわします。あまりビジネスマンも見かけないし、あんなに大きなバスじゃなくて良いので、予約制の確実な手段を検討して欲しい。
65-74 歳	・ 年代問わず色々な行事で交流できたらよいと思います。悩みを色々聞いてもらえる場所があれば、他の人の話し等、自分一人じゃないと気づいてくれれば。たとえば子育て等。
65-74 歳	・ 地域おこし協力隊の活動内容がいまいち良くわからないので、教えて欲しいです。

年代	問 23 意見・提案
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のために色々な箱物施設を造る事は生活の幅を広げる事に意義があると思います。しかし、根室市にとってお世辞にもきれいな清潔な街とは言えません。人口減と共に各所に朽ち果てた廃屋が多数野放しにされ、道路の脇には捨てられたゴミまたゴミ。色々な制限はあるとは思いますが、衛生面や防火防犯の心配もあり、費用を投入してでも環境の整備が急務と考えます。きれいな街作りが一番必要で、市民のモラルの啓発と事業所への指導やペナルティーもありと思います。思い切った判断が良い方向に行くことを要望します。市税を使うことに意識過剰になりすぎないように、弾力的な運用を求めます。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ねむろ下町商店街」、「根室市」の LINE 登録しているが、更新が少ない。花火やイベントの情報をたくさん送ってほしい。(後で知った、自分で調べたなど、登録している意味がわからなくなってくる)。</li> <li>町中に落ちているゴミが目立つ。ポイ捨ての呼びかけも大事だが、ゴミ拾いなどのボランティア活動も頻繁にしてほしい。休みの日なら子供と参加できたらと思う。</li> <li>運動公園、明治公園の遊具増設・道の駅の充実、新鮮な野菜や乳製品の販売、イベント、散策路の整備・空き家バンクの充実、空き家の整備、解体</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの子供達のためにも、元気で明るく活気ある街にしてほしいと思います。街の中がすごく汚い様に思います。道路等きれいにしたいです。</li> </ul>
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生や中学生が遊べる場所がほしいです。カラオケ、ボーリング、ゲームセンターが 1 つずつあるだけで全然遊べる場所がないです。ペット関係の施設ももう少し増やしてほしいです (病院、ペットサロンなど)。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震関係を明確に知らせて欲しい。災害の情報が少ない、特に根室市は危険区域である。情報対策を早く知らせ、情報量が少ないのでは。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供が参加できるイベント情報を、ラインで教えてほしいです。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・スポーツ施設に訪れる人と小中高の部活動の交流を活発に進めることで、教員の負担軽減と市民の方のやりがい、自己実現を高めていく。色々な世代皆で「ねむりんピック」インクルーシブ。</li> <li>「根室アプリ」を作って、施設利用や町内会イベント参加、また歩数などでポイントをためて、市内の商店で割り引きできるようにしていく。健康増進、地域活性化</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室市は昔から大きな商業施設やデパートが少なく、緑町でさえ活気や店が少なくなり、アーケード街だった頃より、明るさにもぎわいもないので、もっと大きな店や遊園地等、楽しめるものを展開すれば、他の街から人を呼び込めるのではと考えます。歴史的な遺産はあっても、見て楽しむだけのものでは飽きてしまうし、人を呼び込めません。かつての釧路市のような遊ぶ場所や大きな店やデパート、動物園等と言った人を呼び込んだり市民も楽しめるものは根室には足りないと思います。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の統合等により、空いている教員住宅を賃貸物件として活用して欲しいです。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校バスの部活時間に合わせた運行が必要だと思う。また中学生でもバスを利用できるシステムにする方が、バス利用が盛んになる。</li> <li>高齢者は情報が乏しく、スマホや電子機器は使用できないため、ラジオなどで説明する時間があれば良いと思う (耳遠いけど)。</li> <li>災害時の水汲み場所、スタンドなど必要な場所を事前にわかりやすくした方が良いと思う。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家調査 (引越時期は決まっているのに引越先がなかなか見つからず苦労したので) →有効活用</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の一斉放送の他に、ライン、FMねむろ等ですみやかな情報をお願いしたい・避難所のプライバシー確保など、(ダンボールベッドの利用や食事等を含め、予算をつけて欲しい)</li> </ul>

## ②地方創生の計画的な推進

第2期根室市創生総合戦略においては、基本目標3の達成に向け、以下の地方創生の計画的推進が図られている。

### a) ふるさと納税制度の推進と寄附金を活用した地方創生

根室市では、根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の着実な推進のため、ふるさと納税制度を推進し、地方創生関連基金への計画的な積み増しと積極的活用することとしている。

根室市のふるさと納税額は、毎年、全国上位に位置する規模となっており、地方創生の計画的推進に大きく寄与している。

また、企業版ふるさと納税制度を活用することで、企業との協働による着実な創生総合戦略が推進されている。

## ③広域連携の推進

第2期根室市創生総合戦略においては、基本目標3の達成に向け、広域連携が推進されている。

### a) 広域ネットワークの構築

根室市では、人口減少下においても一定の圏域人口の確保、市民サービスの維持向上、社会経済活動の利便性向上のため、近隣の自治体や企業、大学等の多くの分野での連携強化が推進されている。

また、高等教育機関がない状況を踏まえ、市内小・中学校等の義務教育学校、高等学校と、根室市が連携協定を締結している大学（東海大学海洋学部（2010年相互協力協定）、北海道科学大学（2019年包括連携協定））との教育活動が推進されている。

さらに、こうした大学等との連携による水産資源や観光資源の活用促進や根室管内の自治体による連携に向けた取組みが行われている。

今回の市民意識調査における自由意見の中から広域連携や他地域の大学や企業、自治体等の連携に関する内容をみると、特に産業振興に関して先進的な他地域事例を参考にしてほしいとの要望、ふるさと納税を財源とした挑戦的な施策の実施といった要望がみられた。

### <広域連携、大学、企業、自治体等との連携に関する意見>

年代	問23 意見・提案
50歳代	<ul style="list-style-type: none"><li>市議会議員の多さと高齢化、昔気質からの脱却なしでは、根室はこのまま夕張の二の舞になると思う。西興部村は、コンパクトにまとまっていて、若い家族への配慮がすごいです(参考まで)。仕事柄道北、オホーツク地域と見ていますが、水産物が安定して若い者への高給与や、漁師60才定年制度を独自の自治体がもうけて、そのトップの組合がしっかり管理してすべての組合員への分配が行き渡るから、若い者が住み、子供がたくさん住んでいる地域になっている。根室は人口減少の中で、たとえば昆布漁師の様に各家族で処理するのも限界が来ていると思います。若い者に稼がせて、この場所に居て結婚して子供をなして、安心できるまちづくりをしてほしいです。後、温泉施設絶対ほしいです。稚内にしても、美深町にしてもキャンプ場がすばらしいです。</li></ul>
18歳未満	<ul style="list-style-type: none"><li>ふるさと納税で得た資金を使い、一次産業に依存してしまっている根室の経済を、二次産業に移行し企業を集めて働く場所を増やして労働者を呼び込み人口を増やして欲しい。また、根室市は自然が豊かと言っているが、街中の景色に緑は少なく、色が悪い。あったとしても綺麗ではないので整備してほしい。</li></ul>
20歳代	<ul style="list-style-type: none"><li>加工業など職を増やし、働く場を増やすとよいと思う。難しいとは思いますが、大学が専門学校があるとよい。</li></ul>
30歳代	<ul style="list-style-type: none"><li>根室市の強み、水産業をより良くするため、人手不足にも対応できる養殖事業にいち早く取り組むべきだと考えています。</li><li>PC専門店や家具専門店など、根室市にないジャンルの企業を誘致してほしいです。</li></ul>

年代	問 23 意見・提案
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なんとと言ってもこの最東端の地形の中で、人口の減少等で産業教育等と地域経済の再生事業も大変だろうが、とにかく今は各種の団体等を活用して、多くの公聴会や懇談会を展開し、この街の仕事と生活の調和の活動に努力せざるを得ない。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふるさと納税を生かしてもらっていることはみんな感謝していました。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の市、町とのアクセスが良くなることには、人口の流出を止められないと思う。また、移住者も増えないと思う。少なくとも釧路とのアクセスを良くすれば、多少は人口流出はおさえられると思う。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道内外の大学を連携し、根室市にキャンパス分枝を設置し、若者が住むようにしていく。</li> <li>・ 中標津町と連携し、根室市と空港を移動しやすくする乗り合いバス（タクシー）や民間レンタカーシステムをつくる（自転車レンタルと同じ発想）。釧路間も同様。人不足なので運転手に頼ることなく、旅行者、地元住民が自分で移動できるシステムを構築できるとよいと思う。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等教育の機会や場が必要だ。新しい知的要素の導入、例：特色ある短大や専門学校の新設で若者を呼び込み、質の高い指導者（教授陣）による新しい風を起こし、活気づけることが望まれる。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふるさと納税の財源があるうちに優れた奇抜なアイデアを生み出し、チャレンジしてほしい。突拍子もない発想に批判はつきものです。大人達の意見に偏らず、若者の考えも尊重してあげてください。根室はここからです。応援しています。</li> </ul>

## 6. 2 まとめ

平成 27 年度に策定された第 1 期根室市創生総合戦略は、少子高齢化や人口減対策として、若い女性をはじめとした次世代の若者、子育て世代が安心して働くことができ、結婚し、出産し、子育てしていただけるまちづくりを目指すとともに、もって移住者等の新しい人の流れを創り出すことを目的とした計画である。

このため、戦略の目標は、結婚支援、出産・子育て支援であったり、産業の活性化・雇用の創出、観光客等の交流人口の創出であったり、コミュニティの確保と市民協働のまちづくりによる市民サービスの充実等であり、高齢者や障がい者等の社会福祉、教育、交通・生活インフラ、環境、北方領土対策等を含めた根室市総合計画の一部を重点的に戦略化したものである。

一方、令和 3 年 6 月に策定された第 2 期根室市創生総合戦略は、第 1 期根室市創生総合戦略における戦略理念、「雇用対策」「子育て支援」「人材育成」の政策パッケージを引き続き重点的に展開し、継続的な効果を求めていくこととし、加えて、人口減少を抑制するという観点から定住人口や交流人口とは異なる関係人口の概念を再認識し、「まち・ひと・しごと創生」に前向きに取り組むこととしている。

その上で、今後の展開方向として、人口減少・雇用情勢の変化に加え、新型コロナウイルス感染症を契機とした地域社会の変容、さらには、医療、福祉、教育分野を含めた新たな社会システムの形成に向けたデジタル・トランスフォーメーション（DX）技術の推進、Society5.0 の実現、持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献、脱炭素社会の実現に向けたグリーン・トランスフォーメーション（GX）の推進などの新たな視点に着目した施策展開が立案されている。

本調査は、総合計画に加え、この総合戦略に基づく各種の施策の現時点での実施効果を把握するために平成 28 年度から実施されているものである。

調査は、主として根室市総合計画や総合戦略で実施されている各種事業や施策の効果等に対する市民の評価を満足度意識や各種事業に対する認知度、改善に向けた施策ニーズ等の変化を把握するために、実施しているものである。

今年度の調査では、第 2 期根室市創生総合戦略に対する評価や、現在、市で実施している施策の認知度の把握を行った。

その結果、総じて、子育て、医療関連、教育関連、水産業の振興に関する施策については、比較的認知度が高かったものの、生活環境、文化関連、行政情報などに関する施策への認知度は低いことが把握されていることから、施策効果を把握するためには、こうした各種施策の周知を図ることが重要と考えられる。

特に、近年の根室市の基幹産業である漁業を取り巻く目まぐるしい環境変化は、生活・経済基盤に対する根室市民の不安意識を助長しており、安定した育てる漁業の早期実現や、根室市の特徴を活かした観光展開等の産業振興への期待がより一層大きくなっていると考えられる。

また、総合戦略に基づく子育て支援施策の実施に対しては市民から一定の評価が得られているのに対して、高齢者支援の充実を望む意見が多くみられたことも特徴であった。

そのほか、医療、買い物環境、交通網に対する市民の不満足は、恒常的に高い状況が把握されている。

(1)「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる。

(基本目標1)

- ・現在、根室市の課題は、人口減少、少子高齢化、雇用の場の確保などがあげられるが、最大の課題は、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業の低迷にある。平成28年から禁止となったロシア200海里内サケマス流し網漁に加え、近年のさんまや秋サケの不漁の影響が、根室市経済に大きな影響を与えているだけでなく、市民生活の不安を助長している。
- ・このような状況下にあつて、漁業に関しては、引き続き、育てる漁業（養殖事業）の推進を求める市民からの意見があがっていた。
- ・一方、水産業を取り巻く環境悪化を背景として、より即効性の高い企業誘致に対する期待が高いほか、観光振興や移住も含めた交流人口の拡大、新たな特産品の開発など、継続して取り組まなければならない課題に対する声も引き続きみられている。
- ・特に、観光振興に対する市民の期待は依然として大きく、宿泊施設や飲食店、観光スポット、駐車場等の観光客向けの施設整備、自然等の根室市が有する資源の有効活用、特産品開発、情報発信の強化、景観対策が市民の意見として多くあげられており、宿泊需要創出のための観光客誘致に向けた具体的戦略の立案が喫緊の課題となっている。
- ・また、移住促進に向けては、雇用の場の創出だけでなく、買い物や医療機関など、市内での日常生活の利便性向上が求められている。

(2) 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。(基本目標2)

- ・根室市における児童・生徒の学力の向上が課題となっていることから、そのためのICTの活用や外国語指導助手の配置、通級教室の開設等の取組みが令和3年度から新規事業として実施されている。これらの取組みの成果検証を適宜行い、児童や生徒の学力向上により効果的な事業へと継続・発展させていくことが重要である。
- ・また、多くの市民から、若年層が地域に残るための雇用の重要性が指摘されており、そのためには(1)でも整理したような産業振興政策を進めていくことが重要になる。
- ・子育て対策としては、給食費の無償化、保育料の無償化、医療費の無償化などの経済対策や子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」(愛称:わんぱーく)の整備など、市の政策に対する一定の評価がみられているものの、厳しい経済環境を反映してか、さらなる支援の充実を望む意見もみられている。また、必要な買い物や子どものケガの治療などのために市外に出なければいけないことを子育ての不便さとして挙げる意見もみられている。
- ・一方、医療環境に関しては、小児科医院の閉鎖、市立根室病院の病床数縮小などにより、市民の不安はさらに高まっていることから、診療科目の充実、医療スタッフの充実など、引き続きさらなる医療体制の充実に向けた対応が求められている。
- ・ただし、この医療体制の充実は、根室市だけでなく地方に課せられた課題でもあり、周辺地域との連携を図りながら地道な取り組みを進めていくことが必要である。
- ・根室市での居住年数が長いほど、また、高齢者ほど、根室市に住み続けたいとする希望が高いことから、子育て支援だけでなく、働く場の提供も含めて、高齢者が健康で安心して住み続けられるまちづくりも求められている。

(3) みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

(基本目標3)

- ・市民意識調査の自由回答から市民協働、市民参加、地域コミュニティ、地域環境との共生等に関する意見をみると、情報提供のあり方、公共施設や娯楽施設などに関する要望、生活環境への要望に関する内容が多かった。
- ・このうち情報提供のあり方については、行政情報のみならず地域イベント等の情報発信力の弱さが指摘されており、市の広報やSNSをはじめとする情報提供のあり方が引き続き課題となっている。加えて、防災情報の拡充についても意見が挙がっている。
- ・根室市においては、人口の減少、産業経済の停滞が続く中で、ふるさと納税額は、毎年全国上位に位置する規模となっており、地方創生の計画的推進に大きく寄与している。こうした税収については、市内経済や市民生活へのさらなる還元を求める意見がみられている。
- ・また、市民が期待する観光振興や特産品開発に向け、他地域の大学や企業、自治体と連携することで、観光資源の活用策の検討や新しいアイデアの創出に寄与することが期待される。



# 資料編

資料 1. 市民意識調査自由回答

年代	問 23 意見・提案
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域が中心より離れているため、行政の皆様とのつながりが少ないのが現状であり、定期的な住民との交流会などの機会を持って頂きたいです。また、厚床では、高齢化が進んで市内へのサービスに通う方も多くなっております。一日（往復）にも大変なのが実態です。職員さんが定期的に来て頂いて、サービスを受ける事が可能な体制を作って欲しいものです。</li> <li>また、実現するための人員（指導者）の確保が大変、募集しても集まらないと言われます。行政の皆様、特にトップの方は、「いかに集めるか」が一般の方とは違いますので、大いに知恵を出して下さい。市長のお話では、人口比で一番お金のある市ですので、よろしくお願い致します。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育の充実</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の学力の低下が気になる。小学生のうちからタブレット学習が当たり前になっている。勉強方法が分からないのに、タブレットに頼って学習している様では記憶の定着や思考力が低下してしまう。小学生の夏と冬休みの宿題で、以前は全員ドリルを購入していたが、現在は希望者のみでタブレットの問題（キュビナ）を学校側も勧めている。学校は学力を向上させる気があるのか、心配になる。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから益々少子化が加速し高齢化（団塊の世代）が増えるので、単身世帯に対する孤独の問題や高齢化に伴う病気や怪我で、骨折等によるリハビリが必要となってくる人が増えると思われるので、市立病院や他施設のリハビリの時間が短いので、リハビリ専門職を増員して訪問リハビリも充実すべきである。</li> <li>現在は厚岸の病院から訪問リハビリしてくれているので凄く助かるが、今後撤退したらと思うと不安でならないので、早急に根室市独自に訪問リハビリをやってほしい。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館が狭い。運動公園の川が汚い、臭い。子供が遊べる川にして下さい。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に鉄道（JR 花咲線）は、利用が少ないという理由で廃止させることなく、有事の際の軍事利用も想定し、存続させる努力が必要。</li> <li>鉄道の廃線はロシアに対し、弱みを見せることにつながり、人口が減少を続ける中、更なる侵略の糸口を与えることになりかねない。</li> <li>そういった意味で、市役所を建て替えたことは、ロシアに対する強い PR になったと思う。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ワーク・ライフ・バランス」というようなことは、日本語を使えば、ばかでも解る。なぜ解りにくくするのか。役所も変化してほしい。IT 化されて職員は何%削減されたか。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>なんと言ってもこの最東端の地形の中で、人口の減少等で産業教育等と地域経済の再生事業も大変だろうが、とにかく今は各種の団体等を活用して、多くの公聴会や懇談会を展開し、この街の仕事と生活の調和の活動に努力せざるを得ない。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の為にならない市議会議員の削減。議員の退職金は成功報酬とすれば良い。何もせず 4 年間無駄にするより、そのお金で「まちづくり」の足しにする事が出来る。</li> <li>観光客が泊まれる安い宿やキャンプ場、空家の解体費の補助。</li> <li>市立病院、正面玄関前の横断歩道上の車の停車の禁止を強化して欲しい。患者が歩行中にも関わらず平気で車が進入して来る、タクシーまでも。</li> <li>障害者用の駐車場に健常者がマーク無しの車を停めない表示を。</li> <li>高齢者、子供、障害者に住みやすい「まちづくり」を考えたい。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室市の魅力は、食（特に水産）だと感じています。産業が今後も発展していくような支援・発想（廃棄されているものを活用するなど）が今もされていますが、さらに必要になってくると思います。</li> <li>宿泊施設を整備すること、根室の自然をいかしたアクティビティが展開されていくことが、観光客誘致につながると思います。</li> <li>流氷や風蓮湖で、自然を守りながらもふれ合うことはできないでしょうか。</li> <li>市民の森を歩いていると、危険だと感じます。整備が進むと安心です。</li> <li>子育てに優しい町づくりが進んでいると思います。医療にはやはり不安を感じます。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車道が道路を普通に走っていて危ない。警察が全然取り締まらない。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>この数年、サケ・マス・サンマ・イカ・カニ魚の不漁により、街全体に活気がなくなったように思われます。</li> <li>何か特産品を活かして新たな物産を！は難しい事で、産物を地方へ送る楽しみも、喜んでもらえる楽しみも無くなり、寂しい限りです。自然が相手でどうしようも無いことですが、「漁師街」にたくさん魚が「大漁」ですね。願うことは。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道の端にあり、特に目立つことやものもなく、子どもの遊びの場も期待しましたが、うす暗く、たのしんでいる様子も伝わらないです。中標津のように子供がワクワクしているように思えないのが大変残念でした。光入る施設にしてはどうでしょうか。</li> <li>高齢者施設も併せて建替え予定であれば、高齢に成りたての方も気軽に利用できるような施設体制を取り組んでもらいたいと願います。先日、近所で、高齢者同士でお茶した時に出た話して</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>でも、最後はふるさと納税を生かしてもらっていることはみんな感謝していました。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室市の蒼香苑ペット合葬墓にお線香や花をお供えできるよう入れ物を備え付けて欲しいです。ペットも大切な家族、よろしく願います。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから先子供を産みたいと考えているが、釧路赤十字病院で産まなければいけないのですか。根室で産めるなら根室で産みたいです。若い世代からいうと、お年寄りの支援に差があると思います。お金のあるおじいさんたちには支援はないなど。</li> <li>今でも子育てに関しては手厚いと思うのですが、もっとサポートしてくれたらうれしいです。ベビーシッターさんほしいです。</li> <li>あとは運動公園のドックランを新しくしてほしいです。草はぜんぜんなくて土の上で犬たちを遊ばせるのは気が引けます。いつもありがとうございます。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の充実も大事ですが、まず、人の意識改革が最大限求められるのではないのでしょうか。根室市は良く行革と市民の一体感が希薄だと言われます。これから衰退していく街に知恵を誘発させてもらいたい。これからの未来ある子供達が根室に住み続けたいと言わせる知恵が必要です。今だけ良ければいいのではない、未来にわたって本物の知恵をしぼってほしいです。現状施設に関して言えば、中途半端なものばかり出ています。役所的知恵ではなく、民間の知恵もどんどん活用してほしいものです。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つだけ選ぶというのは、ダメで複数選びたい。</li> <li>あと、どこからわいてくるの的なお祭りの客数を調べたら、根室市のこれからの繋がるデータも出てくると思う。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリニックが少なく、眼科など科によっては医師が足りていないと感じています。そのため最悪数時間かけて隣の病院にかからなければならず、とても不便です。自分が高齢者になった時、長時間の移動に耐えられないだろうということを考えると、まずは医療を充実させてほしいと思います。</li> <li>また娯楽や就職口が少なく町に活気がないのも気にかかります。緑町商店街の空き店舗を活用し、雇用創出の場を設けたり、絵画・イラスト、ハンドメイド作品の展示会や販売会、料理教室やヨガ等の体験学習、映画やスポーツイベント等の催しを行ってみてはどうでしょうか。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室⇄中標津空港線のバスが、去年より停留所が増えて時間がかかり、地味にストレス。飛行機の遅延にも対応しないとの事で毎回そわそわします。あまりビジネスマンも見かけないし、あんなに大きなバスじゃなくて良いので、予約制の確実な手段を検討して欲しい。</li> <li>あと、いよいよ高齢者向けに市内の病院を巡回する手段が必要だと思います。高齢ドライバー多過ぎだし運転が怖い。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>強制的な「まちづくり」にはあまり魅力を感じることができません。「なんだか楽しそうだ」とかウィンウィンの関係の中で進めるのであれば生きたものになっていかないのではないかと思います。遠出をする時に、釧路～根室間の JR が雨などですぐ運休になってしまい、バスであればこんな事にならないだろうと思ってしまいます。</li> <li>また中標津空港からのバスが飛行機が遅れても待ってくれなくなったため、せっかく飛行機を利用して中標津で足止めされることになると思うと、利用をためらうし、深夜便バスの根室札幌間も週 3 便しかなくなり、遠隔地ゆえの大変さが増々大きくなってきていること、とても重大な問題だと思っています。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>年代問わず色々な行事で交流できたらよいと思います。悩みを色々聞いてもらえる場所があれば、他の人の話し等、自分一人じゃないと気づいてくれれば。たとえば子育て等。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室の自然（豊かな）大いに外部に PR して下さい。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>この街、ワークライフバランスぐちゃぐちゃじゃん。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>体が不自由になり、バスを利用するようになり、お年寄りがとても多く、バス停に椅子がないなどとても辛いです。それだけでも良いのでどうかお考え下さるようお願いいたします。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>このような長いアンケートをとる市民の負担を考慮して下さい。</li> </ul>
18-19 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街が何もなく死んでいる。賑やかさが無い。若者には何もないのが苦痛。根室に居る意味があるのか…？人口が少なくなるのも当然だと思う。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い子たちや、子育て世代が住みたいと思えるまちづくりをしてほしいです。子育て支援に力を入れているのは助かっていますが、子育てに必要な物が市内でそろわず、中標津や釧路まで皆さん出ていくのも大変です。子どもの物が買えるお店を呼んだり、子育て世代が気軽に入れる飲食店を呼んだりしてほしいです。昔ながらのお店は、小さい子どもを連れて入るには不向きです。力を入れている割に、その辺が整っていないのがとても残念です。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりに関係ないかと思いますが、根室に観光として来ていただく為には、イベントの開催のアピールを常にすると良いと思います。（紙面上ではしていますが）明治公園か運動公園にキャンプ場があれば、沢山の人が、根室市に来てくれると思います。・食べ物おいしい町・家族で遊べる町・北海道の東、根室のまちづくりを希望します。</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球の大会等で地方から人々が来ると、球場の古さやホテルの古さに驚かれるので根室人として恥かしい。宿泊施設やスポーツ等の施設が充実していないと観光客や来人が留まってくれない。どこの街へ行っても駅前が発展しているので飲食店や土産店等増やした方がよい。先日、観光客が「お昼ご飯は駅に行けば何かあるよね」と言う会話をしていました。こちらとしては何も無いよと教えたかったのですが、たぶんがっかりしたと思いますよ。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸5年、根室に住み、深刻だなと感じたのが、医療面の不便さです。去年夫が骨折し、根室市立病院より紹介状をもらい、釧路に入院したのですが、医師をはじめ、地元根室市民があたり前のようにそれらの現状を受け入れている事に驚きました。私達転勤族や、移住者など市内に気軽に預ける先の無い者にとってはかなり悩ましい問題で、これではどんなに街に魅力があっても、安易に根室への移住・永住を勧められません。どうか、医療体制の拡充をお願いしたいです。市内でしっかり治療ができないとなると、ケガも病氣もしないのか一番ですが、やはりそれは普通に考えて困難に感じます。</li> <li>根室は好きです。娘たちが通う学校もすごく良いところだし、身近に野生動物や野鳥観察が楽しめます。グルメも美味しいです。夕陽の美しさは釧路以上だと私は思います。これで大学や専門学校があればもっと良いのにな…。子供たちが「ずっと居たい街」と思えるような、そんな根室市に成長することを、強く願っています。おそらく9月いっぱい転勤がきまりそうです。引越しても根室を応援します。今までありがとうございました。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>このアンケートがただの統計に終わらず、まちづくりに生かされる事を心から願っています。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室は一次産業の町です。漁業の未来を考えて下さい。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は介護従事者ですが、若い介護従事者が入ってこなく従事者の高齢化が進んでいます。利用者様に負担をかけることになるので若い人材が介護職に入りやすくしたり、興味を持てるようにしてほしいと思っています。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚床の（その他も）空き家になっている公営住宅を壊して、整地にする事が必要。住人がいなければ防犯の面で不安。草木が生い茂り、熊が好む環境が出来上がり危険。即、行なっていただきたいと願います。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療従事者について、看護師不足等、なぜ職に付いた若い看護師等がすぐにやめてしまうのだろうか。修学資金を返済するとやめてしまうと話を聞くが、続けて働きたい者も、話を聞いてくれない上司、ひどい実態を解明しない病院。こんな年配者を大切に、若い芽をつんでしまっていることを、問題にもしていないような病院は終わり。住んでいる者が不安と怒りを覚える。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊の活動内容がいまいち良くわからないので、教えて欲しいです。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口の減少を少しでも止めるように、他企業の誘致等出来ると良い。観光客が根室を素通りではなく、宿泊して体験できる施設等を作ってもらいたい。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産業の事で、カニ・エビ・ホタテなど、放流しているのを聞いていますが、大きくならないうちに獲ってしまう。エビなど、SSやSを獲らないでもう少し大きくなるまで、待たれないのか？又、小さいものは、獲らないで海へ戻すことは出来ないのか。ホタテも放流しても、その場所にさしあみなどとすると、放流したホタテが獲られてしまう。せっかく放流しても育たないうちに獲るのはいかなものか、もう少し考えたらどうでしょうか。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組んでいるアピールはすごいですが、1つ1つの事が浅い。広く手をつけて浅い。一応やっていますよとしか思えない。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信が少なく役所職員に相談してもまったく動いてはくれない。宝林町の道路急勾配は改善したが、歩道が逆に急勾配になり、冬場は市民が購入した融雪剤をまいているしまつ。領収書を持ってこいとも言われた。転倒事故も発生しています。歩道の除雪もできない歩道はどうかと。市民の意見も聞けないのに意識調査とは？残念でしょうがないです。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代の支援より、高齢者世代の支援充実を（今まで根室市を支えてきた方々を）大切にしていけるべきである。子育て世代はあまり必要以上に支援せず、やってもらえて当たり前と思うところがあり。見極めが大事である。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室市は今どんどん人口が減っており、まちづくりなんて言ってもらえない寂しさや、それぞれの商売の人達の大変さを考えますと、答えが出ません。老人や子供達だけの町になってしまうんじゃないかと、とても心配な中、町づくりなんて適応しないんじゃないかと気にかけております。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>賃金を上げてほしい。雇いたくても雇えない企業への給与面の支援も視野に入れてほしい。</li> <li>税金の正しい使い方をしてほしい。</li> <li>民間との連携に頼るところは頼る。（教育、福祉）</li> <li>外国人の雇用の使用に頼りすぎない。日本人の働き方を改革する。安い賃金で日本人を雇えないから外国人に依頼するのではなく、必要な賃金を日本人に支払って、その上で外国人の雇用にも尽力する。</li> <li>イベントを増やしてほしい。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段通っている道のそばに、あやめの花がたくさん咲いている。数年前からみると、とても増えていて、キレイ。写真を撮っている人もいるが、そのすぐそばには、たくさんソーラーパネル</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
	<p>があり、とても残念である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私有地なのかもしれないが、手をかければ、観光名所にもなるのでは。ツルなどもいる事がある。根室は自然がたくさんあるので、もっと注目してほしい。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナが落ち着いて外で遊ぶ子供が増えてきた。鳴海公園で、野球・サッカーをしている子が、よくボールを道路まで飛ばしているのを見かける。危険なので、少し高めフェンス等、設置してほしい。</li> <li>・ 市民意識調査をインターネットでも回答できたらと思う。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私は、乳幼児を育てています。他市から来て、数年経過しますが、当初、想像していたより住みやすいと感じています。意見は、公園についてです。公園の砂場に、動物が侵入できないよう、「柵」で囲うことはできませんか。根室市は、自然豊かであり、鹿、キツネ、ネコ等、大小の野生動物が住宅街まで現れます。子ども達に安心して砂遊びをさせたいと思いますが、動物のフンがあり、安心して利用することを躊躇ってしまいます。管理・維持等あると思いますが、子ども達と楽しく、安全に遊ぶことが今の私には必要なことです。よろしくお願いたします。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道の整備（雑草対策等）</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事と生活（家事・子育て）を両立しやすい環境を作れると安定して暮らしていけると思います。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リモートワークで外部から人を呼び込んでいける仕組やアプローチをしてほしい。納沙布岬をもっと充実した生活圏にしたなら、最大の魅力になるのでは…。特に日の出を見たい人は世界規模でも多いと思う。プレハブでも良いので、簡易施設（宿泊できる）があれば良いと思う。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民のために色々な箱物施設を造る事は生活の幅を広げる事に意義があると思います。しかし、根室市にとってお世辞にもきれいな清潔な街とは言えません。人口減と共に各所に朽ち果てた廃屋が多数野放しにされ、道路の脇には捨てられたゴミまたゴミ。色々な制限はあるとは思いますが、衛生面や防火防犯の心配もあり、費用を投入してでも環境の整備が急務と考えます。</li> <li>・ きれいな街作りが一番必要で、市民のモラルの啓発と事業所への指導やペナルティーもありと思います。思い切った判断が良い方向に行くことを要望します。市税を使うことに意識過剰になりすぎないように、弾力的な運用を求めます。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ねむろ下町商店街」、「根室市」の LINE 登録しているが、更新が少ない。花火やイベントの情報をたくさん送ってほしい。（後で知った、自分で調べたなど、登録している意味がわからなくなってくる）。</li> <li>・ 町中に落ちているゴミが目立つ。ポイ捨ての呼びかけも大事だが、ゴミ拾いなどのボランティア活動も頻繁にしてほしい。休みの日なら子供と参加できたらと思う。</li> <li>・ 運動公園、明治公園の遊具増設</li> <li>・ 道の駅の充実、新鮮な野菜や乳製品の販売、イベント、散策路の整備</li> <li>・ 空き家バンクの充実、空き家の整備、解体</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 根室の素晴らしい所を全面的にアピールして、他の地域から若い家族を呼び込む対策、子育て、自然、環境、気温など住みやすさ、子育てしやすさなど。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減により根室市の消滅が言われている。企業誘致や学校（大学、専門学校）等の設立が必要ではないか。隣の中標津町にまける。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子化対策ばかりで高齢者や障がい者対策があまりしていない気がします。高齢者の施設の不足、障がい者の働き場所が少ないなど着手してほしいです。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道内外で根室の物産店などを開催し、その PR を「一般主婦」などから公募し、日頃からその食材でどのような調理・料理が作れるかを対面で伝えてみるのはどうでしょうか。健康面へ配慮した調理方法を紹介したり、同じ主婦目線でコミュニケーションが図られ、お客さんに購買意欲を高めるきっかけ作りができるのではないのでしょうか。（プロや担当・専門の方以外の目線からのアプローチも必要なのは）</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本州では酷暑なので、道東の気候を活かして、避暑地の売り込みをしてはどうかと思います（すでに釧路でやっているようですが）。オンラインで会議もできる世の中ですので、在宅ワークをしている方々に、根室でも仕事をしながら過ごせるような受け入れはどうかなどいつも思っています。また、何か、根室にしかない、特徴的なイベントがあるといいなと思います。（例えば上川の写真甲子園のような）水産関係ではない、何かがいいなど。また、根室は通勤族が多いので、若い母親が、小さな子を連れて買い物や受診して、大変そうな感じもするので、ベビーシッターや代行支援などがあると良いのかなと思います。市役所も新しくなったので、市民と行政で協力して、防災訓練をしても良いのかなと思います。災害時、市民受け入れの新たな機能があるなら、PR にもなるのでは。ありがとうございました。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 根室市の強み、水産業をより良くするため、人手不足にも対応できる養殖事業にいち早く取り組むべきだと考えています。</li> <li>・ PC 専門店や家具専門店など、根室市にないジャンルの企業を誘致してほしいです。</li> <li>・ 緑町など商業区画に無料駐車場を設けるべきだと思います。新店舗がオープンしてもスペースが足りず、繁盛しないので休業したり、思いのほか盛り上がりがないといった展開を何度か見かけまし</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アキラフェスはとても良い試みだと思います。市外からの参加者が多数見受けられました。</li> <li>・ 観光誘致に力を入れるのであれば、廃屋を減らしたり、空港など交通の便を良くするべきです。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども達に平和教育について教えてあげてください。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが生まれ、根室市で子育てをしてみても、根室市の手厚い子育て支援があることがわかり、とても助けられています。</li> <li>・ 保育園を利用するようになり、給食やおやつも充実したメニューでとてもありがたく思っています。保育園の給食は品数も多く、バランスのとれたメニューですが、学校給食は品数もメニューも少なく不満の声をよく聞くので、数年後、我が子も小学生ですが、栄養がとれるのか、満足できる量なのか、周りの話を聞くと心配です。無償化はありがたいのですが、子どもの成長に大切な給食ですので、給食センターの整備やメニューの改善してほしいです。</li> <li>・ その他、物価高で家計は大変なので、ひとり親世帯だけでなく他の子育て世帯への支援もお願いします。</li> </ul>
18-19 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路脇に砂やデコボコがあるため、早急な対策を求む。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シカが増えすぎているので早急に対策してください。</li> <li>・ 人口減少が半端ないです。企業を誘致したりして欲しいです。ふるさと納税を給食費タダや子ども一人に 10 万あげても人口は増えません。そのもらった金は全部市外消費に使われるだけです。もっと工夫してください。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者が根室に残り働ける環境を整える事や、働く場所への補助、または資格を取れる環境を整えると良い。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身分証明をきちんと確認し、印鑑だけで預金を引き出さないよう指導してほしい（弊害にあった為）。カギも身分証明を記録して防犯につなげてほしい。そのようにすることで不法侵入を避けられ犯人を特定しやすい。宜しくお願いします。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駒場町 3 丁目の牧之内牧場近辺の花壇の雑草取りをしています。今までは雑草をナイロン袋に入れて花壇のそばに置くことで、市の方で回収をしていただいておりますが、今後も同じ方法で回収をお願いしたいことを、切に希望いたします。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温泉があればよい（公共施設など）。大学、専門学校等の若者が多く居住する環境があれば、人口も減少しないのではないかと思います。病院の受け入れ体制が悪すぎる。夜間激しいおなかの痛みにより電話をしたが、「今、来ても整形の医師しかいないので、今来られても困る。朝まで頑張ってください」と言われた。朝行っても 3 時間待ち。まずは医療ですね。こんな町は住みづらいですよ。まずは市立病院の患者に対する対応の指導ですね。窓口の人も対応がひどい。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光、宿泊施設の新設で観光面を充実させて、根室へ旅行に来てくれるように願いたい。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道水が他市町村に比べてかなり劣っていると思う。水道の水をそのまま飲める味がしていないので、上水道の整備を進めてほしい。また、公務員用の公宅が若者には古い家しかあたらなないので、民間アパートに入ろうと思っても、古くて高いアパートがほとんどで、低所得の若者には入居がかなり難しい。民間アパートのリフォームや増設を推進する取組をしてほしい。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 根室だけを良くしたいのであれば、政治と戦わなければいけないかもしれません。日本を良くしたいのであれば、アメリカと戦わなければいけないかも知れません。私は、根室がとても好きですが、根室を出たい方も多数います。それだけ魅力がない町なのはわかっています。根室市を良くしたいという気持ちをしっかりと持ち、なおかつその気持ちを次に伝えていけるようやっていきたいです。先は長いのでとても大変ですが、いつか子供たちが根室人で良かったと思える街にしたいですね。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが産める環境があると良い。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからの子供達のためにも、元気で明るく活気ある街にしてほしいと思います。街の中がすごく汚い様に思います。道路等きれいにしたいです。</li> </ul>
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生や中学生が遊べる場所がほしいです。カラオケ、ボーリング、ゲームセンターが 1 つずつあるだけで全然遊べる場所がないです。ペット関係の施設ももう少し増やしてほしいです（病院、ペットサロンなど）。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育ての充実、新たなまちづくり、人材の確保・育成は未来の根室市の発展にとっても大切なことだと思います。ただ、それ以上に死活問題となってくる医療体制の盤石化がより大切だと考えます。ただ、トータルバランスがとれていなければ、それも叶わないのかな、とも思いますのでなかなか難しいところです。限りある財源のなかで、どこに一番の重きをおくのかかなり難しいかと思いますが、まずはやはり今いる、さらにこれから生まれる貴重な根室市民を他へ流出させないことが大事になるのではと思います。そのため、ライフラインへのアクセスのしやすさはより良くしてほしいところです。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃屋（空き家）の撤去推進。</li> </ul>
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バスの接続を良くしたり、若い世代の公共交通に対する意識の取組（利用促進）。根室の魅力を今</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
	以上に発信し観光客を呼び込んでほしい。市と市民団体が協力して活動ができるようにしてほしい。
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室市で行っている市民活動を通して、いきいきとした環境対策に取り組んで欲しいです。また、施設では通所できるような福祉施設・希望の家のような作業所の建設、グループホームなどの生活環境にも取り組んでほしいです。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネイチャーガイドの育成。動植物や独特の原生の風景など、根室にある資源、その価値をまず市民が認識できるような取組み。市民が根室に興味を持てる取組み。放課後の子どもの居場所の充実。郡部に公園もなければ放課後教室への足もない。郡部校から、市街地や放課後教室、又は図書館やわんぱく一平等へのバスや Mobi 等交通手段を構築してほしい。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震関係を明確に知らせて欲しい。災害の情報が少ない、特に根室市は危険区域である。情報対策を早く知らせ、情報量が少ないのでは。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>市議会議員の多さと高齢化、昔気質からの脱却なしでは、根室はこのまま夕張の二の舞になると思う。西興部村は、コンパクトにまとまっていて、若い家族への配慮がすごいです(参考まで)。仕事柄道北、オホーツク地域と見ていますが、水産物が安定して若い者への高給与や、漁師 60 才定年制度を独自の自治体がもうけて、そのトップの組合がしっかり管理してすべての組合員への分配が行き渡るから、若い者が住み、子供がたくさん住んでいる地域になっている。</li> <li>根室は人口減少の中で、たとえば昆布漁師の様に各家族で処理するのも限界が来ていると思います。若い者に稼がせて、この場所に居て結婚して子供をなして、安心できるまちづくりをしてほしいです。後、温泉施設絶対ほしいです。稚内にしても、美深町にしてもキャンプ場がすばらしいです。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室駅周辺の再開発をして欲しい。駅前の道路は 3 車線もいらなと思います。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園の遊具もほとんど同じようなものばかりなので、各々の公園に特徴をもったものがあると楽しめそうです。運動公園もスベリ台・ブランコ・鉄棒は最低でもあってほしいですね。わんぱくももう少し楽しめるようなものにしてほしかった。水遊びできる場所がない。噴水も汚いし子供には水すら汚くて触ってほしくないです。市立病院内の小児科の場所も、イスだけじゃなく、座ってゆっくりできるような所も少なくともあってほしいです。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税の使い道について、早く明らかにして下さい。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供が参加できるイベント情報を、ラインで教えてほしいです。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室市は高齢化が進んでいます。若い方々の仕事や活躍できる場を設けなければ、若い人は来ないと思います。安定した職の提供が必要だと思います。不妊治療に対する助成が、他の自治体と比べて充実していないです。他の自治体では全額支給としている地域もあります。高度な治療となると釧路市まで通院が必要で、月に何度も受診するため負担が大きいです。</li> <li>公共交通機関も充実していないため、自家用車での通院となります。負担を強めている要因の一つだと思います。経済的にも身体的にも不妊治療は苦しいものだとご理解いただきたいです。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>大正町通りの壁画アートがコケなどで汚れてきているので、景観改善のため、市民や子供達が参加するプロジェクトとして、ペンキの塗り替えなどをしてはいかがでしょうか。明治公園の遊具やベンチの更新かペンキの塗り替えをして欲しいです(ブランコのイスやベンチなどの座るところが汚いので)。</li> </ul>
18-19 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>「根室は自然が豊か！」という言葉をよく聞きますが、やはり全国的には水産業が有名なこともあって、その印象が薄れてしまっている気がします。風蓮湖や落石岬、春国岱などに希少性の高い植物などが自生したり、他にも様々な動植物もいますし、根室十景以外にも心の底から美しいと言えるような景色もたくさんあると思います。そのような根室の魅力を伝えることがこれからは大事になっていくと思います。</li> <li>今は情報化社会なので YouTube やインスタグラムの公式アカウントで 20 分ほどの動画を投稿するのもいいと思います。それと並行して、街並みの景観を改善し、子育て支援を思い切って大胆なことをやったら、安易な考えかもしれませんが、人口が増えるかもと思っています。とにかく、根室の魅力をインターネットなどで紹介する時、10 秒ほどの動画ではなく、四季折々の映像や実際に現地でも自然ガイドさんと散策している動画を公開するのもいいと思います！</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>古い家の解体撤去の費用の援助。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>独身が根室に住み続けたいと思う魅力がないと感じる。特に女性の賃金が少なすぎて根室で自立するのが難しい。賃貸がない。家賃が高い。地元の若者が出ていくと人口が減るばかりなのに、給料は少ない。自立しようにも一人暮らし向けの安い賃貸がない。コネ商売が多い。不動産の賃貸が少ない。</li> <li>子どもやファミリー世帯、高齢者を支援するのは賛成だが、独身にも目を向けてほしい。正直今の根室に独身は生きにくいです。肩身が狭い(お一人様できる店等がない。子どもを求めているのが露骨に感じる)、というのがあるけど、やっぱり給料が少なすぎるのが問題だと思います。そこまで結婚して世帯年収上げなければいけないのか？と考えてしまいます。根室は結婚が早いとはいえ独身も沢山います。</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室にいる若者が出ていかないように、外から来る人が(ファミリー、独身限らず)住みたいと思えるまちづくりが大切ではないでしょうか。根室市民として応援しています。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>町中が淋しすぎます。若い人達が起業できる環境を整備すべきだと思います。とにかく町の活性化を考えてもらいたい。逆にこの様な商売をやってみませんか、役所から提案する事も良いのでは。その為には他都市、地方の成功例を職員が取りまとめる行動を。当然視察も必要になってきます。帯広等で成功している屋台村も良いと思います。場所の提供があれば取り組みやすいのでは。立派なものはない。もうすでに取組んでいたらすみません。もともと根室の町が良いと言われる様をお願いします。根室が大好きなしみんです。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者をいかに呼び寄せ定着させるかが重要であり、それが地域コミュニティの維持に繋がるものと考えます。そのためには、安心して働ける、生活できる環境が必要です。今後も効果的な施策実施をお願いします。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度から根室市に引っ越してきました。知り合いから聞いていた根室の印象は「お気の毒に」でした。約4ヶ月住んでいて、この印象は特に変わっていません。居酒屋を除いてランチ・ディナーに行ける店がとても少ないことや、若手教員が多いのに育てる環境や周りの人材配置が不適切に感じます。学校給食の栄養バランスも良いとは思えません。品数も少なく味も給食費の額と見合っていない。委員会や局は町外の学校の教員の現状、管理職の現状をどこまで正確に把握していますか？</li> <li>ただ、地域柄を感じる水産学習は根室ならではであり、魅力に感じています。そんな良い点もありますが、学校現場の若手教員の資質向上+管理職の適正な配置をお願いします。教員の資質向上は子どもの成長につながります。子どもの成長が親や地域の安心につながると私は思います。</li> <li>あと、子どもから大人まで、言葉に障がいがある人たちが悩みを相談できたり、言語聴覚士とリハビリできたりする環境を整えば(連携とれたり)いいなと思っています。それが学校ともつながることができるのもっと良いです。(私も言葉に障がい有りなので…)</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>お店が充実してないから欲しいと思った物を手に入れられず、結局地方(釧路、中標津等)に行かないとならず不便。大型とは言わないが、ある程度そろっている複合店があった方がより住みやすい根室になると思う。特に駅前や緑町にあると良いと思う。観光客も来る人も増えるはず。西浜方面ももう少し充実してほしい。服屋が全くと言ってない根室なのでそういうところも考えてほしい。より良い根室になってもらいたい。</li> <li>若者離れもふせげる根室にならないと寂れる一方では?タクシーも少なすぎて利用したいけど車(タクシー)がなくて行けないって断られるし、どこも行けない人たくさんいます。困っている人たくさんいます。バスも少ないし…困ります。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>世代間交流が希薄になっている最近だが、根室市は祭りで盛り上がる場所を生かしていくと良いと思う。</li> <li>保育園(お残り保育も)、放課後教室、ディサービス(老人ホーム)などの機能をそなえた施設作り。一体化。</li> <li>幼児・児童を育てる親が、先生だけでなく、地域の高齢者に気軽に相談できる。また、高齢者も孫世代の子とふれあうことで若がえることができる。この施設で定期的に〇〇祭を開いて目標をもって活動していくことによって生きがいを持ってすごしていける。</li> <li>文化・スポーツ施設に訪れる人と小中高の部活動の交流を活発に進めることで、教員の負担軽減と市民の方のやりがい、自己実現を高めていく。色々な世代皆で「ねむりんピック」インクルーシブ。</li> <li>「根室アプリ」を作って、施設利用や町内会イベント参加、また歩数などでポイントをためて、市内の商店で割り引きできるようにしていく。健康増進、地域活性化</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室市が行っている各支援や事業、知らない事ばかりでした。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>市はもっと市民との対話を持つべき。</li> <li>産業は困っているのに対策は何もない、感じていない。市は、職員は親方日の丸で、底辺の市民の感覚はない。判ってくれていない。</li> <li>街全体が人口減少で衰退の状況を何にも感じていない。</li> <li>魅力のない街で、もちろん活力もない。隣町との合併を考えれば。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>落石岬にある旧日本軍の無線所跡は、太平洋戦争へと突入する合図となった、択捉島単冠湾に集結した、日本海軍の太平洋艦隊へ突撃の指令となった「ニイタカヤマノボレ」の暗号電文をモールス信号で発信した場所と理解しています。根室市はこの歴史遺産を良く保存管理していく責任があるはず。それなのに、何故、個人に貸与しているのでしょうか。</li> <li>建物は改修されて、昔の面影を失っています。また、一般人の見学もできません。これでは市の管理責任が間違っているではありませんか。</li> <li>歴史の頁の遺産に目をつぶりたいというのですか。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の事業で在宅入浴サービスを早期再開してほしい。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず最初に、このアンケートは「市民から無作為に3,000人を抽出した」と記されていますが、わたしはこのアンケートを受け取るのが2度目です。そして、わたしは根室市に住み始めて2年</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
	<p>ですので、どういうわけかここに引越して来てから毎年この調査を受けています。偶然なのでしょう。根室市民の7分の1にこのアンケートが送られてくるとして、わたしは49分の1の確率で2年連続ランダム選択されたのでしょうか。宝くじにでも当たるほうがうれしいですが、まあなにかの運命で意識調査を引き受けることになり、2年もここに住んでいますと多少わたしなりの根室市に対する考え、意見も持つようになりまして、これを機会にあれこれ私見を述べさせていただこうと思います。堅苦しい真面目な文体で書くのは読むほうも退屈でしょうし、書くほうも面倒くさいので、楽な口語体で軽い調子で書かせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明治町に住んでいる48才主婦で、夫と、18才と16才のふたりの息子と、4人暮らしです。2年前の8月に東京都足立区から北海道根室市に転居して来ました。生まれも育ちも足立区です。返って、こういった根室とまったく違う場所で生まれ育ったわたしの意見というのは、外部から見た根室、というもので、案外斬新かもしれません。</li> <li>・ まず、調査書の中の質問で、問7。(4)「少子化対策」「地域の子育て支援」という項目があります。この調査書を見て気付きますのは、子育て家庭に金銭的支援をする、高齢者福祉にお金を掛ける、という「市で実施している(実施した)事業」の実績は書いてあります。それがどれくらい市民に認知されているか調査しているようです。大阪結構なことです。反対はしません。ですが、この調査書を見てみると、若くて健康な人たちには、スポーツ・レクリエーション・文化活動でもやっておけばいい、たいしてここには予算組まない、さほど特筆する実績はない、というように感じてしまいます。</li> <li>・ わたしはむしろ少子化や子育て支援の前段階のサポートが必要なのではないかと考えます。若くて健康な人たちは一番行政から見放されていると思うのです。若くて健康なのだから、勝手になんでも自分でやれ、という風に。実際には、子供なんて生まれちゃったらなんとかなるものです。産むまでの道のりが、今の若者には遠すぎると思うのです。</li> <li>・ まず、根室は人口がとても少ないです。しかも高齢者ばかりで若者・子供はとても少ないです。これ以上若者が根室を離れてしまえば市の存続の危機ですから、市としては根室エリアの若者同士で結婚し、ここに定住し、次の世代の根室市民を産み育ててもらうことが本懐なのではないでしょうか。こう考えますと、まずは根室の若い子たちが恋愛するべきですが、人口が少なすぎて恋愛しようにも相手を見つけるチャンスが限られていると感じます。</li> <li>・ そもそも高校が根室高校一校しかありませんし、根室にある会社はどこも小規模で従業員数だってそう多くはありません。狭い範囲の同級生や同僚との恋愛というのは、始めるのがまずリスクです。若い子はナイーブですから、交際を申し込んで断われたらどうしよう、と気弱ですもの。付き合い始めたとしても周囲の干渉や視線が気になる、デートしようにも行く場所がない、プライバシーが守られない等々。また、別れた場合お互い狭い市内に住んでいるのは気まずい、など、ここ根室ならではの、若者にとって恋愛をスタートさせるまでの高いハードルがあると思います。</li> <li>・ わたしの提案として、市がSNSプラットフォームを立ち上げるのはいい考えだと思います。根室市だけだととても人口が少ないので、別海、厚床、中標津、標津、厚岸など周辺の地域の役所と連携して、道東エリア住民限定の「友達募集サイト」を作るのはどうでしょう。かつてお見合い結婚というのがまだ一般的だった頃には、結婚に向けた恋愛を始める若者を周囲の年長者が後押しする風潮がありました。それを「お節介だ」と嫌った結果、お見合いが廃れ、今や都市部の若者すらも結婚相談所やマッチングアプリの助けを借りて「婚活」しています。お見合いっていい制度でしたよ。スマホのアプリでまったく見知らぬ相手と会う、というのはとてもリスクです。それに、根室でマッチングアプリに登録しても、人口少なすぎてマッチングなんてしないのではないのでしょうか。悪夢、相手が同級生だった、なんて当然あるでしょうし。ですから根室市が若者を支援してあげることは必要なことだと思うのです。市がマッチングアプリを作るわけにはいかないでしょうから、あくまで友達探しをする目的で道東エリア市民の交流サイトを開設するのはどうでしょう。</li> <li>・ 市民が市に申請して会員登録することで、IDとパスワードが発行され、メンバー登録ができるようにします。サイト内のメンバーは市に登録している人なわけですから、マッチングアプリでまったく見知らぬ相手と知り合うより安全でしょう。まずメンバーは自分のプロフィールを作ります。このとき、興味・趣味の一覧を用意して、ラジオボタンで選択させて、自分の関心事を公開します。サイト内でメールボックスを持ち、個人のメールアドレス非公開でメンバー同士のメッセージのやりとりができれば安全で便利です。サイト内で友達検索をして、相手のメッセージボックス宛てにメールを送れば、道東エリアで友達を広げることが容易になるはず。同じ興味、趣味がある同世代同士であれば、話題は広がりますし、実生活では知り合う機会がなかった新しい友達を作れると思います。別に恋人探し限定にする必要はないと思います。アクセス禁止項目も作って、異性からのメッセージは受け取らないとか、年齢が〇才以上離れたメンバーからのメッセージは受け取らない、という設定ができれば、気軽に始められると思います。</li> <li>・ 恋愛は自然と始まるものです、その「相手」とさえ巡り合えば。「わたしが探しているだれか」を見つけるため、「だれかが探している相手」が自分かもしれないから。都市部でも行政主導の街コンやっているとこもありますよ。恋愛が始まってこそその結婚、子育てです。</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次に、問 16. (2) に関して。選択肢には水産業、農林業と記載されていますが、根室はその立地条件から、漁業、酪農、農業に強力なアドバンテージがあると思います。農業には寒すぎるかもしれませんが、温室を作って暖房を入れれば解決できる程度だと思います。じゃあ、だれが漁師やるのか、だれが酪農家やるのか、と言いますと、日本人の若者を雇えばいいのです。日本は 30 年間労働賃金が上がっていない、世界でも最低クラスの国です。今や日本の最低賃金は韓国以下です。若者はみんな低賃金に苦しんでいます。本当に日本政府は日本人の若者を支援しませんから、だったら地方自治体がやるしかありません。</li> <li>・ わたしは根室に引っ越してきてびっくりしたのが、根室市宛てのふるさと納税、全国 3 位（今年は 6 位くらい？）ほんとびっくり、みんなそんなにいくらの醤油漬け好きなのと。まあおいしいけど。根室と別海で組んだら、この道東エリアのポテンシャル相当高いと思いますよ。別海も酪農やってくれる人足りてませんし、次世代高校球児生まれてこなくちゃならないです。このふるさと納税はいわば棚ぼたマネーなわけですから、これを人件費に振り充てて若者雇えばいいと思うのです。「根室市に住民登録している 30 才未満の日本国籍を有する者は、全員「根室市特別職員」として採用し、満 30 才まで雇用を維持する。月給 40 万円」今や若者にとって月給 40 万円は高給です。本当に貧しい国になりました。若くて健康は日本人を大切にしない国です。この条件で募集を掛けたら、案外本当に日本全国から若者引っ越してくると思いますよ。若者集めたら、農業を、漁業を、林業を、酪農を、みんなにやらせれば良いのです。若者に仕事があって、十分な賃金が払われれば、結婚にも前向きになるし、子供も欲しいと思うでしょう。若者が集まれば、娯楽施設や飲食店も自然と追いかけてきます。根室市の令和 5 年度ふるさと納税額、12,554,070,247 円ですよ。この、読めないくらい多額のお金を、日本の若者のために使いましょようよ。日本は食糧自給率が極めて低い国です。若者集めて第一次産業に従事させることは、根室の、ひいては日本のためになるはずですよ。</li> <li>・ 日本人なんてほんの何世代か前までは全員農民だったんですから絶対できますよ。そしてこの若者たちが払う住民税は根室市に返ってきますよ。ふるさと納税からの打ち出の小槌です。雇用は 30 才まで、だったら 30 過ぎたらどうするのだ、と言いますと、根室市内の一般企業に転職すればいいです。若者が増えればサービス企業も増えます。雇用はあるでしょうし、地元帰りたいた人は帰ればいいのです。</li> <li>・ そしてこれは問 9 にもつながります。社会福祉として、高齢者、障がい者、ひとり親といった、弱い立場の人を守る、支援する、という視点で設問されていますが、元をただせばそういった人々をサポートできる十分な人材がなければなりません。根室に若者が集まれば、市に人的余裕、余力が生まれるでしょう。設問は、高齢者、障がい者、ひとり親…、どこに重点的に取り組むべきか、とありますが、そもそもこういった弱い立場の人に順位をつけて、どれかを優先して支援する、というのではなく、すべてを支援するべきではないでしょうか。ただし、高齢者、障がい者、こういった人たちは案外もうすでに十分支援を受けて優遇されています。年金ももらったり、税控除受けたり。なので、支援には反対しませんが、重ねまして、行政がもっともっとサポートすべきは、見放されている日本の健康な若者たちだ、とわたしは思います。</li> <li>・ さて、ずいぶん長く書かせていただきました。この調査書、根室市から送られてきましたが、返送先は札幌です。ゆくゆくは総合政策室に回されるものなのでしょうか。いろいろ書きましたが、根室市がわたしの意見を参考にになにかをするのかどうか、正直あまり期待はしていません…わたしの提案は「前例がない」ことですもの。</li> <li>・ わたしは根室大好きです。引っ越してきてホント良かったです。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 根室市は昔から大きな商業施設やデパートが少なく、緑町でさえ活気や店が少なくなり、アーケード街だった頃より、明るさもにぎわいもないので、もっと大きな店や遊園地等、楽しめるものを展開すれば、他の街から人を呼び込めるのではと考えます。</li> <li>・ 歴史的な遺産はあっても、見て楽しむだけのものでは飽きてしまうし、人を呼び込めません。かつての釧路市のような遊ぶ場所や大きな店やデパート、動物園等と言った人を呼び込んだり市民も楽しめるものは根室には足りないと思います。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ QR コードから電子解答もできるようになると若い世代はしやすいと思いました。</li> <li>・ 市の人口は減る一方かと思いますが、だからこそ子ども達の教育にかかる予算や補助が一層充実すればいいなと思いました（小～高校まで）。</li> <li>・ また、難しいと思いますが、若い世代向けの娯楽施設やファミリー向けのレジャー施設などあると活気も生まれるのかと思いました。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道だけでなく、細い道や駐車場をもっと整備して欲しい。</li> <li>・ どこに行っても駐車場が狭い。停めにくい。</li> <li>・ 1 日も早く釧路までの高速道路を作って欲しい。</li> <li>・ 自分が住んでいる地域から東側へ行く際、あまり道がつながっておらず、迂回することになるから道路をつなげて欲しい。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減少を止めるための取り組みと同時に、関係人口・交流人口創出のために、「持続可能な観光地域づくり」の重要性が高まっていると思います。</li> <li>・ 「持続可能な観光地域」とは、市民にとって住み良い地域だと考えます。</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援も大事ですが、私は年金受給者ですが年金だけでは生活が出来ないので、椎間板ヘルニアなどで病院に通院しながらアルバイトで収入を得ていますが、病院へ通うための交通費、病院代も削って、足のしびれを我慢しながら働いています。いつまで働けるかわかりません。高齢者にも毎日不安なく生活できる支援をお願い致します。</li> <li>車を手放し、外食、旅行もせず、衣類も買わず、贅沢はしていないと思っています。私の他にもこういう方々はたくさんいらっしゃいます。</li> </ul>
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税で得た資金を使い、一次産業に依存してしまっている根室の経済を、二次産業に移行し企業を集めて働く場所を増やして労働者を呼び込み人口を増やして欲しい。</li> <li>また、根室市は自然が豊かと言っているが、街中の景色に緑は少なく、色が悪い。あったとしても綺麗ではないので整備してほしい。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い人たちが返ってこられる街になってほしい。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く親が子供のためにできることが増えるよう職場に働きかけてほしい。</li> <li>不妊治療も高度からしか補助が出ないので、一般からも出してほしい。根室でもやってほしい。</li> <li>老人の独居問題で、独居のために入院や病院にかかることになった人はグループホームなど施設に入るようにしてほしい。でなければ若い世代に迷惑がかかる。</li> <li>子供の学力低下が進んでいるので、学習塾などをもっと増やしてほしい。利用しやすくしてほしい。放課後に学校内に設置するなどの工夫も大事。</li> <li>職場の偉い人達の考えが古すぎる。アップデートして、柔軟に考えてほしい。</li> <li>皮膚科でシミ取りなどの自由診療も入れてほしい。</li> <li>子育ては人類を育てるという大きな仕事です。どんな仕事よりも尊いです。子育てに力を入れられるようなサポートをもっとしてほしい。週に1~2回は早く仕事を終われるとか、休みが多くなるとか考えてほしい。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代です。近年（特に根室市）では、子育てする家庭への支援がとても手厚くスピーディーに行われる為、とても感謝しております。4人目の子どもでやっと初めておむつ券を頂きましたが、別の月齢のおさんはもらえなかった話も聞くので、おむつのみクーポンよりかは、子どものいる家庭におむつ以外も購入できるクーポンだと良いかと。もちろんオムツ使いますが、使う量は人それぞれ、早くはずれる子もいるので、子ども関連のクーポンが使いやすい。</li> <li>あとは公園の遊具が少なすぎです。危ないと撤去するのもわかりますが、子どもが（3才~小学生、又は中学生）遊ぶものがなく結局家で遊ぶ。家ではゲームばかりになるので外で遊んでほしいが遊具も少ない。昔の様に遊べる所がないから、子どもへの給付等ばかりあっても、ありがたいですがその後の支援が必要なのでは？</li> <li>運動公園も新しくなる様ですがまず遠い…。ワンパークに行くという目的なら良いですが。公園があちこちにあっても遊具が同じ様なものばかり。子どもが危なくない様な遊具も沢山あるはず。危険を遠ざけてばかりいると子どもの力は育ちません。子どもが怪我をした、危険等色々言う大人はいると思難い所ではあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します！</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産ですが、魚もとれなくなり、別種の魚がとれたなら他の地域と同じくウリにすべきです。（してたらごめんなさい）</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりにこれといった具体的な意見はありませんが、水産業のまちなので、これからの漁業（環境変化に対応した）の方向性と具体的な対応が必要と思います。生活の中では、せっかく新庁舎ができたのだから、時計や温度など市民が外気をわかるようなことを庁舎近くに建てたらいいかな。私は「ふみきり」のことはよくわかりませんが、「大正町」のふみきりに「信号機」があればいいと思う。ふみきりの「シャダンキ」は今までと同じく、あわせて信号機があればと思う。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験型の観光の充実、冬以外のバードウォッチングなど。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館について、利用する方のマナーが悪いのに、新しくするお金が無駄だと思います。敷地や建物の中でもタバコを吸っていたのを見ました。その借金を将来、孫に負わせるのかと思うと残念です。もう少し考えてほしい。</li> <li>ランドデザインも、街の声の大きい人の意見にかたより、本当に必要なものが充実しない。いつも同じ決め方だから大多数の市民は諦めて参加しないのだと思っています。もっと手法を工夫して下さい。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識とか、根室の事とか、色々知っている役所の人を中心となって、町内会やその他の事に、ボランティアとして協力してもらいたい。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室の人口が減り続けていて、若者が市外に出てしまうのでどこの企業も人材がおりません。まちづくりを頑張っても根室の人口が減っていますのでこれからの根室の未来は「人材不足→企業縮小→更に人口減少」しか見えません。水産業も温暖化と共に難しくなっていますので、水産以外の「ねむろ」を知ってもらおう何かがあれば良いと思います。</li> <li>あと、釧路の和商市場みたいな所を作ったり（食事ができるなど）、根室の特産物やお土産など集めた話題スポットがあってもよいのかな。根室の自然を生かしたスポットなど…。（キャンプ場施設や遊びの広場など）道路ももっと緑で綺麗に整備して頂きたいです。</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合体育会館の構想、知らなかったです。青少年センターが老朽化してきているのでとても良いと思います。スポーツに取り組んでいる子ども達のやる気にもつながるのではと思います。ぜひ前向きに事業を進めてほしいです。</li> <li>低学年と幼児を育てています。わんぱくが建ってから、遊び場に困らなくなりとてもありがたいです。2月末に出来上がる公園のほうも楽しみです。</li> <li>小中の給食費の無償化や、医療費の無償化、とてもありがたいです。ロタワクチンが無料になったように、水痘やおたふくなど任意のワクチンもなんとかならないでしょうか？高額なのを理由に受けない子が周りにいるかと思うと怖いです。</li> <li>保育施設について疑問です。2号認定の子は、親が休みでも無料で遅くまで預かってもらえるのに、1号の子は預かりの料金が発生する。このしくみは納得いかないです。2号認定の親は無料で預け放題になっていませんか？</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院で働く人が不足している話も聞き、美容室もなかなか希望の日に予約が取れず、人口減を実感しています。大学進学で市外に出た若者が戻って来る事が少ないので、戻りたくなる街である事が重要かと思います。涼しさが最大の魅力なので、アピールして欲しいです。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の統合等により、空いている教員住宅を賃貸物件として活用して欲しいです。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業の充実</li> <li>野鳥観察の観光化</li> <li>高齢者向け対策（健康向上）</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>なんだかんだで経済、稼ぐ力が地域にあることが重要だと思いますので、経済振興に力を入れていただけたらと思います。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室市のまちづくりを真剣に考え行動している市民はほとんど居ないと思います。諦めの中で積極性に欠け、惰性で生活している自分もその一人です。私は高齢者なのですが、病院、少ない国民年金では老人施設の入居は無理。訪問介護もままならない。この根室で暮らしていく不安、恐怖さえ感じます。</li> <li>地元に戻らず地方に居る子供の所に引っ越す老人が増え続け、根室の人口は減る一方です。いくら市が子供の為に良くしたところで帰って来ず、後継者が居ない商売人は辞めざるをえず、町は寂れる一方、町の活性化を考えなくてはなりません。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室にしかないブランド物を見つける。それを全面的に宣伝してブランド化する。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校バスの部活時間に合わせた運行が必要だと思う。また中学生でもバスを利用できるシステムにする方が、バス利用が盛んになる。</li> <li>子供、高齢者ばかりでなく、働く夫婦世帯にも対象となる支援があれば良いと思う。</li> <li>高齢者は情報が乏しく、スマホや電子機器は使用できないため、ラジオなどで説明する時間があれば良いと思う（耳遠いけど）。</li> <li>災害時の水汲み場所、スタンドなど必要な場所を事前にわかりやすくした方が良いと思う。</li> <li>地主、長年にわたり会長・社長などの意見ではなく、若者・弱者の声を聞いて豊かな町作りをしてほしい。</li> <li>市立根室病院の受診手順を、初めてでもわかる様、図面にして分かりやすくして下さい。また、会計横の椅子に座っていても、色々な科の番号が出るようにすれば座って待っていただけると思う。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物ばかり新しくしたって、役所の私利私欲のために税金を払っているわけじゃない。何も変わらない。水産業の低迷で農業や畑作にも手をかけていく時代になっていくのだから、そこに金をかけないと何も無い町で産業に力を入れるべき。古い家ばかりで新しくしたくても物価高に低所得者じゃ何もできない。役所ばかり潤って市民には何も還元されない。言う事だけ一丁前で、何もしない役所を良く思ったことがなく、不満しかない。そのうち根室から離れる。こんな何もしない役所の町にいても意味がない。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所の食堂でカフェ営業もしてほしい。</li> <li>花火の時、市役所4階を抽選で開放。</li> <li>空家調査（引越時期は決まっているのに引越先がなかなか見つからず苦労したので）→有効活用</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世帯ですが、給付金をばらまくのではなく、中学や高校等必要な物（制服や教材費）等で支援していただきたい。</li> <li>教室のエアコンをつけて欲しいです。子供が減って、使う教室も少ないのに、そのくらいできないのかと。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>銭湯の少なさなど、くつろげる場所、釧路のような発展。運動公園のゴミだらけ問題、食べ物の袋ごみ、ペットボトル、犬の糞だらけ。ドックランの狭さ、使い道がない。観光客がくつろげる場所。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世帯だけの支援が多く感じます。うちは子供が居ないので共働きで一生懸命働いていても納税してばかりで、子なし世帯も生活は苦しいのは同じです。子供が居ない夫婦にも何かしらの支援をお願いします。</li> <li>朝の飛行機に間に合うバスやJRの交通の便があればいいです。観光客は根室の海産物を食べたい</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
	と根室に来ますが、とれたての物をその場で焼いて食べられる施設がなく、残念な思いで帰る人も居たので、厚岸のコンキリエのようなその場で食べられる場所があるといいと思います。ホテルも少なく、あっても汚いかもう泊まりたくないと思うので宿泊する場所も必要だと思います。
30 歳代	・ 新たな特産物（海産資源）を早急に考えるべき。例：オランダせんべい、タイエーのやきとり弁当、えびラーメン（カップラーメン）、乾物等の日持ちの良い物は、他の地域に供給しやすいため良い。エスカロップのもと（喫茶どりあん・喫茶ばら）味のようなセットもの。厚岸のカキ飯的なもの。
20 歳代	・ ふるさと納税の財源があるうちに優れた奇抜なアイデアを生み出し、チャレンジしてほしい。突拍子もない発想に批判はつきものです。大人達の意見に偏らず、若者の考えも尊重してあげて下さい。根室はここからです。応援しています。
20 歳代	・ 若い人が住み続けたいと思うような施策にしていけないと人口が減り、高齢者だけが増え、いずれは根室市が生きなくなる。 ・ 根室市に大学など教育施設ができれば、地方からも若い人が集まるようになるし、地元の若い人も地方へ出なくなると思う。それに伴い、就職先の施設も建設できれば良いと思う。根室市は魅力ある働き場所がない。
50 歳代	・ スポーツ施設など一つ一つがわかれていて、規模も小さく使用しづらいので、大きくまとまった施設があれば利用が活発になり、色々な意見で根室市が豊かになるのでは。
65-74 歳	・ アンケートの封筒の番号（〒の下）で個人を特定できるのであれば、アンケートに答えるにしてもその点説明し、男女比も出すなど対応してください。ジェンダー平等の質問が少なく、LGBTQ+の人の事も質問してほしいです。
75 歳以上	・ 緑町の空地利用
20 歳代	・ 本州から引っ越してきました。道路状況が悪く車の運転にまだ慣れていません。常に全てを直していたらキリがないのは十分承知ですが、穴があったり、デコボコを少しでも直していただくと事故防止にもつながると思います。 ・ また、地域の気質なのか運転が荒かったりスピードが速すぎたり、一時不停止なども多く見られます。警察の方とも連携をとりながら事故のない安全安心な町だと良いと思います。
75 歳以上	・ 市立病院の建物は立派ですが、看護師、医師の一部に非常識の言動の方が居られます。これら不満はどこへ届けばよいのですか。
50 歳代	・ 漁業、農業で後継者がいない等の問題解決の為にヘルパーの若者を呼びこむ手立て。医療の充実（釧路市まで通うことのない様）。通学用のバスの充実。中学校・高校と通学範囲が広すぎ、自家用車で通っている現状。
30 歳代	・ でこぼこだらけの市道の舗装整備。ジビエ食材の加工場の設置。観光客を呼び込む為の、宿泊施設の増設。市民有志によるフェス等の補助又は協力。水産業や酪農業を専門的に学べる学校の誘致。
75 歳以上	・ 一般空き住宅解体促進（景観）。幹線道路（砂利）、舗装。幹線道路、ゴミ不法投棄。海岸、港湾のゴミ。
65-74 歳	・ 口で（言葉で）どうこう論じるのは簡単です。まずは実行すべき！（心の豊かさに期待したい）
75 歳以上	・ 根室市全体を清潔な街にと思います。春から夏、街頭花だん、美しい花々を植える。他地方から来られる方々は、美しい花を見ると癒されます。夏の手入れや草取りの問題もあります。
30 歳代	・ ここ数年の間、子育てをするにあたり様々な支援、政策を受けることで本当に助けてもらうことが多く感謝の気持ちでいっぱいです。他地域の同じく子育てをする友人にも自信をもって話をするのできる自慢の根室市です。 ・ これからも、私達子をもつ、子育て世帯の他にも市民皆が生活の中で困ったことを素直に話したくなる、心強い市役所であってほしいと思います。私も子どもという未来の宝を預かる仕事に就く中で、一人一人の人間力を高めていけるよう日々の保育を大切にしていきたいです。
60-64 歳	・ 根室の良さをアピール。
65-74 歳	・ 親子・家族で過ごせる施設・環境が無い現状、市外（例：夢の森公園室）に出向かざるを得ない環境にある。青少年センターや野球場等、西浜に集結（総合運動公園）させて、老若男女誰もが集い憩える環境を整えては？
40 歳代	・ 外食ができるお店、カフェ等が増えると嬉しい。大型の温泉施設、スパ等があると嬉しい。鹿が多くて家庭菜園の野菜や花が食べられて困っているので、どうにかしてほしい。北方領土の返還を形だけではなく、国と相談して根室市で出来ることを本気で取り組んでほしい。道営住宅に住んでいるが、住宅をもっと綺麗にしてほしい。
50 歳代	・ 5Lのゴミ袋を作って欲しい。1人暮らしだし10Lゴミ袋がなかなかいっぱいにならない。
65-74 歳	・ 人口がどんどんと減少して寂しくなって参りました。地域の産業が発展しないと町は発展していかないと思っています。特に根室は水産業で栄えて来た町なので、漁業の不振などその影響が大

年代	問 23 意見・提案
	きいのだと思います。現在は、作り育てる漁業に目を向けて進んでいますので、期待をしています。私は昆布漁をしています。今年は気候の変動や海水温の上昇で昆布の育生も薄く、成長も悪く、将来が、この先が大変心配しております。道も力を入れて調査をする様ですが。
20 歳代	・ 収集つかないとは思いますが、性別・年齢問わず話し合いの場を数多くもつことが大事かと。
75 歳以上	・ 青少年の育成が不十分（青少年ホームがなくなってからは、自由な活動の場が失われている）。若者の交流の場がない。高齢者の厚い看護が急務（独り暮らしの高齢者が子供を頼って都会へ転出が目立つ）。 ・ 高等教育の機会や場が必要だ。新しい知的要素の導入、例：特色ある短大や専門学校の新設で若者を呼び込み、質の高い指導者（教授陣）による新しい風を起し、活気づけることが望まれる。 ・ 緑町のど真ん中に祭で使用した山車、四つを保管して見せる、どでかい建物を造って観光客に PR する。祭りを守り育てる工夫をし、3 日間で終わらせない。
30 歳代	・ 商業施設や空港が欲しい。釧路まで通院するのが大変。イベントやライブが少ない。
30 歳代	・ 景観が悪い。ゴミが落ちていて、草が生え放題。道路もヒビが入り穴が開いていたり整備が必要。道路の街灯が切れたままになっていて、夜出歩くのが危険。整備や清掃にお金を使った方がいいのでは？
75 歳以上	・ 市立根室病院で、外来で何ヶ所か受診しています。対応の連携が良くなく、特に採血や点滴の待つ時間がとても長く、看護師がとても少なく感じます。体調のすぐれない時はとても辛い思いをしています。
30 歳代	・ 現在未就学の子ども 2 人を育てていますが、子育て支援などすごく助かっています。ただ、根室市内の病院では大きなケガ、病気に対応しきれず何かあったときには釧路まで行かなければならないことが不安です。子供の大学進学なども考えると、ずっと根室に住みつづけるのは難しいと感じてしまいます。小児科のクリニックなどがまた開院されたらすごくありがたいです。 ・ 自分は根室の娯楽等が少ないところが正直不満ではありますが、そこはもう仕方がないとも思うので、漁業の支援や、冷涼な気候を活かした夏の観光客誘致などに力を入れたらよいのではないかと思います。
40 歳代	・ 箱物的なハード面の施策ばかりが目立っており、人材の育成や行政サービスの質の向上や効率化などの目線が抜け落ちているように感じます。行政と市民が自分たちの「まち」の将来を自分ごととして考えられるようになるための、情報発信や議論を行う場などの提供を期待します。
60-64 歳	・ 市役所が新しくなったように老朽化したものを整備してほしい。市営住宅の住人が高齢化して独居が増えているので、安全な造りにしてほしい。 ・ 歩行者が安心して歩けるように道路を歩きやすく、見通しが悪く車が急に出てくる。 ・ 水道代が高いなど、ふるさと納税の使い方を全世帯に平等にしてほしい。
20 歳代	・ ごみ収集の種別サイクルが長く感じます（燃えるゴミ以外）。ペットボトルやビン・カン、発泡トレイの回収も月 4 回にするか、市内スーパー等での回収 BOX 設置を推進して頂けるとありがたいです。
40 歳代	・ 面倒だから目をそむけるのではなく、市で働く人ならば小さな事からしっかりやって下さい。こうやってアンケートをしっかりとっています。行動してもらえないなら、今後の協力をしませ
75 歳以上	・ 新たな提案ではないですが、 ・ 問 13 (1) の学校整備事業の北斗小学校校舎の柏陵中学校敷地への移転については、西校後地の柏陵中学校の敷地にそれだけの余裕が有るのでしょうか？ ・ 問 15 (1) 屋内体育施設の敷地についても柏陵中学校跡地に集約した方が、利用者も使用しやすいと思うので早く出来たらいいと思う。 ・ 問 6 (7) 保険証の確認、15 分から 30 分も掛かる時があり、短縮出来ないのか待つ身に時間の無駄になっている。マイナカードを使う人が少なく使いたくない人も多いと思う。 ・ 医師の診断が釧路病院に行くのと違う事がよく聞くので、医師の質の高い人をお願いします。予算の関係上難しいとは思いますが。
75 歳以上	・ 日頃、私共老人に、いろいろご配慮いただいております。役所の皆様のご配慮をいつも感謝致しております。乱筆乱文おゆるし下さい。私的には余り入り込まれる事が苦手なものですから、何事にも積極性に欠けてすみません。
40 歳代	・ 空港があるとうれしいです。
60-64 歳	・ 活気のある街。 ・ 若者が根室にずっと住んでいたいと思えるような街づくり。 ・ 商店も楽しめる何か取り入れてもらいたい。
50 歳代	・ 今年、市役所も新しくなり職員の皆さんは過ごしやすくなったと思います。いつも市民の為に助けてくださりありがとうございます。若者がたくさん居てくれる街になってほしいものです。働ける所がいっぱいあると良いのですが。

年代	問 23 意見・提案
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合体育会館の整備（問 15.（1））とありますが、本当に必要か疑問です。屋内施設だけを集約しても利用の幅が広がらなさそう。たくさんのお金を使ってやらなくてもいいことに思えます。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室に不安があるので、学生が戻ってこない。働く場所、低賃金など条件が悪すぎる。せめて、札幌、東京を往来する交通費の負担を軽くしたら戻って来る機会も増え、生まれ育った所で生活したいという気も出てくるかもしれない。</li> <li>活気がないと、人手がないと、これ以上、変わり様がないような気もする。建物ばかり新しくしても中で働く人の知識などが低くいと困る。採用条件がどうなっているのか。</li> <li>市役所の職員と市民が身近にならないと、一緒に良くしようと思わないと無理だと思う。市民も無関心の人が多いと思う。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>春から秋まではパークゴルフができますが、冬でもできる場所を作って頂きたいと思います。よろしくお願ひ致します。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>住みたい、住み続けたいと思う反面、高齢化に伴い、施設や住環境の充実した都市部への転居も考えてしまいます。やはり水産業の町の復活に大きく期待します。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>今のままでは人口減少する一方だと思う。もう少し一次産業の後継者に対して支援していった方が良いと思う。今回行われたまちづくり補助のときわ台で行われたフェスも名前が根室にちなんだ物ではないのと思う。</li> <li>銭湯や温泉施設を増やし、キャンプ場をもう一度作った方が良い。根室はやっている事が中途半端で他の町より魅力がない。海産物を取った以外は何も良い所がない。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>小さい子の遊び場だけではなく、小学高学年～中学～高校生等の大きい子供達が楽しめる場所があっても良いと思うし、作って欲しい。無料もしくは低価格にて。</li> <li>郡部の街灯が少ないから増やして欲しい。</li> <li>バスは便を増やすべきだと思う。</li> <li>道がボコボコ、ガタガタ、タイル（公園）も飛び出てつまずきそうになった事が多々ある。段差も多い。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉あったら良いです。週一で中標津、浜中へ出かけています。</li> <li>浜中は子供も遊べるのと、ご飯も食べられます。温泉じゃなくてもそういう場があったらと思いますが、個人的な意見です。</li> <li>子供や孫とかいと高齢者をみられません。限られてしまいます。一緒に連れて行ける場所があれば。車いすが OK なら乳母車も OK な場所だと思います。外に連れて行きたいけど。運動公園もすごくいいですが、雨の日はワンパークならいいですが、子供のみです。それと、学生が卒業して進学してここに戻れる市にと思いますが、仕事が限られる様な。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口増について、市外からの転入者にアイデアを聞いてはどうか。</li> <li>外国人が沢山住んでいるので、異文化コミュニケーションを活発にしているかどうか</li> <li>根室の魅力を見つめなおして、広く発信してはどうか</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>公営住宅の老朽化（無人）している建物が景観的にも良くないと感じています。（一部取り壊し工事を見てはいますが）</li> <li>※無作為抽出調査との事ですが、日常生活に於いて関わりのないアンケート部分が有り戸惑いがあつた事を申し添えておきます。尚、抽出方法は存じませんが、この調査は多くの市民の思いを知る貴重な機会と思われまますので、対象者については複数回の人選にならない様にとお思います。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院へ検診に行った。保険証確認が遅い。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>納沙布岬にあるオーロラタワーが廃墟となっているが倒壊の危険性はないのか。事故が起きてからでは遅いので、早急に修繕又は解体すべき。</li> <li>また北方領土資料館や北方館も老朽化しており新築して一つにまとめる等が必要。市立図書館が小さいので、旧花咲小を解体後、跡地に移転新築または現施設の増築により蔵書を増やして欲しい。</li> <li>歴史と自然の資料館は予想よりも展示内容が良かったので、もっと広報した方が良い。根室の名物グルメとして、エスカロップやオランダせんべい等があるが、初めて食べた時にガッカリ感が強かった。昭和ならこれで通用したかもしれないが、新たな名物を考えた方が良いと思う。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>墓の事ですが、パチンコ側のスロープ両方ですが、片方を階段にして欲しいと考えています。（雨の時などすべるので）</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>このアンケート Web でも回答可能になれば良いと思いました。</li> </ul>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>当方、老人家庭です。自宅周辺の雑草の駆除に苦勞しています。関連の業者様が足りません。市の関わる高齢者事業財団の様な施設事業所で人材を増やして依頼を断らないで頂きたいといつも願っています。制限が多すぎます。勿論費用はお支払いします。人材と必要機械を充実させて従事者を増やし町の美化にも協力させて頂けると有難いです。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>公衆浴場やスーパー銭湯、温泉施設が充実するとうれしいです。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 日目、3 日目に根室金刀比羅神社例大祭の時、段雷を無くしてほしかった。1 日目しか参加できなかった。2 日目、3 日目、参加してみたいのに段雷の音が大きすぎて怖い。</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い人達が大学等で市外へ出ても、戻って来たいと思える街が必要。娯楽も無ければ、ショッピングも、カフェも、満足にはほど遠い。市内の医療介護施設の不足が若者だけではなく、定年退職した方達の離婚につながっている。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路わき捨てられている、空き缶、ペットボトル、ゴミが気になる。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノサップ岬、車石等、沢山の観光資源は、素晴らしいです。最高にするために、もっと盛り上げて行って欲しいです。</li> <li>早急に、補修しなくてはいけないところを直したり、飾り付けやモニュメント、色々目玉となりえるので、楽しみにしています。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>未就学児などの子ができる習い事やスポーツ少年団など、もっと充実させてほしい。情報がほしい。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分勝手な考え方ですが、私は高齢であり歩く事をしませんが、街中などにじまにならない程度に小さなベンチがあれば、散歩など体力づくりに外に出て休む場所があればと思います。そうすると公園にもありますが、郊外など、生活圏の中に小さなベンチがあればと、前に外国の風景で見た事があります。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>未来のある子供たちのために大人が助けたり、守ったりしないと根室の将来が不安です。子供たちが気軽に遊んだり、悩みを打ち明ける場所が必要だと思います。学校にカウンセラーを呼ぶなど、機会があれば子供たちの気持ちや将来が変わると思います。</li> <li>根室の道路が良くなってきたのはとても嬉しいです。ありがとうございました。道路にゴミを投げることは許せません。キレイな町にしたい気持ちはあるので何とかして減らしたいと思います。そのためには一人一人の意識が必要なので、きっかけを作ってほしいです。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室市に限らず、保育料を無料や、給食費無料等、ただになれば子供が増えるとは思えません。経済的な理由は低いと思われます。たとえば、自分の時間が自由でないのが嫌、体型がくずれるのが嫌、さまざまです。</li> <li>無料になって贅沢が増えるだけです。自分勝手に“ひとり親”になった家庭もしかり、不公平に補助すべきではないです。</li> <li>年金も下がり、医療費が上がる、高齢者だって大変なのです。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方に転入した娘が根室は子育ての支援がいろいろと充実していたと言っています。</li> <li>他の地域を見ないとわからないことがあると思います。他の地域を見て思うのは、もう少し市民が憩える、子供達も大人も気軽に立ち寄ってゆっくり遊んだり、高齢者は休んだりできる公園や場所が少ないと思います。医療の方は、医師の不足など問題があると思いますが、せめて看護師さんの数が足りないから、対応に問題があると思うのでもう少し人数が充実してほしいです。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者にとって、生活が「根室のみで完結しない」から釧路や中標津に出て行きたいと思うのです。困ったら外に買い物に行っているのです。本屋も服屋も市内にあるものでは事足りないのです。若者のほとんどがです。根室市のお金を他市町に流しているのと同じです。当の若者も「根室に住まなくても」と思ってしまいます。もっと若者の声をきいてください。</li> <li>新しい取組で独自の良さを作っていく段階ではないです。「衣・食・住」をはじめとした生活基盤そのものを、根室から出なくてもおむね完結するような環境を整えてください。ずっと住んでいたくなる景観づくり、施設整備を維持してください。このままでは「祭りのときに来れば良い」だけのまちです。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>道内外の大学と連携し、根室市にキャンパス分校を設置し、若者が住むようにしていく。</li> <li>中標津町と連携し、根室市と空港を移動しやすくする乗り合いバス（タクシー）や民間レンタカーシステムをつくる（自転車レンタルと同じ発想）。釧路間も同様。人不足なので運転手に頼ることなく、旅行者、地元 住民が自分で移動できるシステムを構築できるとよいと思う。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通インフラの整備・維持（住みやすい町づくり）</li> <li>地元就職者への支援等（Uターン、Iターンの魅力がない）</li> <li>SNS や Web での情報発信（地元民でも目にする機会がない）</li> <li>地元企業との連携（地元PRを兼ねた企業説明会など）</li> <li>若年層へ向けたアンケート調査（需要の明確化）</li> <li>上記アンケート決果を踏まえた実現へ向けての有志による資金調達（イメージはクラウドファンディングのようなもの）を実施する。（税金という形では若者の不平不満が出ると思う）</li> </ul>
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生や中学生の人も楽しめるような広い体育館施設を作ってほしい。根室には公園がいくつかあるが、遊具のバリエーションが少なく、小学生以下の子供達だけが楽しんでいる気がした。屋内施設を作らなくても、外でスポーツを楽しめるような場所があっても良いと感じる。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者が帰りたいという気持ちになるような根室であってほしい。このままではどんどん根室から人が居なくなるような気がする。何とかならないものだろうか。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年、根室市に引越してきましたが、こちらに来るまで根室がこんなに魅力ある土地とは知りませんでした。自然・文化・歴史ともにワクワクするもの・ことが多く、住んでいて楽しいです。老舗の飲食店が多いのも嬉しいです。ずっと続いてくれたらと思います。</li> <li>根室に来る前に心配だったのは医療に関してです。市立病院のロコミがひどくてそんなに不満が</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
	<p>あるのかと思いました。先日、市立病院に行ったところ、そこまでひどい印象はありませんでした。(むしろ、病院の開院時間になったら看護師、事務員の皆様が一齐に礼をしていて驚きました。百貨店ではないので看護師さん達の忙しい時間にわざわざしなくてもとも思いました)。医療従事者の皆さんがストレスなく、働ける環境作りが必要かと感じました。このようなアンケートや、市長への手紙などがあり、市民の声を届けやすい市だと思うので、ぜひ続けてほしいです。長々とした文を読んでくださり、ありがとうございました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート、ありがたいのですが、この結果を手入力する職員の方がいると思うと気の毒で申し訳なく思います。紙での回答か、QRコード等でも回答できればいいのにと思いました。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性の年金が少なすぎる</li> <li>・ 市立病院にしっかりした医者がほしい</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風蓮湖に橋を架けてほしい。交通の便が悪すぎる。</li> <li>・ 観光業に力を入れるべき。漁業にばかり頼りすぎるのはよくない。</li> <li>・ いい動物の医者がいない。ペットを飼っている家がふえているのに、誘致してほしい。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の一齐放送の他に、ライン、FMねむる等ですみやかな情報をお願いしたい</li> <li>・ 避難所のプライバシー確保など、(ダンボールベッドの利用や食事等を含め、予算をつけて欲しい)</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 根室の町並み、景観が淋しいと感じます。ナナカマドの木は実が落ちるときたないし不衛生に見えます。道路沿いの花壇も、もう少し華やかにすると、明るい町に見えるのではないのでしょうか。</li> <li>・ 食で観光客が来ているようなのでその人たちが宿泊できる宿や(安くてキレイ)、駐車場があれば便利だと思います。</li> <li>・ 子供を産むことへの支援は手厚いと感じています。ただ、中高生になり 将来を考えた時に根室では不便が多く、結局は根室を離れ、戻って来ないので、若い世代の人口確保につながらない。進学させるのにもお金がかかるので、一家で根室を出るパターンにつながるのではないのでしょうか。</li> <li>・ 意欲のある子たちは根室高校は選びませんよね。(中学校のもち上がりみたいなものですから)</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街の空地が多くなってきているが、駐車場等に整備するなど有効活用は出来ないのでしょうか。食事に行っても、信金にとめられないと、どこに止めていいものかわからないです。</li> </ul>
18-19 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近い将来、根室で働くことになった時に、充実した保健医療があると安心して暮らすことができると思いました。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の市、町とのアクセスが良くなることには、人口の流出を止められないと思う。また、移住者も増えないと思う。少なくとも釧路とのアクセスを良くすれば、多少は人口流出はおさえられると思う。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「例大祭」これからも大事にしていましよう！</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 根室市のまちづくりとは少し離れますが、気になっている点があります。</li> <li>・ 根室市の印象にもつながると思いますが、近年特に目に付くのが、国道・道道の脇に捨てられて居る、ごみの多さに驚きます。観光客も多く訪れる中、このような状態はとても恥ずかしく思います。このゴミ問題については、手取り早く対処できる方法があると思いますが。(注意喚起の看板の設置・重点的に道路沿いのゴミ拾いの日を設ける。(春・秋の市一斉清掃日以外)参加者へ根室ポイントの付与等)</li> <li>・ 根室十景の中でも、特に長節湖・落石岬などへの散策道が整備されていないように感じます。</li> <li>・ 桂木周辺(根高の下の方)の自然豊かな場所に、太陽光パネルが設置されているが、せっかくの景観が台無しになっている気がします。設置規制条件等できないのでしょうか。</li> <li>・ 宿泊施設が少ない事。根室の町が住みやすく、観光客に自慢できる自然を持つ根室を、今以上にアピールする。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬の除雪の仕方、左右確認しなければならない場所に雪が沢山ある場所があり、確認する時に大変。市政情報する際、年配の方でスマホなど持ってない方、機械類が苦手な方もいると思うので、全員がわかるような対策が必要。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の買い物、自宅～スーパー～自宅へと行ってほしい。バス停まで歩行するのがつらい。重い物を持って歩行するのがつらい為、外に出なくなってしまう。送迎して頂ければいいのですが。</li> </ul>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おむつ用品購入券の使える場所が増えればいいかなと思います。(イオンやサツドラでも使えると良かったと思った)高校生まで医療費を負担してくれたのがとても助かりました。(ぜんそく、アトピーで通院することが多かったのです)</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明治公園・運動公園の近くに入浴施設があれば良いなと思います。根室のガスヤジリを楽しむとか、明るいイメージになる方法。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問 13-5、インクルーシブに () 書きで説明があったのは助かりました。最近横文字・カタカナ表記(例、インボイス・インバウンド・LGBT・SDGS 等々)が、ニュースにそのまま出てきて、何のことか理解に苦しみます。ワーク・ライフ・バランスも説明があつて理解できました。</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>たんぱく質ブームに乗って、高たんぱく・低カロリーのエゾシカをもっと食べようとする。涼しさと雪の少なさのアピール（1ヶ月ぐらい生活できる環境を整える／希望者は昆布干しや酪農のアルバイト）。冬の間の高齢者の体力づくり（パークゴルフ場が閉まってしまうと運動をしない人達の筋力が減っていくのが心配です）このアンケートのおかげで知った事業が多かったです。ありがとうございました。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工業など職を増やし、働く場を増やすとよいと思う。難しいとは思いますが、大学か専門学校があるとよい。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室から去りたいと思ったが老親もいるしとどまるしかなかった。どこも「本当の事」を聞いてくれる機関もなく、人を大事にしない町なんて全くだめだと思う。今の勤務先では校長をはじめ雰囲気もよい。退職後も根室に住み小さな計画の実現にむけて努力しようと思う。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>松本町にある、たから湯からまつもと保育所の間くらいにある、一時停止の標識が木で隠れていて大変危険であると思います。（左右にあり、左をまっすぐ行けば簡易裁判所がある）不停止の車やそこで事故を見かけたことがあるので交通安全のため何とかならないでしょうか。（木を切って標識を見やすくする）しまむらの裏にある旧国道（すごくカーブになっているところ）にポイ捨てがすごく目立つので、看板を立てたりしてほしい。歩こう会などで歩きながらゴミを拾うとか、ゴミをたくさん拾った人に景品を渡すとか、ちょっとしたイベント化にして、根室のまちづくりをしてほしい。</li> </ul>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>市で実施している結婚新生活支援制度がまだ実施されていない頃（発表されていない時）に新聞で記事を見かけ、結婚する予定だったので市役所の方に問い合わせをしました。ですが、まだ分からないと冷たい対応をされました。聞いても分からず、発表されても自分達も新婚ということで支援の対象になるとかと思っていましたが、1ヵ月早かったので対象になりませんでした。新婚で、新築一軒家を建てたのにも関わらず、1ヵ月（正確には数日）違うだけで対象にならないのは不平等だと感じました。</li> <li>市役所の職員の方も知らないというのいまいかがなものかと思いました。せめて、職員の方の対応が良ければ自分も納得したかもしれません、今だに不平等だと感じます。今後、このようなことがないように支援など早めに発表していただきたいのと、職員育成に励んで頂きたいです。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室市内では、放課後教室はやってもらえるのに厚床になると人がいないからできないと言われてたりするので、市内と市外も同じ環境だとありがたいです。でも何かやりたくてお話しをする時は、市で決まっているのでダメと言われてたりして、都合が良いように返答されている？</li> <li>人材不足はわかるのでそれなら厚床にしかできない事も認めてほしいです。これから厚床も人が増える魅力的な町にしたいので、人を増やすためにしたい事をどうやったらできるか一緒に考えてほしいです。よろしくお願いします。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者優遇をやめ、現役世代にも投資して欲しい。氷河期世代の救済にも着手して欲しい。市役所など公共の職場は地元出身者を優遇して採用すべき。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室駅前の活性化。観光客の方が駅から降りた時の第一印象は良くないと思う。さびれた街。活気がない。と思われる景観。熊と鹿の対策。</li> </ul>
60-64 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間制限などのない自由に使える駐車場を市内に増やして欲しい。市立病院の側にコンビニを作って欲しい。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ、戦争、物価高等、世の中がじわじわと身にしみるように変わっております。将来の不安があります。人間は年重ねて足・腰曲がり、老人になり病に伏して、病んで痛くて苦しくても、死ぬまで生きなければなりません。誰も変わってくれません。今日という日を大切に最高の人生であれという生き方、少しでも楽しく暮らすことを大事に生きる。</li> <li>根室市のまち、きれいに清掃、最東端ならではのイベント、お祭り、市民講座、文化祭、音楽祭はとっても大事だと思います。私自身は、とっても皆さん方頑張っていると思います。行事をすることはとても大変なんです。協力なしではできません。私は感謝致しております。</li> </ul>
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い方々が働きやすい環境の整備、そして娯楽、イベントなど。他県から人を呼び込んで街を活性化してほしい。これ以上疎化しない様（人の流出を防ぐ意見でも）、何かしらの強み（根室市の）を持つ様な市であれば人々が集まって来るのではないかと？流出しないのでは？それか、半導体工場の様な会社の誘致をして、人々を強制的に増やす様にするとか？今後の根室市に期待します。（ふるさと納税を活かして下さい）</li> </ul>
18-19 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の資格取得促進のため、英・漢・数検の検定料、1回無料</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミのポイ捨て（道路）酷いですね。何か対策を。</li> </ul>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストコなど大型ショッピングモールがあれば釧路など、他地方からも来る人が多くなると思います。あと、車がない人も来やすくなるようにバスを増やして欲しいです。</li> </ul>
65-74 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>光洋町の教員住宅前は雨が降ると「池」ができます。舗装してはどうでしょうか。近年、根空港ではイベントが開催されています。弁天島の市杵神社の鳥居を建てたい。</li> <li>また建物の壁を模様に変えたい。弥生町岩壁は釣りを楽しみたい。</li> <li>北海鮭鱒の大型、中型、小型船の展示、保存。確か北洋の写真家がいたはず。その展示。根室はフレップの産地、イチゴ栽培に適しているのでは。ニンジン、大根等野菜も結構育つ。広小路通</li> </ul>

年代	問 23 意見・提案
	りを食べ物通りにしたい。料理人を育てたい。
20 歳代	・ 自分としては同年代のほとんどが、根室市から出て戻って来ないのが気になる。今の高校生が進学後戻りやすい「まちづくり」が何かあれば、活気のある町になると思う。大学専門学校等に進んだあとの就職活動で、地元の仕事があれば戻りやすいと思う。
40 歳代	・ 教育に力を入れて欲しい。未来の根室市や日本を創るのは子どもたちです。
50 歳代	・ スポーツ施設の整備・新設。大きな大会を行える様な総合体育館・野球場の新設。陸上競技場・カーリング場・スケートボードパーク・クライミング場など。
40 歳代	・ 素通りの町根室を変えて、根室で泊まってもらいお金を根室に落してもらえよう夕方から夜にかけてのイベントを、さんま、カニ祭りの中に盛り込み、夜、釧路や阿寒へ行ってしまふのをふせぐのができないでしょうか。ノサップ岬の周辺に市で土地をふるさと納税で購入し、観光大手会社を入札で協定してホテル街を作り、正月だけではなく「朝日に一番近い街根室」を観光客に見ていただくのも良いと考えます。
40 歳代	・ もっと若者が住みやすい環境にしてあげてほしい。
20 歳代	・ 廃屋が多く、防犯面や景観の悪化が見えます。家の倒壊など危険があるので、市で対策していたらと幸いです。
50 歳代	・ 根室駅を出てから、活気と明るさ（音等々）が足りないかな。（観光や来根室者への歓迎感は少ない？）イベント等行きたい場所へのアクセスが弱いかも。（手軽に乗り合わせる小型バス等。もしかして有りました？）
50 歳代	・ 根室の高規格道路の入り口（温根沼側、以前のキャンプ場跡）に桜を植える。医療の充実。根室ですべての医療が受けられるようにする。受診する科によって、休診などが多く、十分な医療を受けられない。高齢者が多いのに、釧路などに行く交通網が不便すぎる。（病院に行くための）
30 歳代	・ 子どもの予防接種の予診票を出生時に必要な分を、冊子にまとめて渡してもらえるとスムーズに実施できると思う。事前に病院へ取りに行くことや、次回の分の取り忘れがあると、取りに行くのが大変でした。幼児用の遊具ができると嬉しいです。低めのすべり台など。妊娠中や0歳児を抱っこしながらでも、見守って遊べる公園があると助かります。

# 市民意識調査

## 「市民意識調査」へのご協力をお願い

根室市は、平成26年度に「第9期根室市総合計画」を、翌平成27年度には「根室市創生総合戦略」をそれぞれ策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところです。

これらの計画を実現していくためには、市民みなさんのご理解と参画をいただきながら推進していくことが不可欠です。

本調査は、市民のみなさんのまちづくりに関する率直なご意見をお伺いし、市政に反映していくことを目的として毎年実施しているもので、これまでに、産業振興施策、市内分岐の再開、保育施設の整備などの医療、子育て環境施策などの具体施策に取り組んできております。

今回の調査は、市内の16歳以上の住民の方々の中から、無作為に3,000名を抽出した結果、あなたが調査の対象となったものです。

これまでに何度か本調査の対象に選ばれた方もいらっしゃるかと思いますが、改めて現在のご意見をお聞かせください。

また、この調査は無記名となっておりますことから、個人の意見が直接発表されることや、ご迷惑をおかけすることは決してありませんので、ご協力をお願いいたします。

令和6年7月

根室市総合政策部

## 「市民意識調査」記載要領

1. あて名のご本人がお答え下さい。
2. お答えは、あてはまる項目の番号を○で囲んで下さい。
3. 「その他」などを選ばれた場合は、( )内にその内容や理由をできるだけ具体的に記入して下さい。
4. ご記入が終わりましたら、お手数ですが同封の返信封筒に調査票を入れて、令和6年8月30日(金)までに切手を貼らずにご投函をお願いします。
5. この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

### ■根室市総合政策部

TEL : 0153-23-6111 (内線3382)

FAX : 0153-24-8692

E-mail : sog\_seisaku@city.nemuro.hokkaido.jp



《根室市の印象について》

問2. 根室市の印象（イメージ）についてお尋ねします。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 明るいまち
- 2. 清潔なまち
- 3. 活気のあるまち
- 4. 個性（特色）のあるまち
- 5. ふれあいや連帯感のあるまち
- 6. 市民として誇りや郷土愛があるまち
- 7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

《居住の満足度について》

問3. あなたにとって根室市は、住みよいまちだとお考えですか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. とても住みよい
- 2. 住みよい
- 3. 普通
- 4. 住みにくい（理由： \_\_\_\_\_）
- 5. とても住みにくい（理由： \_\_\_\_\_）

《定住度について》

問4. あなたは、今後も根室市に住み続けたいと思いますか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. ずっと住み続けたい
  - 2. できれば住み続けたい
  - 3. できれば住みたくない
  - 4. 住みたくない
- } ⇒問6へ  
} ⇒問5へ

問5. 問4で、「3. できれば住みたくない」、「4. 住みたくない」とお答えされた方にお尋ねします。

そう思われた主な理由は何でしょうか。次の中から該当する番号を3つまで選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 自分にあう職業がない
- 2. 商売や事業経営に不利
- 3. 交通の便が悪い
- 4. 買い物などの生活の利便が悪い
- 5. 物価が高い
- 6. 進学などの教育上の問題
- 7. 医療・福祉面が不安
- 8. 娯楽や余暇活動の場が少ない
- 9. 自然が厳しい
- 10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）



《少子化・子育て支援について》

問7. 「少子化対策」、「地域の子育て支援」についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①結婚新生活支援制度の創設（住宅費用、引越し費用及び新生活準備費用について最大100万円を助成する取組み）	1. はい	2. いいえ
②出産祝金支給制度の創設（出産後にかかる経済的負担を軽減するため、新生児1人につき10万円を給付）	1. はい	2. いいえ
③乳児おむつ用品購入券支給制度の創設（乳児を持つ子育て世帯に対し、年間9万円（月額7,500円×12ヵ月）の乳児おむつ用品購入券を支給）	1. はい	2. いいえ
④0～2歳児の保育料を半額にする減免制度の創設（子育て世帯の経済的負担軽減）	1. はい	2. いいえ
⑤保育所等における給食費（副食）及び第3子目以降の保育料無償化、小中学校の給食費無償化（子育て世帯の経済的負担軽減）	1. はい	2. いいえ
⑥こども医療費給付の拡充（通院・入院に対する助成範囲を高校生、または18歳以下で保護者の扶養を受けている方まで拡充）	1. はい	2. いいえ
⑦人材確保対策（保育士・幼稚園教諭として働くことを希望する学生への月々の修学資金の貸付）	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、乳幼児や子どものための福祉施設の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

(3) あなたは、子育てのための環境や支援にどの程度満足されていますか。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

(4) あなたは、「少子化対策」、「地域の子育て支援」として、さらに、どのような施策が重要だと思いますか。次の中から特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 出産や育児について気軽に相談できる環境づくり  
 2. 乳幼児保育の充実（延長保育など）  
 3. 学童保育の充実  
 4. 経済的負担の軽減（保育料の軽減など）  
 5. 子どもがのびのびと遊べる施設の整備  
 6. 地域の交通安全や防犯対策の強化  
 7. 地域全体で子育てを行う環境・体制づくり  
 8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

《高齢者支援について》

問8. 根室市の高齢者支援の現状についてお伺いします。

(1) あなたは、趣味や楽しみ、生きがいになることがありますか。

1. ある      2. 以前はあったが今はない      3. 以前からない



《交通について》

問10. 根室市内の交通状況についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）下記の事業をご存知でしたか。

① JR花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み（花咲線存続に向けたブランド再構築や魅力の情報発信）	1. はい	2. いいえ
② 市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、釧路線（根室市と釧路市を結ぶ都市間バス）への財政支援	1. はい	2. いいえ
③ 18歳以下の市民について市内路線バス利用料を無償化する取組み	1. はい	2. いいえ
④ 路線バス「落石線（落石地区～根室市内）」の実証試験運行（落石地区の通院・通学の利便性向上のため実証試験）	1. はい	2. いいえ
⑤ 予約運行型乗合タクシーの実証試験運行（公共交通不便地域の新たな交通手段としての実証試験）	1. はい	2. いいえ
⑥ 70歳以上の市民に対する優待バス券若しくはJR券の交付（高齢者の外出機会の促進）	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、公共交通機関の利便性にどの程度満足されていますか。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

(3) あなたは、市内の幹線道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

(4) あなたは、市外へ通じる道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

(5) 根室市の交通について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備  
 2. 鉄道便の確保  
 3. バス便の確保  
 4. 身近な生活道路の整備  
 5. 高齢者や障がい者等に配慮した安全な歩道の整備  
 6. 除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実  
 7. 街路灯・防犯灯や案内板の整備  
 8. 信号・ガードレールなどの安全対策  
 9. 駐車場や駐輪場の整備  
 10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

《生活環境について》

問11. 根室市内の生活環境についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①廃棄物処理施設建設事業の推進（経年劣化が進むじん芥焼却場の建設に向けた事業の推進）	1. はい 2. いいえ
②公園の遊具等更新・整備（既設遊具の定期点検・維持補修等整備）	1. はい 2. いいえ
③市営住宅整備事業（市営住宅（光洋団地）の建替を実施）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、郊外の森林景観にどの程度満足されていますか。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

(3) あなたの住んでいる地域の緑の豊かさにどの程度満足されていますか。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

(4) あなたは、上水道の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

(5) あなたは、下水道の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

(6) あなたは、公園や広場の利用しやすさにどの程度満足されていますか。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

(7) あなたは、買い物の利便性にどの程度満足されていますか。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

(8) 根室市の生活環境について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 公営住宅の整備  
 2. 宅地の供給  
 3. 水道や下水道の整備  
 4. ゴミの減量化、再利用の促進  
 5. 公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備  
 6. 防犯対策の充実  
 7. 美しい景観（まちなみ）の創出  
 8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

《防災・減災対策について》

問12. 防災・減災対策についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①根室港海岸高潮対策事業（防災・安全）（根室港区岬町地区護岸（延長66m）を整備）	1. はい 2. いいえ
②デジタル防災行政無線整備事業（津波情報や避難情報などの緊急情報を屋外一斉放送する設備の整備）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは「防災対策」として何が重要だと考えますか。重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 食料・水・日常生活用品の備蓄 2. 災害時の情報連絡手段の整備 3. 指定避難所など防災拠点の整備 4. 防災マニュアル・マップの配布 5. 自主防災組織の育成 6. 防災講習会・防災訓練の開催 7. その他（具体的に：	)
---	---

《学校教育・社会教育全般について》

問13. 学校教育についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①「市立学校適正配置計画」に基づく小・中学校の移転統合及び義務教育学校化に向けた学校整備事業（北斗小学校校舎の柏陵中学校敷地への移転など）	1. はい 2. いいえ
②ふるさと給食事業（ふるさと給食の日を実施し、地産地消による食育を推進）	1. はい 2. いいえ
③高校生への1人1台ノートPCの貸与（ICT利活用能力の向上）	1. はい 2. いいえ
④JR 通学をしている高校生への定期券購入費の全額助成（遠距離通学費の助成）	1. はい 2. いいえ
⑤インクルーシブ教育推進の取組み（人種の別、男女の差、障がいなどの有無に関わらず、多様性を尊重しながら学ぶ教育）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、子どもの教育施設や教育環境にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(3) あなたは、「学校教育」を充実させるために、市がどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進
2. 個に応じたきめ細やかな特別支援教育の充実
3. 生きる力を育てる総合的な学習の充実
4. 社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実
5. 個性や才能を伸ばす教育の充実
6. ボランティアなどの体験的、実践的な学習の機会の充実
7. 情報化社会に適合した教育内容の充実
8. 国際化に対応できるコミュニケーション能力の育成
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問14. 根室市の社会教育について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 生涯学習教育の指導者育成
2. 各種サークル活動の充実
3. 各種講座・教室などの充実
4. 放課後教室・児童会館・児童教室などの充実
5. 青少年の健全育成
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

《スポーツ・レクリエーション・文化について》

問15. 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①屋内体育施設の老朽化等に伴う総合体育会館の整備に向けた基本構想策定（4つの屋内体育施設を一つに複合化・集約化し、柏陵中学校跡地を建設予定地とする構想）	1. はい	2. いいえ
②みらいのアスリート・アーティスト応援事業（高校生までの学校教育活動以外の体育・文化活動遠征費の助成）	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、スポーツ施設の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

(3) 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備
2. 芸術・文化の振興・文化施設の整備
3. 文化財や史跡の保護・伝承
4. 音楽会・講演等の開催
5. 学校施設開放の推進
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

《産業・地域の振興について》

問16. 根室市の産業・地域振興についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①漁業の振興（ホタテ資源増大、陸上養殖研究促進支援、サーモン養殖実証試験、沿岸漁業資源の高付加価値化、水産品の普及、販路拡大等）	1. はい 2. いいえ
②農業の振興（根室産農畜産物のブランド化、酪農業担い手確保等）	1. はい 2. いいえ
③観光の振興（観光プロモーション動画の作成、各種観光イベントの開催）	1. はい 2. いいえ
④移住交流の促進（地域おこし協力隊の受入れ、移住体験住宅の運営、オンライン移住相談等）	1. はい 2. いいえ

(2) 根室市の産業・地域振興について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 水産業基盤及び生産体制の整備 2. 農林業基盤及び生産体制の整備 3. 農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成 4. 企業誘致による雇用の場の確保 5. 魅力ある商店街づくり 6. 後継者の育成・確保 7. 観光開発、観光関連産業の育成 8. 特色あるイベントの展開 9. 新たな特産品の開発 10. その他（具体的に：	)
--	---

《情報の共有化について》

問17. 市政情報等の共有化についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

「ねむろメール」やフェイスブック・X（旧ツイッター）・インスタグラム・市公式LINE、地上デジタル方法を活用した「地デジ広報」等による行政情報の発信（防災・子育て・イベント情報など）	1. はい 2. いいえ
---	--------------

(2) あなたは、行政からの情報提供において、どのような情報を受けたいと考えていますか。特に、受けたいと思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 行政に関する総合的な情報 2. 道路交通・除雪・気象等の情報 3. 各種統計情報 4. 公共施設利用状況 5. 観光・レジャー情報 6. 文化行事・イベント情報 7. その他（具体的に：	)
--	---

《市民協働について》

問18. あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①市民、事業者、市職員で組織する「ねむろ未来塾」による公共施設グランドデザイン構想の策定（30年後を見据えたまちの将来像をデザイン）	1. はい 2. いいえ
②人づくり・まちづくり補助事業（市民が主体となる団体などが行うイベント・講演会等に対する財政支援）	1. はい 2. いいえ

問19. まちづくりには、市民のみなさんの主体的な活動が不可欠です。市民みなさんの一人ひとりが「誰もが何か1つを受け持つ」とすれば、あなたは、どのような活動に参加しますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 清掃活動や花いっぱい運動
- 2. 高齢者や障がい者等のためのボランティア活動
- 3. 郷土の歴史、文化を守り育てる活動
- 4. 自然保護活動
- 5. リサイクル活動、省資源活動
- 6. 子ども会などの青少年育成のための活動
- 7. 祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事
- 8. 交通安全や防災・防犯活動
- 9. 新しい特産品や土産品の研究開発
- 10. 自治会やNPO（非営利活動団体）など、市民による自主的な活動への支援
- 11. 特にない
- 12. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

《市民参画の方法について》

問20. これからのまちづくりには、市民のみなさんの参加が必要ですが、あなたは、どのような形で参加したいと思いますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい
- 2. 町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい
- 3. 説明会や公聴会、懇談会などに参加したい
- 4. 投書（市長のはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい
- 5. 世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい
- 6. 市役所や議会に一任し、自分では参加しない
- 7. あまり必要性を感じない（理由： \_\_\_\_\_）
- 8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

《男女共同参画について》

問21. あなたは生活全般を通して男女は平等になっていると思いますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 男性の方が優遇されている
- 2. どちらかといえば男性のほうが優遇されている
- 3. 男女平等である
- 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 5. 女性の方が優遇されている
- 6. わからない

